

子どもの生活実態調査 集計報告書

**平成31年2月
狛江市**

目 次

第1章 調査の概要

1 調査の目的・対象者・方法等.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査対象者.....	1
(3) 調査方法.....	1
(4) 調査時期.....	1
2 回収状況.....	1
(1) 有効回答数（回答率）.....	1
3 集計結果の表示方法.....	2

第2章 回答者の基本属性

1 小学5年生の回答者属性.....	3
2 中学2年生の回答者属性.....	4
3 「生活困難」について.....	5
(1) 本調査における「生活困難」とは.....	5
(2) 生活困難層の割合.....	8
4 結果の概要.....	9
I 生活困難の割合.....	9
II 生活困難の状況.....	9
III 家計の状況.....	11
IV 子どもの学びと学校生活.....	12
V 子どもの生活・友人関係.....	13
VI 子どもの健康と自己肯定感.....	15
VII 保護者の状況.....	16
VIII 制度・サービスの利用.....	18

第3章 生活困難の状況

1 生活困難の状況.....	21
(1) 食料が買えなかった経験.....	21
(2) 衣服が買えなかった経験.....	22
(3) 公共料金等の滞納経験.....	23
(4) 物品等の所有状況.....	30
(5) 現在の（主観的）暮らし向き.....	32
(6) 家計の収支状況.....	33

(7) 住宅の状況.....	34
2 子どもの生活水準（所有物と体験）	38
(1) 子どもの所有物の状況	38
(2) 子どもへの支出	52
(3) 子どもの体験	60
3 子どもの食と栄養	65
(1) 朝食の摂取状況	65
(2) 栄養群の摂取状況	67

第4章 家計の状況

1 家計の状況	73
(1) 就学援助の受給状況	73
(2) 支給額と実費の差が大きい経費.....	74
(3) 受給していない理由	75
(4) 社会保障の支給額.....	76
(5) 世帯収入	82
2 子育てにかかる費用	84

第5章 子どもの学びと学校生活

1 学校について.....	92
(1) 子どもがこれまでに通った保育・教育機関	92
(2) 学校の種類.....	94
(3) 私立選択の理由	95
(4) 子どもに受けさせたい教育レベル	96
2 学校の成績	97
(1) 成績の主観的評価	97
(2) 学校生活の楽しみ	98
(3) 得意教科	108
3 授業の理解や学習の状況.....	110
(1) 授業の理解度	110
(2) 授業がわからなくなった時期	111
4 学校外での学習・勉強の状況.....	112
(1) 勉強を教えてくれる人	112
(2) 学校の授業以外での勉強時間	114
(3) 学習塾・家庭教師の頻度	115
(4) 自宅での教材使用状況	116

5	将来の夢.....	118
(1)	夢の有無	118
(2)	将来の夢	119
(3)	夢がない理由	120
(4)	将来の進学希望	121

第6章 子どもの生活・友人関係

1	家族や友だち.....	122
(1)	一番仲が良い友だち	122
(2)	友だちとの関係	123
2	平日の食事	127
(1)	朝食を一緒にとる人	127
(2)	夕食を一緒にとる人	129
3	平日の放課後の過ごし方.....	131
(1)	平日の放課後を過ごす場所と頻度	131
(2)	放課後を一緒に過ごす人	140
4	休日の過ごし方	141
(1)	休日の午後を過ごす場所	141
(2)	休日の午後を一緒に過ごす人	143
5	一番ほっとできる居場所.....	144
6	放課後子ども教室・クラブ活動.....	146
(1)	放課後子ども教室・クラブ活動への参加状況.....	146
(2)	放課後子ども教室・部活動に参加していない理由.....	147
7	活動の状況	149
(1)	活動の状況.....	149
(2)	運動の状況.....	155
(3)	読書の状況.....	156
8	経験の状況	157
9	会話の頻度	161

第7章 子どもの健康と自己肯定感

1	子どもの健康状態	167
(1)	子どもの主観的健康状態	167
(2)	保護者からみた子どもの健康状態	168
(3)	むし歯の本数	169
(4)	子どもの医療受診抑制経験.....	170

(5) 予防接種状況	172
(6) 肥満度	178
2 自己肯定感	179
(1) 自己肯定感	179
(2) 抑うつ傾向	187

第8章 保護者の状況

1 回答者の状況	188
(1) 婚姻状況	188
(2) 健康状態	189
(3) 肥満度	190
(4) 抑うつ傾向	191
2 家族	192
(1) 同居人数	192
(2) 世帯構成	192
(3) 介護が必要な同居家族の有無	193
(4) 頼れる親族・友人の有無	194
(5) 転居経験	195
3 父親のこと	196
(1) 職業	196
(2) 就労時間	198
(3) 税込収入	199
(4) 平日の日中以外の勤務状況	201
(5) 最終学歴	203
(6) 最終学校の卒業の有無	205
4 母親のこと	206
(1) 職業	206
(2) 就労時間	208
(3) 税込収入	209
(4) 平日の日中以外の勤務状況	211
(5) 最終学歴	213
(6) 最終学校の卒業の有無	215
5 父親・母親のこれまでの経験	216
(1) 15歳の頃の家族構成	216
(2) 15歳の頃の（主観的）暮らし向き	217
(3) 成人するまでの体験	218
(4) 子育てにかかわってからの経験	220

6	子どもとのかかわり	222
	(1) 子どもとのかかわりの頻度	222
	(2) 子どもの将来についての会話	231
7	相談相手の有無	232

第9章 制度・サービスの利用

1	子ども本人の支援サービス利用意向	233
2	制度・サービスの利用	239
	(1) 子ども関連情報の入手方法の現状と意向	239
	(2) 子育て支援制度の利用経験	243
	(3) 子育て支援制度等の利用意向	250
	(4) 経済的支援制度の利用経験	252
	(5) 経済的支援制度等の利用意向	257
3	相談窓口の利用状況	259
	(1) 公的相談機関の利用経験	259

第1章 調査の概要

1 調査の目的・対象者・方法等

(1) 調査の目的

本調査は、子どもの生活状況や子どもとの関わり、家庭の状況などをうかがい、子どもたちの支援に役立てるとともに、今後の子ども・子育て支援施策の充実や改善、こまめな子育て応援プラン改定の基礎資料とするために実施したものです。

(2) 調査対象者

市内在住の小学5年生及び中学2年生とその保護者

	子ども票	保護者票
小学5年生	603人	603人
中学2年生	604人	604人

(3) 調査方法

調査票は「小学生票」、「中学生票」（以下「子ども票」という。）と「小学生保護者」、「中学生保護者」（以下「保護者票」という。）で構成され、市立小・中学校に通う児童・生徒は学校を通じて配付、私立小・中学校に通う児童・生徒は郵送にて配付しました。子どもと保護者がそれぞれ無記名で記入の上、子ども票用、保護者票用の個別封筒に入れ封緘したのち、世帯用の封筒に入れたものを市立小・中学校に通う児童・生徒は学校にて回収、私立小・中学校に通う児童・生徒は郵送にて回収しました。

(4) 調査時期

平成30年6月22日～7月13日

2 回収状況

(1) 有効回答数（回答率）

		子ども票	保護者票	うち親子マッチングできた票数
小学5年生	有効回答数	425票	425票	420票
	回答率	70.5%	70.5%	69.7%
中学2年生	有効回答数	308票	311票	308票
	回答率	51.0%	51.5%	51.0%

3 集計結果の表示方法

- 本報告書では、子ども票、保護者票の設問をテーマごとに分類し、集計結果を掲載しています。
- 生活困難度を判定するための設問で無回答のため判定不能としたものがあります。そのため、困窮層、周辺層、一般層の合計は全体数と同数ではありません。
- 生活困難度の困窮層と周辺層は該当者が少なく、統計上有意にならないことから、生活困難度別クロス集計のグラフは、困窮層と周辺層を合わせた「生活困難層」と「一般層」で表しています。
- 世帯タイプは保護者票の子どもと父親、母親それぞれの同居状況から判別しています。そのため、各制度や公的統計の定義とは必ずしも一致しません。
- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当設問においては該当者数）を100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記します。このため、すべての割合の合計が100%にならないことがあります。
- 複数回答（2つ以上選ぶ問）の設問では、すべての割合の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果又は回答者が皆無であることを表します。
- 設問文を一部省略して表記しています。
- グラフ及び文章中で選択肢を一部省略している場合があります。
- クロス集計グラフでは、見やすさを優先し「0.0%」の数値表示を省略しているものがあります。

第2章 回答者の基本属性

1 小学5年生の回答者属性

小学5年生の回答者属性は以下のとおりです。

子どもの性別は「男子」が47.1%、「女子」が51.8%となっています。

回答した保護者は「母親」が90.1%、「父親」が6.8%、平均年齢は43.1歳となっており、「日本国籍」を持つ母親は96.0%、父親は95.1%、「日本以外」の国籍を持つ母親は1.4%、父親は1.6%となっています。世帯タイプは「ふたり親」が90.4%、「ひとり親」が5.9%となっています。

(1) 子どもの性別

男子	女子	無回答	合計
200人	220人	5人	425人
47.1%	51.8%	1.2%	100.0%

(2) 保護者（回答者）と子どもの続柄

父親	母親	祖父	祖母	兄弟姉妹	その他	施設職員	無回答	全体
29人	383人	0人	1人	0人	0人	0人	12人	425人
6.8%	90.1%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	100.0%

(3) 保護者（回答者）の年齢

39歳以下	40～49歳	50～59歳	60歳以上	無回答	合計	平均値
91人	279人	32人	1人	22人	425人	43.1歳
21.4%	65.6%	7.5%	0.2%	5.2%	100.0%	

(4) 両親の国籍

	日本	日本以外	無回答	合計
母親	408人	6人	11人	425人
	96.0%	1.4%	2.6%	100.0%
父親	404人	7人	14人	425人
	95.1%	1.6%	3.3%	100.0%

(5) 世帯タイプ

ふたり親	ひとり親	不明	合計
384人	25人	16人	425人
90.4%	5.9%	3.8%	100.0%

2 中学2年生の回答者属性

中学2年生の回答者属性は以下のとおりです。

子どもの性別は「男子」が43.8%、「女子」が51.9%となっています。

回答した保護者は「母親」が87.1%、「父親」が10.3%、平均年齢は45.6歳となっており、「日本国籍」を持つ母親は98.1%、父親は92.0%、「日本以外」の国籍を持つ母親は1.0%、父親は3.2%となっています。世帯タイプは「ふたり親」が86.8%、ひとり親が10.6%となっています。

(1) 子どもの性別

男子	女子	無回答	合計
135人	160人	13人	308人
43.8%	51.9%	4.2%	100.0%

(2) 保護者（回答者）と子どもの続柄

父親	母親	祖父	祖母	兄弟姉妹	その他	施設職員	無回答	全体
32人	271人	0人	0人	0人	0人	0人	8人	311人
10.3%	87.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	100.0%

(3) 保護者（回答者）の年齢

39歳以下	40～49歳	50～59歳	60歳以上	無回答	合計	平均値
26人	208人	62人	0人	15人	311人	45.6歳
8.4%	66.9%	19.9%	0.0%	4.8%	100.0%	

(4) 両親の国籍

	日本	日本以外	無回答	合計
母親	305人	3人	3人	311人
	98.1%	1.0%	1.0%	100.0%
父親	286人	10人	15人	311人
	92.0%	3.2%	4.8%	100.0%

(5) 世帯タイプ

ふたり親	ひとり親	不明	合計
270人	33人	8人	311人
86.8%	10.6%	2.6%	100.0%

3 「生活困難」について

(1) 本調査における「生活困難」とは

本報告では、子どもの生活における「生活困難」を、3つの要素から分類します。

- ① 低所得
- ② 家計の逼迫（ひっぱく）
- ③ 子どもの体験や所有物の欠如

「①低所得」は、先進諸国の貧困の測定に最も一般的に用いられ、厚生労働省も用いている指標ですが、本調査においては、自記式の質問紙調査であるため、把握できる世帯所得の精緻（せいち）度が限られています。そこで、所得データを補完するために、「②家計の逼迫」と「③ 子どもの体験や所有物の欠如」に用いられている物質的はく奪指標を用います。物質的はく奪指標は、所得データによる貧困率と一緒に用いることで、貧困の測定の精緻（せいち）化が可能であることが、欧州連合などを始め国内外の研究より判明しています。以下にそれぞれの詳細な定義を示します。

① 低所得

「低所得」は、世帯所得（勤労収入、事業収入等＋社会保障給付）を、世帯人数の平方根で割り算した値（＝等価世帯所得）が、厚生労働省「平成29年国民生活基礎調査」から算出される基準*未満の世帯と定義します。なお、低所得世帯の割合は、世帯所得の把握の方法や可処分所得ではなく、当初所得を用いている点などの違いがあるため、厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」にて公表されている「子どもの貧困率」（13.9%）と比較はできません。

*：厚生労働省「平成29年国民生活基礎調査」（所得は平成28年値）の世帯所得の中央値（442万円）を、平均世帯人数（2.47人）の平方根で除した値の50%である140.6万円

② 家計の逼迫（ひっぱく）

「家計の逼迫（ひっぱく）」は、経済的な制約を子どもに課し、生活水準を低下させるだけでなく、親の心理的なゆとりや、心身の健康状態の悪化を通して子どもに悪影響をもたらす可能性があると言われています。そこで、家計の逼迫（ひっぱく）を、家計の中で大きな比重を占め、これらの欠乏により、基本的な生活水準を保つことが難しいと考えられる公共料金や食料・衣類の費用が捻出できない状況と定義します。具体的には、保護者票において過去1年間に、経済的な理由で電話、電気、ガス、水道、家賃などの料金の滞納があったか、また、過去1年間に「家族が必要とする食料が買えなかった経験」、「家族が必要とする衣類が買えなかった経験」があったか等、7つの項目のうち1つ以上が該当する場合を「家計の逼迫（ひっぱく）」があると定義します。

③ 子どもの体験や所有物の欠如

前記①と②は、世帯全体の生活困難を表しますが、子ども自身の生活困難を表す指標として、「子どもの体験や所有物の欠如」を用います。ここで用いられる子どもの体験や所有物とは、日本社会において、大多数の子どもが一般的に享受していると考えられる経験や物品です。

具体的には、保護者票において過去1年間に、以下の15項目において、「経済的にできない」や「経済的理由のために世帯にない」状態の3つ以上が該当している場合に、「子どもの体験や所有物の欠如」の状態にあると定義します。

- 「海水浴に行く」
- 「博物館・科学館・美術館などに行く」
- 「キャンプやバーベキューに行く」
- 「スポーツ観戦や劇場に行く」
- 「遊園地やテーマパークに行く」
- 「毎月お小遣いを渡す」
- 「毎年新しい洋服・靴を買う」
- 「習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる」
- 「学習塾に通わせる（又は家庭教師に来てもらう）」
- 「お誕生日のお祝いをする」
- 「1年に1回くらい家族旅行に行く」
- 「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」
- 「子どもの年齢に合った本」
- 「子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」
- 「子どもが自宅で宿題（勉強）をすることができる場所」

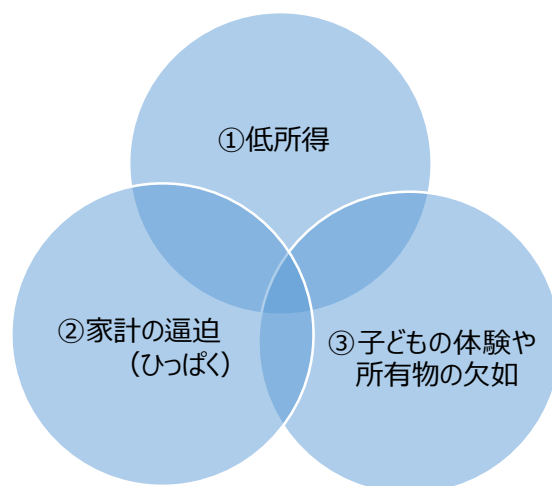
「生活困難層」の定義について

●本調査では、「生活困難層」等を以下の3つの要素に基づいて分類しました。

①低所得	③子どもの体験や所有物の欠如
等価世帯所得が厚生労働省「平成29年国民生活基礎調査」から算出される基準未満の世帯 ＜低所得基準＞ 世帯所得の中央値 442 万円÷ √平均世帯人数（2.47 人）×50% ＝140.6 万円	子どもの体験や所有物などに関する次の15項目のうち、<u>経済的な理由</u>で、欠如している項目が3つ以上該当 - 海水浴に行く - 博物館・科学館・美術館などに行く - キャンプやバーベキューに行く - スポーツ観戦や劇場に行く - 遊園地やテーマパークに行く - 毎月お小遣いを渡す - 毎年新しい洋服・靴を買う - 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる - 学習塾に通わせる（又は家庭教師に来てもらう） - お誕生日のお祝いをする 1年に1回くらい家族旅行に行く - クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる - 子どもの年齢に合った本 - 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ - 子どもが自宅で宿題（勉強）をすることができる場所
②家計の逼迫（ひっぱく）	
<u>経済的な理由</u>で、公共料金や家賃を支払えなかった経験や食料・衣類を買えなかった経験などの7項目のうち1つ以上に該当 - 電話料金 - 電気料金 - ガス料金 - 水道料金 - 家賃 - 家族が必要とする食料が買えなかった - 家族が必要とする衣類が買えなかった	

◆生活困難層（困窮層・周辺層）、一般層

生活困難層	困窮層 + 周辺層
困窮層	2つ以上の要素に該当
周辺層	いずれか1つの要素に該当
一般層	いずれの要素にも該当しない



(2) 生活困難層の割合

「低所得」や「家計の逼迫」、「子どもの体験や所有物の欠如」のうち2つ以上に該当し、困窮層にあると思われる家庭は、小学5年生で5.2%、中学2年生で6.0%、いずれか1つに該当する周辺層の家庭は、小学5年生で14.0%、中学2年生で12.1%となっています。

困窮層と周辺層を合わせた生活困難層にあたる家庭は、小学5年生で19.2%、中学2年生は18.1%となっています。

○各層の内訳

区 分	小学5年生		中学2年生	
サンプル数(人)	286		215	
生活困難層	55	19.2%	39	18.1%
困窮層	15	5.2%	13	6.0%
周辺層	40	14.0%	26	12.1%
一般層	231	80.8%	176	81.9%

※サンプル数とは、生活困難度が判定できた数

※端数処理の関係で、合計が100%とならない場合があります。

区 分	小学5年生			中学2年生		
	サンプル数	該当数		サンプル数	該当数	
低所得	290	32	11.0%	223	19	8.5%
家計の逼迫	410	33	8.0%	291	23	7.9%
子どもの体験や所有物の欠如	425	32	7.5%	311	35	11.3%

※サンプル数とは、各要素の判定できた数

※各要素のサンプル数が違うため、該当数が同数でも割合が違う場合があります。

○各層の内訳：世帯タイプ別

区 分	小学5年生				中学2年生			
	ふたり親		ひとり親		ふたり親		ひとり親	
サンプル数(人)	258		20		191		21	
生活困難層	38	14.7%	12	60.0%	25	13.1%	12	57.1%
困窮層	11	4.3%	3	15.0%	7	3.7%	6	28.6%
周辺層	27	10.5%	9	45.0%	18	9.4%	6	28.6%
一般層	220	85.3%	8	40.0%	166	86.9%	9	42.9%

※サンプル数とは、生活困難度と世帯タイプが判定できた数

※端数処理の関係で、合計が100%とならない場合があります。

(参考：東京都※の生活困難層の内訳)

区 分	小学5年生	中学2年生
生活困難層	20.5%	21.6%
困窮層	5.7%	7.1%
周辺層	14.9%	14.5%
一般層	79.5%	78.4%

※東京都が都内の4自治体（墨田区、豊島区、調布市、日野市）を対象に平成28年に行った調査結果

4 結果の概要

I 生活困難の割合

(1) 生活困難度の判定

狛江市における生活困難度を「低所得」、「家計の逼迫」、「子どもの体験や所有物の欠如」の3つの要素から、困窮層、周辺層、一般層に分類した結果、世帯収入等の回答がなく生活困難度が判定できなかった世帯が、小学5年生で139世帯、中学2年生で96世帯あり、生活困難層と判定できた世帯は、小学5年生では55世帯（うち困窮層15世帯、周辺層40世帯）、中学2年生では39世帯（うち困窮層13世帯、周辺層26世帯）となっています。

判定できなかった世帯を除いた生活困難度別の割合は、小学5年生では、生活困難層が19.2%（うち困窮層5.2%、周辺層14.0%）、一般層が80.8%、中学2年生では、生活困難層が18.1%（うち困窮層6.0%、周辺層12.1%）、一般層が81.9%となっています。

II 生活困難の状況

(1) 生活困難の状況

① 食料や衣服の購入について

生活困難層の3～5割は金銭的な理由から、食料や衣服が買えなかった経験がある

小学5年生全体の7.8%、中学2年生全体の10.9%で、過去1年間に金銭的な理由で食料が買えなかった『経験がある』（「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計）と回答しています。また、小学5年生全体の12.0%、中学2年生全体の16.1%の世帯で過去1年間に金銭的な理由で衣服が買えなかった『経験がある』と回答しています。

その中で、生活困難層の約3～5割が、食料や衣服が買えなかった『経験がある』と回答しています。

② 公共料金等の滞納経験

生活困難層で金銭的な理由から、公共料金の滞納経験がある割合は一般層の4倍多い

公共料金（電話、電気、ガス、水道）の滞納経験について、「あった」と回答した割合は、小学5年生、中学2年生の全体で1.6～3.1%であるのに対し、生活困難層では7.7～14.5%と4倍超となっています。

③ 住宅の状況

生活困難層は持ち家の割合が15～25ポイント低く、約1割は居室が「2室」以下である

小学5年生、中学2年生とも全体では、7割以上が「持ち家」に住み、居室の数については「4室以上」との回答が最も多くなっていますが、生活困難層では一般層に比べ「持ち家」の割合は15～25ポイント低く、約1割は「2室」以下と回答しています。

（２）子どもの生活水準

① 所有物の状況

「（自宅で）インターネットにつながるパソコン」の所有率は一般層で高く、「携帯電話、スマートフォン」の所有率は生活困難層で高い

ほとんどの所有物で、生活困難度による所有率の大きな差はみられませんが、小学５年生で「（自宅）でインターネットにつながるパソコン」の所有率が一般層の 60.4%に対し、生活困難層で 49.1%と低くなっています。反対に、「携帯電話、スマートフォン」の所有率は一般層の 49.1%に対し、生活困難層で 56.6%と高くなっています。中学２年生でも同様の傾向となっています。

② 子どもへの支出

- ・小学５年生に比べ中学２年生の経済的にできない割合が総じて高い
- ・塾に通わせる、家族旅行に行くなどを経済的にできない割合は生活困難層で高い

「経済的にできない」と回答した割合は小学５年生の生活困難層で、「毎月お小遣いを渡す」16.4%、「学習塾に通わせる」29.1%、「１年に１回くらい家族旅行に行く」27.3%となっている一方、中学２年生の生活困難層では「毎月お小遣いを渡す」35.9%、「学習塾に通わせる」38.5%、「１年に１回くらい家族旅行に行く」56.4%となっており、小学５年生に比べ総じて経済的にできない割合が高くなっています。

③ 子どもの体験

- ・小学５年生に比べ中学２年生の体験が「ある」割合は総じて低い
- ・海水浴などの体験が経済的にできない割合は生活困難層で高い

過去１年間に「海水浴に行く」や「遊園地やテーマパークに行く」などの体験をしたかについては、小学５年生、中学２年生とも生活困難層の約 10～25%で「金銭的な理由でない」と回答しています。また、総じて小学５年生に比べ中学２年生の体験の割合が低くなっています。

（３）子どもの食と栄養

９割以上の子どもが平日の朝食を毎日食べている

① 朝食の摂取状況

小学５年生、中学２年生のいずれの層も子どもの９割以上、保護者の８割前後が「いつも食べる」と回答しています。子どもの朝食摂取状況については、小学５年生、中学２年生とも生活困難度による差はみられませんが、保護者の朝食摂取状況について、小学５年生の一般層では 88.7%と回答しているのに対し、生活困難層では 78.2%と低くなっています。中学２年生では生活困難度による差はみられません。

② 栄養群の摂取状況

- ・給食以外にくだものを「毎日」食べる割合は3割程度であり、生活困難層はその半分
- ・小学5年生の生活困難層は給食以外に「野菜」、「肉か魚」を摂取する日数が少ない

給食以外にくだものを毎日食べる割合は、小学5年生、中学2年生ともに全体の3割程度ですが、特に生活困難層では小学5年生で15.1%、中学2年生で15.8%と低くなっています。

野菜、肉か魚、お菓子を毎日食べる割合は、中学2年生では生活困難度による大きな差はみられないものの、小学5年生の生活困難層では一般層に比べそれぞれ20ポイントほど低くなっています。

Ⅲ 家計の状況

生活困難層で就学援助や児童育成手当、児童扶養手当を受給している割合は高く、小学5年生で塾など学校外の教育費用がかけられない状況がある

（１）就学援助について

① 就学援助

就学援助を受けている割合は、生活困難層で小学5年生が20.0%、中学2年生が43.6%となっています。就学援助を受けていない理由として、「援助が必要であるが申請要件を満たしていなかった」と回答した割合が、小学5年生の一般層が19.7%に対し生活困難層が40.0%と高くなっています。

② 就学援助支給額と実費との差が大きい経費

就学援助で支給されている額と実際にかかった額とで、差が大きい経費に関しては、小学5年生、中学2年生とも、「学用品費」が最も多くなっています。

（２）社会保障の支給額について

「児童育成手当」「児童扶養手当」を支給されている割合は、小学5年生、中学2年生とも生活困難層で高くなっています。

（３）世帯年収について

世帯年収について、「0～300万円未満」の割合を比較すると、全体では、小学5年生で7.3%、中学2年生で7.0%であるのに対し、生活困難層では小学5年生で56.2%、中学2年生で38.4%と5倍以上となっています。

（４）子育てにかかる費用について

子育てにかかる費用について、小学5年生の生活困難層では、「塾など、学校外でかかる教育費」の34.5%、「お小遣い」の49.1%、中学2年生の生活困難層では、「お小遣い」の38.5%が高くなっています。

Ⅳ 子どもの学びと学校生活

(1) 学校について

① 子どもがこれまでに通った保育・教育機関

小学5年生が就学前に通ったことのある保育・教育機関は、全体で「幼稚園(私立)」60.0%、「認可保育所」36.5%となっており、中学2年生の全体でも同様の傾向となっています。

② 子どもに受けさせたい教育レベル

子どもに「大学またはそれ以上」の教育を希望している割合は、生活困難層で低い

子どもに受けさせたい教育レベルに関する保護者の意識は、子どもの進学希望と同様に生活困難度別によって差がみられ、生活困難層で「大学またはそれ以上」の割合は低く、「高校まで」の割合が高くなっています。

(2) 学校の成績

子ども自身の成績評価は、生活困難層で低い傾向にある

主観的成績評価について、「やや下のほう」と「下のほう」を合わせた“下位”は生活困難層で割合が高く小学5年生で32.1%、中学2年生で36.9%となっており、自身での評価が低い傾向がみられます。

(3) 学校生活の楽しみ

8割以上の子どもが学校生活を“楽しみ”にしているが、中学2年生で「先生に会うこと」が“楽しみ”なのは6割程度である

学校生活の楽しみについて、生活困難度による大きな差はみられず、“楽しみ”（「とても楽しみ」、「楽しみ」、「少し楽しみ」の合計）の割合は概ね8割を超えています。しかし、中学2年生では「先生に会うこと」を“楽しみ”とする回答が6割程度となっています。

(4) 授業の理解や学習の状況

① 授業の理解度

- ・ 学校の授業が“わかる”割合は約8割であり、年齢、生活困難度による差はみられない
- ・ 中学2年生の生活困難層で学校の授業が“わからない”割合は約1割

学校の授業について、小学5年生、中学2年生の約8割は“わかる”（「いつもわかる」と「だいたいわかる」の合計）と回答している一方、中学2年生の生活困難層の13.2%は“わからない”（「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」の合計）と回答しています。

②授業がわからなくなった時期

授業がわからないと回答した小学5年生全体の54.5%が小学3年生のころまでにわからなくなったと回答し、中学2年生全体の28.0%は小学校の段階でわからなくなったと回答しています。

(5) 学校外での学習・勉強の状況

①勉強を教えてくれる人

小学5年生全体では「親」「学校の先生」「友だち」の順に多く、生活困難度による差はみられません。中学2年生全体では「友だち」「親」「学校の先生」の順ですが、生活困難層では「友だち」「学校の先生」の割合が高くなっています。

②学校以外での学習時間

平日1時間以上勉強する割合は、小学5年生の生活困難層でやや低く、中学2年生では生活困難度による差はみられない

平日、学校以外での学習を1時間以上するとの回答は、小学5年生の一般層で65.2%に対し、生活困難層で52.8%とやや低くなっています。中学2年生は生活困難度による差はみられません。

(6) 将来の夢

①将来の夢

小学5年生全体の79.8%、中学2年生全体の60.7%は将来の夢が「ある」と回答しています。生活困難度による差はみられませんが、小学5年生と比べ中学2年生では夢が「ある」割合は、総じて低くなっています。

②将来の進学希望

「大学またはそれ以上」への進学を希望している子どもは、生活困難層で少ない

中学2年生全体の63.6%は「大学またはそれ以上」の進学を希望しています。進路に関する意識は、生活困難度によって差がみられ、「大学またはそれ以上」は一般層で69.7%が希望している一方、生活困難層では50.0%と低くなり、「高校まで」が23.7%と一般層に比べ高くなっています。

V 子どもの生活・友人関係

(1) 友だち

一番仲が良い友だちは、小学5年生、中学2年生のいずれも8割以上が「学校の友だち」と回答しています。また、友だちとの関係については、小学5年生、中学2年生のいずれも、一緒にたくさん遊んでいると思う、仲良くしていると思うともに肯定的な回答が多く「とてもそう思う」「そう思う」を合わせた割合は9割前後となっています。

（２）平日の食事

- ・朝食を「一人で食べる」割合は１割程度で小学５年生、中学２年生とも一般層が高い
- ・中学２年生の約１割は、夕食を一人で食べている

平日の食事は、小学５年生、中学２年生のいずれとも「家族（親）」「家族（兄弟姉妹）」と一緒に食べるとの回答が高くなっていますが、朝食を「一人で食べる」との回答は一般層で高く小学５年生で 13.9%、中学２年生で 28.0%となっています。また、中学２年生のいずれも１割程度は夕食を「一人で食べる」と回答しています。

（３）平日の放課後の過ごし方

①放課後を過ごす場所

中学２年生の約８割は、週に３日以上放課後は部活など学校で過ごしているが、生活困難層では７割に満たない

小学５年生、中学２年生のいずれも約３割が放課後を「毎日」自宅で過ごすと回答していますが、中学２年生の生活困難層は 42.1%と高くなっています。

小学５年生は「友だちの家」「塾や習い事」「公園」で過ごすことが多くなっています。中学２年生は「学校（部活など）」で過ごすことが多く“週に３日以上”（「毎日」と「週に３～４日」の合計）と回答した割合が、全体で 78.2%、生活困難層で 65.8%、一般層で 80.5%となっており、生活困難層の割合が低くなっています。

②放課後を一緒に過ごす人

約１割の子どもが放課後を一人で過ごしている

放課後を一緒に過ごすことが多い人は、小学５年生の一般層では「家族」41.3%、生活困難層では「学校の友だち」35.8%と多くなっています。反対に中学２年生の一般層は「学校の友だち」53.1%、生活困難層では「家族」28.9%と多くなっています。

また、小学５年生、中学２年生のいずれも約１割は「一人でのいる」と回答しています。

（４）休日の過ごし方

休日の午後を過ごす場所は、小学５年生、中学２年生のいずれも「自分の家」が半数を超えており、一緒に過ごす人についても「家族」が最も多くなっている一方、中学２年生の一般層の 7.4%は「一人でのいる」と回答しています。

（５）一番ほっとできる居場所

約３～４%の子どもが「ほっとできる居場所はない」としている

小学５年生、中学２年生のいずれも７割以上が「自分の家」と回答しています。しかし、割合は少ないですが、小学５年生の生活困難層の 3.8%と中学２年生のいずれの層も 2.6%～3.9%が「ほっとできる居場所はない」と回答しています。

（６）活動の状況

① 活動の状況について

約 1 割の小学 5 年生が毎日 2 時間以上兄弟姉妹の世話や祖父母の介護をしている

小学 5 年生、中学 2 年生のいずれも 2～4 割が、テレビ・インターネットを「毎日 2 時間以上」見ると回答しています。

また、小学 5 年生のいずれも約 1 割が、兄弟姉妹の世話や祖父母の介護を「毎日 2 時間以上」していると回答しています。

② 運動の状況について

30 分以上体を動かす遊びや習い事について、中学 2 年生全体の「ほとんどしない・全くしない」が 20.5%、「ほぼ毎日」が 34.4%となっており、小学 5 年生全体に比べ高くなっています。

（７）経験の状況

6～8%の子どもが「夜遅くまで子どもだけで過ごした経験」がある

学校に行きたくないと思った経験について、中学 2 年生の生活困難層の 39.5%が“あった”（「よくあった」と「時々あった」の合計）と回答しています。

夜遅くまで子どもだけで過ごした経験について、小学 5 年生、中学 2 年生のいずれも 6～8%が“あった”（「よくあった」と「時々あった」の合計）と回答しています。

（８）会話の頻度

家族（親）との会話については小学 5 年生、中学 2 年生とも「よく話す」「時々話す」を合わせた割合は 8 割前後と高くなっていますが、小学 5 年生の生活困難層では、家族（親、兄弟姉妹、祖父母など）との会話について、一般層に比べ「よく話す」「時々話す」の割合が低く、反対に中学 2 年生では一般層に比べ生活困難層で高くなっています。

Ⅵ 子どもの健康と自己肯定感

（１）子どもの健康状態

小学 5 年生の生活困難層は、自身の健康状態や保護者からみた子どもの健康状態が「よい」と感じる割合は低く、医療機関の受診抑制の経験がある割合が高い

① 健康状態

主観的な健康状態が「よい」と回答している割合は、小学 5 年生では一般層の 53.9%に対し生活困難層で 34.0%と低く、反対に中学 2 年生では一般層の 41.7%に対し生活困難層で 55.3%と高くなっています。保護者からみた子どもの健康状態でも小学 5 年生も同様に生活困難層で「よい」と回答している割合は低くなっています。また、むし歯が 1 本以上ある割合は、小学 5 年生の生活困難層で若干高く、反対に中学 2 年生では生活困難層で若干低くなっています。

② 医療受診抑制経験及び各種予防接種の状況

医療受診抑制経験がある割合は、小学 5 年生の生活困難層では一般層の約 3 倍、中学 2 年生でも生活困難層がやや高い割合となっており、その理由として、中学 2 年生の生活困難層では「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が多く、それ以外では、「子どもの様子をみて受診させなくてもよいと判断したため」が多くなっています。また、インフルエンザやおたふくかぜ、水ぼうそうの任意接種の状況について、一般層と比べ生活困難層では約 10～20 ポイント低くなっています。

(2) 自己肯定感

小学 5 年生の生活困難層は自己肯定感が低い傾向があり、反対に、中学 2 年生の生活困難層は自己肯定感が高い傾向がみられる

① 自己肯定感

各設問で、小学 5 年生では一般層に比べ生活困難層で、自己肯定感が低い傾向がみられます。特に「自分は価値のある人間だと思う」については、「とても思う」と「思う」を合わせた割合が 16.8 ポイント低くなっています。

一方、中学 2 年生の生活困難層では一般層に比べ肯定的に捉えており、特に「自分の将来が楽しみだ」では「とても思う」と「思う」を合わせた割合が 84.2%と、一般層の 66.3%に比べ 17.9 ポイント高くなっています。

② 子どもの抑うつ傾向

小学 5 年生の 9.4%、中学 2 年生の 17.2%に抑うつの傾向がみられます（DSRS-C バールソン児童用抑うつ性尺度）。小学 5 年生と比べ中学 2 年生で割合は高くなっていますが、生活困難度による差はみられません。

Ⅶ 保護者の状況

(1) 回答者

① 婚姻状況

回答者の婚姻状況について、「結婚している（事実婚を含む）」と回答した割合は、小学 5 年生では、一般層の 97.4%に対し生活困難層で 69.1%となっています。中学 2 年生でも同様の傾向となっています。

② 健康状況

保護者の健康状態について、「よい」と「まあよい」を合わせた割合は、小学 5 年生では一般層の 58.9%に対し、生活困難層で 45.4%と生活困難度による差がみられます。中学 2 年生では「よい」と「まあよい」を合わせた割合について生活困難度による差はみられませんが、生活困難層の 5.1%が「よくない」と回答しており、他の層に比べやや高くなっています。

③ 心の状態

小学5年生、中学2年生とも一般層に比べ生活困難層で「0～4点」の割合が低く、何らかの心理的ストレスを抱えている状況がうかがえます。特に中学2年生の生活困難層では、精神的な問題がより重い可能性があるとする「10点以上」の割合が35.9%と高くなっています。

(2) 家族、父親・母親について

① 頼れる親族・友人の有無

保護者の頼れる親族・友人については、「いる」との割合は、8割前後となっています。

② 父親のことについて

父親の最終学歴は「大学」が多いが、その割合は生活困難層で低い

父親の職業は、小学5年生、中学2年生のいずれの層も「民間企業の正社員」が高くなっています。

父親の最終学歴については、小学5年生、中学2年生のいずれの層も「大学」が高くなっていますが、その割合は一般層に比べ生活困難層で低くなっています。

③ 母親のこと

母親の最終学歴は、一般層では「大学」が多く、生活困難層では小学5年生は「専門学校」、中学2年生では「高等学校」が多い

母親の職業は、小学5年生、中学2年生のいずれの層も4～5割は「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」であり、約2割は「専業主婦」となっています。

母親の最終学歴については、小学5年生、中学2年生とも一般層では「大学」が高くなっていますが、小学5年生の生活困難層では「専門学校」が高く、中学2年生の生活困難層では「高等学校（全日制）」が高くなっています。

④ 15歳の頃の暮らし向き

小学5年生全体では、「大変ゆとりがあった」が8.6%、「大変苦しかった」が3.4%となっており、生活困難度別でも同様の傾向となっています。中学2年生では生活困難層で、「大変苦しかった」が16.2%、「やや苦しかった」が24.3%となっています。

⑤ 成人するまでの体験

成人するまでの体験について、一般層と比べ小学5年生の生活困難層では、「親から暴力を振るわれた」がやや高く、中学2年生の生活困難層では、「両親が離婚した」がやや高くなっています。

⑥子育てにかかわってからの経験

子育てにかかわってから「わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」経験は生活困難層で高く、小学5年生では34.0%、中学2年生では24.3%となっています。また、「出産や育児でうつ病（状態）になった時期がある」や「（元）配偶者（またはパートナー）から暴力を振るわれたことがある」経験も一般層に比べ高くなっています。

（３）子どもとのかかわりについて

① 子どもとのかかわりの頻度

子どもの勉強をみる、政治経済・社会問題などのニュースやテレビ番組の話を「ほぼ毎日」する割合は生活困難層で低い

子どもの勉強をみる、政治経済・社会問題などのニュースやテレビ番組の話を「ほぼ毎日」する割合は生活困難層で低くなっています。また、子どもと遊ぶ頻度は生活困難層にかかわらず、小学5年生に比べ中学2年生で「めったにない」が高くなっています。

② 子どもの将来についての会話

子どもの将来についての会話を「よくする」と「たまにする」を合わせた割合は、小学5年生、中学2年生のいずれも約8割と高くなっている一方、小学5年生では3.6%、中学2年生では5.1%の生活困難層が「これまで特にしたことがない」と回答しています。

（４） 相談相手の有無

生活困難層の約1割に困ったときの相談相手がいない

小学5年生、中学2年生とも相談相手が「いる」割合は、一般層に比べ生活困難層で15ポイント程度低くなっています。また、小学5年生の10.9%、中学2年生の15.4%の生活困難層で相談相手が「いない」と回答しています。

Ⅷ 制度・サービスの利用

（１）支援プログラムの利用意向について

子どもの利用意向は、「家で勉強できないとき、静かに勉強できる場所」が最も多い

小学5年生、中学2年生のいずれも「家で勉強できないとき、静かに勉強できる場所」を「使ってみたい」と回答した割合が3割を超え、特に中学2年生の生活困難層で42.1%と高くなっています。そのほか、小学5年生では28.3%、中学2年生では34.2%の生活困難層で「（家以外で）休日にいることができる場所」、また、小学5年生の生活困難層で28.3%が、「大学生ボランティアが勉強を無料でみしてくれる場所」を「使ってみたい」と回答しています。

（２）制度サービスの利用について

① 子ども関連情報の入手方法・入手意向

「SNS（LINE、ツイッターなど）」「学校からのメール」の電子ツールで情報入手を希望する割合は生活困難層で高い

小学５年生、中学２年生ともに「学校からのお便り（紙のもの）」と「家族や友人からの情報」から子ども関連の情報を入手していますが、今後、希望する入手方法については、「学校からのお便り（紙のもの）」を除くと、小学５年生、中学２年生とも生活困難層では「SNS（LINE、ツイッターなど）」「学校からのメール」の電子ツールを希望する回答が高く、中学２年生の一般層では、「行政機関の広報誌」「行政機関のホームページ」が高くなっています。

② 子育て支援制度の利用経験・利用意向

- ・ 子育て支援制度の中で、フードバンクによる食料支援、学校以外が実施する学習支援等の制度を知らなかった割合が高く、特に中学２年生の生活困難層で高い
- ・ 保護者の利用意向は、「学校が実施する補講（学習支援）」が最も多く、特に生活困難層で学習支援の利用意向が高い

利用経験について、小学５年生、中学２年生のいずれも３～５割は「子育てひろば」、「子どもが自由に時間を過ごせる場所（児童館・児童センター・学童クラブなど）」を「利用したことがある」と回答している一方、「子育て短期支援事業（ショートステイ）」、「フードバンクによる食料支援」、「学校以外が実施する学習支援」では「制度等について全く知らなかった」との回答がいずれもやや多く、特に中学２年生の生活困難層で多くなっています。

利用意向について、小学５年生、中学２年生のいずれも「学校が実施する補講（学習支援）」が最も多く、次いで「学校以外が実施する学習支援」、「居場所事業（小学校高学年も利用できる児童館や学童クラブ、中学生以上の子どもが自由に時間を過ごせる場所など）」となっており、特に生活困難層で学習支援への利用意向は高くなっています。

③ 各種経済的支援制度の利用経験

- ・ 生活困難層で児童扶養手当、児童育成手当を利用したことがある割合が高い
- ・ １～２割が生活福祉資金の制度等を全く知らない

児童扶養手当、児童育成手当を「利用したことがある」と回答した割合は、小学５年生、中学２年生とも生活困難層で高くなっています。

また、小学５年生、中学２年生の１～２割程度が、生活福祉資金について「制度等について全く知らなかった」と回答しています。

（３）相談窓口の利用状況

① 公的相談機関の利用経験

相談窓口や方法がわからなかった割合は一般層に比べ生活困難層で高い

相談先は生活困難度にかかわらず「学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど」が最も多く 3～5 割が「相談したことがある」と回答しています。

「子ども家庭支援センター」、「ハローワーク」での相談経験について、小学 5 年生、中学 2 年生とも生活困難層で高くなっています。

また、「相談する窓口や方法がわからなかった」と回答した割合は、一般層に比べ生活困難層で高い傾向がみられます。

第3章 生活困難の状況

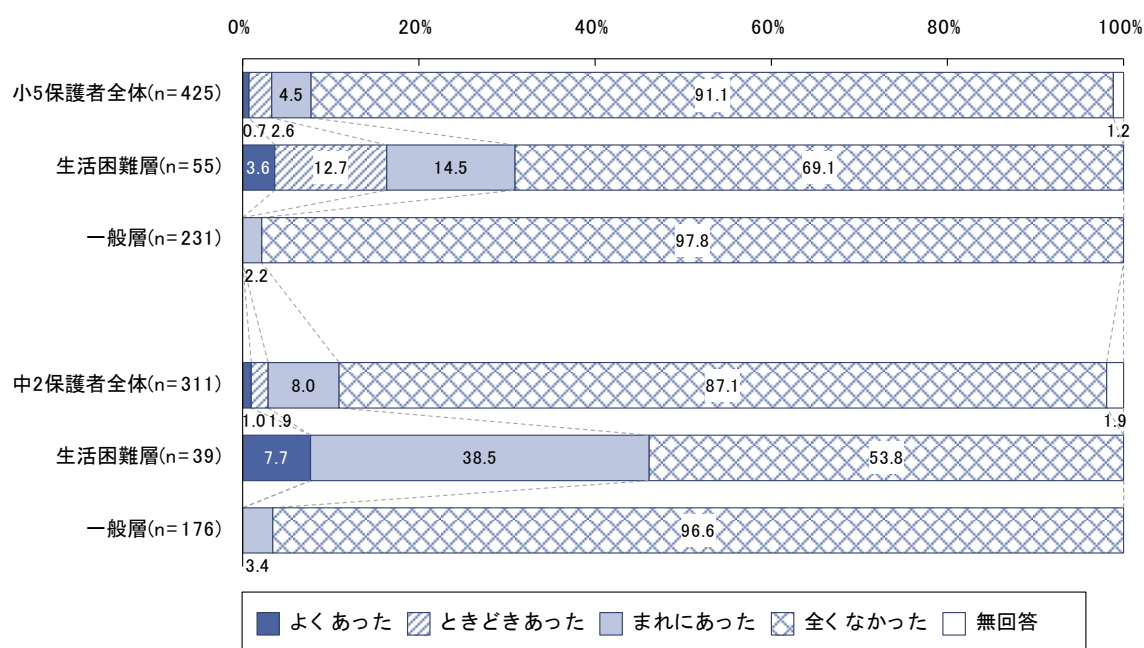
1 生活困難の状況

(1) 食料が買えなかった経験

過去1年間に食料が買えなかったことについて、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた“あった”と回答した割合は、小学5年生の全体で7.8%、生活困難層で30.8%、一般層で2.2%、中学2年生では全体で10.9%、生活困難層で46.2%、一般層で3.4%となっています。

「よくあった」「ときどきあった」に限ってみても、小学5年生の生活困難層で16.3%、中学2年生の生活困難層で7.7%となっている一方、一般層では回答がありませんでした。

問30 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか

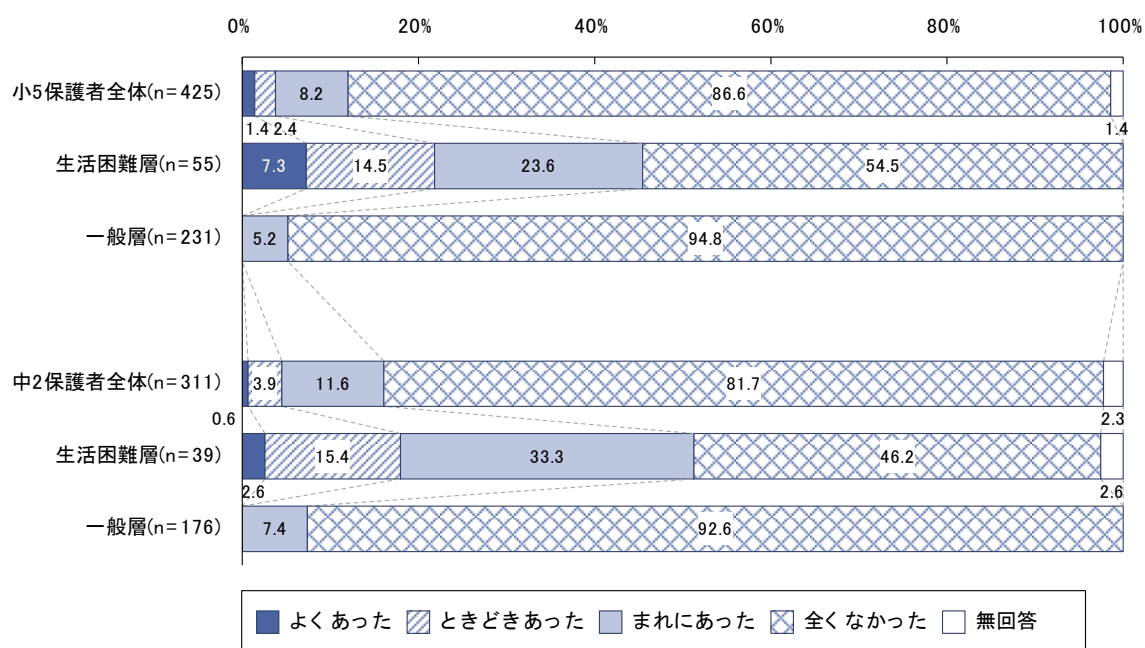


（２）衣服が買えなかった経験

過去１年間に衣服が買えなかったことについて、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた“あった”と回答した割合は、小学５年生の全体で 12.0%、生活困難層で 45.4%、一般層で 5.2%、中学２年生では全体で 16.1%、生活困難層で 51.3%、一般層で 7.4%となっています。

「よくあった」「ときどきあった」に限ってみても、小学５年生、中学２年生とも生活困難層では２割程度いる一方、一般層では回答がありませんでした。

問31 あなたのご家庭では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか

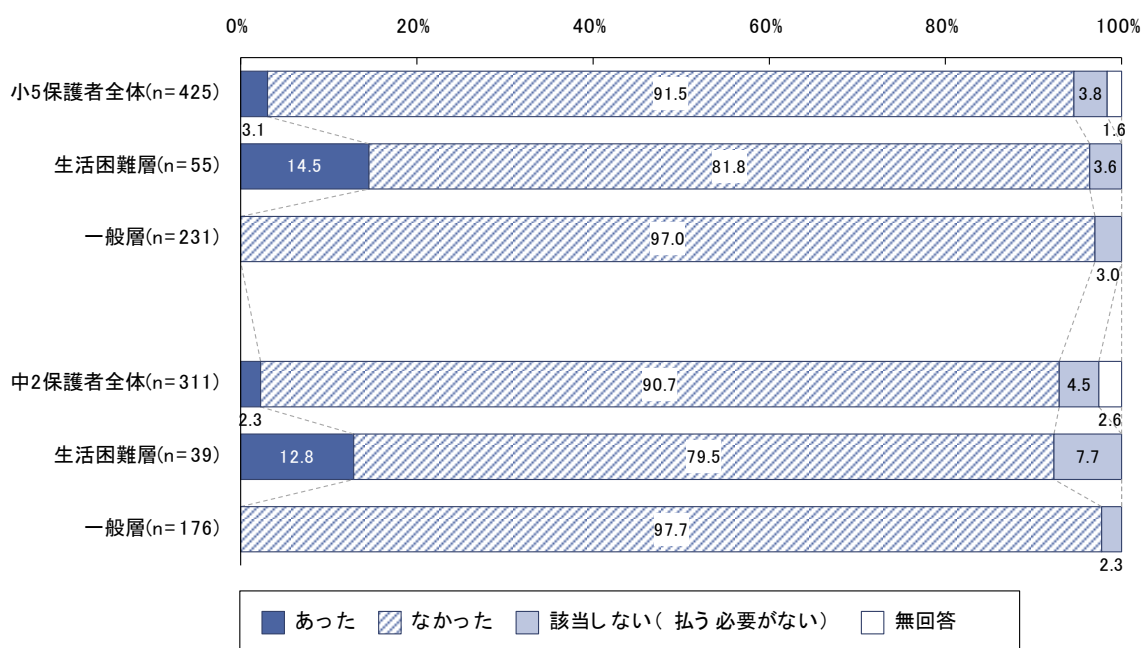


（３）公共料金等の滞納経験

A 電話料金

過去１年間の電話料金の滞納経験について、「あった」との回答は小学５年生の全体で３.１％、生活困難層で１４.５％、中学２年生の全体で２.３％、生活困難層で１２.８％となっており、生活困難層の約１割は滞納経験があったのに対し、一般層では小学５年生、中学２年生とも「あった」との回答はありませんでした。

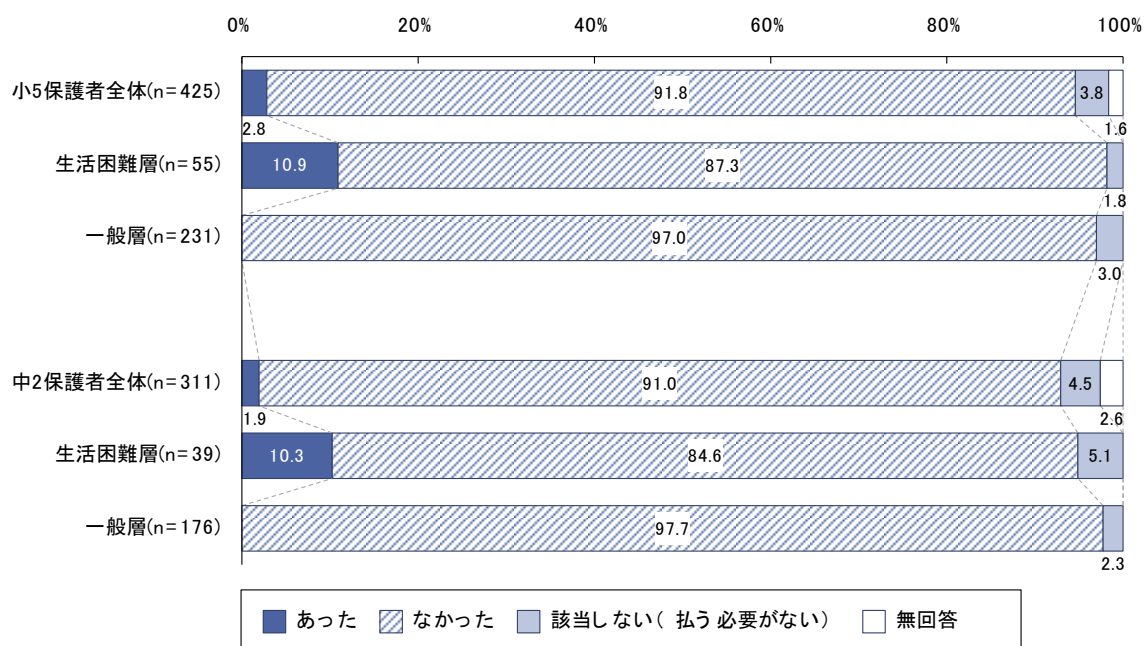
問32 過去１年の間に、経済的な理由でA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか／A電話料金



B 電気料金

過去1年間の電気料金の滞納経験について、「あった」との回答は小学5年生の全体で2.8%、生活困難層で10.9%、中学2年生の全体で1.9%、生活困難層で10.3%となっており、生活困難層の約1割は滞納経験があったのに対し、一般層では小学5年生、中学2年生とも「あった」との回答はありませんでした。

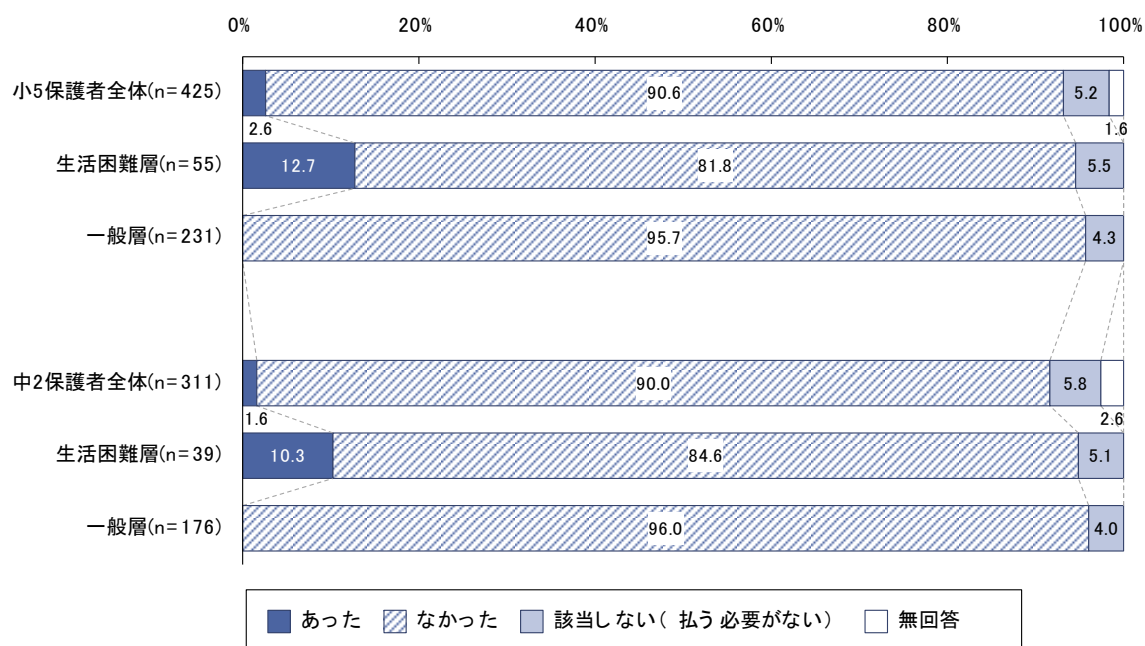
問32 過去1年の間に、経済的な理由でA~Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか／B電気料金



C ガス料金

過去1年間のガス料金の滞納経験について、「あった」との回答は小学5年生の全体で2.6%、生活困難層で12.7%、中学2年生の全体で1.6%、生活困難層で10.3%となっており、生活困難層の約1割は滞納経験があったのに対し、一般層では小学5年生、中学2年生とも「あった」との回答はありませんでした。

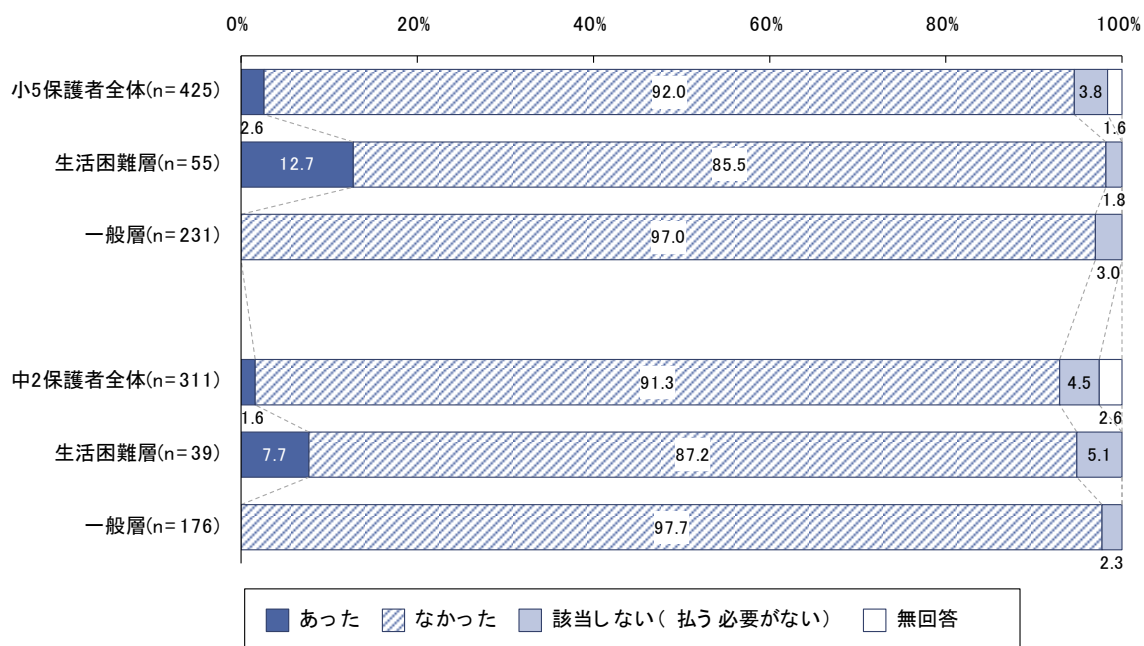
問32 過去1年の間に、経済的な理由でA~Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか／Cガス料金



D 水道料金

過去1年間の水道料金の滞納経験について、「あった」との回答は小学5年生の全体で2.6%、生活困難層で12.7%、中学2年生の全体で1.6%、生活困難層で7.7%となっており、生活困難層の約1割は滞納経験があったのに対し、一般層では小学5年生、中学2年生とも「あった」との回答はありませんでした。

問32 過去1年の間に、経済的な理由でA~Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか／D水道料金

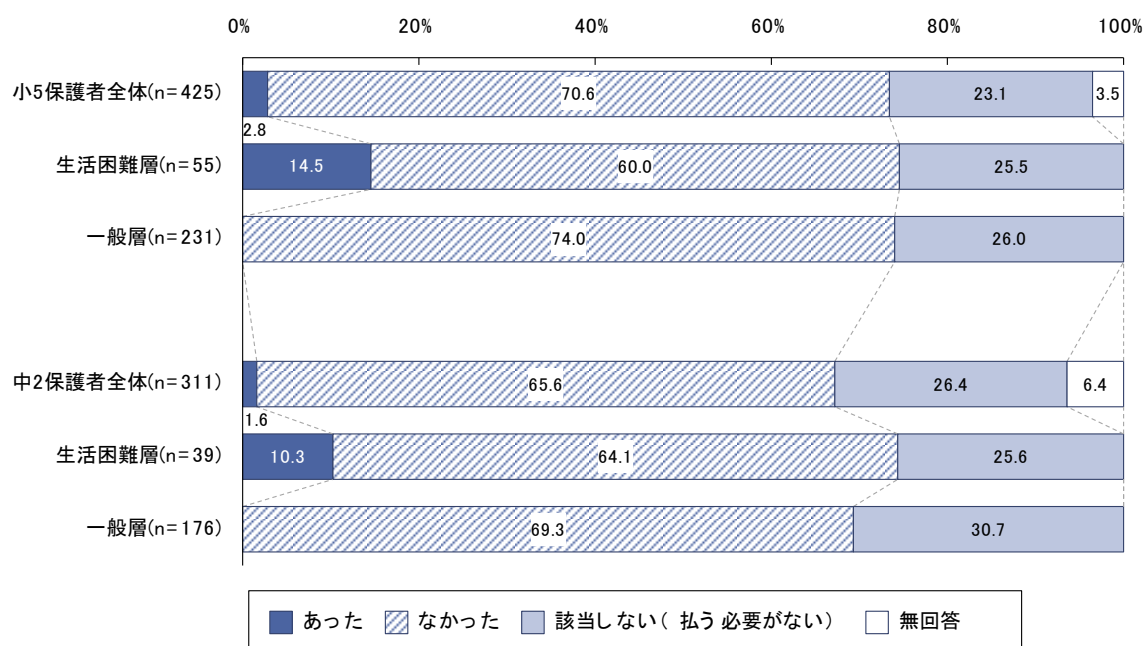


E 家賃

過去 1 年間の家賃の滞納経験について、いずれの層も 2 割～3 割は「該当しない（払う必要がない）」であり、「あった」との回答は小学 5 年生の全体で 2.8%、生活困難層で 14.5%、中学 2 年生の全体で 1.6%、生活困難層で 10.3%となっています。

生活困難層の約 1 割で滞納経験があったのに対し、一般層では小学 5 年生、中学 2 年生とも「あった」との回答はありませんでした。

問32 過去1年の間に、経済的な理由でA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか／E家賃

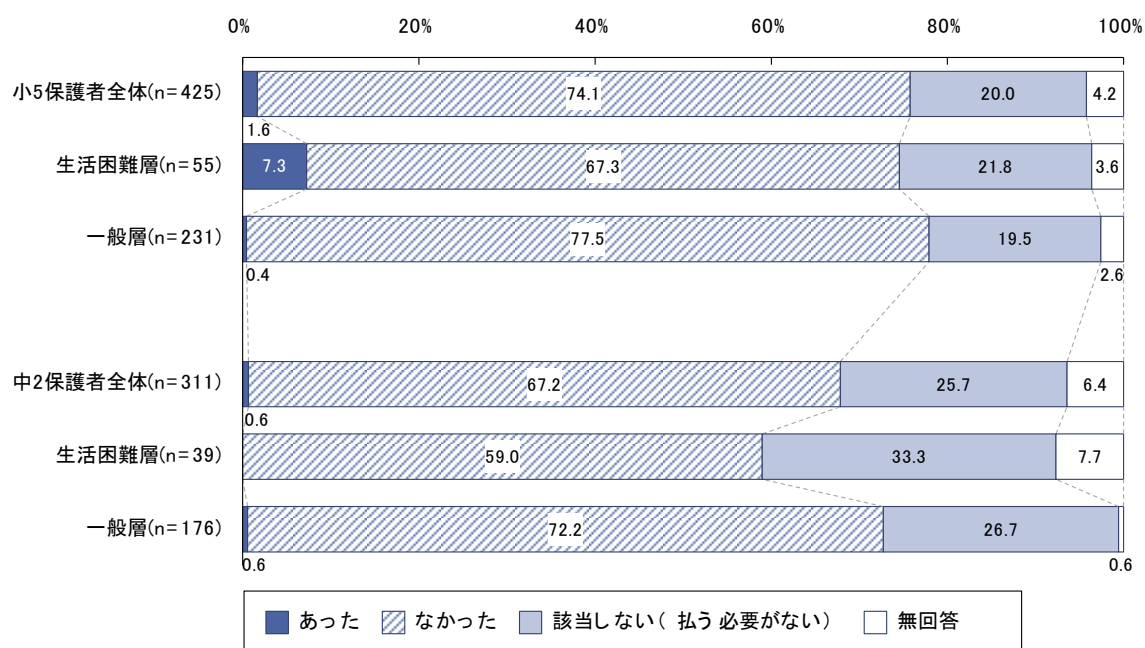


F 住宅ローン

過去1年間の住宅ローンの滞納経験について、小学5年生の約2割、中学2年生の約3割は「該当しない（払う必要がない）」であり、「あった」との回答は小学5年生の全体で1.6%、生活困難層で7.3%、一般層で0.4%、中学2年生の全体で0.6%、一般層で0.6%となっています。

中学2年生の生活困難層では「あった」との回答はありませんでした。

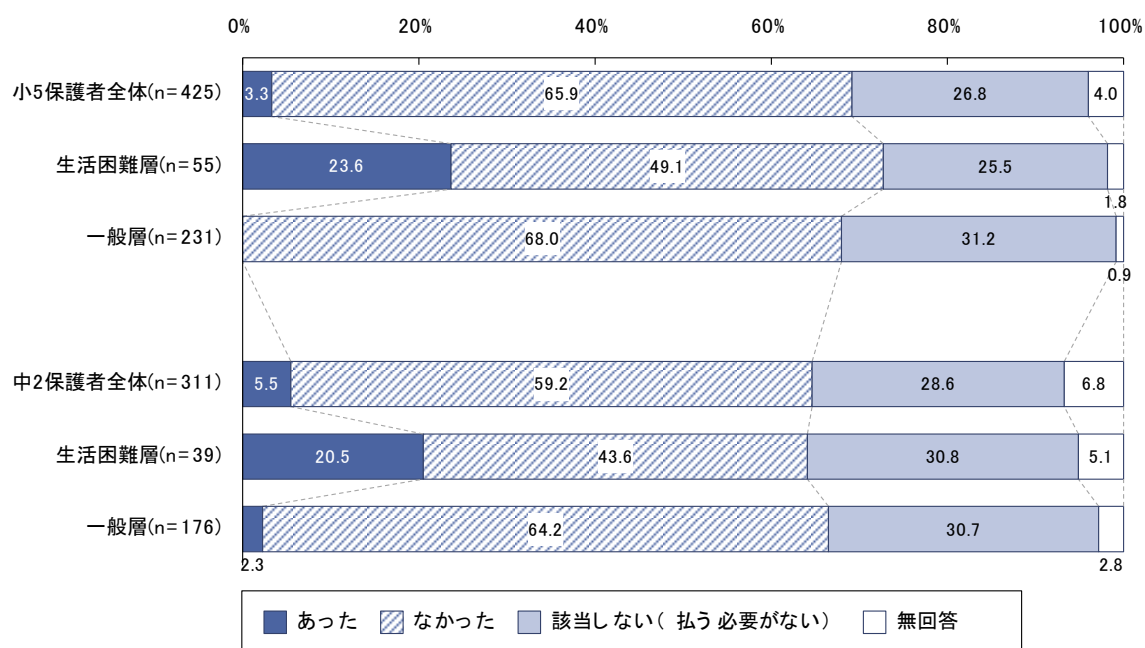
問32 過去1年の間に、経済的な理由でA~Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか／F住宅ローン



Gその他の債務

過去1年間のその他の債務の滞納経験について、いずれの層も約3割は「該当しない（払う必要がない）」と回答しています。一方、「あった」との回答は小学5年生の全体で3.3%、生活困難層で23.6%、中学2年生の全体で5.5%、生活困難層で20.5%、一般層で2.3%となっており、生活困難層の約2割がその他の債務の滞納経験があると回答しています。

問32 過去1年の間に、経済的な理由でA~Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか／Gその他の債務



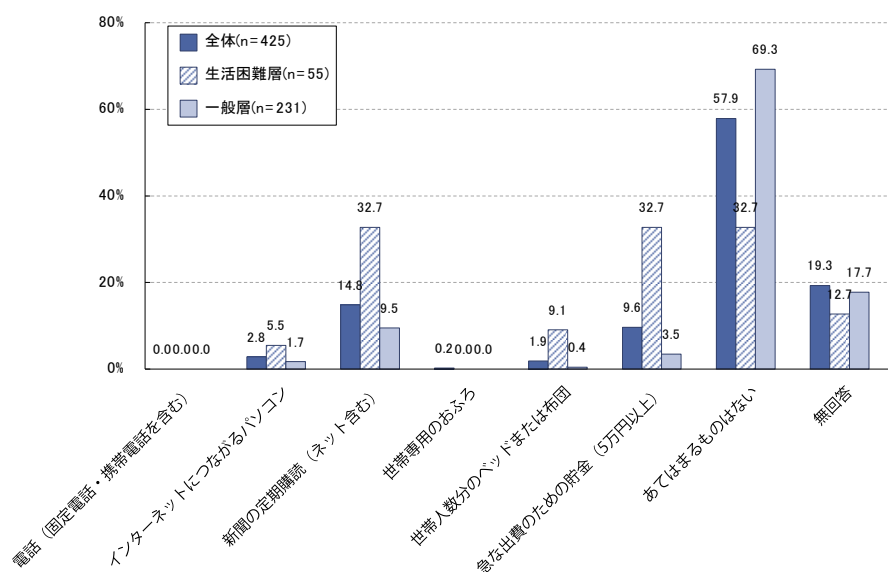
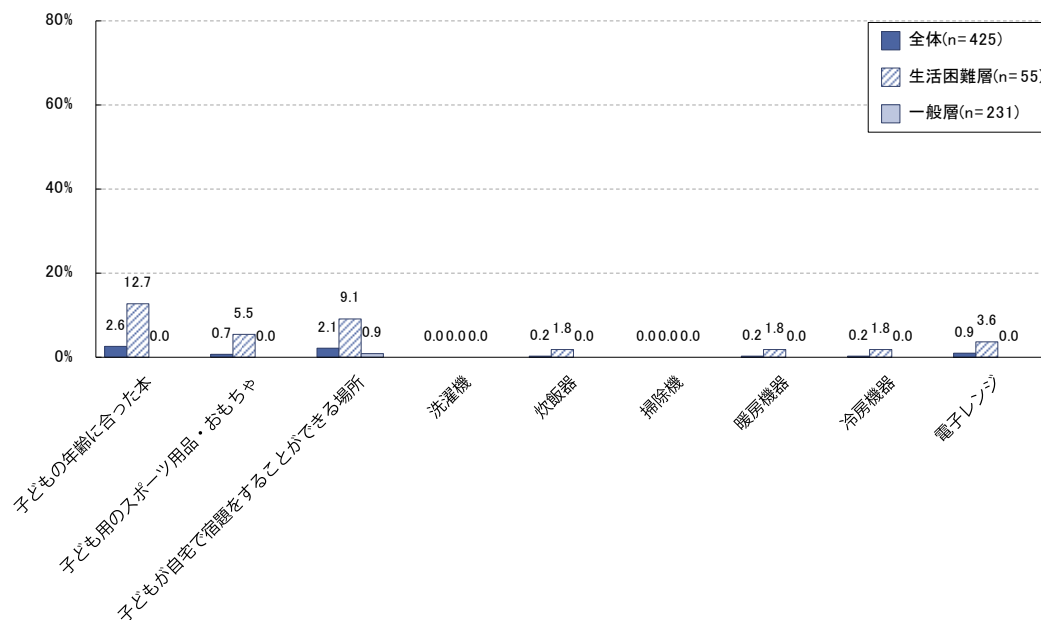
（４）物品等の所有状況

物品等の所有状況（所有していない物品等）について、小学5年生の全体では、「新聞の定期購読（ネット含む）」が14.8%で最も多く、次いで「急な出費のための貯金(5万円以上)」9.6%となっています。生活困難層では、「新聞の定期購読（ネット含む）」及び「急な出費のための貯金(5万円以上)」が同率で32.7%と最も多く、次いで「子どもの年齢に合った本」が12.7%となっています。

生活困難度別では、回答のなかった物品以外は一般層に比べ生活困難層で世帯にない割合が高くなっています。

問35 次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか（複数回答）

小5 保護者

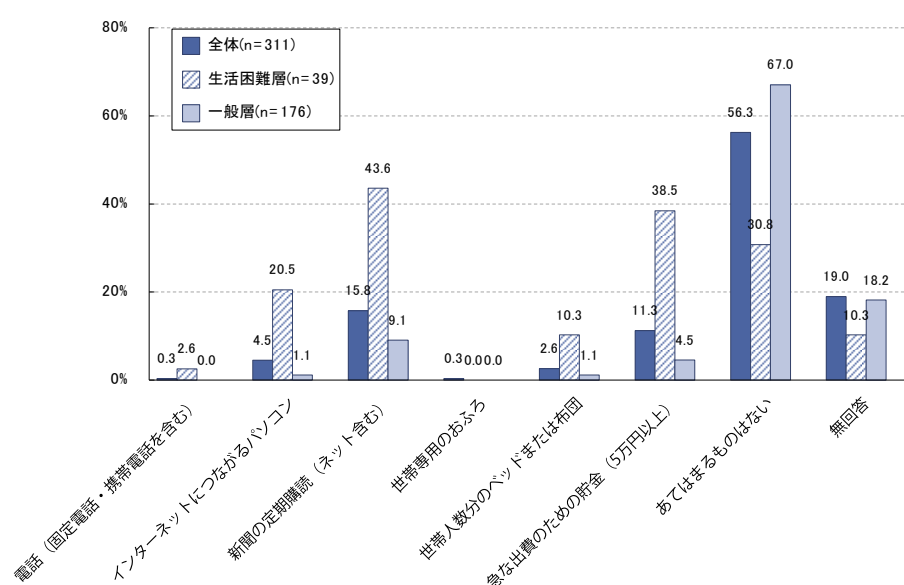
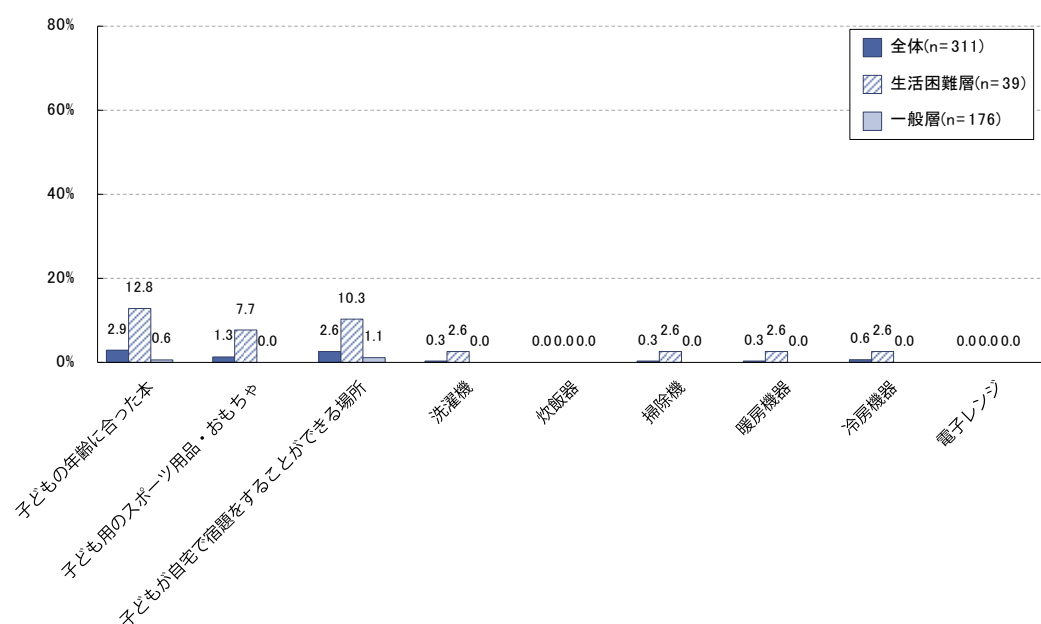


物品等の所有状況（所有していない物品等）について、中学2年生の全体では、「新聞の定期購読（ネット含む）」が15.8%で最も多く、次いで「急な出費のための貯金(5万円以上)」11.3%となっています。生活困難層では、「新聞の定期購読（ネット含む）」が43.6%で最も多く、次いで「急な出費のための貯金(5万円以上)」が38.5%となっています。

生活困難度別では、回答のなかった物品以外は一般層に比べ生活困難層で世帯にない割合が高くなっています。

問35 次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか（複数回答）

中2 保護者

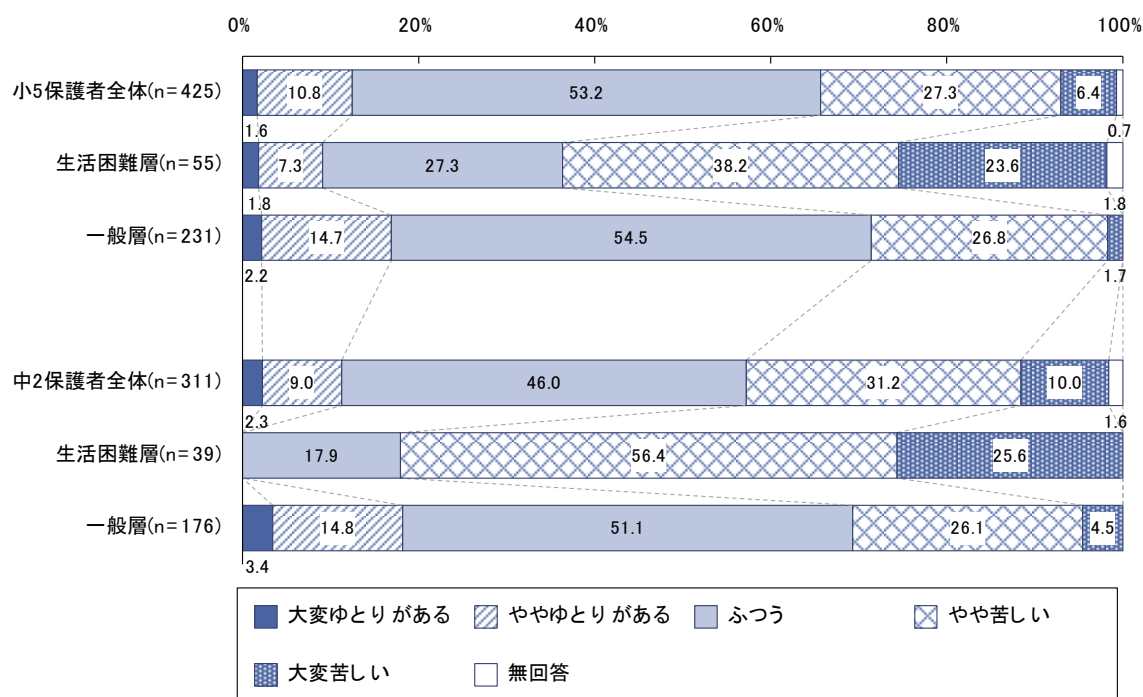


（５）現在の（主観的）暮らし向き

現在の暮らしの状況について、「やや苦しい」と「大変苦しい」を合わせた“苦しい”と回答した割合は、小学５年生の全体で 33.7%、生活困難層で 61.8%、一般層で 28.5%、中学２年生の全体で 41.2%、生活困難層で 82.0%、一般層で 30.6%となっています。

小学５年生、中学２年生とも生活困難層では一般層に比べ、約 2.5 倍となっています。

問28 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか

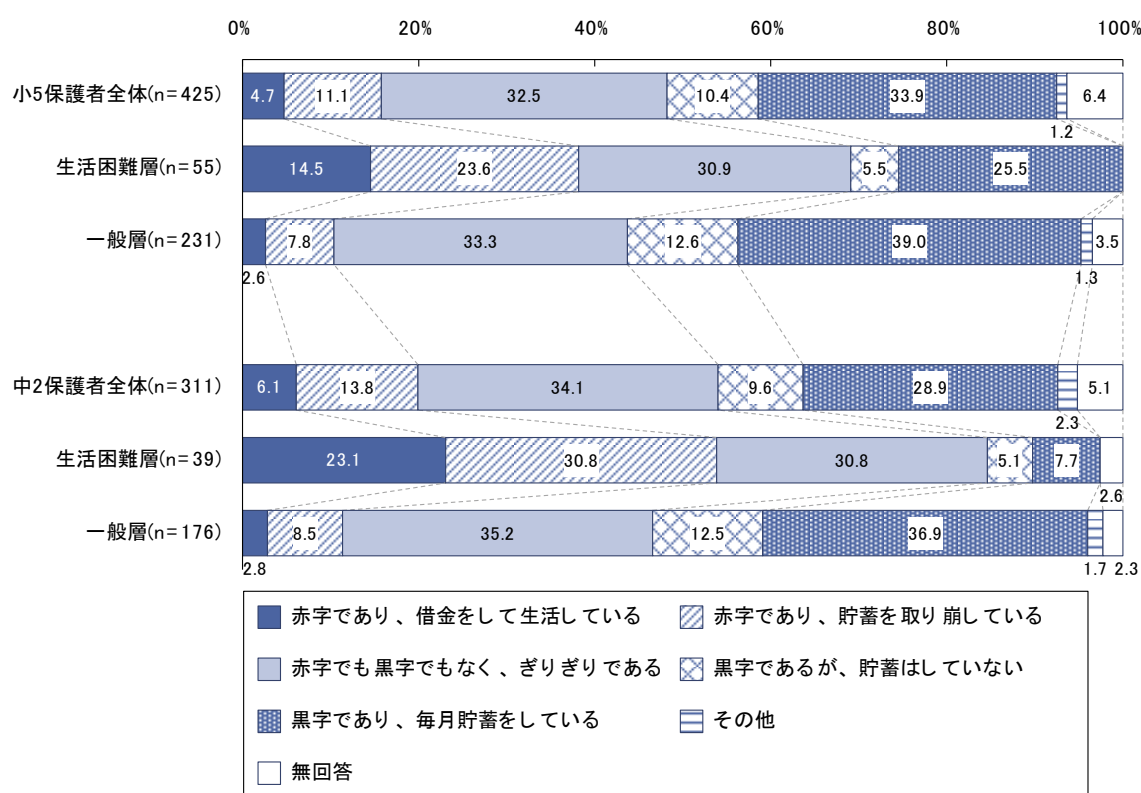


（６）家計の収支状況

家計の状況について、小学５年生の生活困難層の 14.5%、中学２年生の生活困難層の 23.1% が「赤字であり、借金をして生活している」と回答しています。

また、「赤字であり、借金をして生活している」と「赤字であり、貯蓄を取り崩している」を合わせた“赤字である”と回答した割合は、小学５年生の全体で 15.8%、生活困難層で 38.1%、一般層で 10.4%、中学２年生の全体で 19.9%、生活困難層で 53.9%、一般層で 11.3%となっています。生活困難層の約 4～5 割は赤字の状況となっており、一般層と比べ 3～4 倍以上となっています。

問29 ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください

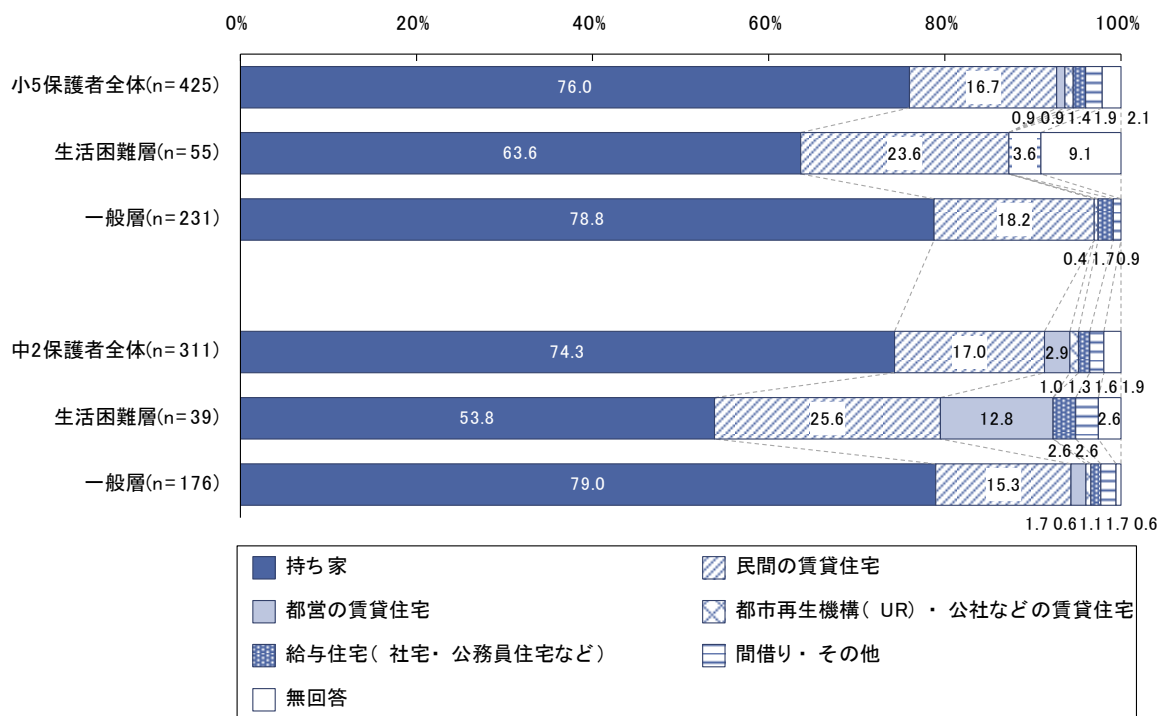


（７）住宅の状況

①住宅の種類

住宅の種類について、「持ち家」と回答した割合は、小学５年生の全体で 76.0%、生活困難層で 63.6%、一般層で 78.8%、中学２年生の全体で 74.3%、生活困難層で 53.8%、一般層で 79.0%となっており、一般層に比べ生活困難層で 15～25 ポイント低くなっています。

問10 現在お住まいの住居の形態は、次のどれが最もよくあてはまりますか

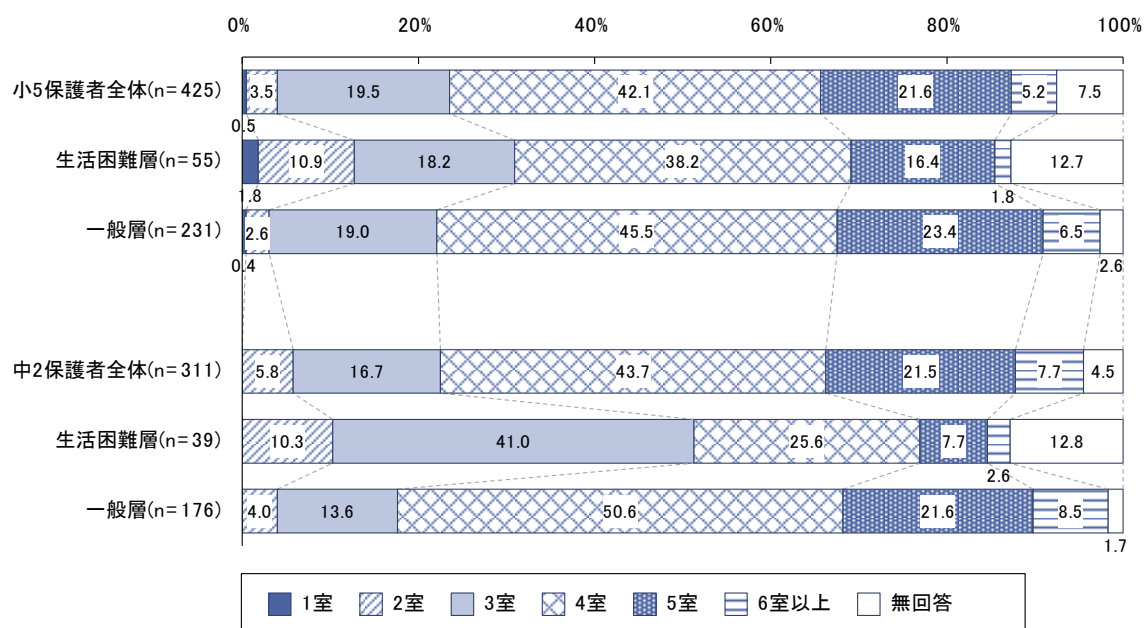


②住宅の広さ（部屋数）

居住用の部屋数について、小学 5 年生ではいずれの層も「4 室」との回答が最も多く、全体で 42.1%、生活困難層で 38.2%、一般層で 45.5%となっています。

中学 2 年生では全体の 43.7%、一般層の 50.6%は「4 室」と回答していますが、生活困難層では「3 室」が 41.0%で最も多くなっています。

問10ー1 お住まいの住居の室数について、居住用の部屋数（玄関やふろ等は含めない）を教えてください



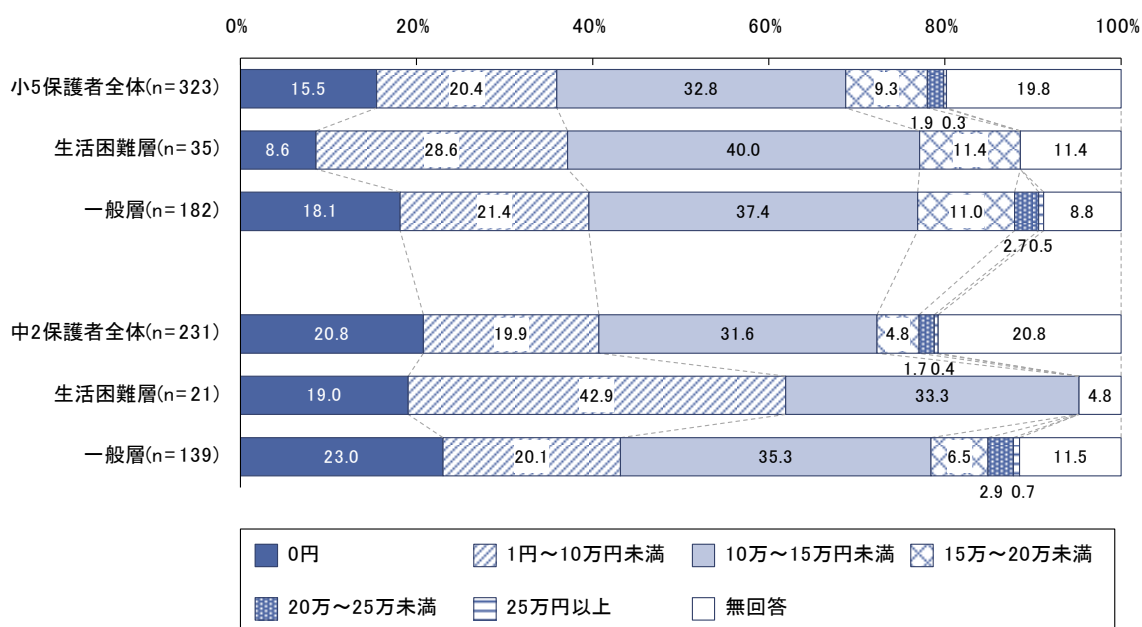
③住宅費

A持ち家の住宅費（住宅ローン）

住宅ローンの返済額について“10万円未満”（「0円」と「1万円～10万円未満」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で35.9%、生活困難層で37.2%、一般層で39.5%、中学2年生では、全体で40.7%、生活困難層で61.9%、一般層で43.1%となっています。

小学5年生では生活困難度による差はみられず、中学2年生では一般層に比べ生活困難層で約1.5倍高くなっています。

問10-2 1か月あたりの住居費負担はいくらですか。持ち家の場合は住宅ローン返済額、賃貸の場合は、家賃または間代及び共益費または管理費（共用部分の電気料・清掃費など）を教えてください

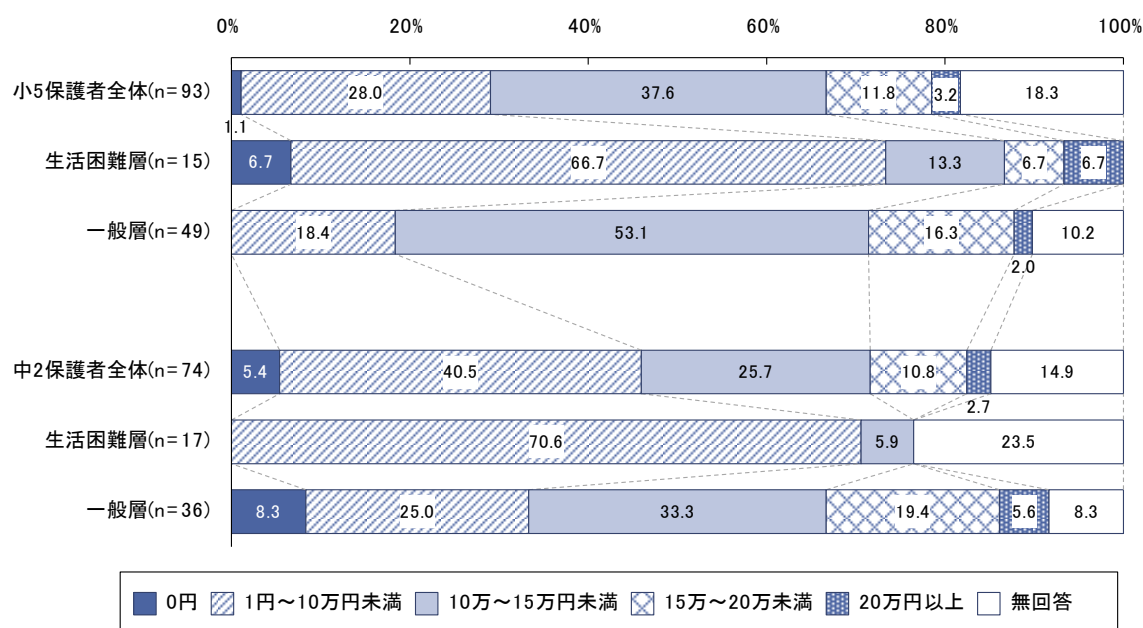


B賃貸住宅の住宅費（家賃・間代）

家賃・間代について“10万円未満”（「0円」と「1円～10万円未満」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で29.1%、生活困難層で73.4%、一般層で18.4%、中学2年生では、全体で45.9%、生活困難層で70.6%、一般層で33.3%となっています。

一般層と比べ生活困難層で高く、小学5年生で約4倍、中学2年生で約2倍となっています。

問10-2 1か月あたりの住居費負担はいくらですか。持ち家の場合は住宅ローン返済額、賃貸の場合は、家賃または間代及び共益費または管理費（共用部分の電気料・清掃費など）を教えてください。



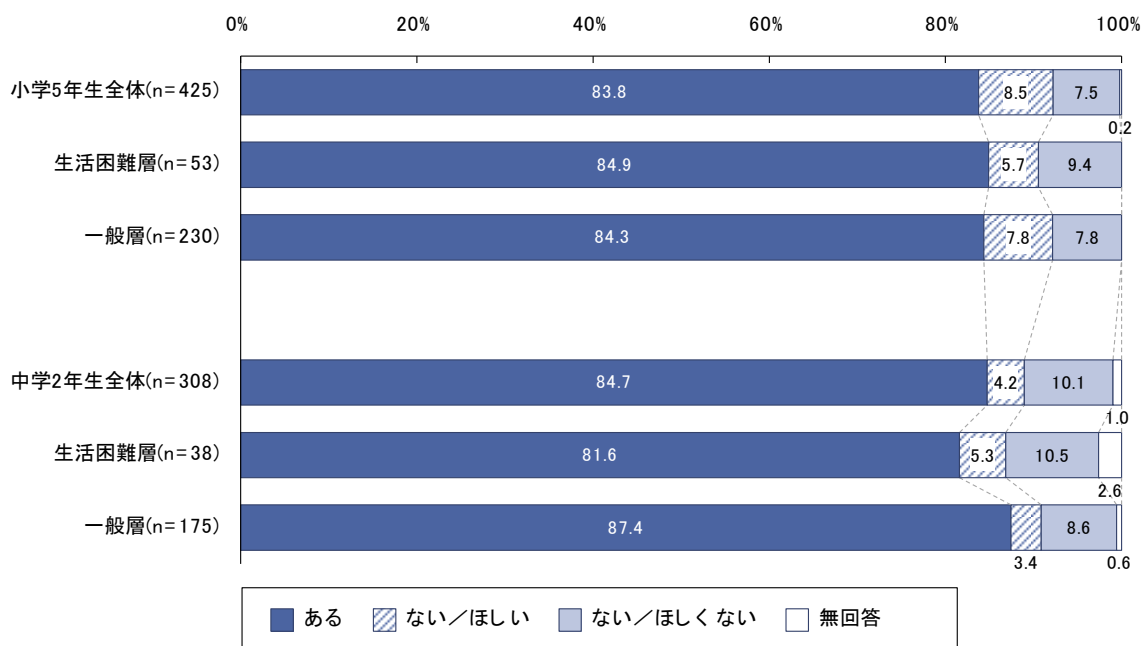
2 子どもの生活水準（所有物と体験）

（１）子どもの所有物の状況

A 自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく）

自分だけの本を「ない／ほしい」と回答した割合は、小学５年生の全体で 8.5%、生活困難層で 5.7%、一般層で 7.8%、中学２年生の全体で 4.2%、生活困難層で 5.3%、一般層で 3.4% となっており、生活困難度による差はみられません。

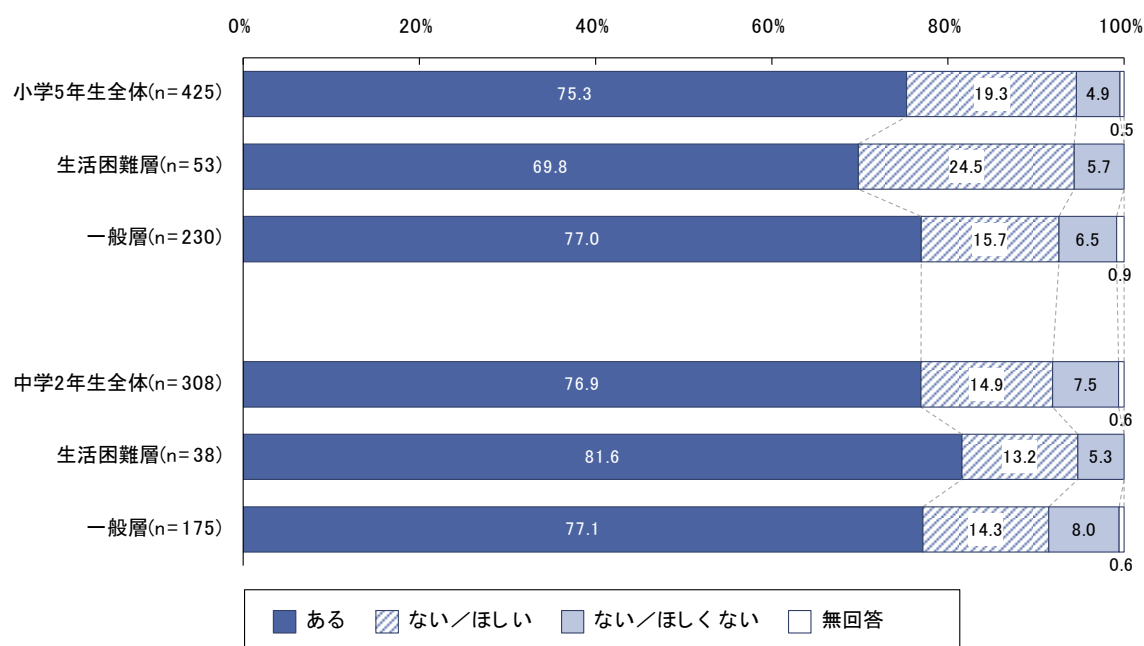
問４ 自分が使うことができる以下のものがありますか／A 自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく）



B子ども部屋（兄弟姉妹と使っている場合もふくむ）

子ども部屋を「ない／ほしい」と回答した割合は、小学5年生の全体で19.3%、生活困難層で24.5%、一般層で15.7%、中学2年生の全体で14.9%、生活困難層で13.2%、一般層で14.3%となっています。一般層に比べ小学5年生の生活困難層で高く、中学2年生では生活困難度による差はみられません。

問4 自分が使うことができる以下のものがありますか／B子ども部屋（兄弟姉妹と使っている場合もふくむ）

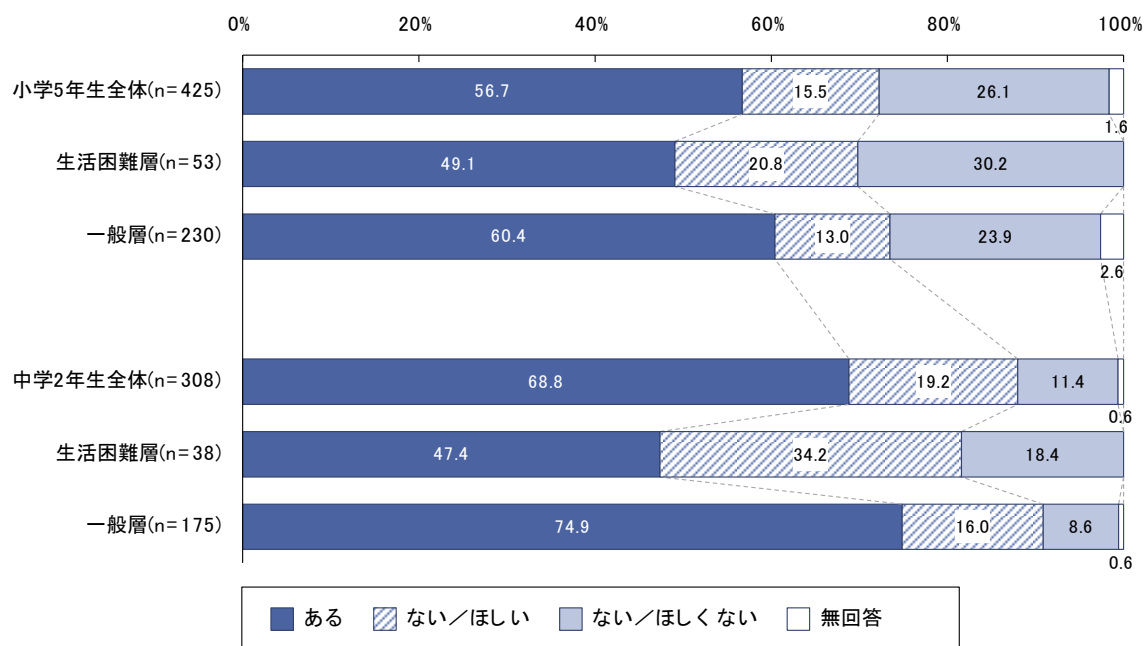


C（自宅で）インターネットにつながるパソコン

（自宅で）インターネットにつながるパソコンを「ない／ほしい」と回答した割合は、小学5年生の全体で15.5%、生活困難層で20.8%、一般層で13.0%、中学2年生の全体で19.2%、生活困難層で34.2%、一般層で16.0%となっています。一般層と比べ生活困難層の割合が高く小学5年生で約1.5倍、中学2年生で約2倍となっています。

また、「ない／ほしくない」の割合は、生活困難層でやや高くなっています。

問4 自分が使うことができる以下のものがありますか／C（自宅で）インターネットにつながるパソコン

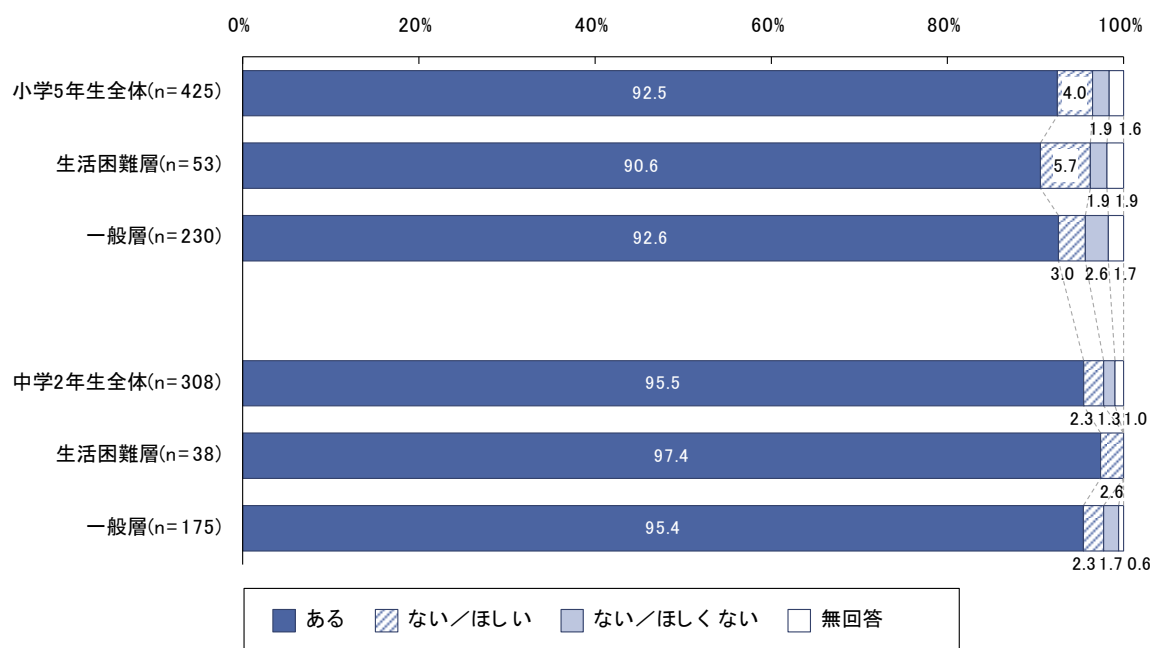


D 自宅で宿題をすることができる場所

自宅で宿題をすることができる場所は、いずれの層も「ある」が9割を超え、大多数が所有していますが、「ない／ほしい」と回答した生活困難層の割合は、小学5年生で5.7%、中学2年生で2.6%となっています。

小学5年生、中学2年生とも生活困難度による差はみられません。

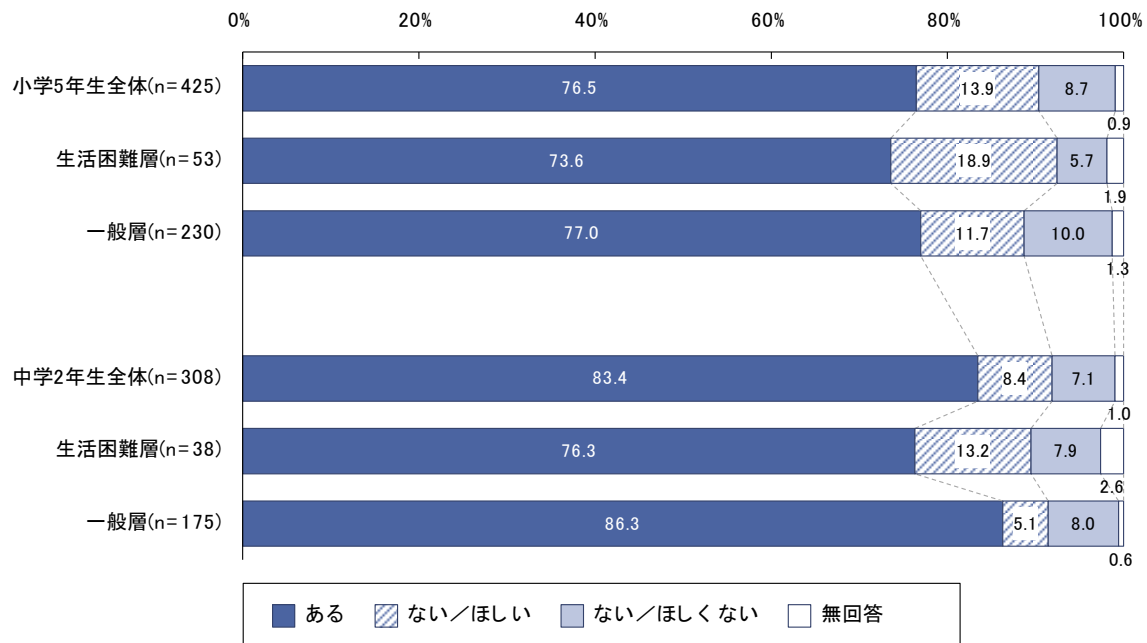
問4 自分が使うことができる以下のものがありますか／D自宅で宿題をすることができる場所



E 自分専用の勉強机

自分専用の勉強机を「ない／ほしい」と回答した割合は、小学5年生の全体で13.9%、生活困難層で18.9%、一般層で11.7%、中学2年生の全体で8.4%、生活困難層で13.2%、一般層で5.1%となっています。一般層と比べ生活困難層で高く小学5年生で約1.5倍、中学2年生で約2.5倍となっています。

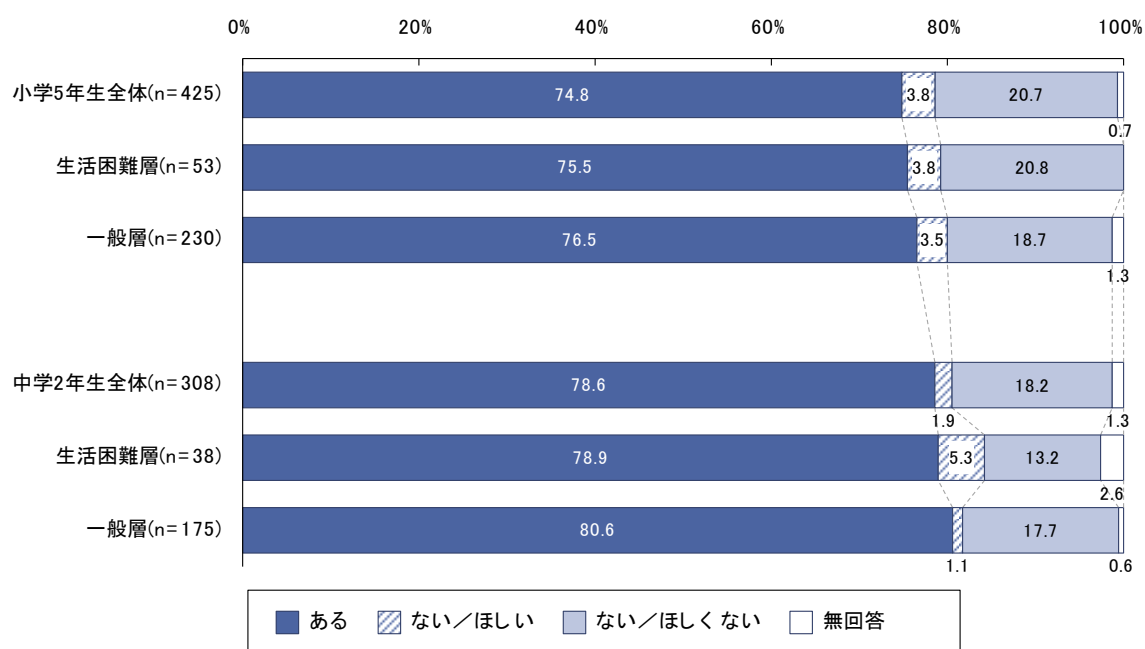
問4 自分が使うことができる以下のものがありますか／E自分専用の勉強机



F スポーツ用品（野球のグローブや、サッカーボールなど）

スポーツ用品（野球のグローブや、サッカーボールなど）の所有状況は、いずれの層も 7～8 割は「ある」と回答しており、「ない／ほしい」との回答は中学 2 年生の生活困難層で 5.3%であったほかは、4%以下となっています。小学 5 年生では生活困難度による差はみられませんが、中学 2 年生では割合は低いものの、「ない／ほしい」の割合は、一般層に比べ生活困難層で約 5 倍となっています。

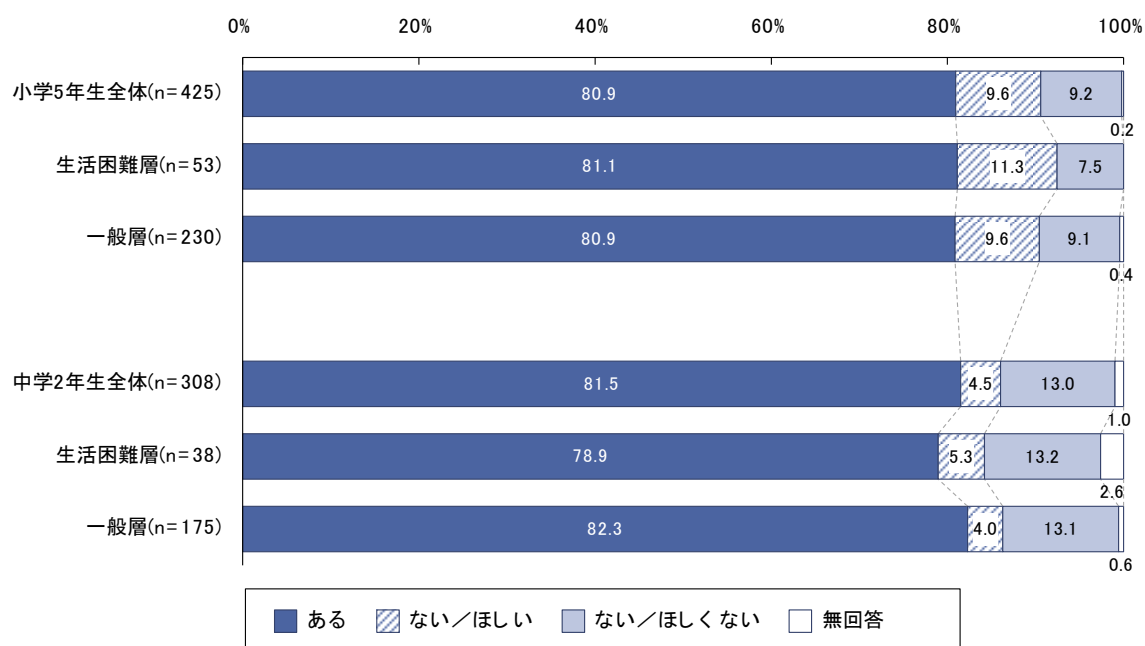
問4 自分が使うことができる以下のものがありますか／Fスポーツ用品（野球のグローブや、サッカーボールなど）



Gゲーム機

ゲーム機の所有状況は、いずれの層も 7～8 割は「ある」と回答しており、また、小学 5 年生の約 1 割は「ない／ほしい」と回答し、中学 2 年生の約 1 割は「ない／ほしくない」と回答しています。小学 5 年生、中学 2 年生とも生活困難度による差はみられません。

問4 自分が使うことができる以下のものがありますか／Gゲーム機

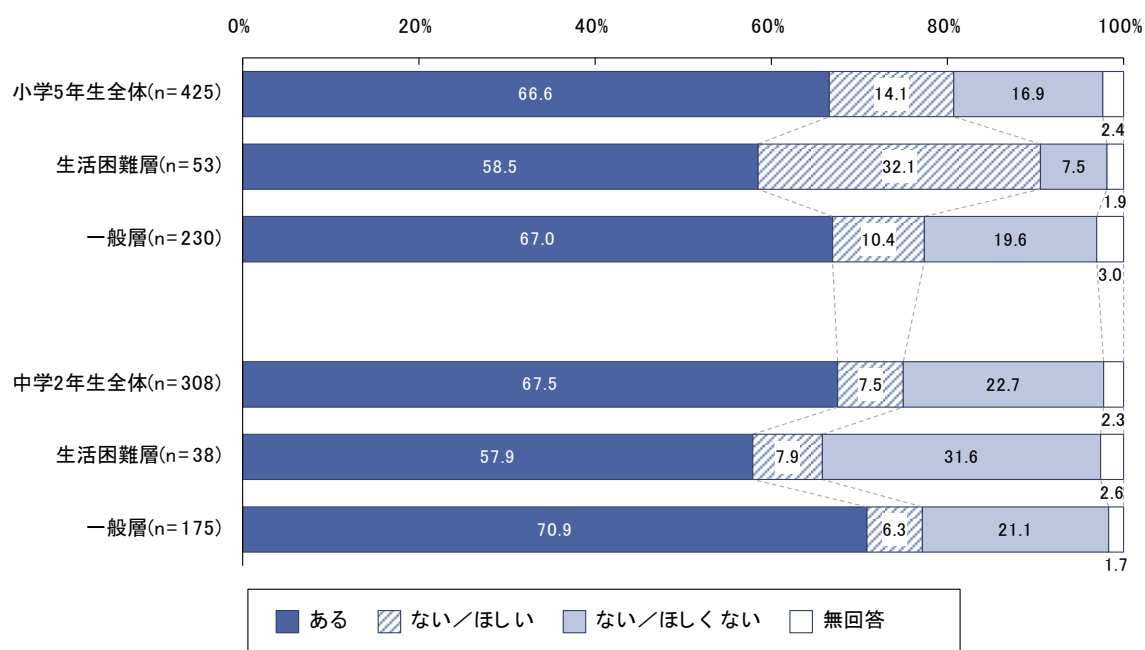


Hたいていの友だちが持っているおもちゃ

たいていの友だちが持っているおもちゃを「ない／ほしい」と回答した割合は、小学5年生で多く、全体で14.1%、生活困難層で32.1%、一般層で10.4%となっています。一方、中学2年生では「ない／ほしくない」との回答が多く、全体で22.7%、生活困難層で31.6%、一般層で21.1%となっています。

一般層に比べ小学5年生の生活困難層では「ない／ほしい」と回答した割合が高く、中学2年生の生活困難層では「ない／ほしくない」と回答した割合が高くなっています。

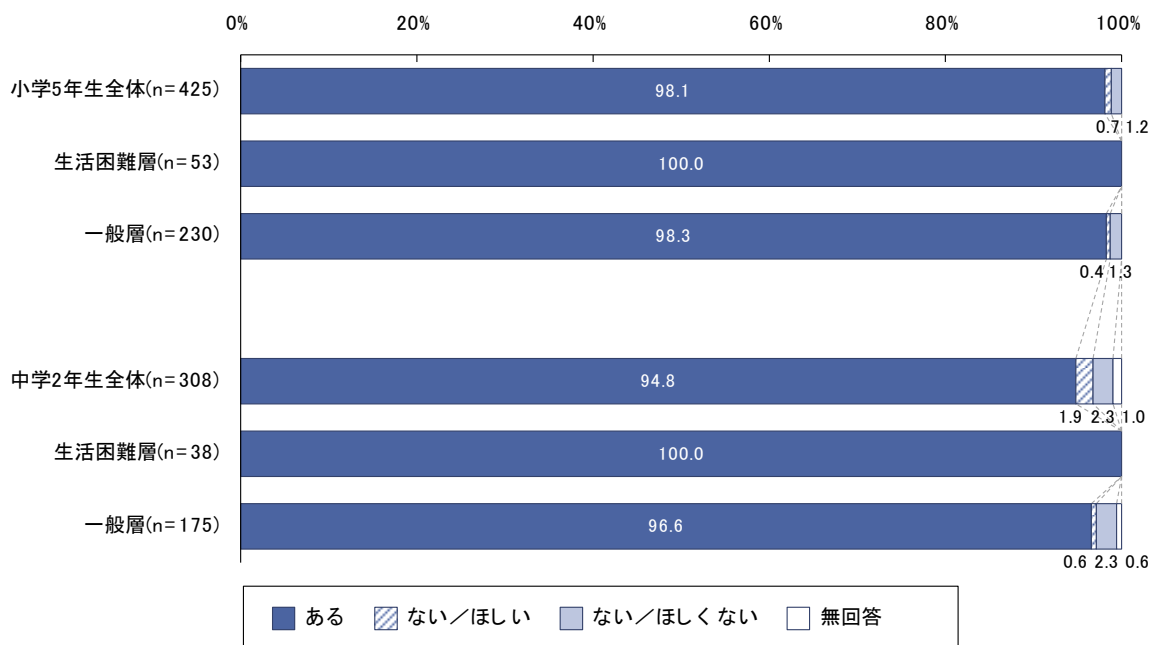
問4 自分が使うことができる以下のものがありますか／Hたいていの友だちが持っているおもちゃ



I 自転車

自転車の所有状況は、いずれの層も「ある」が9割を超え大多数が所有しています。
小学5年生、中学2年生とも生活困難度による大きな差はみられません。

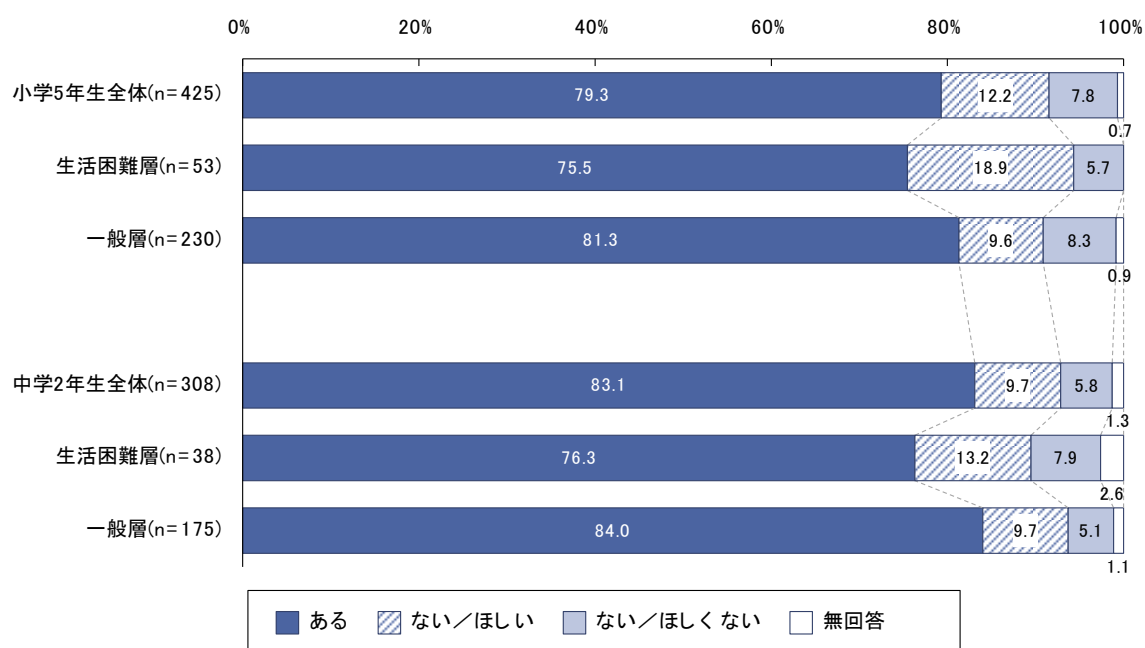
問4 自分が使うことができる以下のものがありますか／自転車



Ｊおやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかい

おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかいを「ない／ほしい」と回答した割合は、小学5年生の全体で12.2%、生活困難層で18.9%、一般層で9.6%、中学2年生の全体で9.7%、生活困難層で13.2%、一般層で9.7%となっています。一般層と比べ生活困難層で高く小学5年生で約2倍、中学2年生で約1.5倍となっています。

問4 自分が使うことができる以下のものがありますか／Ｊおやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかい

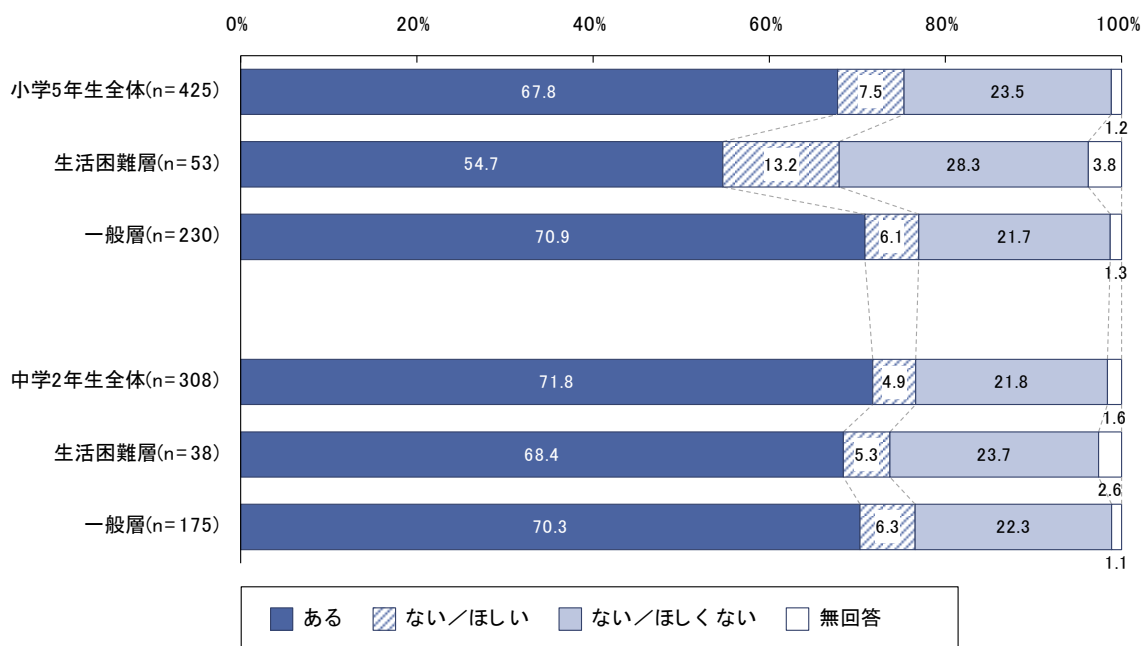


K友だちが着ているのと同じような服

友だちが着ているのと同じような服を「ない／ほしい」と回答した割合は、小学5年生の全体で7.5%、生活困難層で13.2%、一般層で6.1%、中学2年生の全体で4.9%、生活困難層で5.3%、一般層で6.3%となっています。

小学5年生は一般層に比べ生活困難層で約2倍となっていますが、中学2年生では生活困難層による差はみられません。

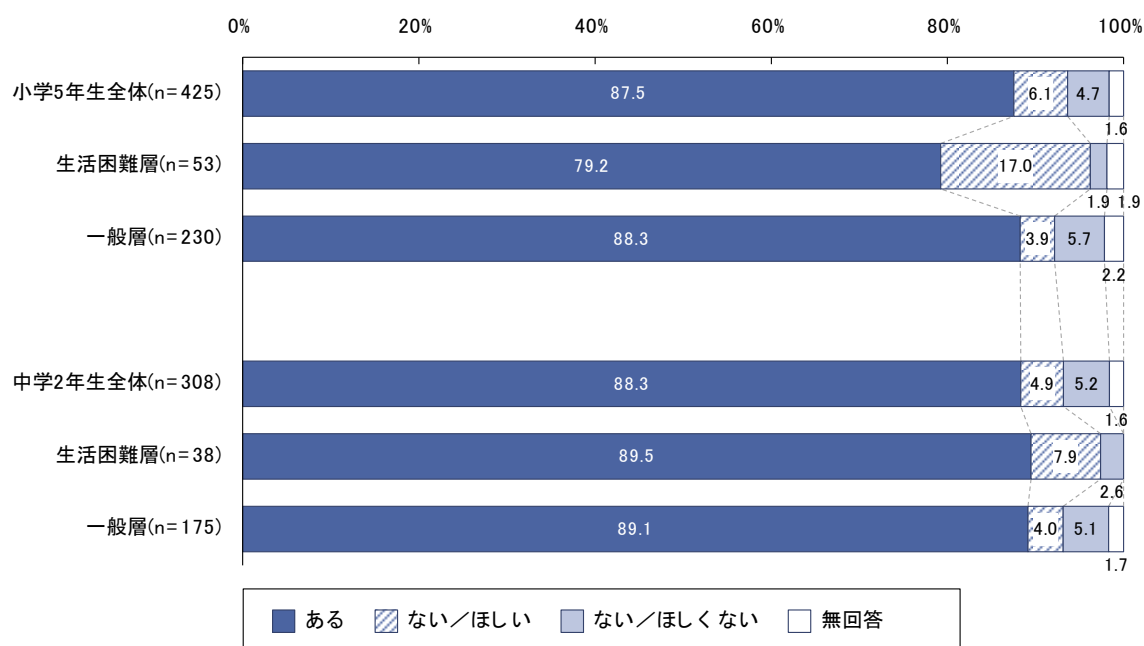
問4 自分が使うことができる以下のものがありますか／K友だちが着ているのと同じような服



L 2 足以上のサイズのあった靴

2 足以上のサイズのあった靴の所有状況は、いずれの層も 8 割～9 割と多数を占めていますが、生活困難度別でみると、「ない／ほしい」と回答した割合は、小学 5 年生、中学 2 年生とも生活困難層で高くそれぞれ 17.0%、7.9%となっています。

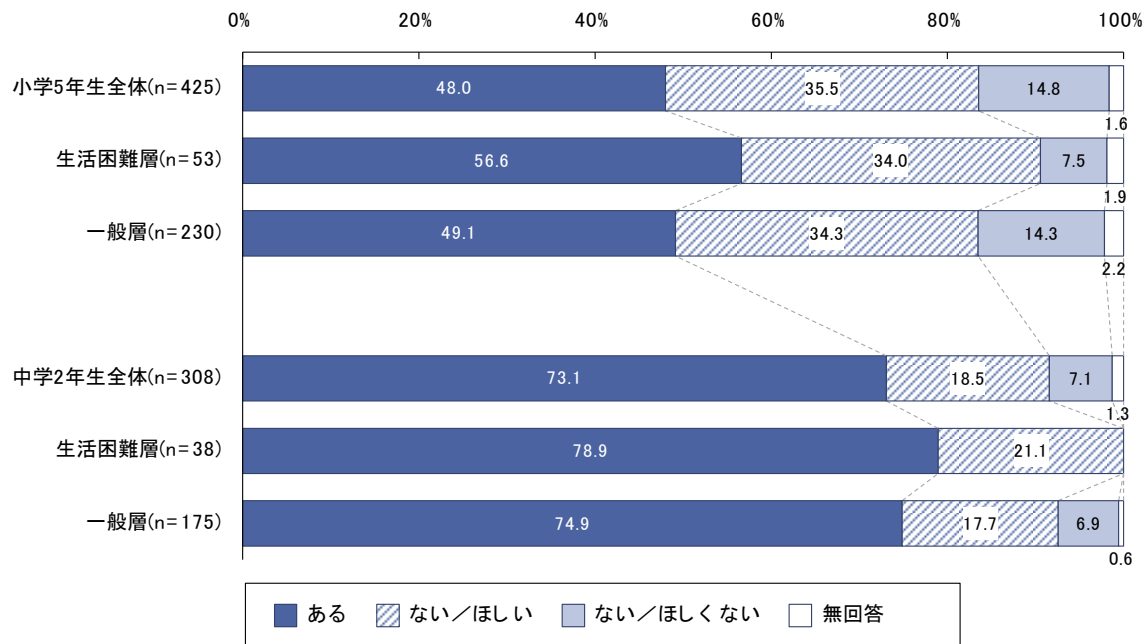
問4 自分が使うことができる以下のものがありますか／L2 足以上のサイズのあった靴



M携帯電話、スマートフォン

携帯電話、スマートフォンを「ない／ほしい」と回答した割合は、小学5年生の全体で 35.5%、生活困難層で 34.0%、一般層で 34.3%、中学2年生の全体で 18.5%、生活困難層で 21.1%、一般層で 17.7%となっています。小学5年生、中学2年生とも生活困難度による大きな差はみられませんが、小学5年生に比べ中学2年生で所有割合が高くなっています。

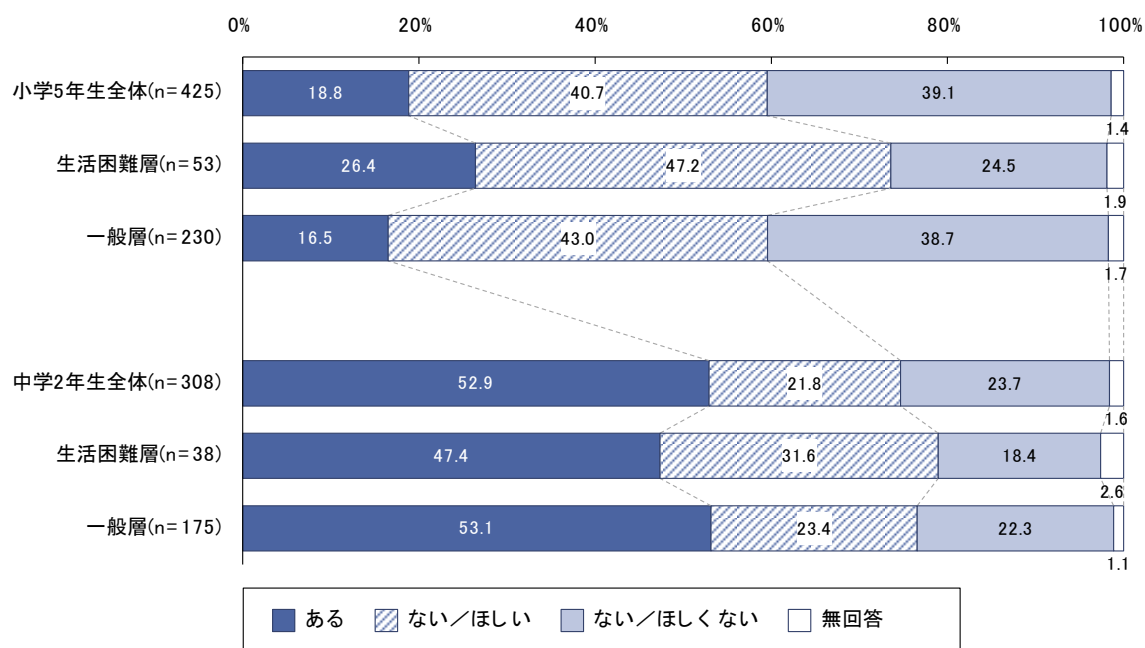
問4 自分が使うことができる以下のものがありますか／M携帯電話、スマートフォン



N携帯音楽プレーヤーなど

携帯音楽プレーヤーなどを「ない／ほしい」と回答した割合は、小学5年生の全体で40.7%、生活困難層で47.2%、一般層で43.0%、中学2年生の全体で21.8%、生活困難層で31.6%、一般層で23.4%となっています。小学5年生、中学2年生とも一般層と比べ生活困難層で「ない／ほしい」の割合がやや高くなっています。また、所有状況は小学5年生では生活困難層が高く、中学2年生では生活困難層が低くなっていますが、小学5年生と比べ中学2年生の所有割合は、総じて高くなっています。

問4 自分が使うことができる以下のものがありますか／N携帯音楽プレーヤーなど

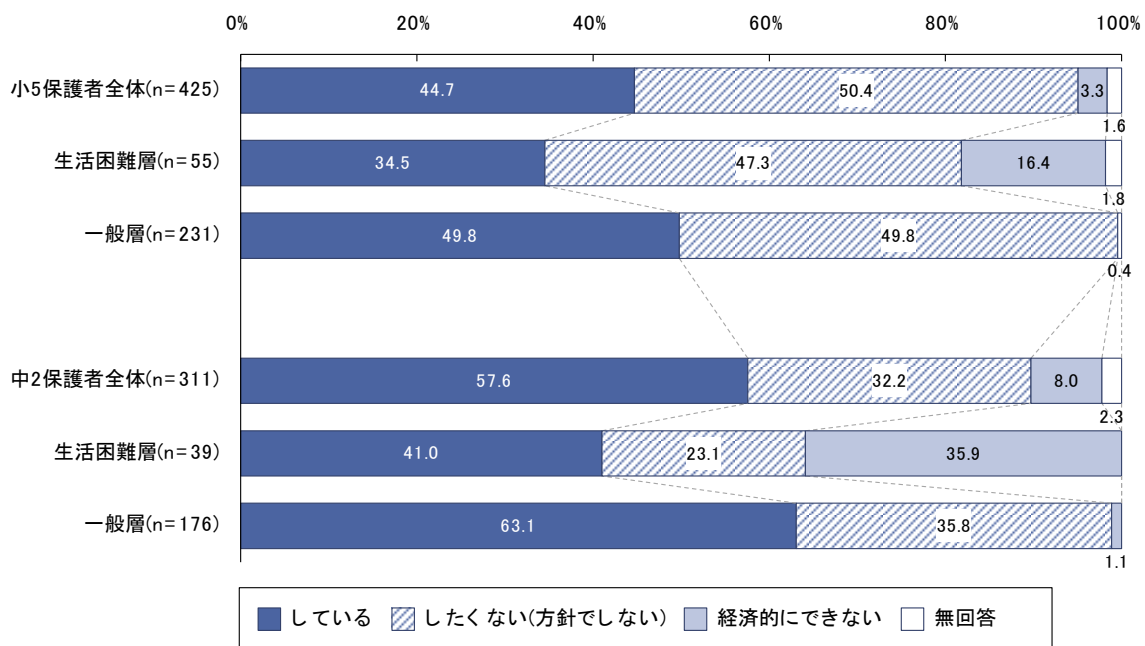


（２）子どもへの支出

A 毎月お小遣いを渡す

毎月お小遣いを渡すことを「している」と回答した割合は、小学５年生の全体で 44.7%、生活困難層で 34.5%、一般層で 49.8%、中学２年生の全体で 57.6%、生活困難層で 41.0%、一般層で 63.1%となっています。一方、「経済的にできない」と回答した割合は生活困難層で高く、小学５年生で 16.4%、中学２年生で 35.9%となっています。

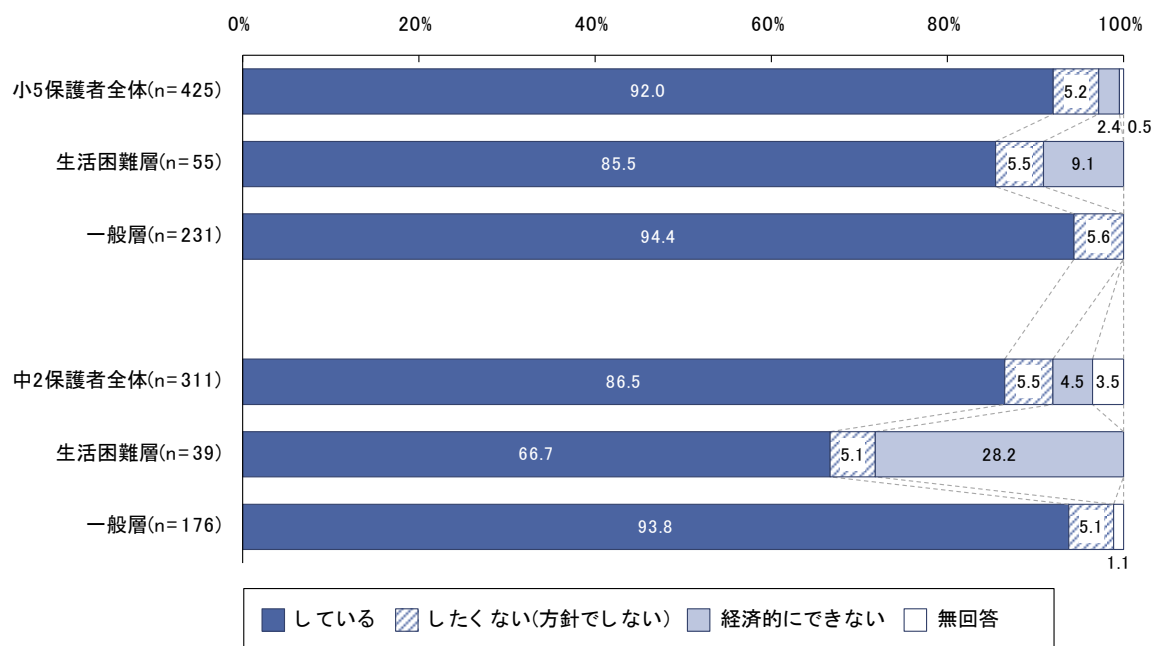
問34 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか／A 毎月お小遣いを渡す



B 毎年新しい洋服・靴を買う

毎年新しい洋服・靴を買うことを「している」と回答した割合は、小学5年生の全体で92.0%、生活困難層で85.5%、一般層で94.4%、中学2年生の全体で86.5%、生活困難層で66.7%、一般層で93.8%となっています。一方、「経済的にできない」と回答した割合は中学2年生の生活困難層で28.2%と高くなっています。

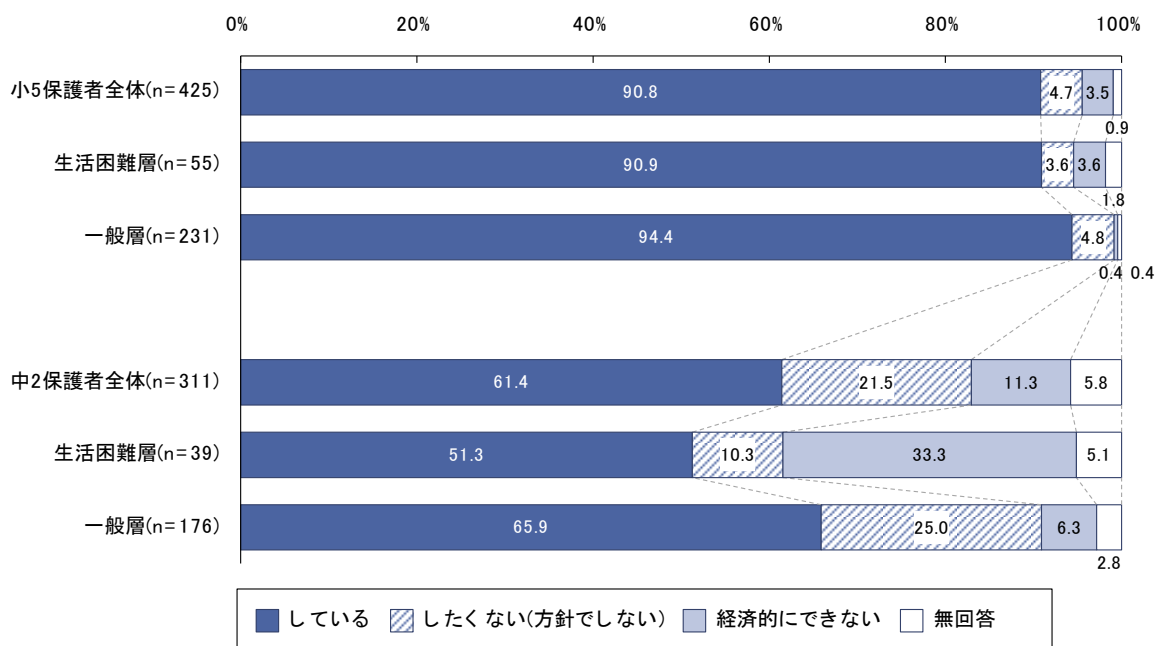
問34 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか／B毎年新しい洋服・靴を買う



C習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる

習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせることを「している」と回答した割合は、小学5年生の全体で90.8%、生活困難層で90.9%、一般層で94.4%、中学2年生の全体で61.4%、生活困難層で51.3%、一般層で65.9%と小学5年生に比べ中学2年生で低くなっています。また、「経済的にできない」と回答した割合は小学5年生に比べ中学2年生で高く、全体で11.3%生活困難層で33.3%、一般層で6.3%となっています。

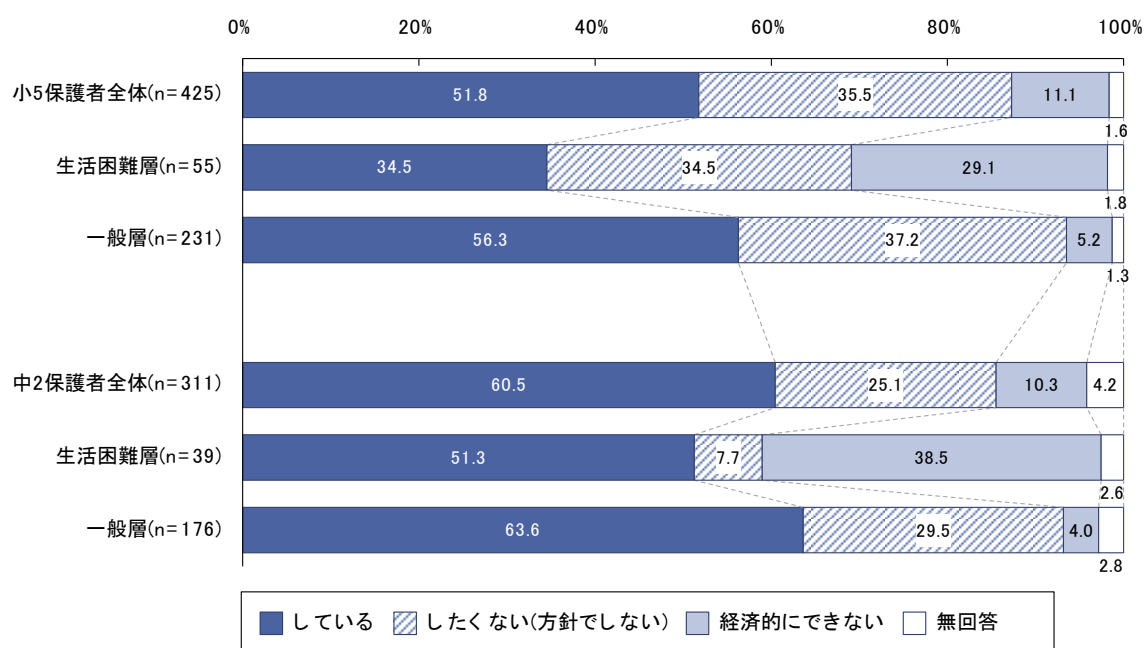
問34 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか／C習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる



D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）

学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）ことを「している」と回答した割合は、小学 5 年生の全体で 51.8%、生活困難層で 34.5%、一般層で 56.3%、中学 2 年生の全体で 60.5%、生活困難層で 51.3%、一般層で 63.6%となっています。一方、「経済的にできない」と回答した割合は生活困難層が高く、小学 5 年生で 29.1%、中学 2 年生で 38.5%となっています。

問34 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか／D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）

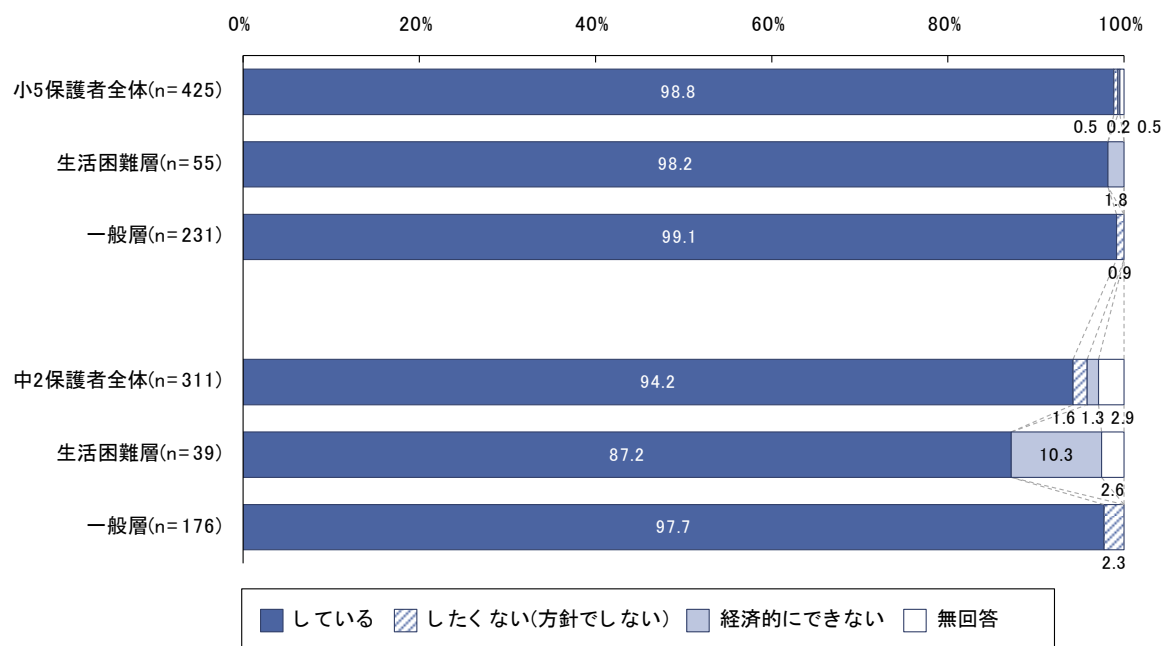


E お誕生日のお祝いをする

お誕生日のお祝いを「している」と回答した割合は、小学 5 年生では生活困難度による差はみられず、いずれの層も 98%を超えています。中学 2 年生は、全体で 94.2%、生活困難層で 87.2%、一般層で 97.7%と生活困難層で低くなっています。

また、中学 2 年生の生活困難層の 10.3%が「経済的にできない」と回答しています。

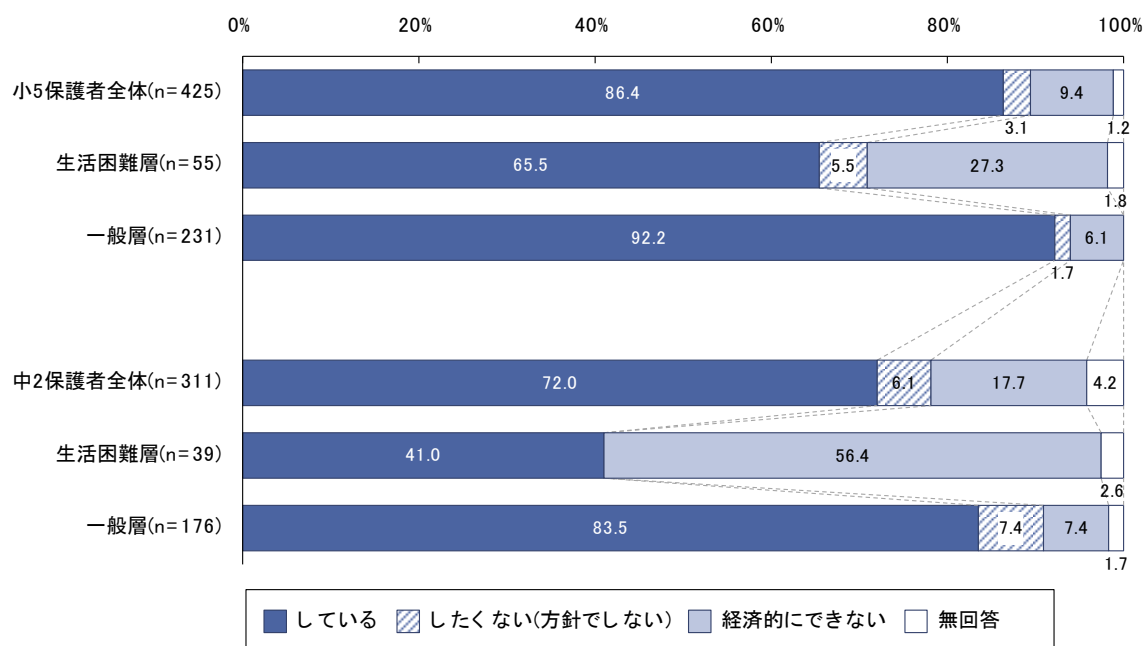
問34 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか／Eお誕生日のお祝いをする



F 1年に1回くらい家族旅行に行く

1年に1回くらい家族旅行に行くことを「している」と回答した割合は、小学5年生の全体で86.4%、生活困難層で65.5%、一般層で92.2%、中学2年生の全体で72.0%、生活困難層で41.0%、一般層で83.5%となっています。一方、「経済的にできない」と回答した割合は生活困難層で高く、小学5年生で27.3%、中学2年生では56.4%となっています。

問34 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか／F1年に1回くらい家族旅行に行く

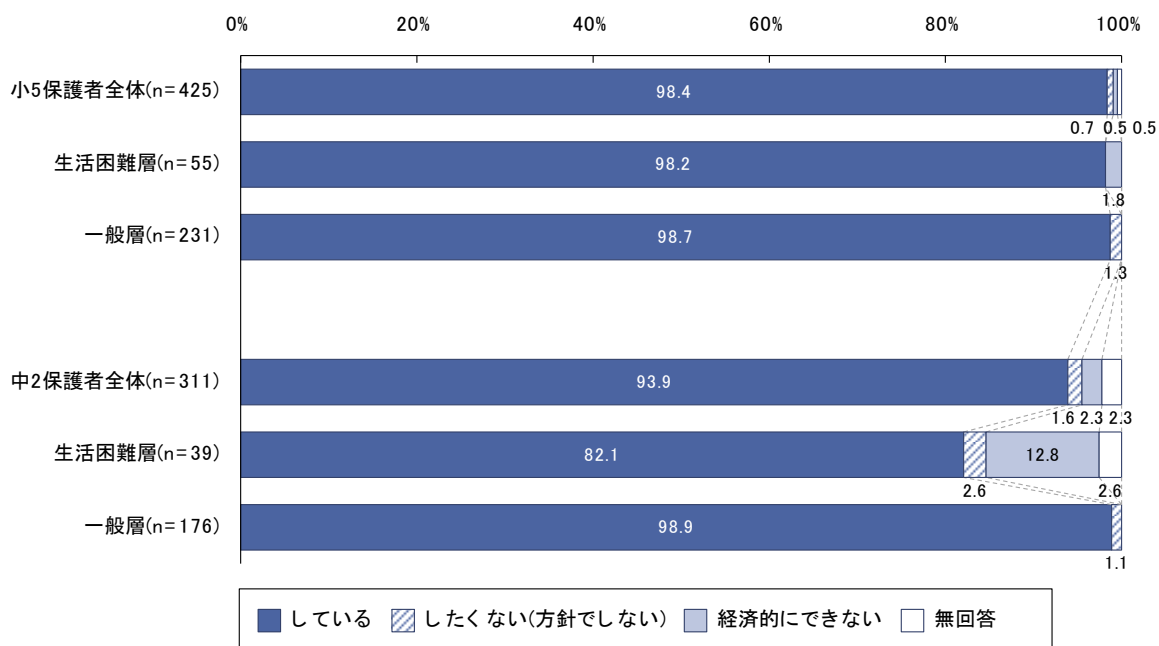


Gクリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる

クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげることを「している」と回答した割合は、小学5年生では生活困難度による差はみられず、いずれの層も98%を超えています。中学2年生は、全体で93.9%、生活困難層で82.1%、一般層で98.9%と生活困難層で低くなっています。

また、中学2年生の生活困難層の12.8%が「経済的にできない」と回答しています。

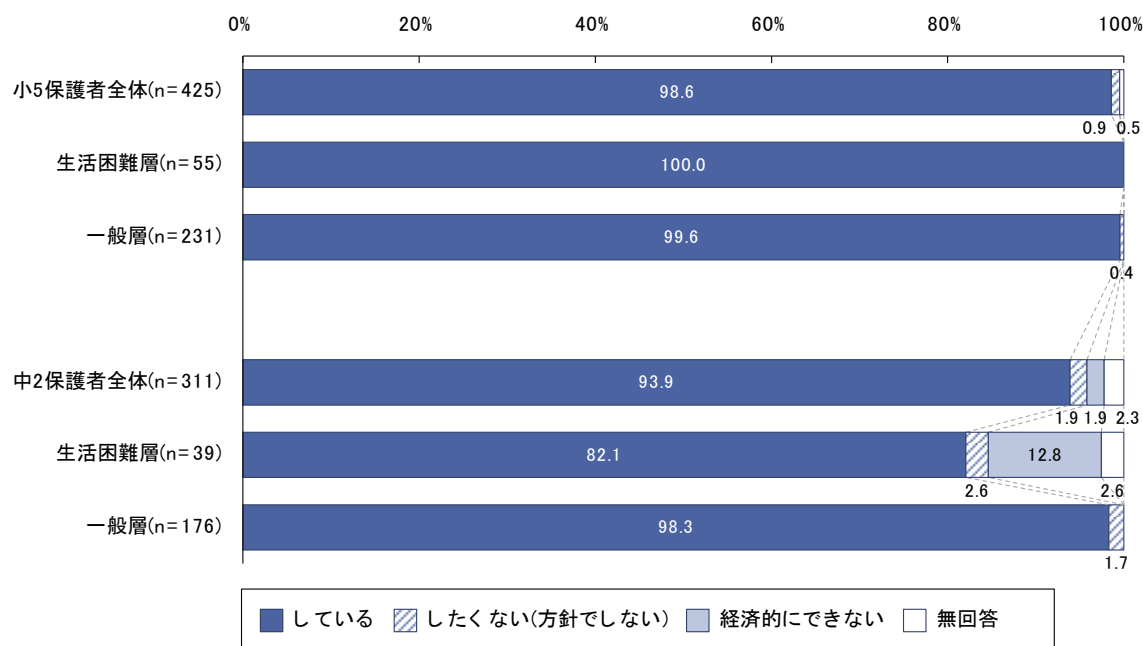
問34 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか／Gクリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる



H子どもの学校行事などへ親が参加する

子どもの学校行事などへ親が参加することを「している」と回答した割合は、小学5年生では生活困難度による差はみられず、いずれの層も98%を超えています。中学2年生は、全体で93.9%、生活困難層で82.1%、一般層で98.3%と生活困難層でやや低くなっています。

問34 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか／H子どもの学校行事などへ親が参加する

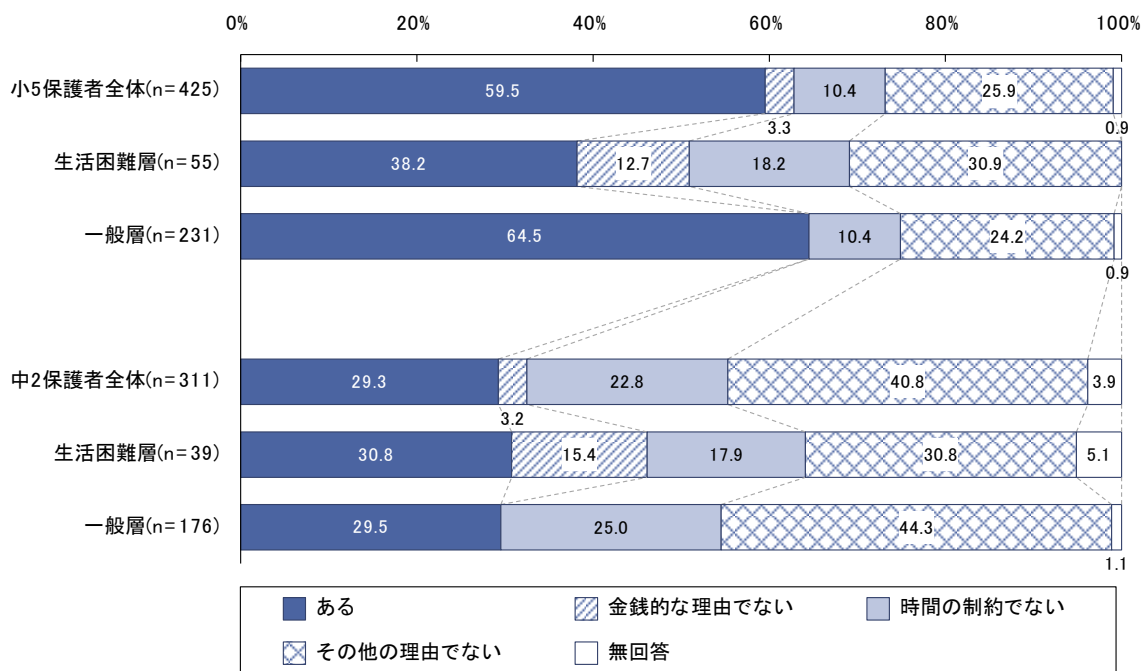


(3) 子どもの体験

A海水浴に行く

海水浴に行くことが「時間の制約でない」と回答した割合は、小学5年生の全体で10.4%、生活困難層で18.2%、一般層で10.4%、中学2年生の全体で22.8%、生活困難層で17.9%、一般層で25.0%となっています。また、「金銭的な理由でない」との回答は生活困難層で高く、小学5年生で12.7%、中学2年生では15.4%となっています。

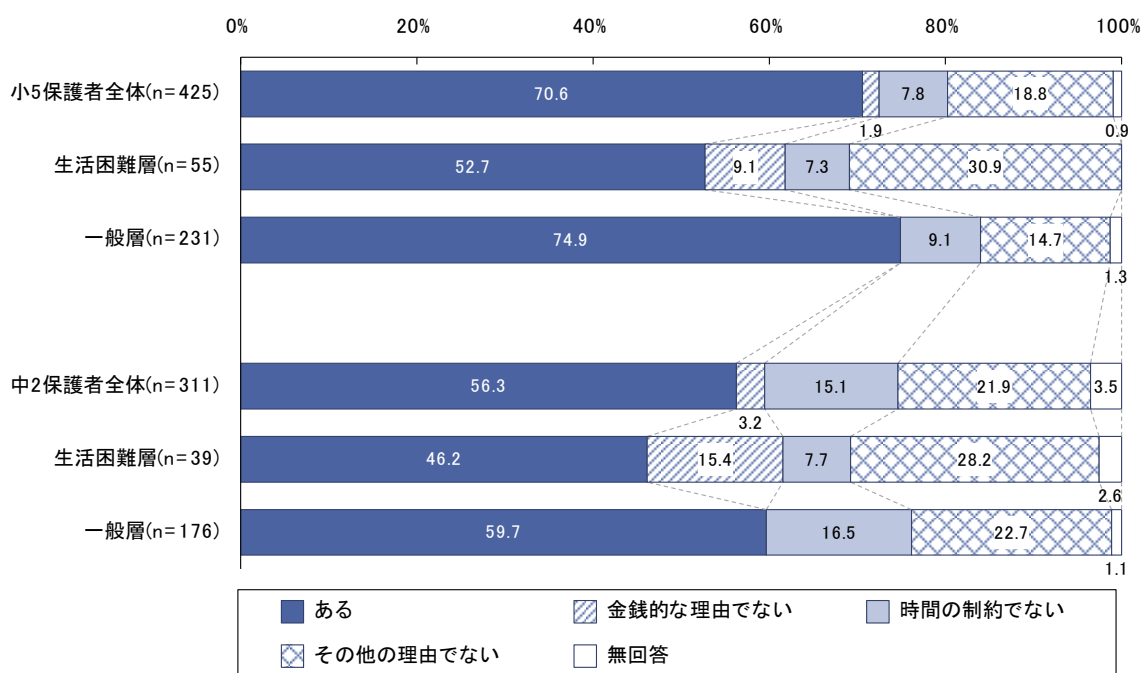
問26 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか／A海水浴に行く



B博物館・科学館・美術館などに行く

博物館・科学館・美術館などに行くことが「時間の制約でない」と回答した割合は、小学5年生の全体で7.8%、生活困難層で7.3%、一般層で9.1%、中学2年生の全体で15.1%、生活困難層で7.7%、一般層で16.5%となっています。また、「金銭的な理由でない」との回答は、生活困難層で高く小学5年生で9.1%、中学2年生では15.4%となっています。

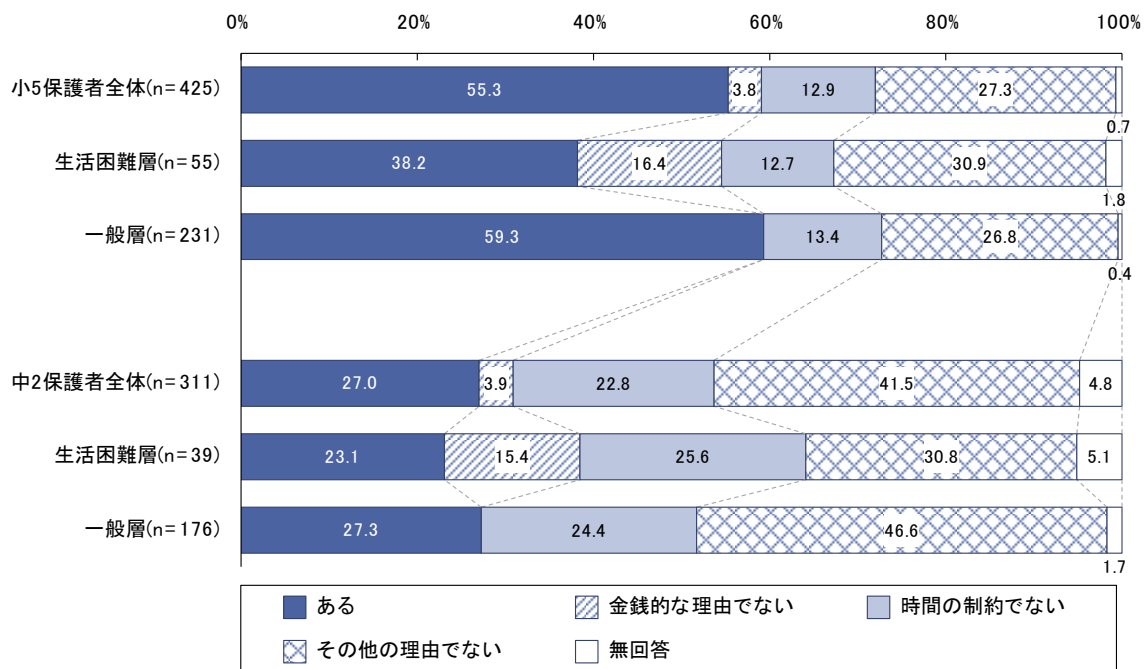
問26 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか／B博物館・科学館・美術館などに行く



Cキャンプやバーベキューに行く

キャンプやバーベキューに行くことが「時間の制約でない」と回答した割合は、小学5年生の全体で12.9%、生活困難層で12.7%、一般層で13.4%、中学2年生の全体で22.8%、生活困難層で25.6%、一般層で24.4%となっています。また、「金銭的な理由でない」との回答は生活困難層が高く、小学5年生で16.4%、中学2年生では15.4%となっています。

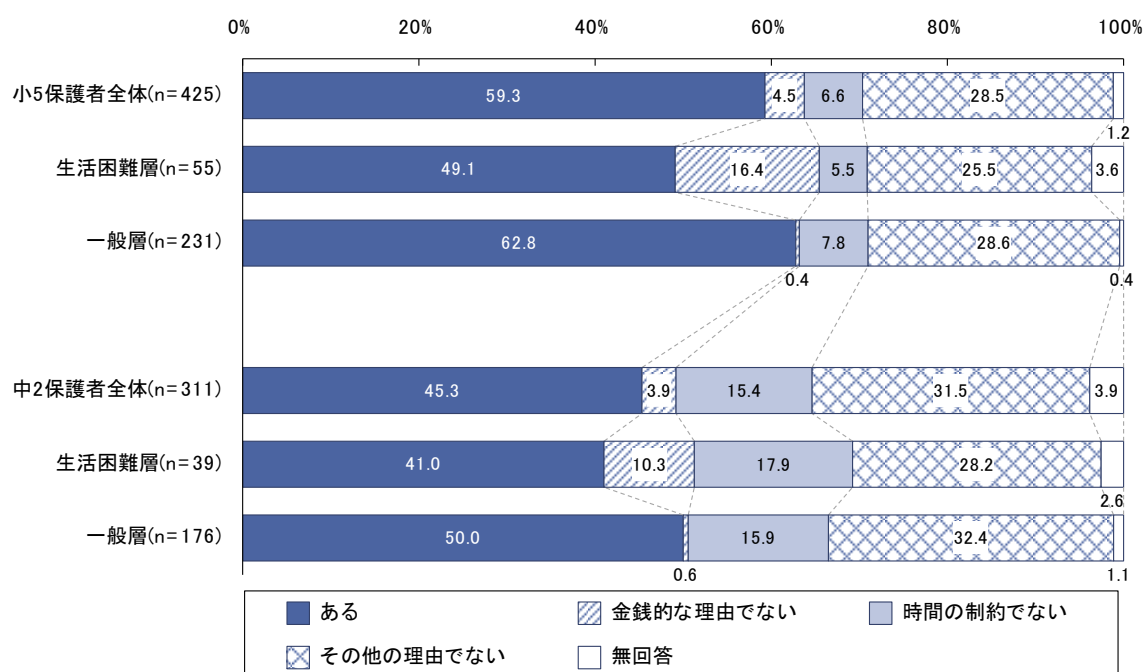
問26 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか／Cキャンプやバーベキューに行く



D スポーツ観戦や劇場に行く

スポーツ観戦や劇場に行くことが「時間の制約でない」と回答した割合は、小学5年生の全体で6.6%、生活困難層で5.5%、一般層で7.8%、中学2年生の全体で15.4%、生活困難層で17.9%、一般層で15.9%となっています。また、「金銭的な理由でない」との回答は生活困難層で高く、小学5年生で16.4%、中学2年生では10.3%となっています。

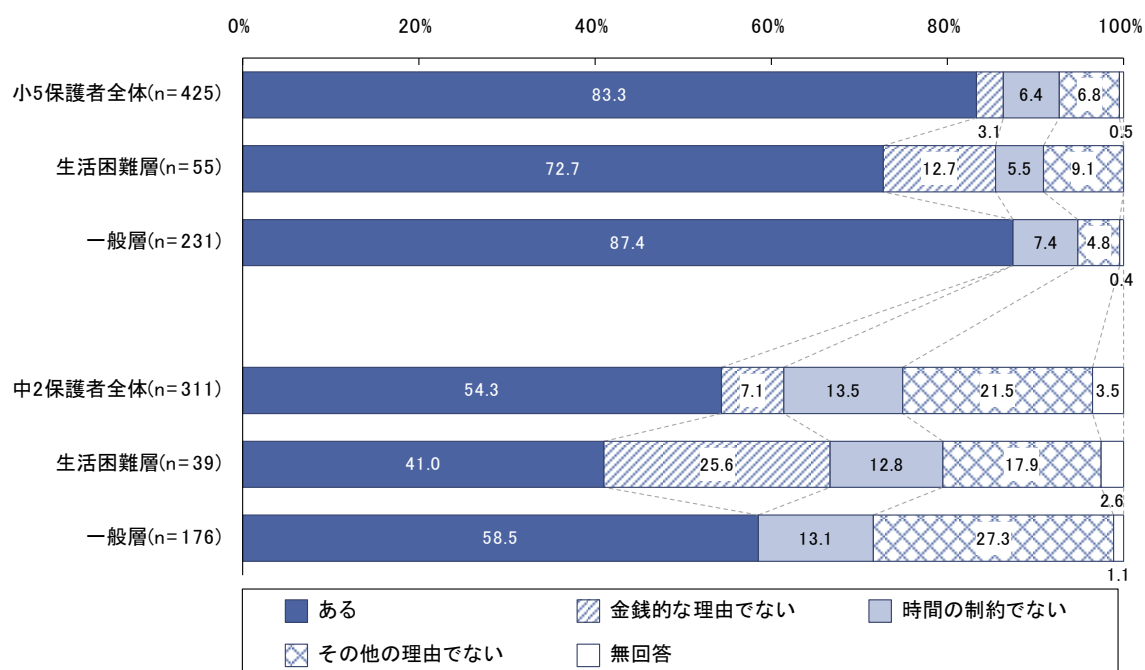
問26 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか／Dスポーツ観戦や劇場に行く



E 遊園地やテーマパークに行く

遊園地やテーマパークに行くことが「時間の制約でない」と回答した割合は、小学5年生の全体で6.4%、生活困難層で5.5%、一般層で7.4%、中学2年生の全体で13.5%、生活困難層で12.8%、一般層で13.1%となっています。また、「金銭的な理由でない」との回答は生活困難層で高く、小学5年生で12.7%、中学2年生では25.6%となっています。

問26 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか／E遊園地やテーマパークに行く



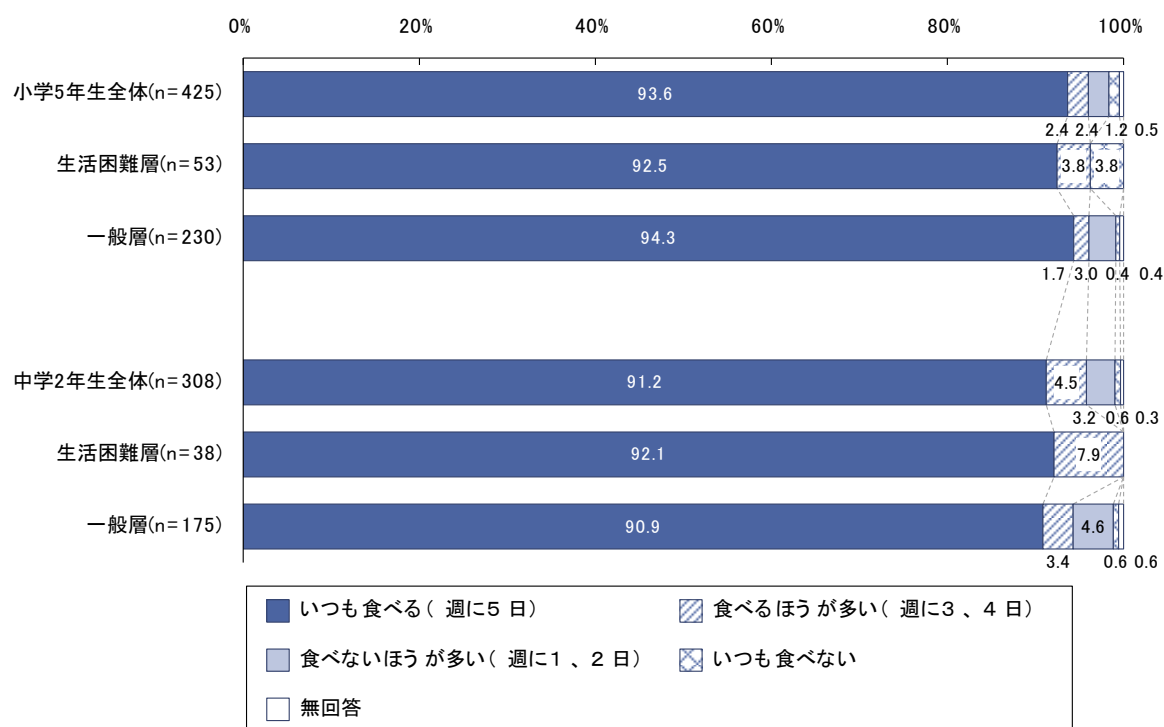
3 子どもの食と栄養

(1) 朝食の摂取状況

①子ども

子どもの平日の朝食の摂取状況について、小学5年生、中学2年生とも9割以上が「いつも食べる（週に5日）」と回答しています。しかし、割合は少ないですが、小学5年生の生活困難層の3.8%が「いつも食べない」と回答しています。

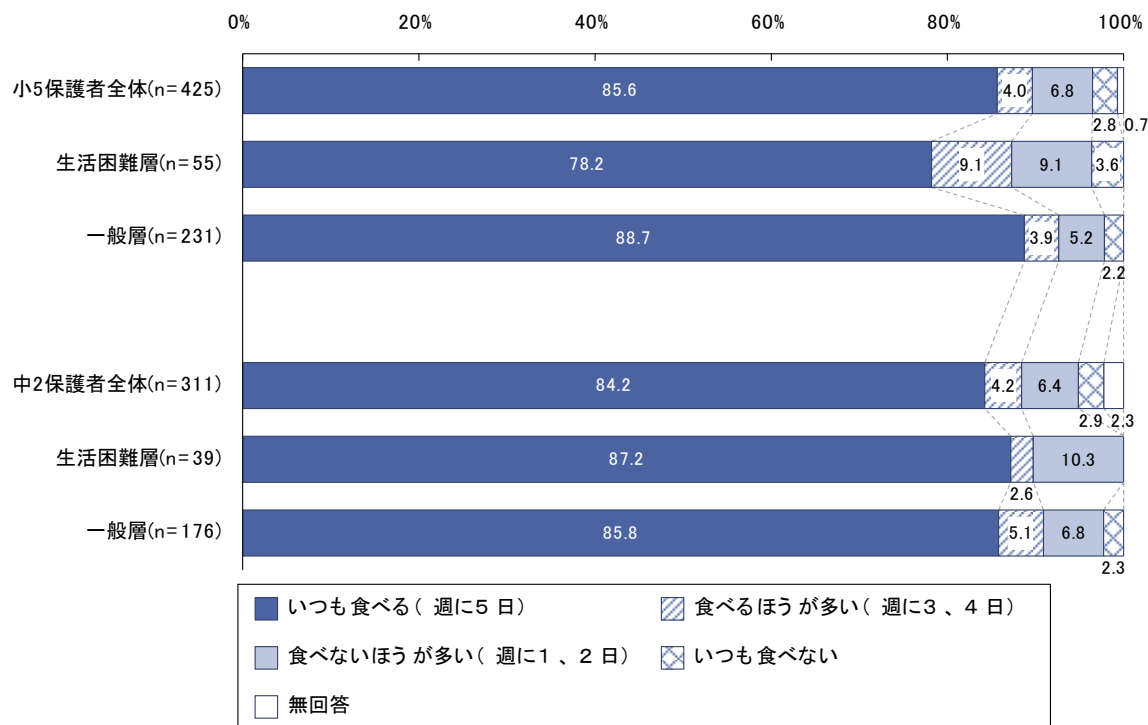
問18 あなたは、平日（学校に行く日）に毎日、朝ごはんを食べますか



②保護者

保護者の平日の朝食の摂取状況について、8割前後が「いつも食べる（週に5日）」と回答しています。しかし、中学2年生の生活困難層を除き2.2～3.6%が「いつも食べない」と回答しています。

問24 あなたは、平日（お子さんの学校のある日）に毎日、朝ごはんを食べますか

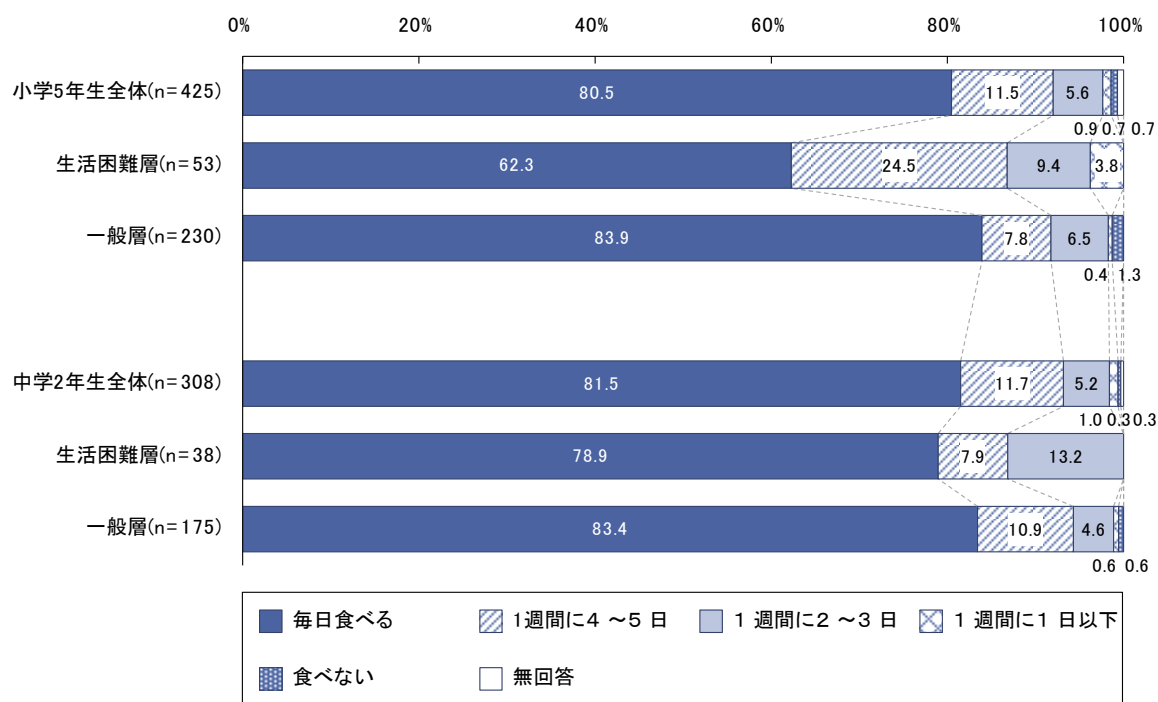


（２）栄養群の摂取状況

A野菜

給食以外に野菜を食べる頻度について、「毎日食べる」と回答した割合は、小学５年生の全体で 80.5%、生活困難層で 62.3%、一般層で 83.9%、中学２年生の全体で 81.5%、生活困難層で 78.9%、一般層で 83.4%となっています。一般層に比べ生活困難層で「毎日食べる」割合は低く、中学２年生に比べ小学５年生でさらに低くなっています。

問21 あなたは、給食をのぞいて、以下の食物をふだんどれくらい食べますか／A野菜

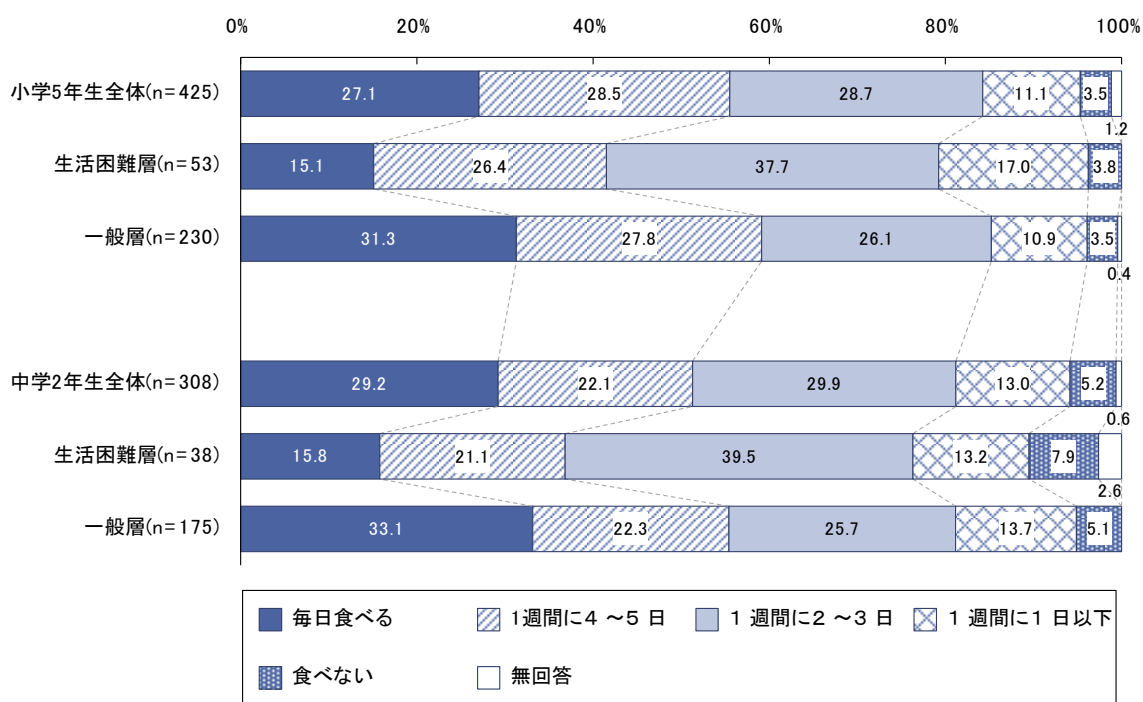


Bくだもの

給食以外にくだものを食べる頻度について、「毎日食べる」と回答した割合は、小学5年生の全体で 27.1%、生活困難層で 15.1%、一般層で 31.3%、中学2年生の全体で 29.2%、生活困難層で 15.8%、一般層で 33.1%となっている一方、「1週間に1日以下」と「食べない」を合わせた割合は、小学5年生の全体で 14.6%、生活困難層で 20.8%、一般層で 14.4%、中学2年生の全体で 18.2%、生活困難層で 21.1%、一般層で 18.8%となっています。

一般層と比べ生活困難層では「毎日食べる」割合が半数以下と低く、「1週間に1日以下」「食べない」を合わせた割合はやや高くなっています。

問21 あなたは、給食をのぞいて、以下の食物をふだんどれくらい食べますか／Bくだもの

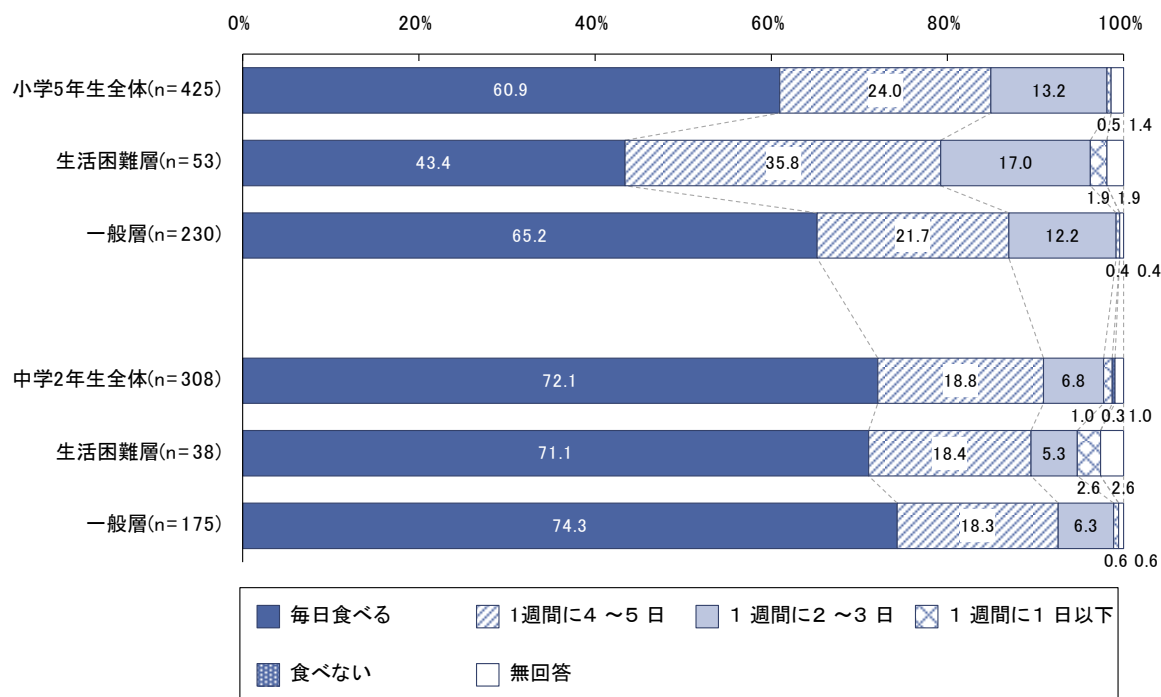


C肉か魚

給食以外に肉か魚を食べる頻度について、「毎日食べる」と回答した割合は、小学5年生の全体で 60.9%、生活困難層で 43.4%、一般層で 65.2%、中学2年生の全体で 72.1%、生活困難層で 71.1%、一般層で 74.3%となっています。

中学2年生では生活困難度による差はみられませんが、小学5年生では一般層と比べ生活困難層で「毎日食べる」割合は低くなっています。

問21 あなたは、給食をのぞいて、以下の食物をふだんどれくらい食べますか／C肉か魚

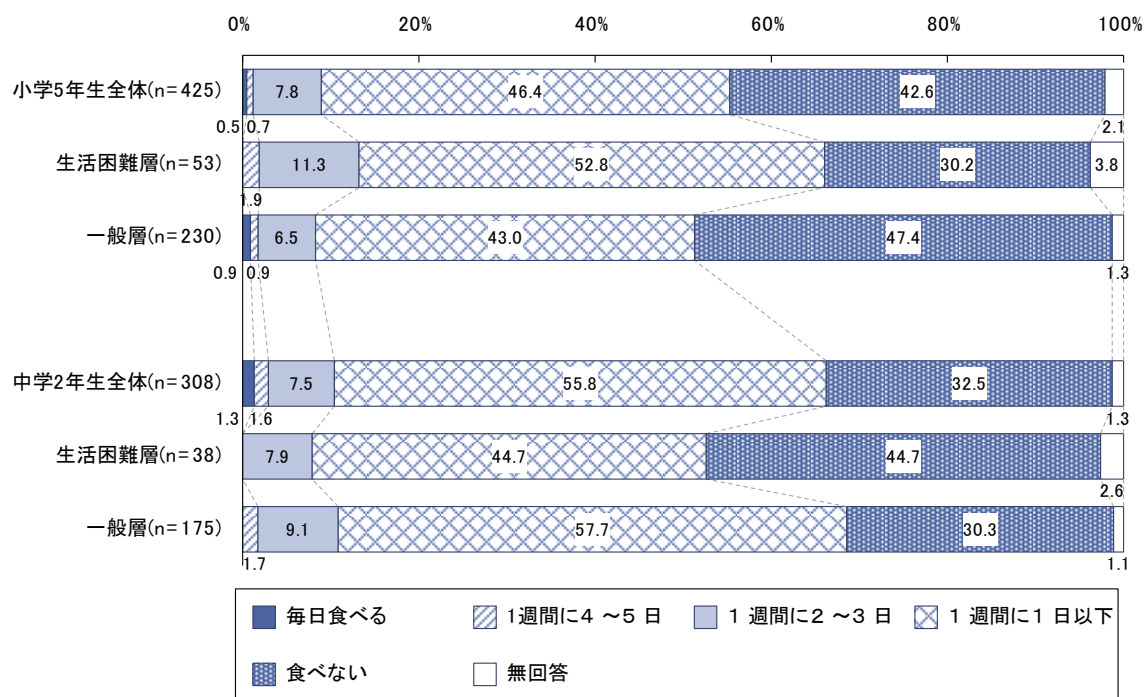


Dカップめん・インスタントめん

カップめん・インスタントめんを食べる頻度について、「1週間に1日以下」と「食べない」を合わせた割合は、小学5年生の全体で89.0%、生活困難層で83.0%、一般層で90.4%、中学2年生の全体で88.3%、生活困難層で89.4%、一般層で88.0%といずれも8割以上を占めており、生活困難度による差はみられません。

一方、1週間に2日以上（「毎日食べる」、「1週間に4～5日」、「1週間に2～3日」の合計）食べる割合は、小学5年生では生活困難層で13.2%とやや高く、中学2年生では一般層で10.8%とやや高くなっています。

問21 あなたは、給食をのぞいて、以下の食物をふだんどれくらい食べますか／Dカップめん・インスタントめん

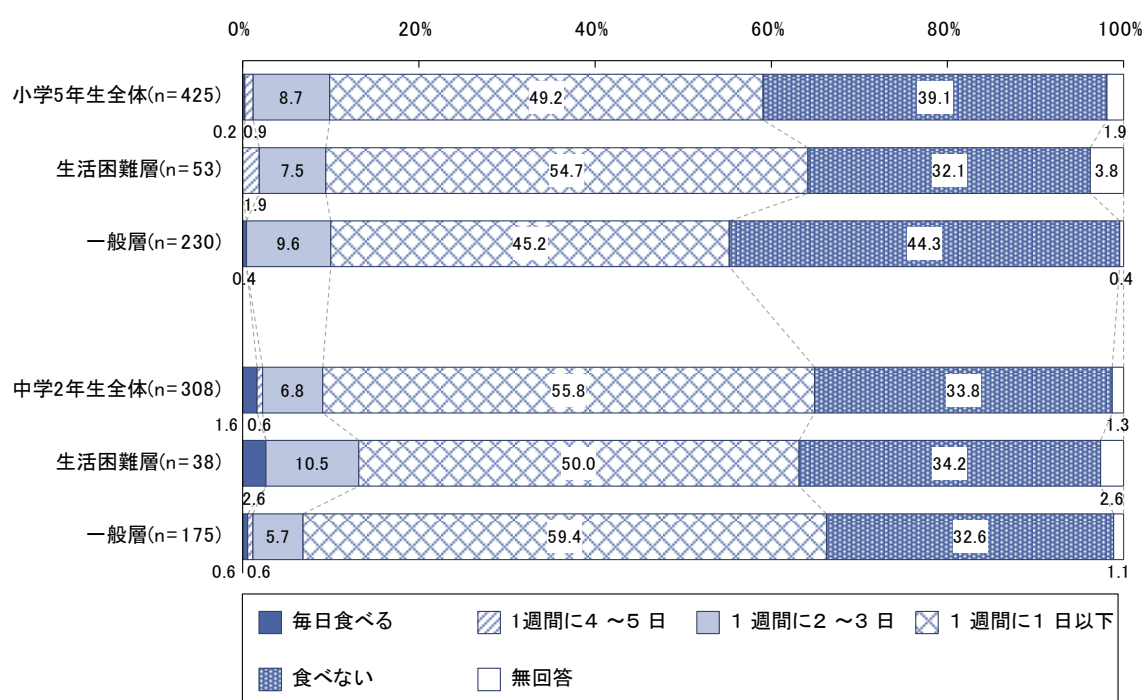


Eコンビニのおにぎり・お弁当

コンビニのおにぎり・お弁当を食べる頻度について、「1週間に1日以下」と「食べない」を合わせた割合は、小学5年生の全体で88.3%、生活困難層で86.8%、一般層で89.5%、中学2年生の全体で89.6%、生活困難層で84.2%、一般層で92.0%といずれも8割以上を占めています。

一方、1週間に2日以上（「毎日食べる」「1週間に4～5日」「1週間に2～3日」の合計）食べる割合は、中学2年生の生活困難層でやや高く13.1%となっています。

問21 あなたは、給食をのぞいて、以下の食物をふだんどれくらい食べますか／Eコンビニのおにぎり・お弁当

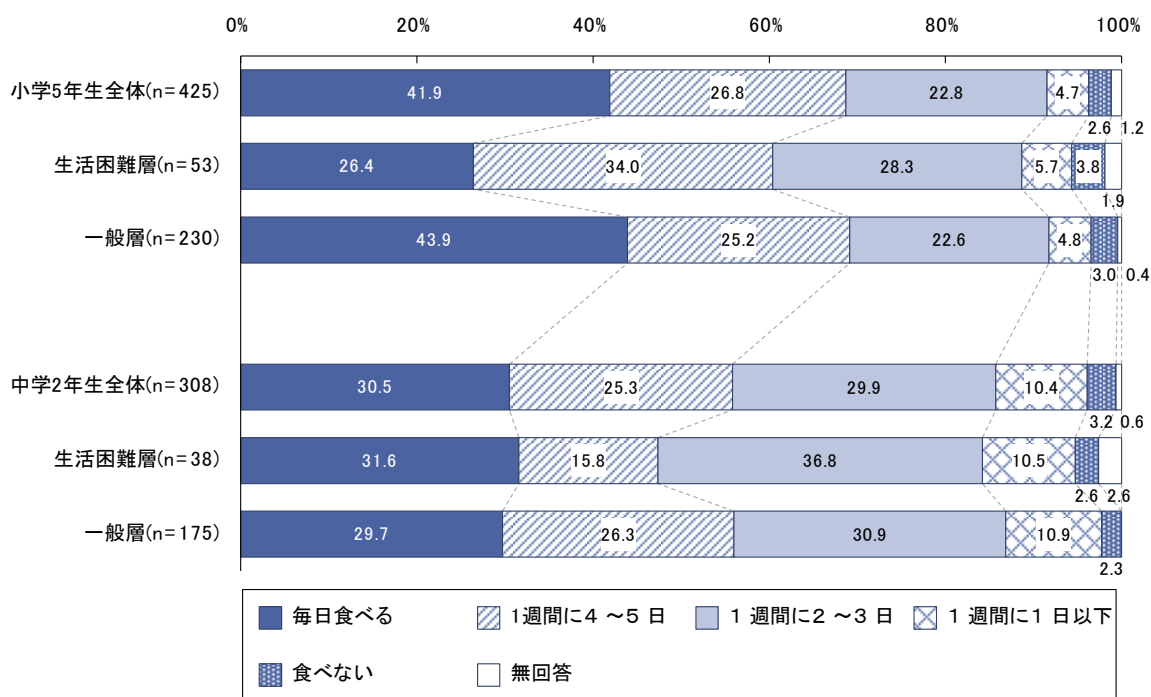


F お菓子

お菓子を食べる頻度について、「毎日食べる」と回答した割合は、小学5年生の全体で41.9%、生活困難層で26.4%、一般層で43.9%、中学2年生の全体で30.5%、生活困難層で31.6%、一般層で29.7%となっています。

中学2年生では生活困難度による差はみられませんが、小学5年生では一般層に比べ生活困難層で低くなっています。

問21 あなたは、給食をのぞいて、以下の食物をふだんどれくらい食べますか／Fお菓子



第4章 家計の状況

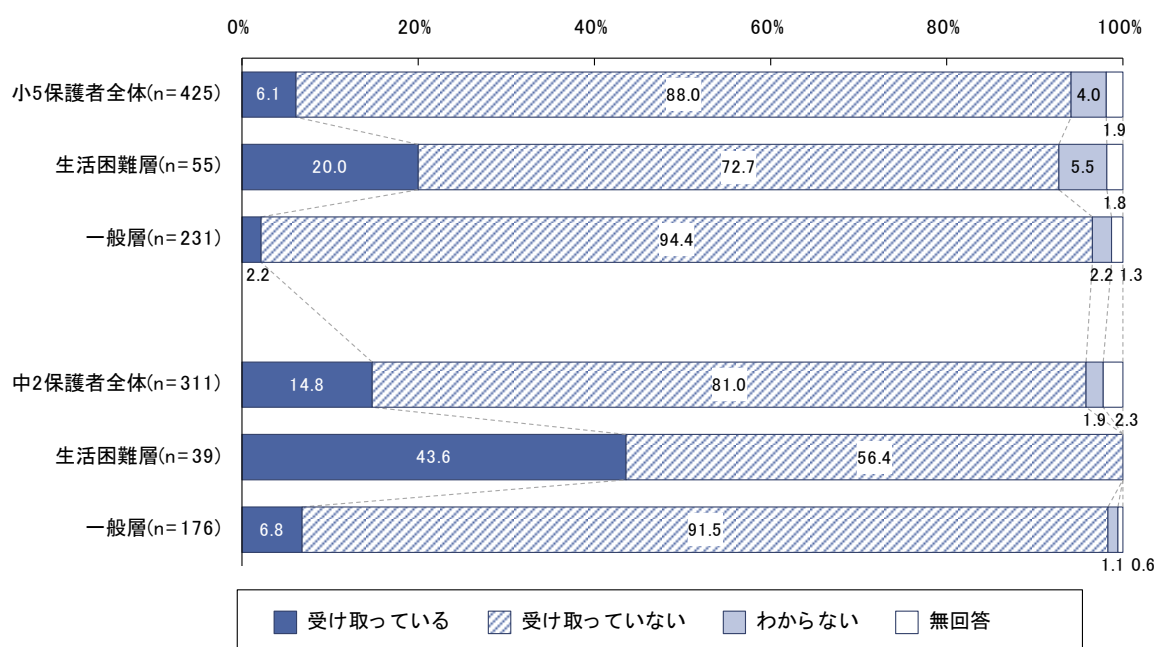
1 家計の状況

(1) 就学援助の受給状況

就学援助の受給状況について、「受け取っている」と回答した割合は、小学5年生の全体で6.1%、生活困難層で20.0%、一般層で2.2%、中学2年生では、全体で14.8%、生活困難層で43.6%、一般層で6.8%となっています。

生活困難層では、一般層と比べ小学5年生で約9倍、中学2年生で約6.5倍高くなっています。

問21 あなたのご家庭では、このお子さんのために就学援助費を受け取っていますか



(2) 支給額と実費の差が大きい経費

支給額と実費の差が大きい経費について、小学5年生、中学2年生いずれも「学用品費」への回答が最も多くなっています。

問21-1 就学援助で支給されている額と実際にかかった額とで、その差が大きいものは何の経費ですか（自由記述）

小学5年生	
項目名	回答数
学用品費	5
給食費	2
林間学校	1
生活費	1

中学2年生	
項目名	回答数
学用品費	16
給食費	3
学費・授業料	3
部活にかかる費用	2
修学旅行	2
交通費	1
塾代	1

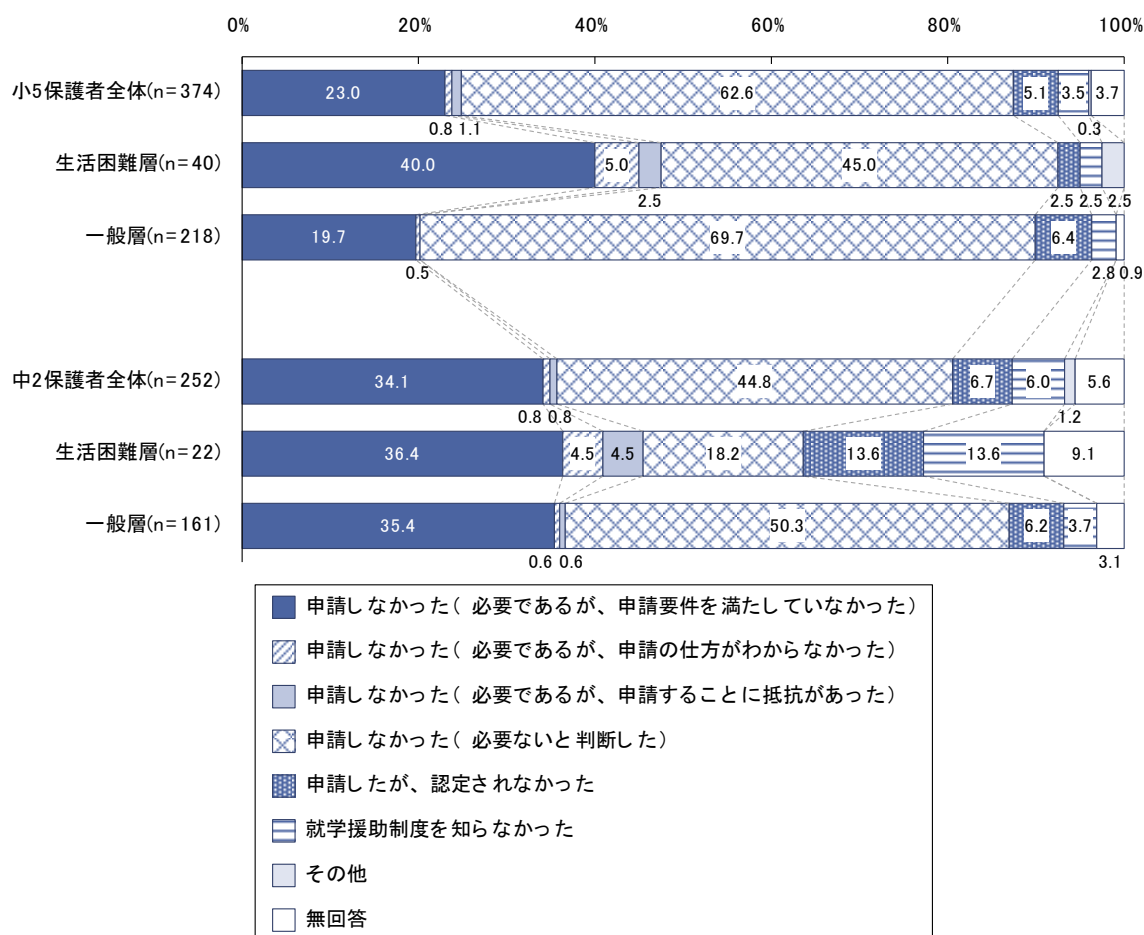
(3) 受給していない理由

就学援助を受給していない理由として、「申請しなかった（必要ないと判断した）」と回答した割合は小学5年生全体で62.6%、中学2年生全体で44.8%となっています。

「申請しなかった（必要であるが、申請要件を満たしていなかった）」と回答した割合を生活困難度別にみると、小学5年生一般層が19.7%であるのに対し、生活困難層で40.0%と2倍となっています。中学2年生では生活困難層、一般層とも約35%と生活困難度による明確な差はみられません。

また、中学2年生の生活困難層の13.6%が「就学援助制度を知らなかった」と回答しています。

問21-2 受け取っていない理由は何ですか

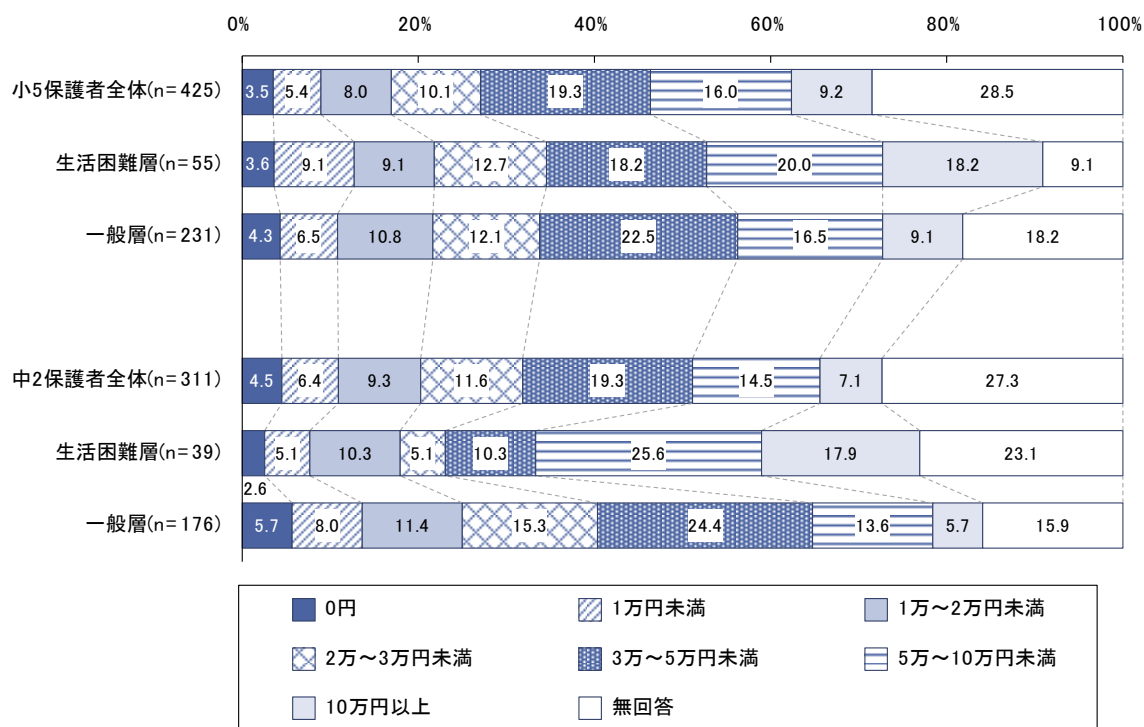


（４）社会保障の支給額

A児童手当

児童手当の１回あたりの支給額について、「３万～５万円未満」と回答した割合は、小学５年生全体で 19.3%、一般層で 22.5%、中学２年生全体で 19.3%、一般層で 24.4%となっています。生活困難層では「５万～１０万円未満」が高く、小学５年生で 20.0%、中学２年生で 25.6%となっています。

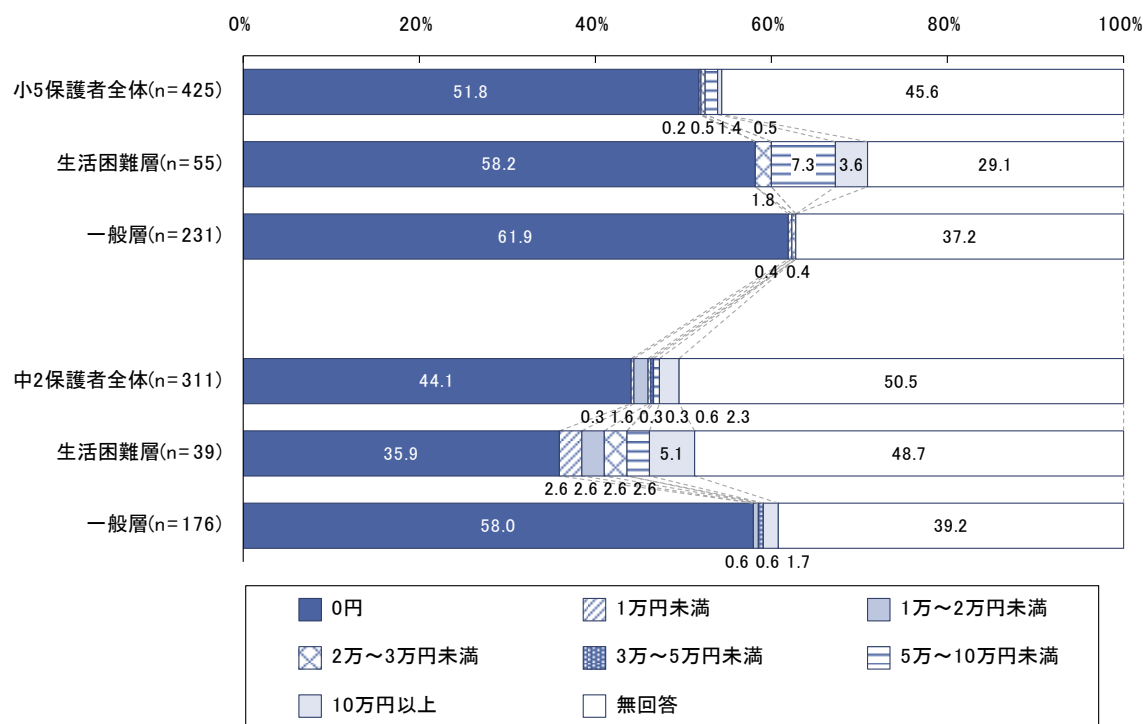
問22 あなたの世帯で次のような公的年金、社会保障給付金の１回あたりの支給額はいくらか
／A児童手当



B 児童育成手当

児童育成手当の1回あたりの支給額について、いずれも「0円」が多数を占めていますが、小学5年生の生活困難層では、「5万～10万円未満」と回答した割合が一般層に比べやや高く、中学2年生では生活困難度による大きな差はみられません。

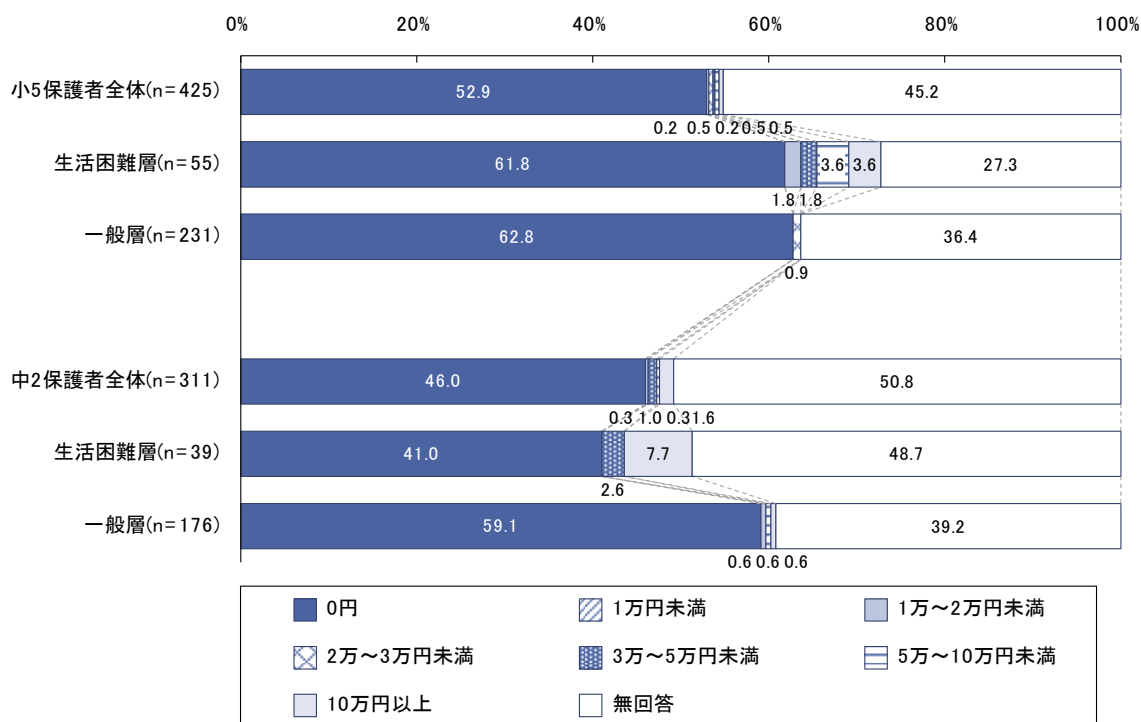
問22 あなたの世帯で次のような公的年金、社会保障給付金の1回あたりの支給額はいくらですか
／B児童育成手当



C 児童扶養手当

児童扶養手当の1回あたりの支給額について、いずれも「0円」が多数を占めていますが。小学5年生では、生活困難度による大きな差はみられませんが、中学2年生の生活困難層では一般層に比べ、「10万円以上」と回答した割合がやや高くなっています。

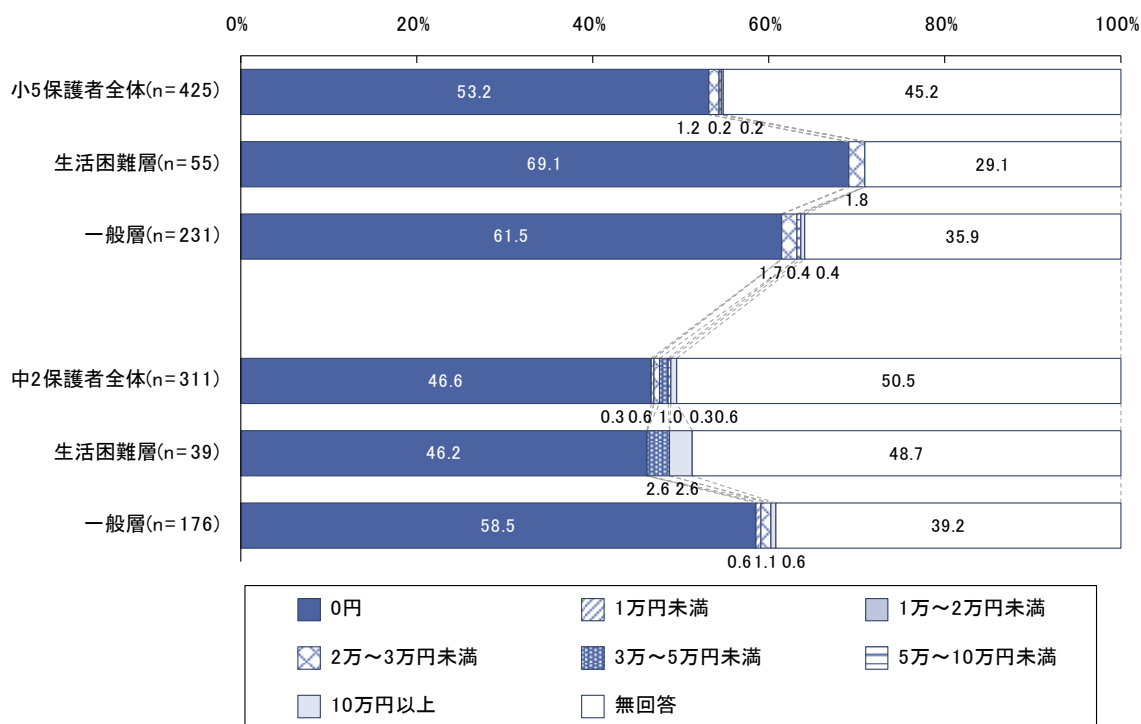
問22 あなたの世帯で次のような公的年金、社会保障給付金の1回あたりの支給額はいくらですか
／C児童扶養手当



D 特別児童扶養手当

特別児童扶養手当の1回あたりの支給額について、いずれも「0円」が多数を占めています。「10万円以上」との回答は中学2年生の生活困難層で2.6%となっているほかは、1%に満たない割合となっています。

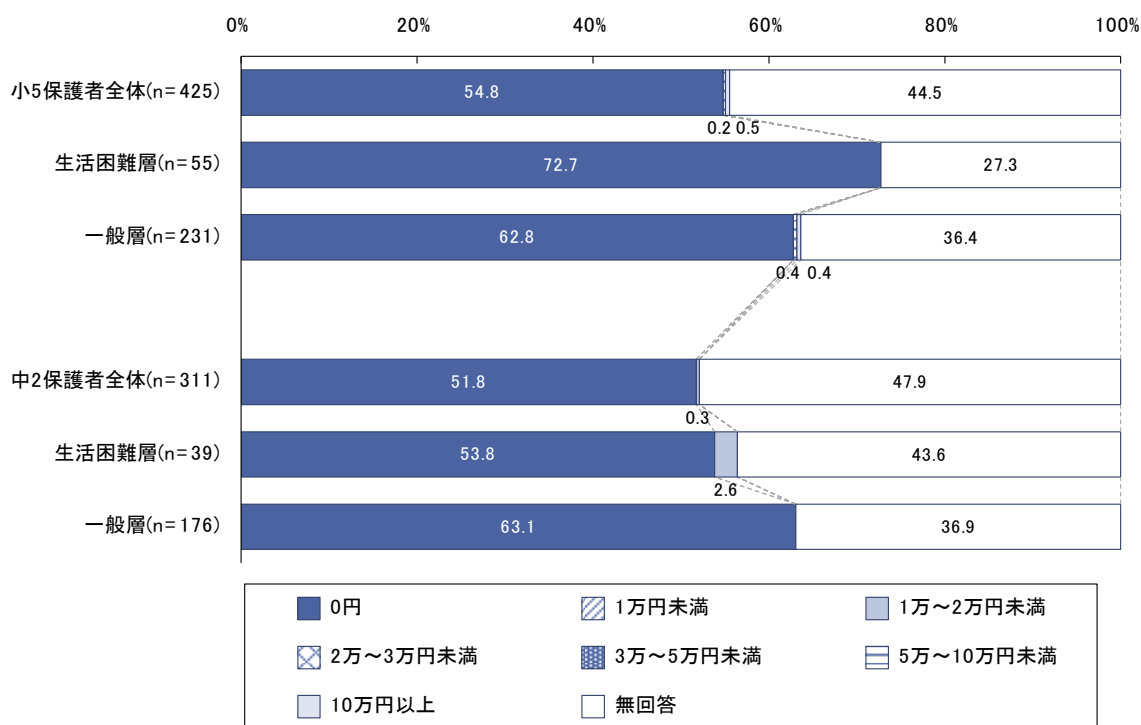
問22 あなたの世帯で次のような公的年金、社会保障給付金の1回あたりの支給額はいくらですか
／D特別児童扶養手当



E 年金（遺族年金、老齢年金など）

年金（遺族年金、老齢年金など）の1回あたりの支給額について、いずれも「0円」が多数を占めており、中学2年生の生活困難層で「1万～2万円未満」が2.6%となっているほかは、1%に満たない割合となっています。

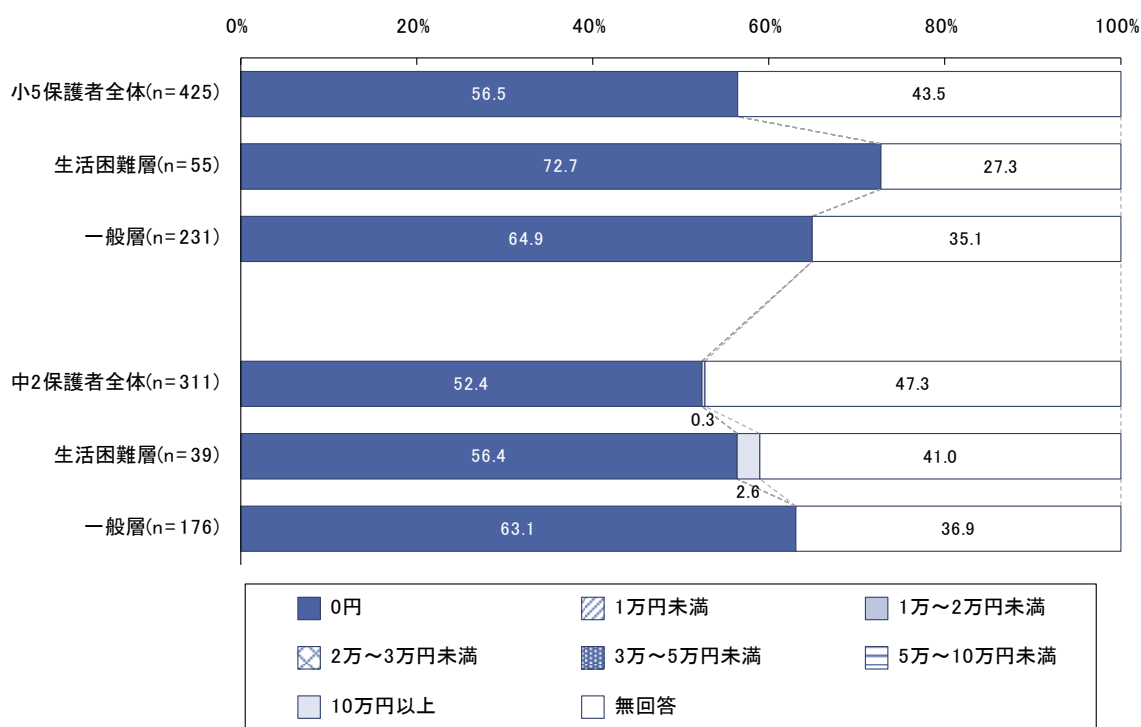
問22 あなたの世帯で次のような公的年金、社会保障給付金の1回あたりの支給額はいくらですか
／E年金（遺族年金、老齢年金など）



F 生活保護

生活保護の1回あたりの支給額について、受給者は中学2年生全体の0.3%、生活困難層の2.6%が「10万円以上」と回答したのみとなっています。

問22 あなたの世帯で次のような公的年金、社会保障給付金の1回あたりの支給額はいくらですか
／F生活保護



(5) 世帯収入

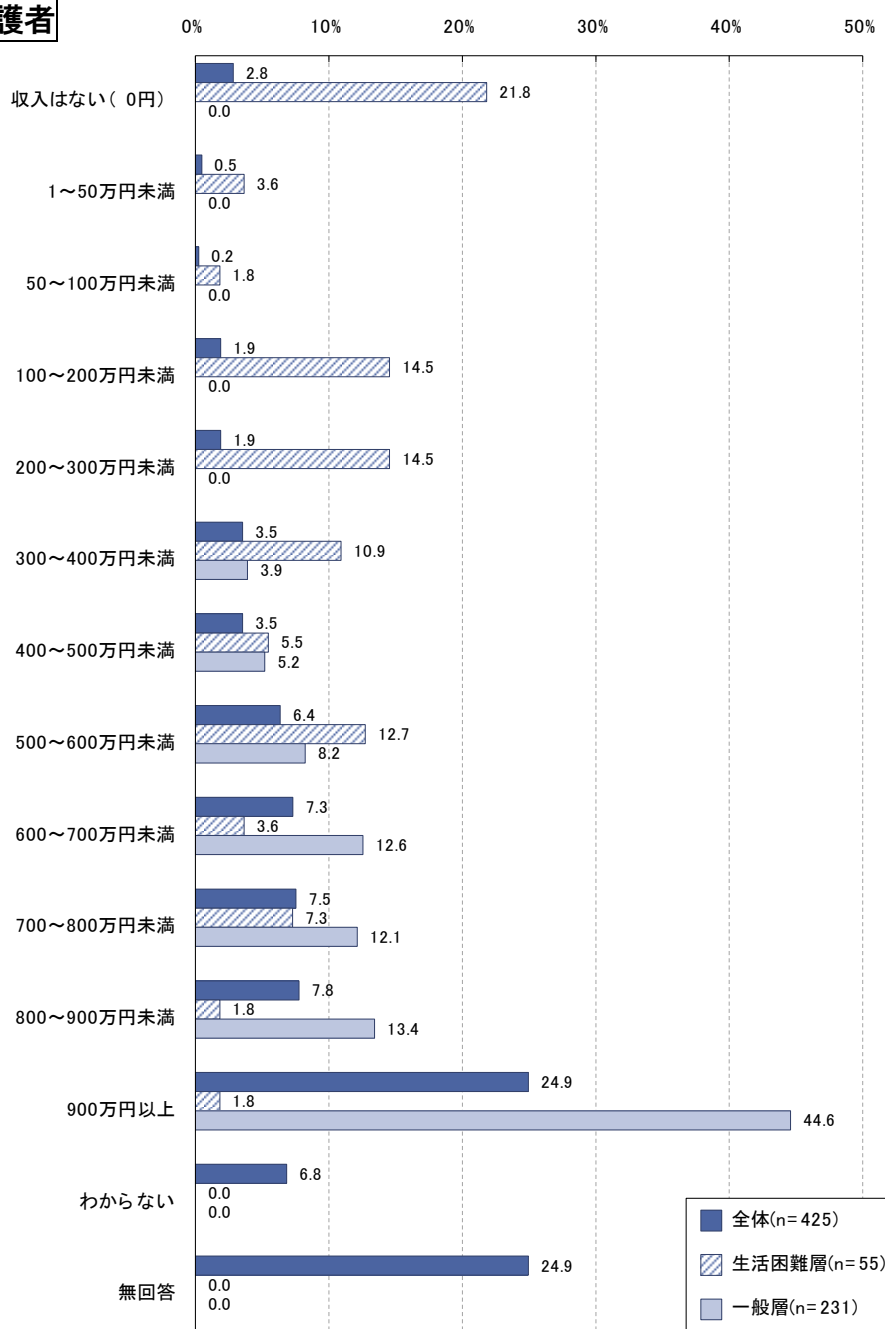
世帯収入について、小学5年生全体では「900万円以上」が24.9%で最も多く、次いで「800～900万円未満」が7.8%、「700～800万円未満」が7.5%となっています。

生活困難層では「収入はない」が21.8%で最も多く、次いで「100～200万円未満」及び「200～300万円未満」が同率で14.5%となっています。

600万円未満までは生活困難層の割合が高く、600万円以上から一般層の割合が高くなっています。

問23 お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入(税込)はいくらですか

小5 保護者



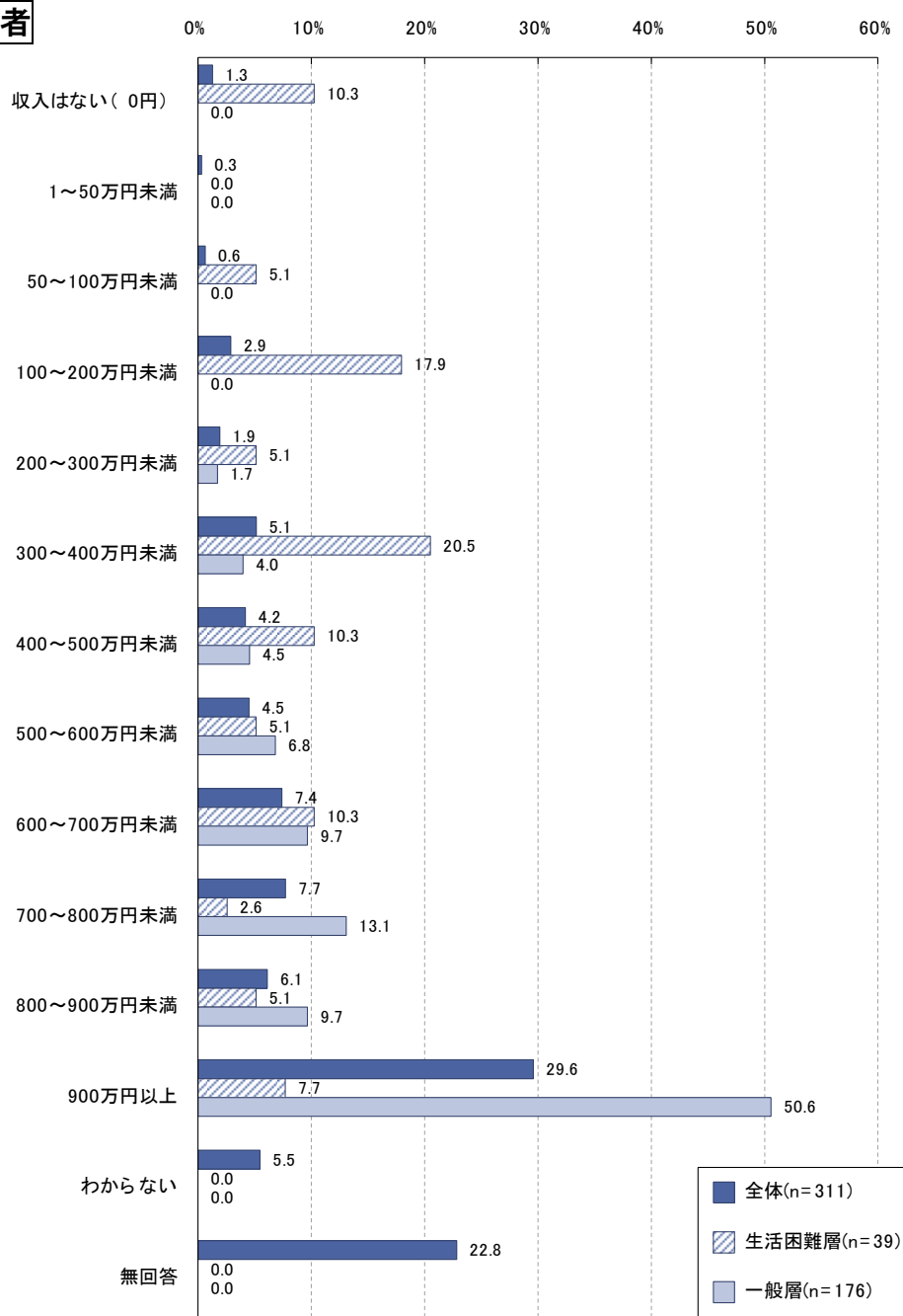
世帯収入について、中学2年生全体では「900万円以上」が29.6%で最も多く、次いで「700～800万円未満」が7.7%、「600～700万円未満」が7.4%となっています。

生活困難層では「300～400万円未満」が20.5%で最も多く、次いで「100～200万円未満」が17.9%、「収入はない」、「400～500万円未満」及び「600～700万円未満」が同率で10.3%となっています。

700万円以上から一般層の割合が高くなっています。

問23 お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入(税込)はいくらですか

中2保護者

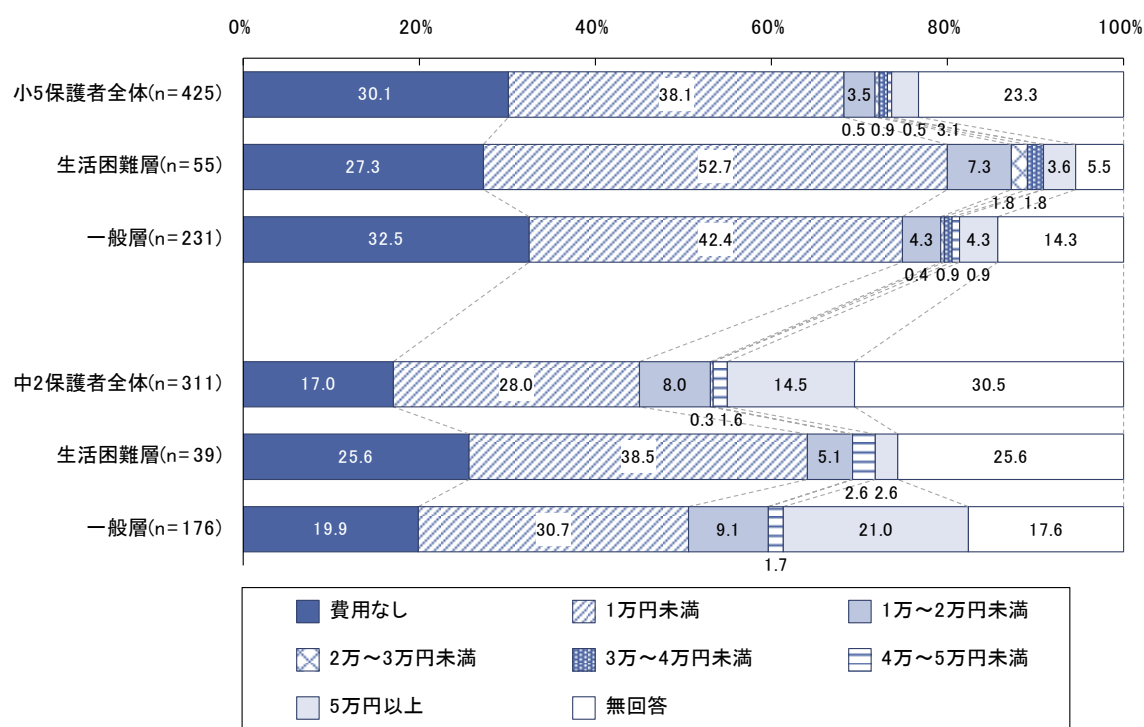


2 子育てにかかる費用

A授業料・学校納付金

授業料・学校納付金について、「1万円未満」と回答した割合は、小学5年生全体で38.1%、生活困難層で52.7%、一般層で42.4%となっており、一般層に比べ生活困難層で10ポイントほど高くなっています。中学2年生では全体で28.0%、生活困難層で38.5%、一般層で30.7%となっています。また、中学2年生の生活困難層の25.6%が「費用なし」と回答しているのに対し、一般層では21.0%が「5万円以上」と回答しています。

問20 次のA～Hの費用は、毎月いくらくらいかかっていますか／A授業料・学校納付金

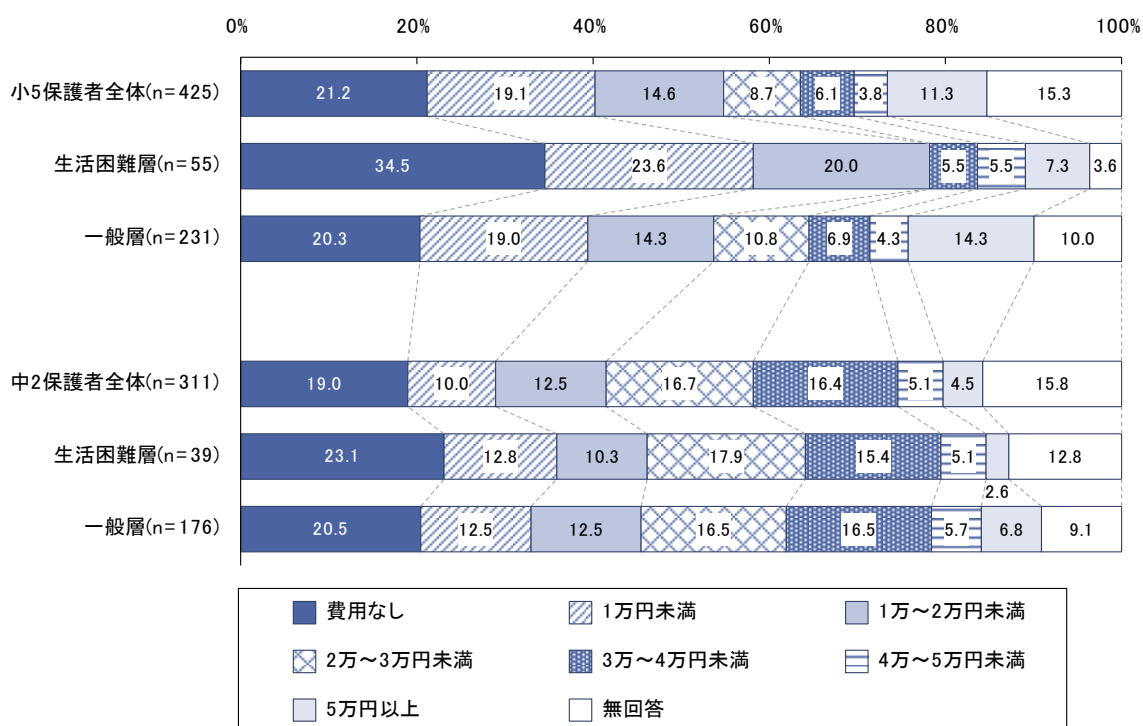


B塾など、学校外でかかる教育費

塾など、学校外でかかる教育費について、「費用なし」と回答した割合は、小学5年生全体で21.2%、生活困難層で34.5%、一般層で20.3%、中学2年生全体で19.0%、生活困難層で23.1%、一般層で20.5%となっています。また、小学5年生では一般層に比べ生活困難層で「1万円未満」と「1万～2万円未満」の割合が高くなっている一方、一般層では「2万～3万円未満」と「5万円以上」の割合が高くなっています。

中学2年生では生活困難度による大きな差はみられません。

問20 次のA～Hの費用は、毎月いくらかかっていますか／B塾など、学校外でかかる教育費

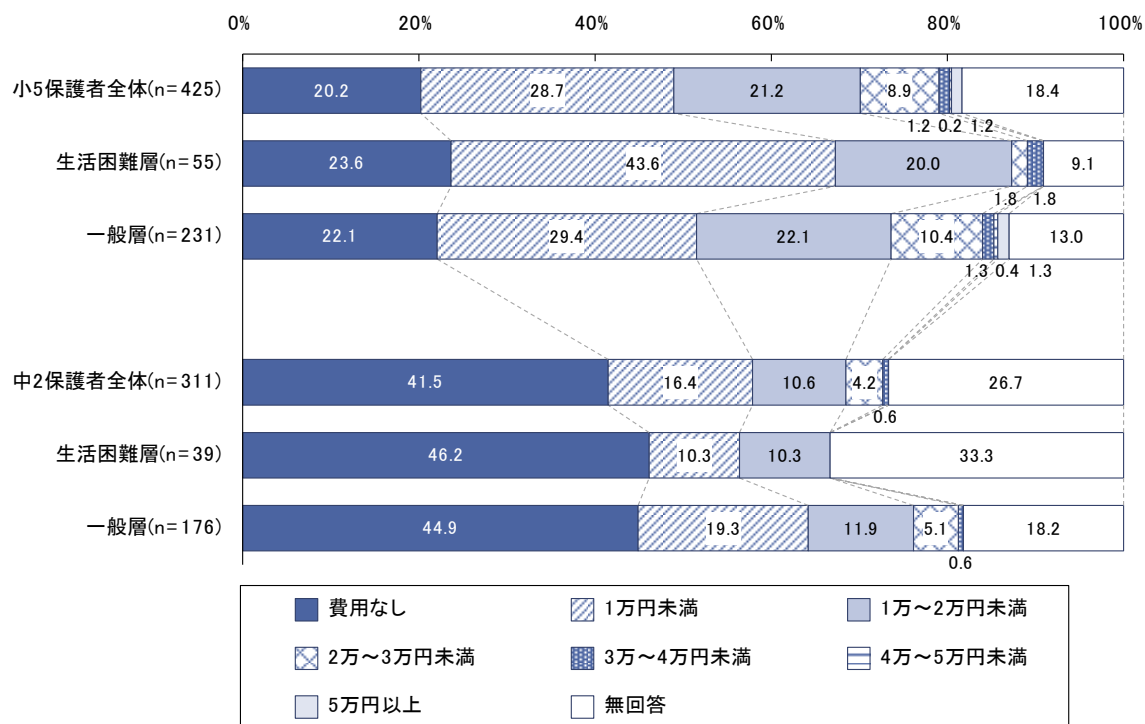


C習い事（スポーツクラブなど以外）

習い事（スポーツクラブなど以外）について、「1万円未満」と回答した割合は、小学5年生全体で28.7%、生活困難層で43.6%、一般層で29.4%、中学2年生全体で16.4%、生活困難層10.3%、一般層19.3%となっています。一般層に比べ小学5年生の生活困難層では14ポイント高く、中学2年生の生活困難層で9ポイント低くなっています。

また、小学5年生に比べ中学2年生で「費用なし」の割合が高くなっています。

問20 次のA～Hの費用は、毎月いくらかかっていますか／C習い事（スポーツクラブなど以外）

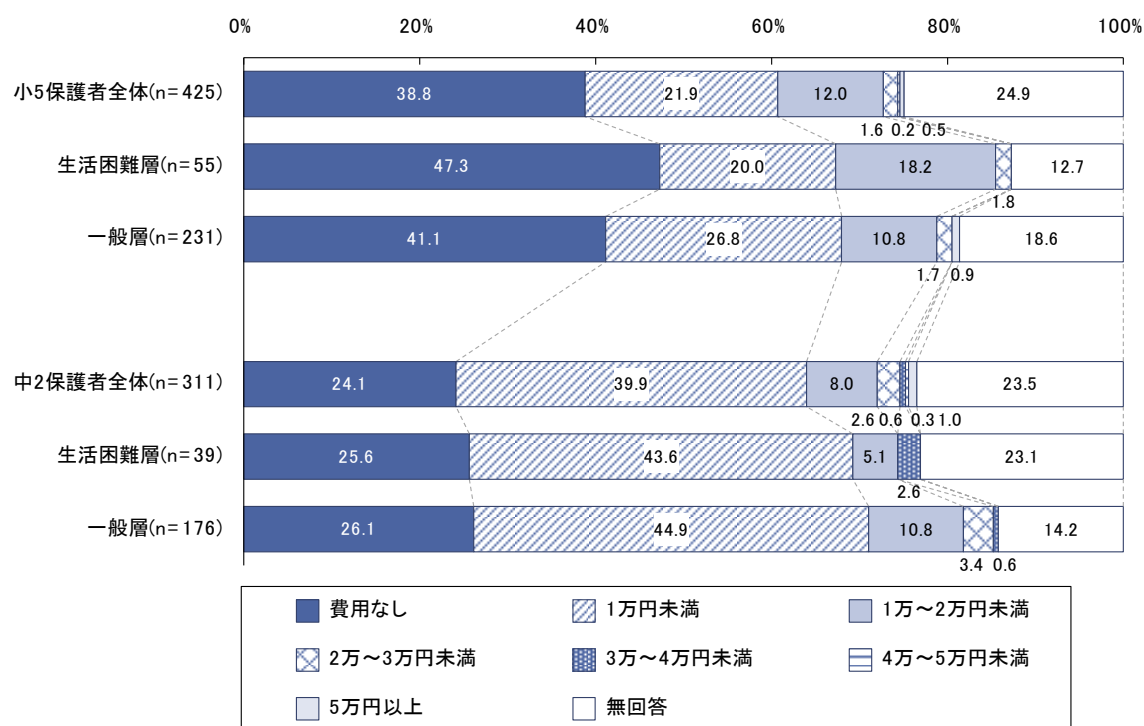


Dスポーツクラブ・部活

スポーツクラブ・部活について、「1万円未満」と回答した割合は、小学5年生の全体で21.9%、生活困難層で20.0%、一般層で26.8%、中学2年生では全体で39.9%、生活困難層で43.6%、一般層で44.9%となっており、小学5年生に比べ中学2年生で割合が高くなっています。

一般層に比べ小学5年生の生活困難層では「費用なし」、「1万～2万円未満」がやや高く、中学2年生の生活困難層では、「1万～2万円未満」がやや低くなっています。

問20 次のA～Hの費用は、毎月いくらかかっていますか／Dスポーツクラブ・部活

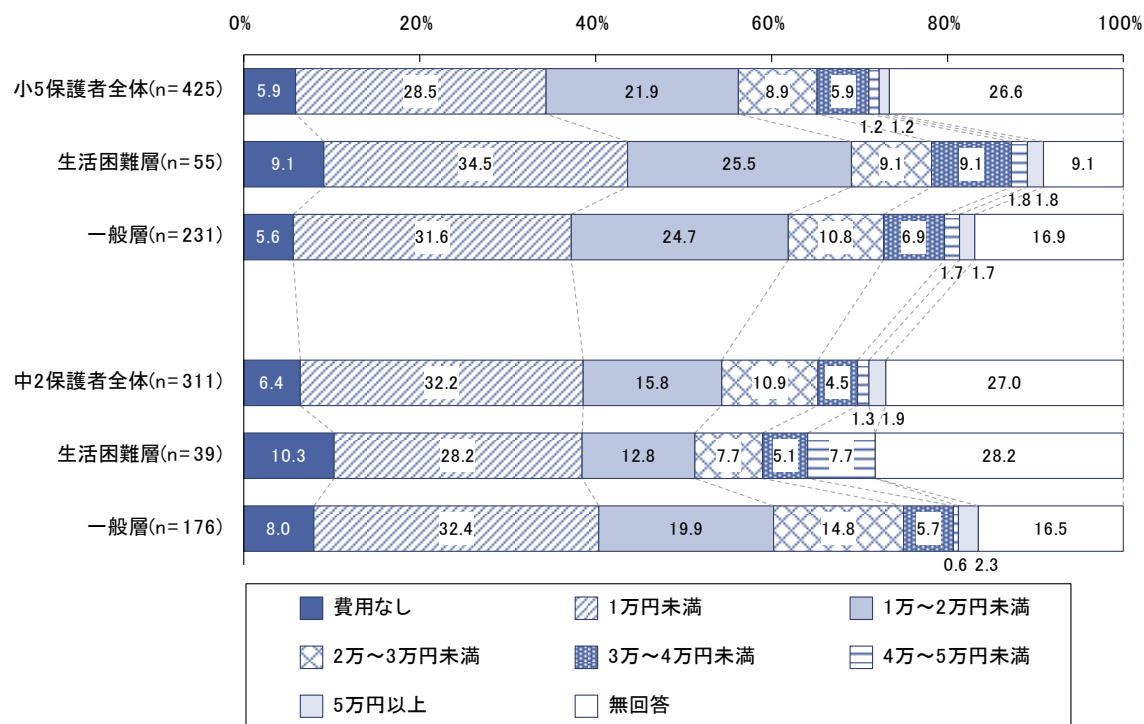


E子どもの昼食代、夕食代、おやつ代（外食含む）

子どもの昼食代、夕食代、おやつ代（外食含む）について、「1万円未満」と回答した割合は、小学5年生の全体で28.5%、生活困難層で34.5%、一般層で31.6%、中学2年生では全体で32.2%、生活困難層で28.2%、一般層で32.4%となっています。

一般層に比べ、小学5年生の生活困難層で費用をかけている（「1万円未満」から「5万円以上」の合計）割合がやや高く、反対に中学2年生の生活困難層では低くなっています。

問20 次のA～Hの費用は、毎月いくらかかっていますか／E子どもの昼食代、夕食代、おやつ代（外食含む）

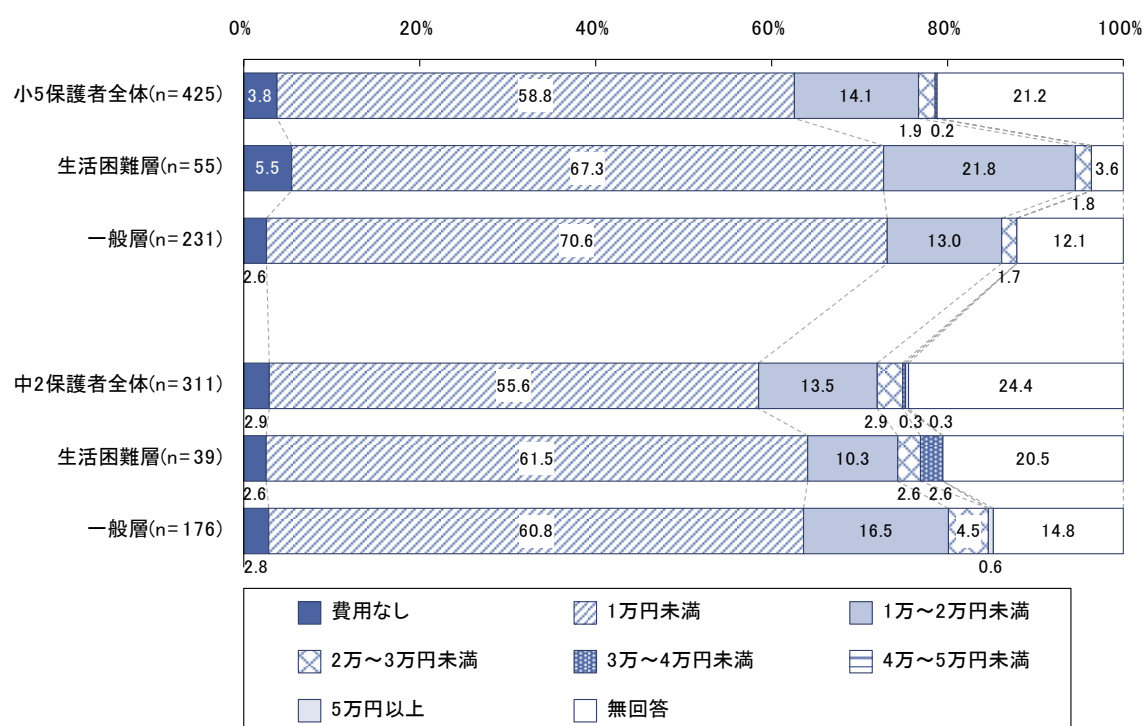


F子どもの服・靴

子どもの服・靴について、「1万円未満」と回答した割合は半数以上を占め、小学5年生の全体で58.8%、生活困難層で67.3%、一般層で70.6%、中学2年生では全体で55.6%、生活困難層で61.5%、一般層で60.8%となっています。

一般層に比べ「1万～2万円未満」と回答した割合が、小学5年生の生活困難層ではやや高く、中学2年生の生活困難層ではやや低くなっています。

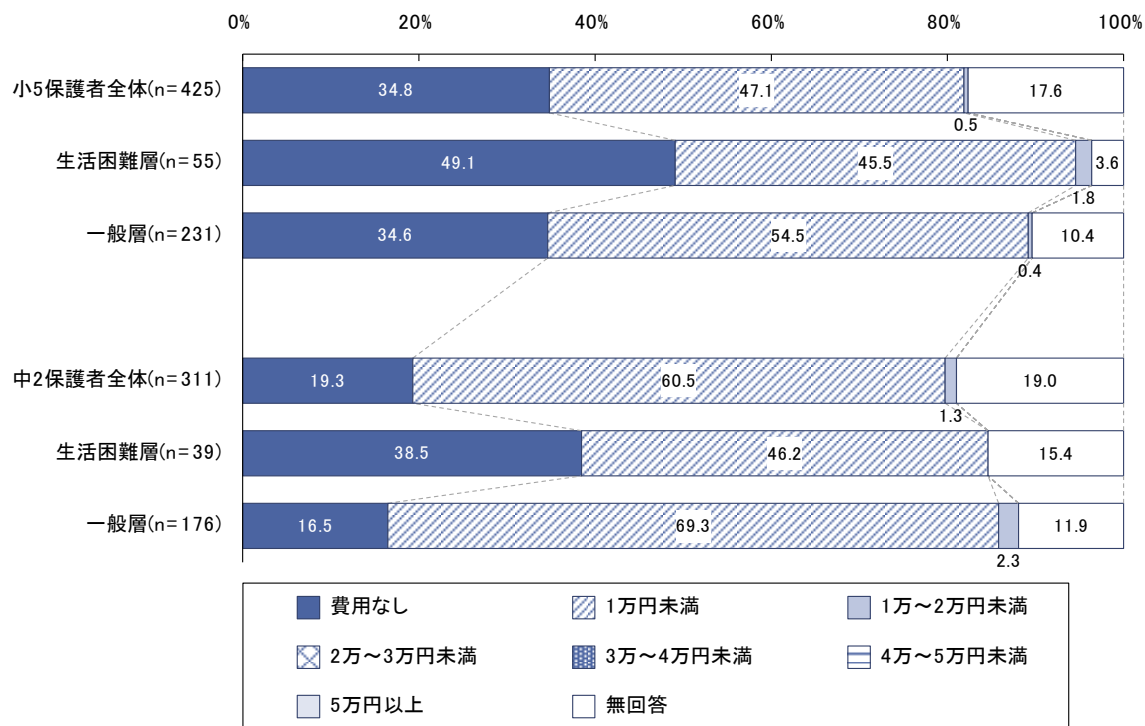
問20 次のA～Hの費用は、毎月いくらくらいかかっていますか／F子どもの服・靴



G お小遣い

お小遣いについて、「1万円未満」と回答した割合は、小学5年生の全体で47.1%、生活困難層で45.5%、一般層で54.5%、中学2年生では全体で60.5%、生活困難層で46.2%、一般層で69.3%となっています。一般層と比べ小学5年生、中学2年生とも、生活困難層で「費用なし」の割合が高くなっています。

問20 次のA～Hの費用は、毎月いくらかかっていますか／Gお小遣い

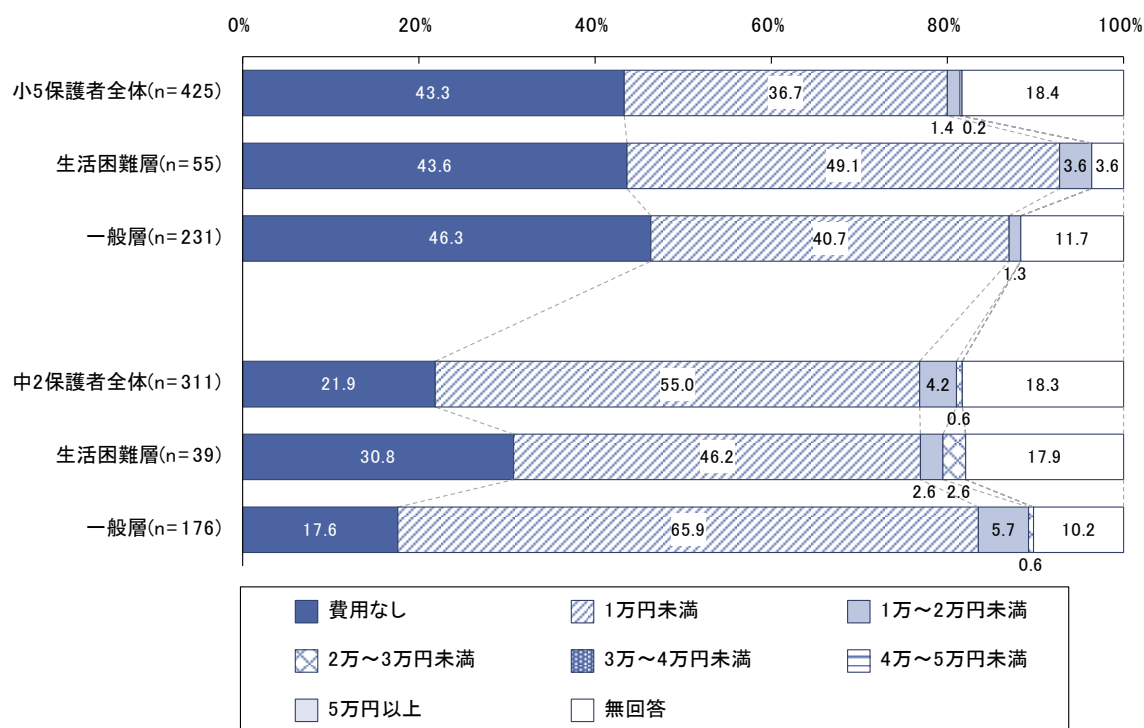


H（子どもの）携帯・スマートフォンの代金

（子どもの）携帯・スマートフォンの代金について、「1万円未満」と回答した割合は、小学5年生の全体で36.7%、生活困難層で49.1%、一般層で40.7%、中学2年生では全体で55.0%、生活困難層で46.2%、一般層で65.9%となっています。

一般層に比べ小学5年生の生活困難層で「1万円未満」の割合がやや高く、反対に中学2年生では「費用なし」の割合が高くなっています。また、小学5年生に比べ中学2年生で「費用なし」の割合が総じて低くなっています。

問20 次のA～Hの費用は、毎月いくらくらいかかっていますか／H(このお子さんの)携帯・スマートフォンの代金



第5章 子どもの学びと学校生活

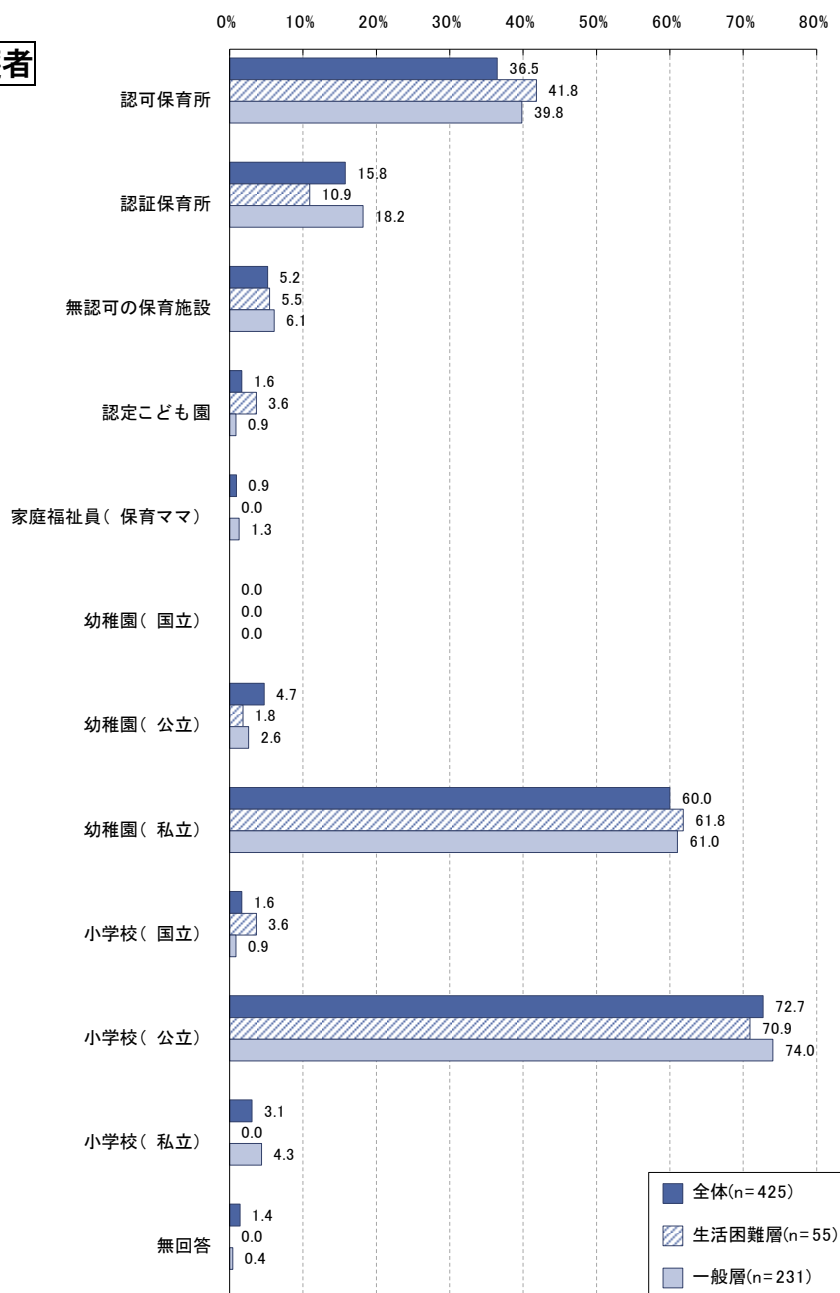
1 学校について

(1) 子どもがこれまでに通った保育・教育機関

これまでに通ったことのある保育・教育機関等について、小学5年生全体では「小学校（公立）」が72.7%、「幼稚園（私立）」が60.0%、「認可保育所」が36.5%となっており、生活困難層、一般層とも同様の傾向となっています。一般層と比べ生活困難層では「認証保育所」の割合が低く、「小学校（私立）」との回答はありませんでした。

問13 お子さんがこれまでに通ったことのある保育・教育機関等をすべてお答えください（複数回答）

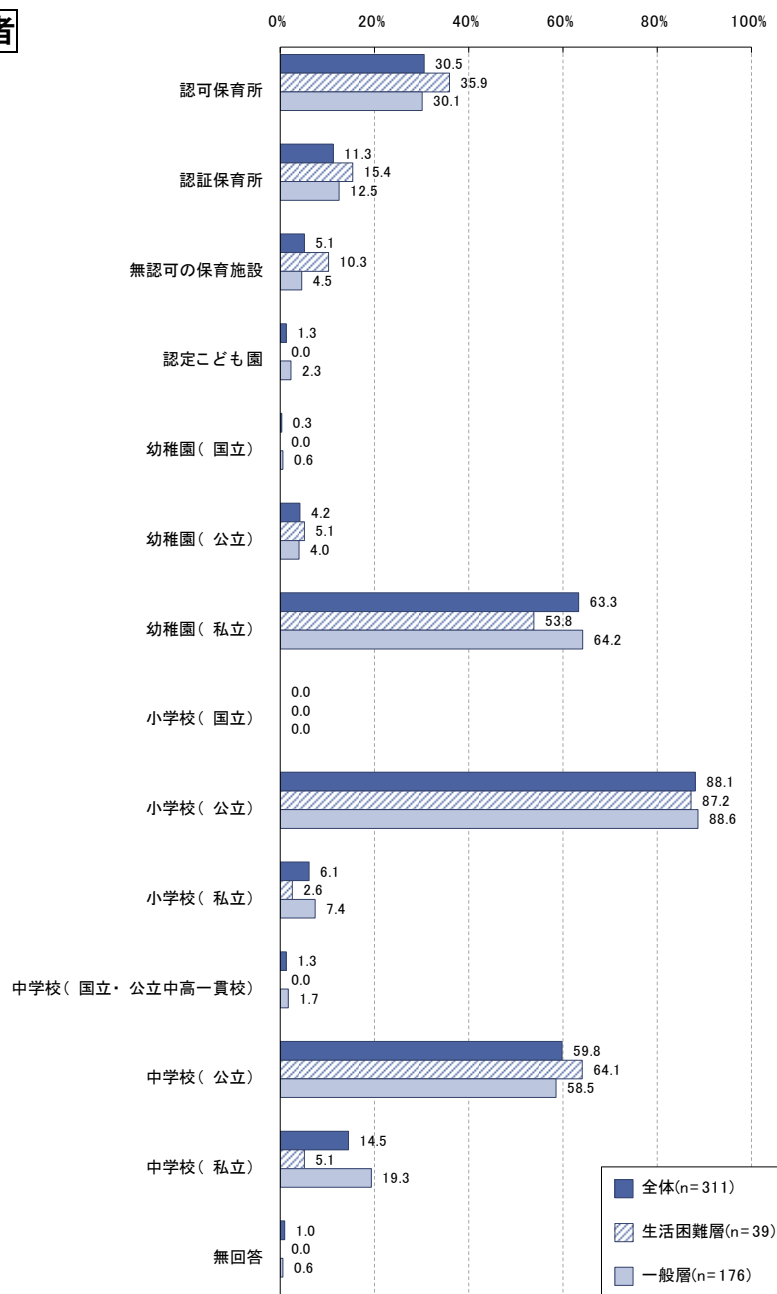
小5 保護者



これまでに通ったことのある保育・教育機関等について、中学2年生全体では、「小学校（公立）」が88.1%、「幼稚園（私立）」が63.3%、「中学校（公立）」が59.8%となっており、生活困難層、一般層も概ね同様の傾向となっています。一般層と比べ生活困難層では「認可保育所」「無認可の保育施設」の割合がやや高く、「幼稚園（私立）」、「中学校（私立）」の割合が低くなっています。

問13 お子さんがこれまでに通ったことのある保育・教育機関等をすべてお答えください（複数回答）

中2 保護者

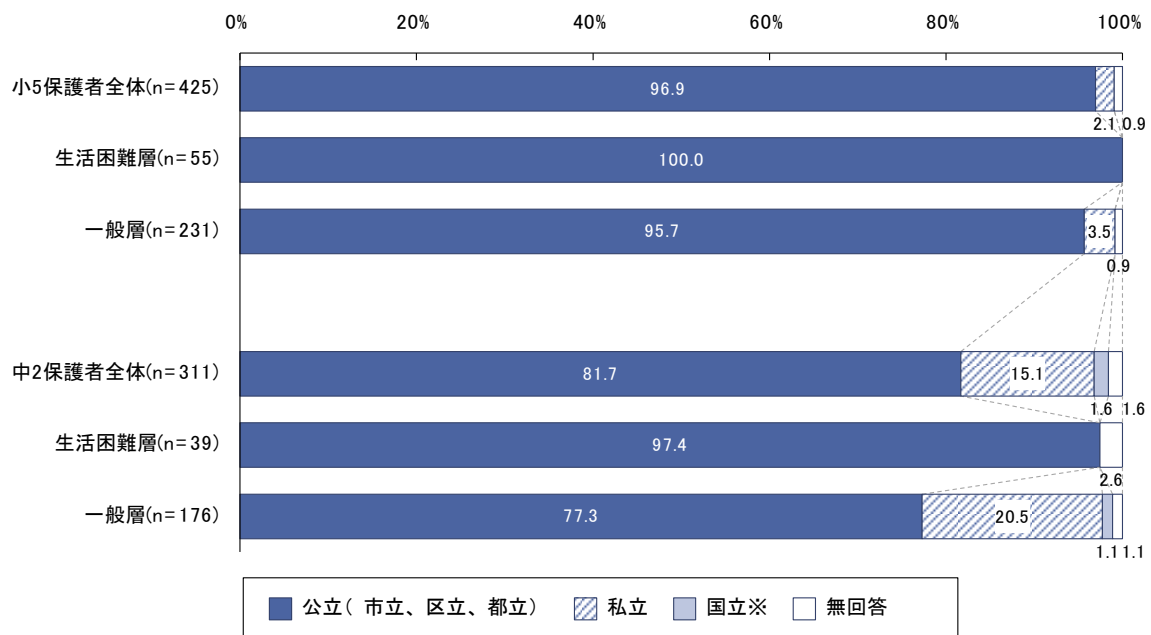


(2) 学校の種類

子どもが通っている学校の種類は、小学 5 年生ではいずれも「公立（市立、区立、都立）」が 95%を超え、生活困難度による大きな差はみられず、中学 2 年生でも同様に「公立（市立、区立、都立）」が多数を占めています。

しかし、中学 2 年生では、「私立」との回答が一般層で 20.5%であるのに対し、生活困難層では回答がありませんでした。

問1 お子さんの通っていらっしゃる学校の種類は、以下のどれになりますか



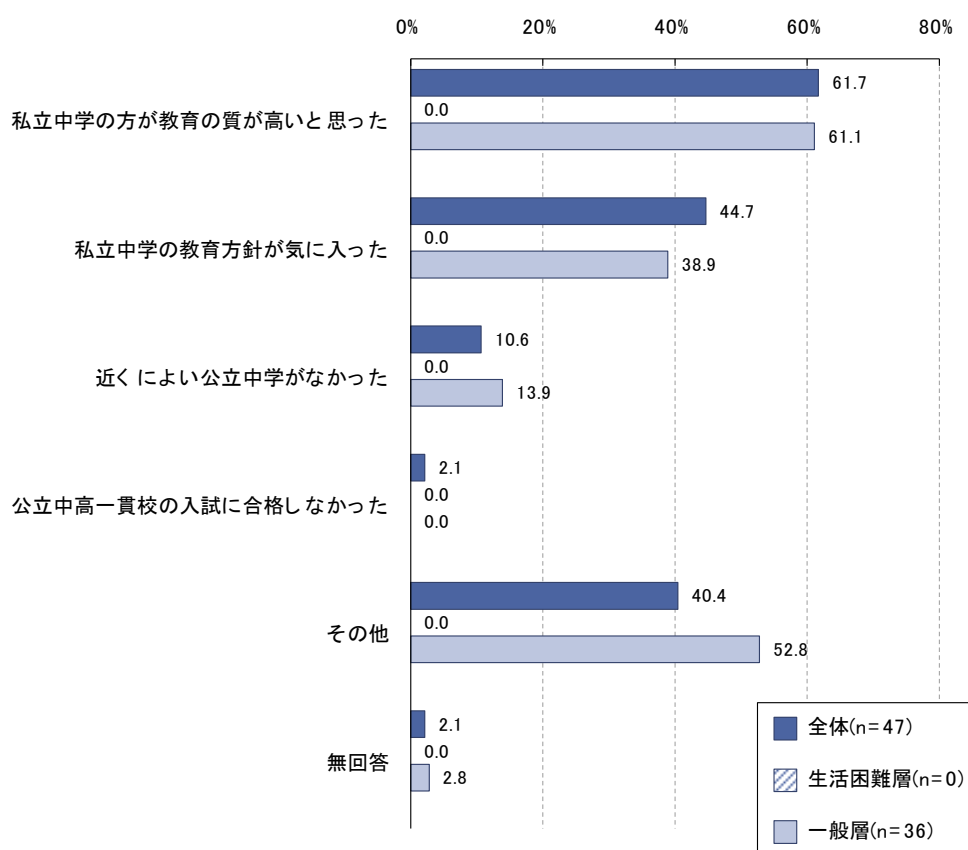
※中学生保護者票では「公立中高一貫校」を含む

（３）私立選択の理由

私立に進学した理由について、中学２年生全体では「私立中学の方が教育の質が高いと思った」が 61.7%、「私立中学の教育方針が気に入った」が 44.7%となっています。一般層でも概ね同様の傾向となっていますが、生活困難層では、私立に通学していないため対象者はいませんでした。

問１－１ 私立の中学校に進学したのは、なぜですか（複数回答）

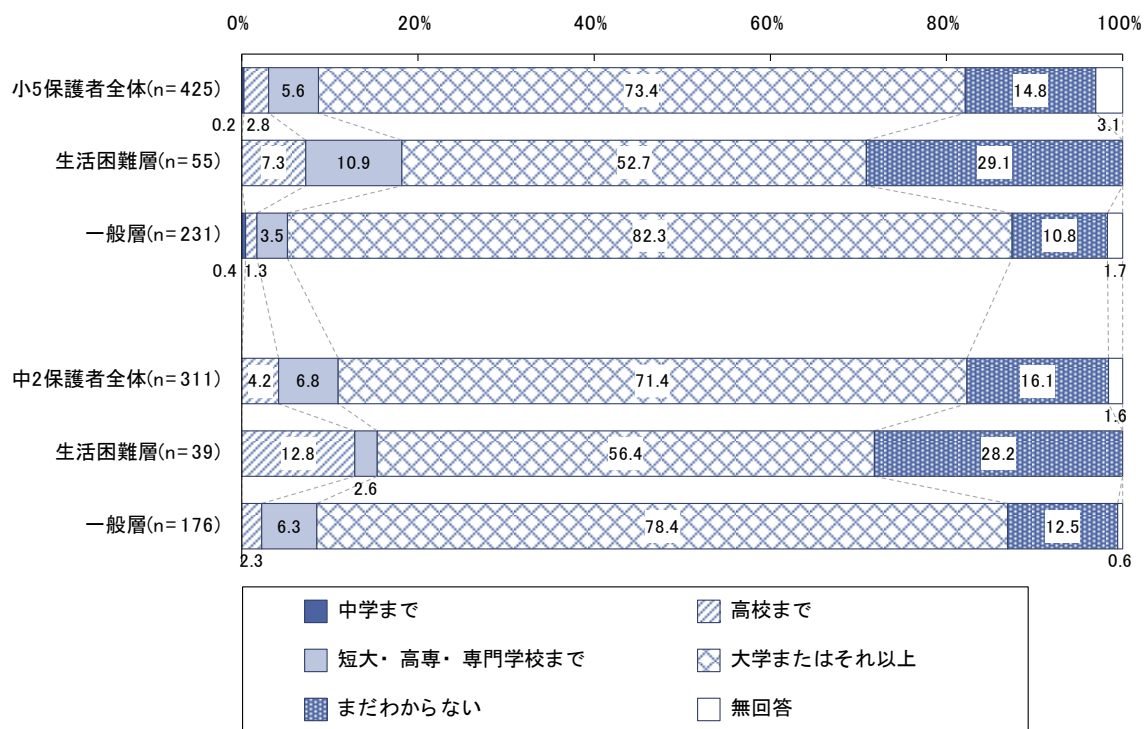
中２保護者



（４）子どもに受けさせたい教育レベル

子どもに受けさせたい教育の段階で「大学またはそれ以上」と回答した割合は、小学５年生の全体で 73.4%、生活困難層で 52.7%、一般層で 82.3%、中学２年生の全体で 71.4%、生活困難層で 56.4%、一般層で 78.4%となっています。また、「高校まで」との回答は生活困難層で高く、小学５年生で 7.3%、中学２年生で 12.8%となっています。

問14 お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか



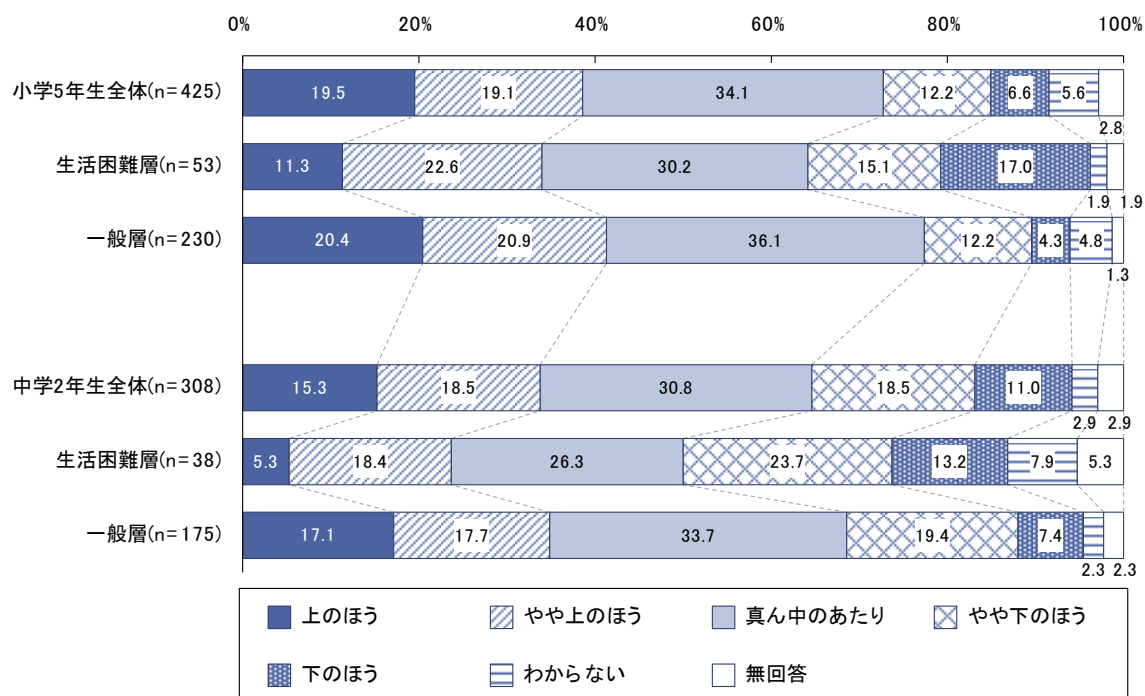
2 学校の成績

(1) 成績の主観的評価

クラスの中での成績評価について、「上のほう」と「やや上のほう」を合わせた“上位”の割合は、小学5年生の全体で38.6%、生活困難層で33.9%、一般層で41.3%と生活困難層で低くなっている一方、「やや下のほう」と「下のほう」を合わせた“下位”の割合は、全体で18.8%、生活困難層で32.1%、一般層で16.5%、と生活困難層で高くなっています。

中学2年生でも同様に“上位”の割合は、全体で33.8%、生活困難層で23.7%、一般層で34.8%と生活困難層で低くなっている一方、“下位”の割合は、全体で29.5%、生活困難層で36.9%、一般層で26.8%と生活困難層で高くなっています。

問27 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか



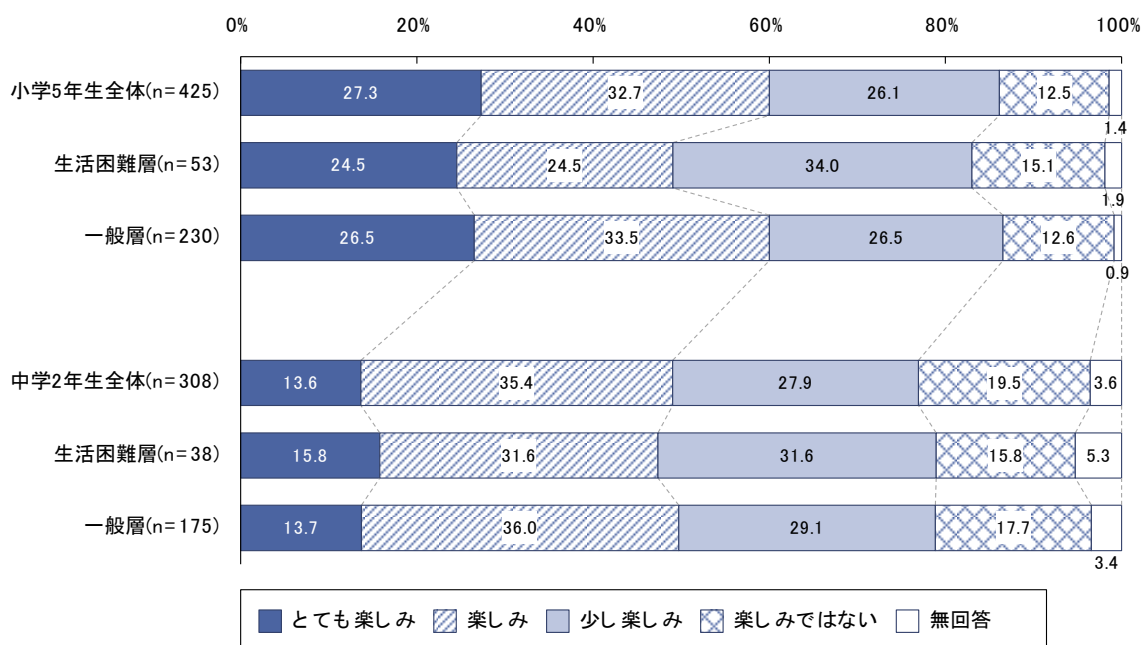
（２）学校生活の楽しみ

A学校の授業（保健体育・音楽・美術・技術・家庭科以外）

（保健体育・音楽・美術・技術・家庭科以外）の学校の授業を“楽しみ”（「とても楽しみ」、
「楽しみ」、「少し楽しみ」の合計）と回答した割合は、小学５年生の全体で 86.1%、生活困
難層で 83.0%、一般層で 86.5%、中学２年生では、全体で 76.9%、生活困難層で 79.0%、
一般層で 78.8%となっています。

小学５年生、中学２年生とも生活困難度による大きな差はみられません。

問24 次の項目について、「1 とても楽しみ」から「4 楽しみではない」のもっとも近いものに○をつ
けてください／A学校の授業（体育・音楽・図工・家庭科以外）

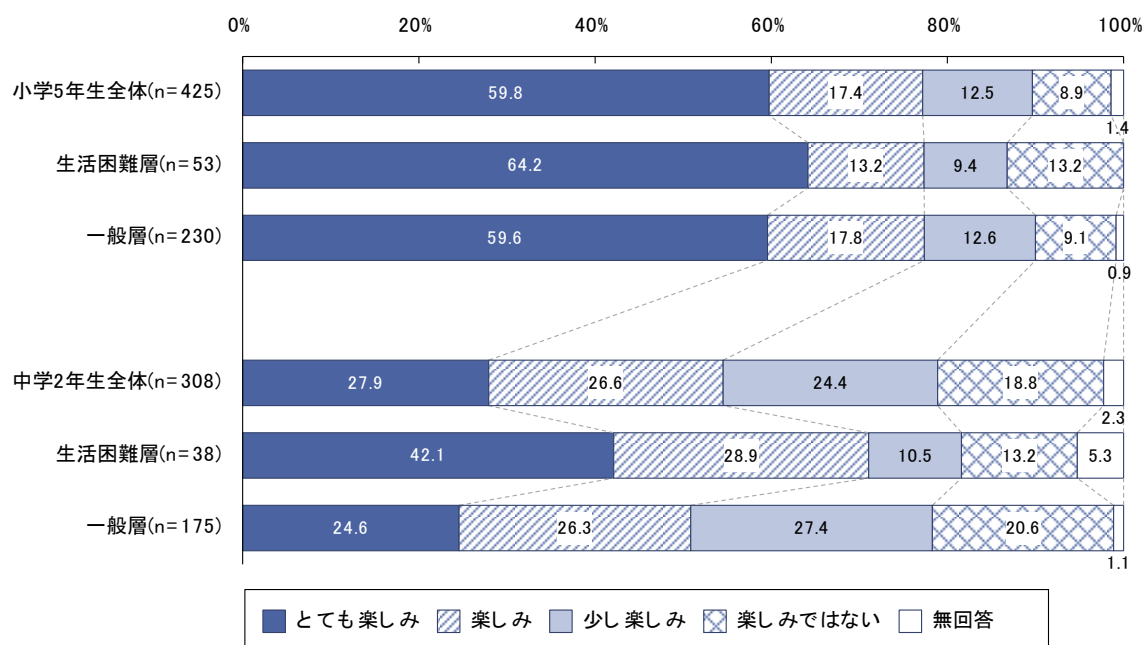


B 体育・保健体育

体育・保健体育を“楽しみ”（「とても楽しみ」、「楽しみ」、「少し楽しみ」の合計）と回答した割合は、小学 5 年生の全体で 89.7%、生活困難層で 86.8%、一般層で 90.0%、中学 2 年生では、全体で 78.9%、生活困難層で 81.5%、一般層で 78.3%となっています。

小学 5 年生、中学 2 年生とも“楽しみ”の割合は、生活困難度による大きな差はみられないものの、中学 2 年生の生活困難層では「とても楽しみ」の割合が一般層に比べ高くなっています。

問24 次の項目について、「1 とても楽しみ」から「4 楽しみではない」のもっとも近いものに○をつけてください／B体育・保健体育

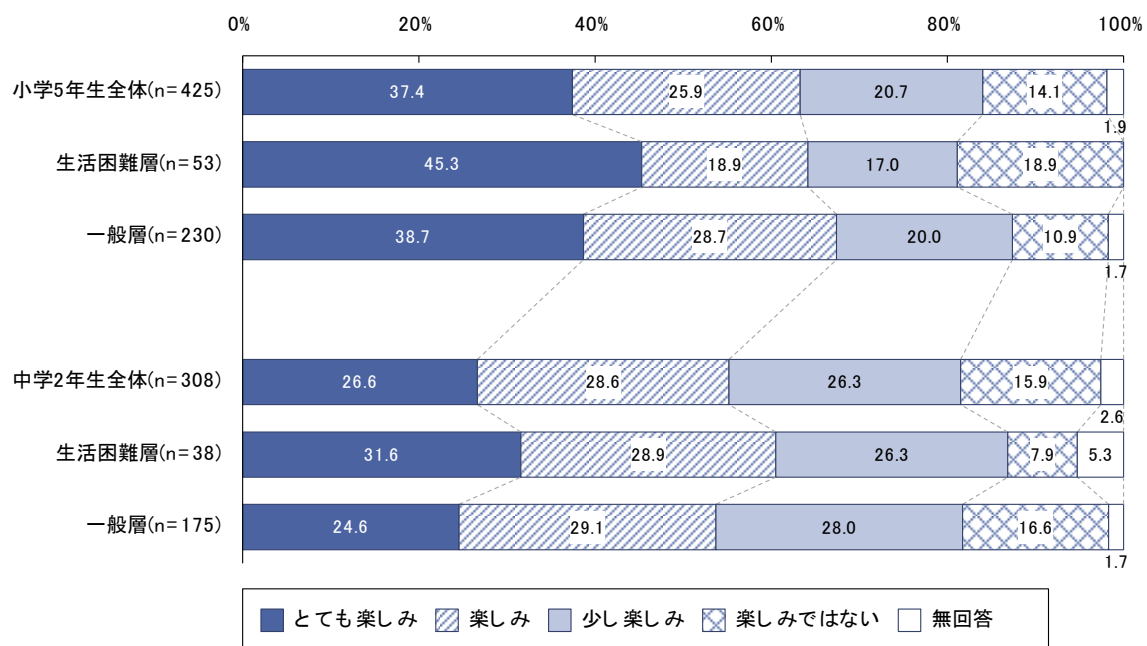


C 音楽

音楽を“楽しみ”（「とても楽しみ」、「楽しみ」、「少し楽しみ」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で84.0%、生活困難層で81.2%、一般層で87.4%、中学2年生では、全体で81.5%、生活困難層で86.8%、一般層で81.7%となっています。

一般層に比べ生活困難層の“楽しみ”の割合は、小学5年生では低く、中学2年生では高くなっています。

問24 次の項目について、「1 とても楽しみ」から「4 楽しみではない」のもっとも近いものに○をつけてください／C音楽

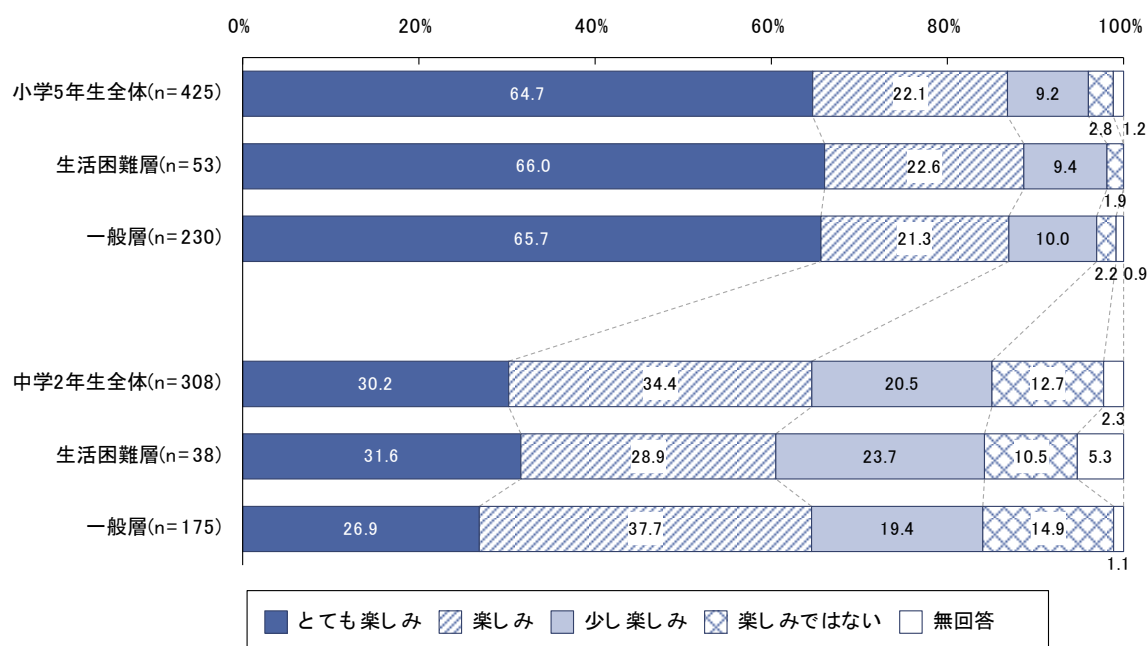


D図工・美術

図工・美術を“楽しみ”（「とても楽しみ」、「楽しみ」、「少し楽しみ」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で96.0%、生活困難層で98.0%、一般層で97.0%、中学2年生では、全体で85.1%、生活困難層で84.2%、一般層で84.0%となっています。

小学5年生、中学2年生とも生活困難度による差はみられません。

問24 次の項目について、「1 とても楽しみ」から「4 楽しみではない」のもっとも近いものに○をつけてください／D図工・美術

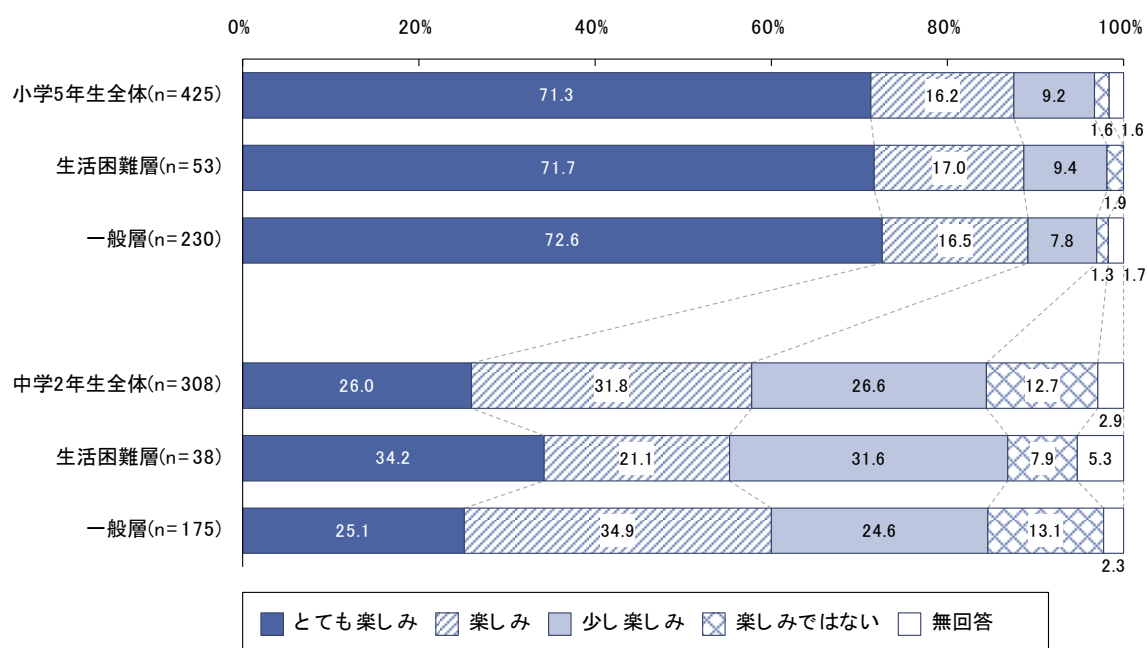


E 家庭科/技術・家庭科

家庭科/技術・家庭科を“楽しみ”（「とても楽しみ」、「楽しみ」、「少し楽しみ」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で96.7%、生活困難層で98.1%、一般層で96.9%、中学2年生では、全体で84.4%、生活困難層で86.9%、一般層で84.6%となっています。

小学5年生、中学2年生とも生活困難度による差はみられませんが、小学5年生に比べ中学2年生で“楽しみ”の割合が10ポイントほど低くなっています。

問24 次の項目について、「1 とても楽しみ」から「4 楽しみではない」のもっとも近いものに○をつけてください／E家庭科/技術・家庭科

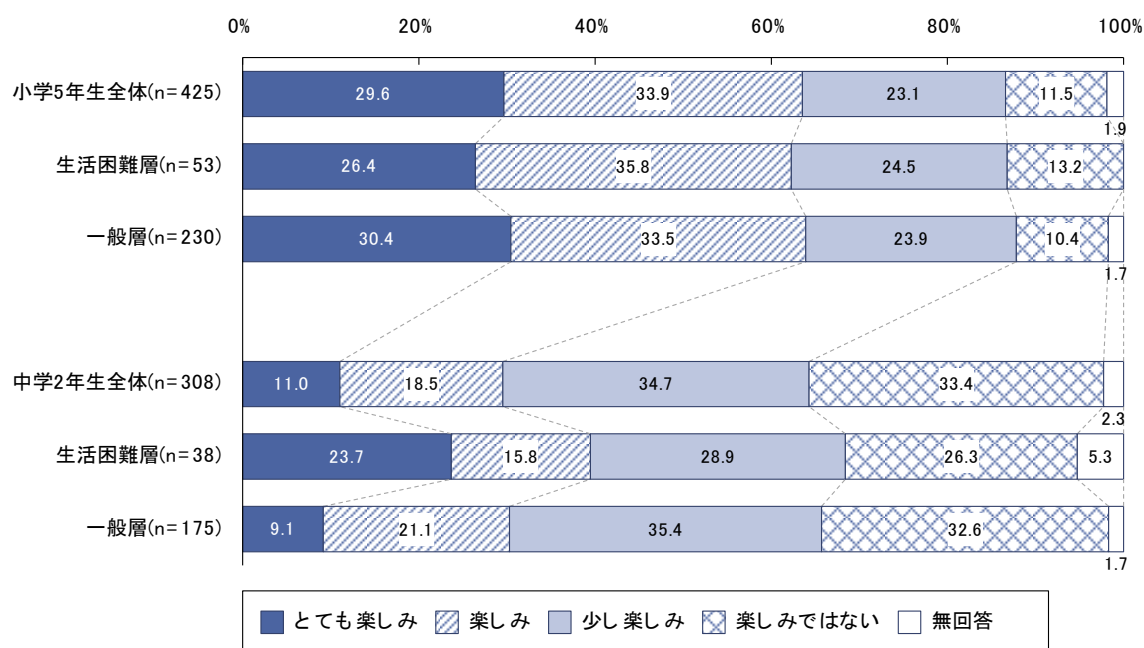


F 先生に会うこと

先生に会うことが“楽しみ”（「とても楽しみ」、「楽しみ」、「少し楽しみ」の合計）と回答した割合は、小学 5 年生の全体で 86.6%、生活困難層で 86.7%、一般層で 87.8%、中学 2 年生では、全体で 64.2%、生活困難層で 68.4%、一般層で 65.6%となっています。

小学 5 年生、中学 2 年生とも生活困難度による差はみられませんが、中学 2 年生では小学 5 年生に比べ“楽しみ”の割合が総じて低くなっています。

問24 次の項目について、「1 とても楽しみ」から「4 楽しみではない」のもっとも近いものに○をつけてください／F先生に会うこと

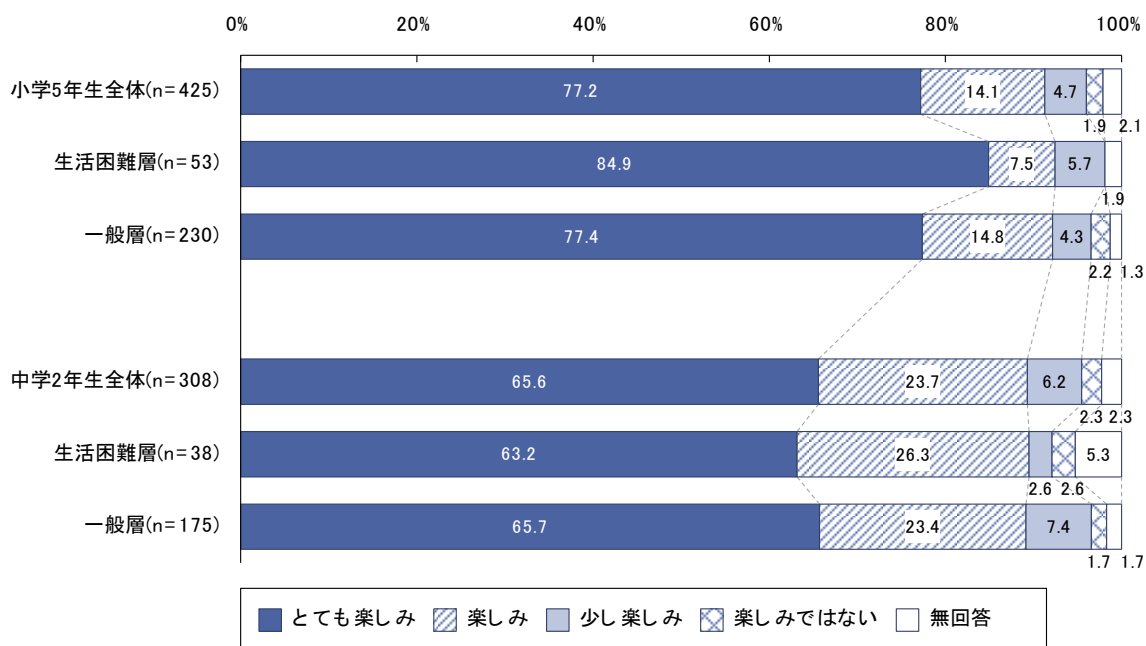


G学校の友だちに会うこと

学校の友だちに会うことが“楽しみ”（「とても楽しみ」、「楽しみ」、「少し楽しみ」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で96.0%、生活困難層で98.1%、一般層で96.5%、中学2年生では、全体で95.5%、生活困難層で92.1%、一般層で96.5%となっています。

小学5年生、中学2年生とも生活困難度による大きな差はみられません。

問24 次の項目について、「1 とても楽しみ」から「4 楽しみではない」のもっとも近いものに○をつけてください／G学校の友だちに会うこと

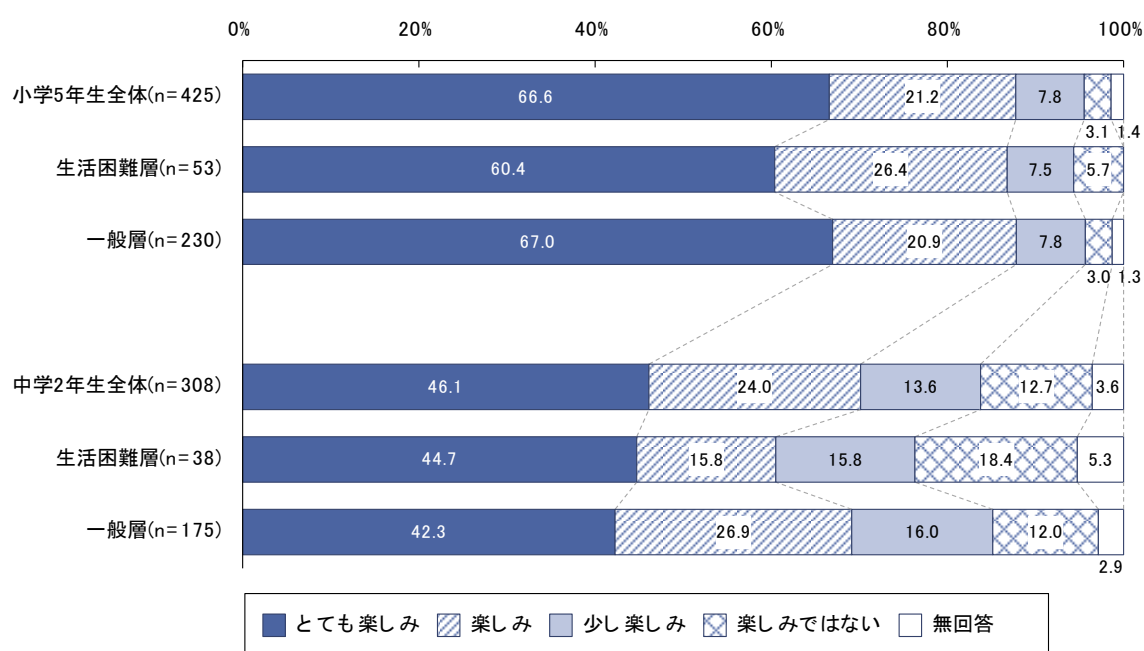


H学校のクラブ活動

学校のクラブ活動を“楽しみ”（「とても楽しみ」、「楽しみ」、「少し楽しみ」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で95.6%、生活困難層で94.3%、一般層で95.7%、中学2年生の全体で83.7%、生活困難層で76.3%、一般層で85.2%となっています。

小学5年生は生活困難度による差はみられませんが、中学2年生では一般層に比べ生活困難層で“楽しみ”の割合が、やや低くなっています。

問24 次の項目について、「1 とても楽しみ」から「4 楽しみではない」のもっとも近いものに○をつけてください／H学校のクラブ活動

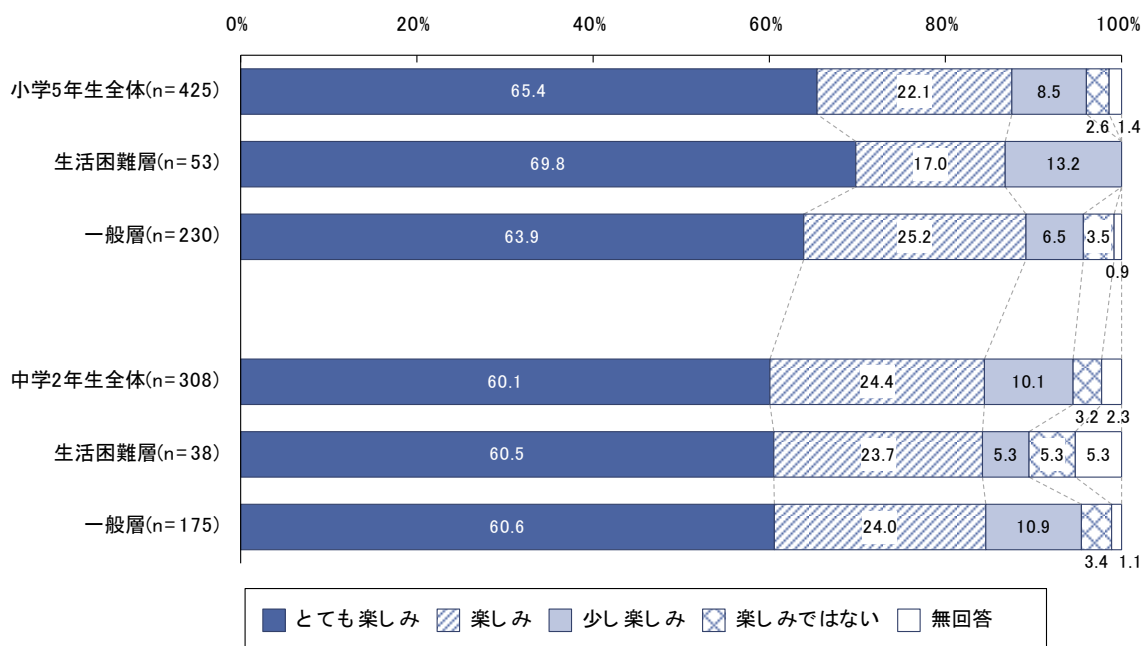


I 学校の休み時間

学校の休み時間を“楽しみ”（「とても楽しみ」、「楽しみ」、「少し楽しみ」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で96.0%、生活困難層で100%、一般層で95.6%、中学2年生の全体で94.6%、生活困難層で89.5%、一般層で95.5%となっています。

小学5年生では生活困難度による大きな差はみられませんが、中学2年生では、一般層に比べ生活困難層で“楽しみ”の割合が、やや低くなっています。

問24 次の項目について、「1 とても楽しみ」から「4 楽しみではない」のもっとも近いものに○をつけてください／I学校の休み時間

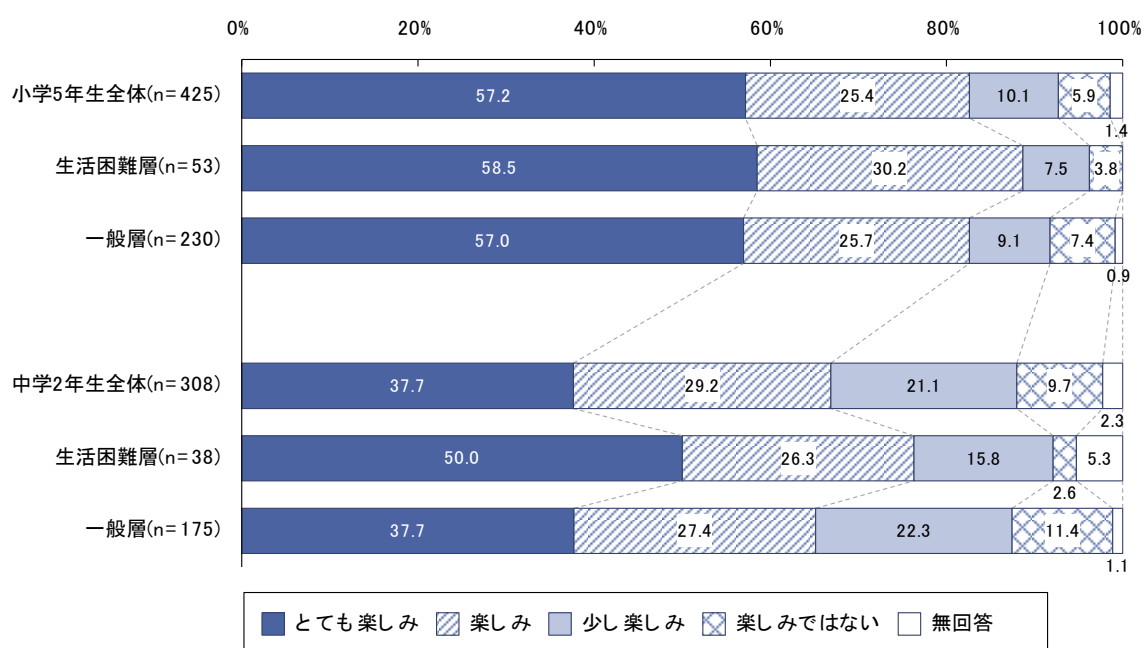


J学校の給食（お弁当など）

学校生活で学校の給食（お弁当など）を“楽しみ”（「とても楽しみ」、「楽しみ」、「少し楽しみ」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で92.7%、生活困難層で96.2%、一般層で91.8%、中学2年生の全体で88.0%、生活困難層で92.1%、一般層で87.4%となっています。

小学5年生、中学2年生とも生活困難度による大きな差はみられませんが、中学2年生の生活困難層で「とても楽しみ」の割合がやや高くなっています。

問24 次の項目について、「1 とても楽しみ」から「4 楽しみではない」のもっとも近いものに○をつけてください／J学校の給食（お弁当など）

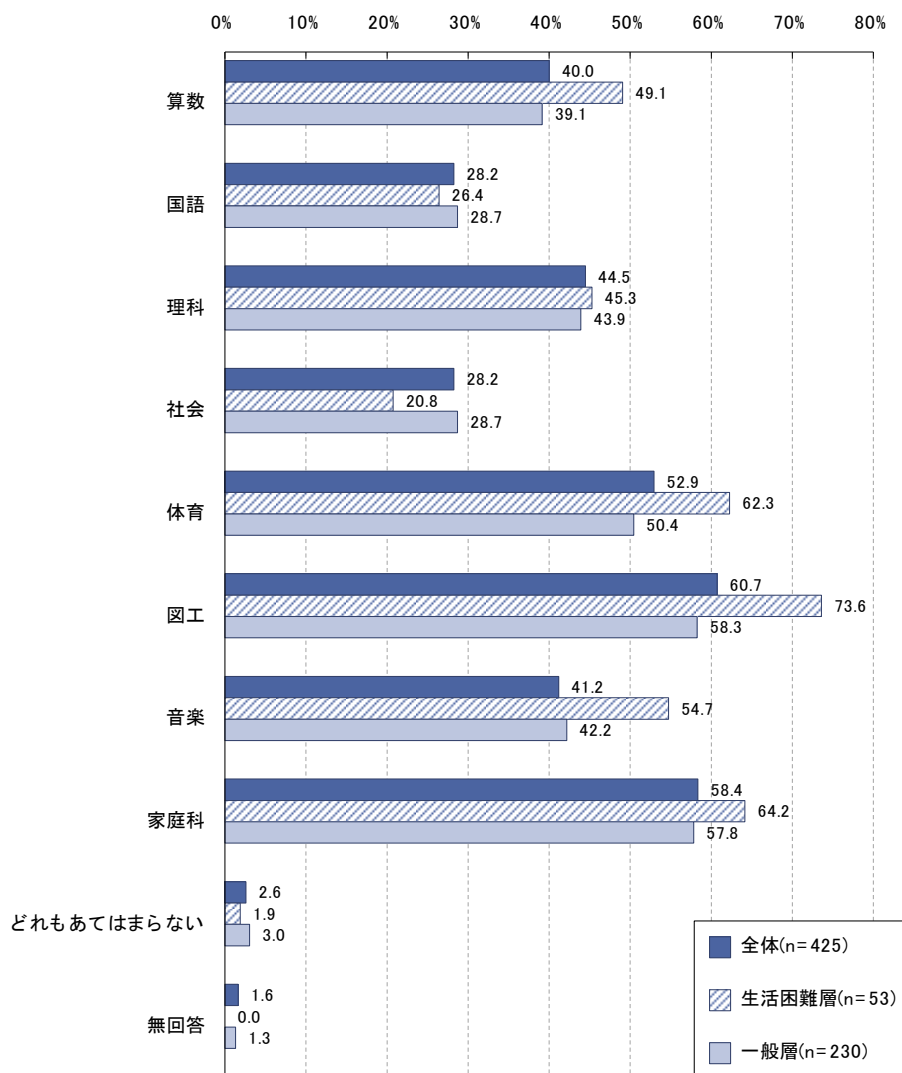


(3) 得意教科

小学5年生の得意教科は、全体で「図工」が60.7%で最も多く、次いで「家庭科」が58.4%、「体育」が52.9%となっています。生活困難度別でも同様の傾向となっていますが、一般層に比べ生活困難層で6～15ポイントほど高くなっています。

問28 あなたの得意な教科は、どれですか(複数回答)

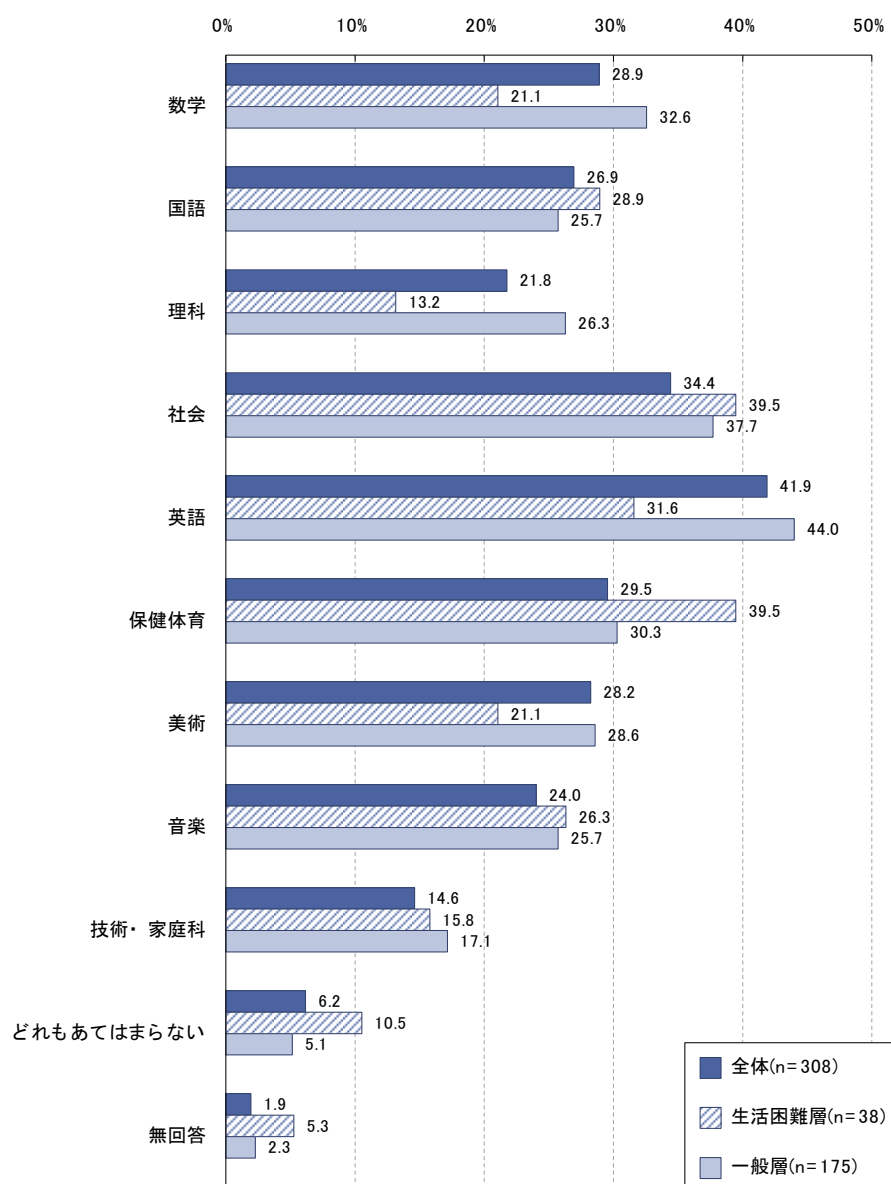
小学5年生



中学2年生の得意教科は、全体で「英語」が41.9%で最も多く、次いで「社会」が34.4%、「保健体育」が29.5%となっています。生活困難層では「社会」及び「保健体育」が同率の39.5%で最も多く、次いで「英語」が31.6%、一般層では「英語」が44.0%で最も多く、次いで「社会」が37.7%、「数学」が32.6%となっています。

問28 あなたの得意な教科は、どれですか(複数回答)

中学2年生



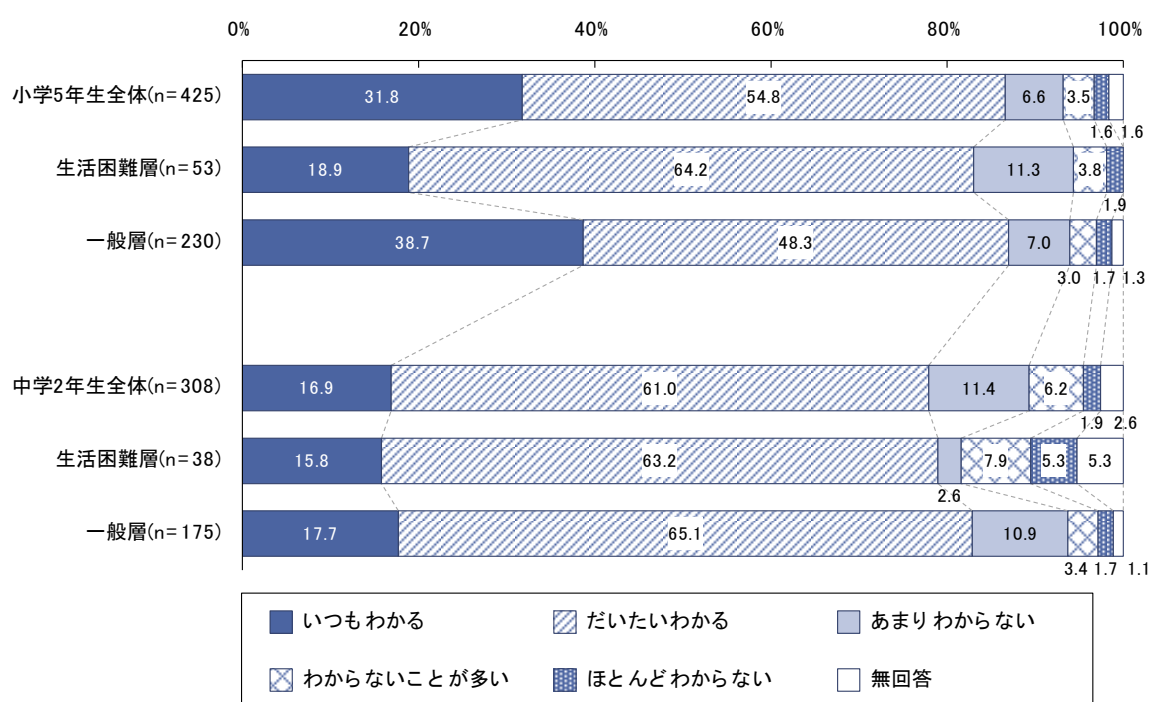
3 授業の理解や学習の状況

(1) 授業の理解度

学校の授業が“わからない”（「わからないことが多い」「ほとんどわからない」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で 5.1%、生活困難層で 5.7%、一般層で 4.7%、中学2年生の全体で 8.1%、生活困難層で 13.2%、一般層で 5.1%となっています。

小学5年生は生活困難度による差はみられませんが、中学2年生では、一般層に比べ生活困難層で約 2.5 倍高くなっています。

問25 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか



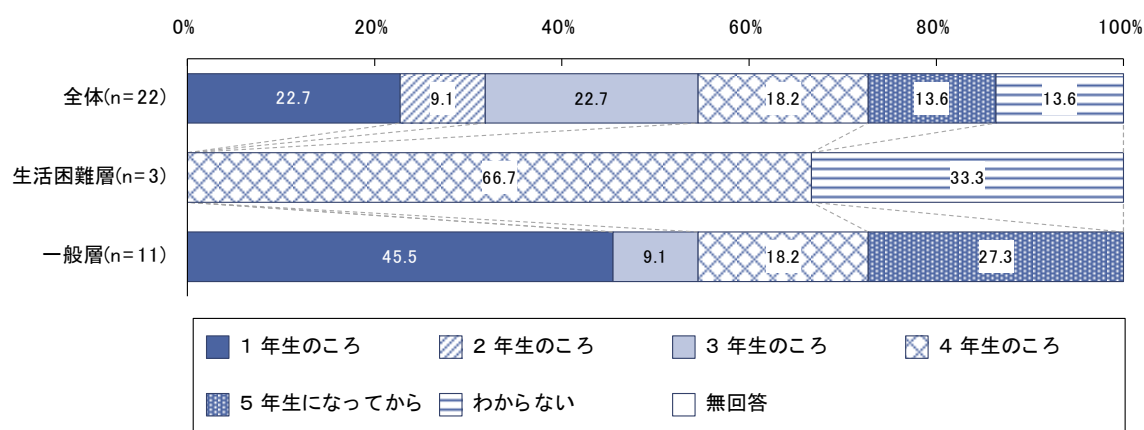
（２）授業がわからなくなった時期

授業が“わからない”と回答した人のわからなくなった時期は、小学 5 年生全体の 54.5%、一般層の 54.6%は「3 年生のころ」までにわからなくなったと回答しており、生活困難層は「4 年生のころ」が 66.7%となっています。

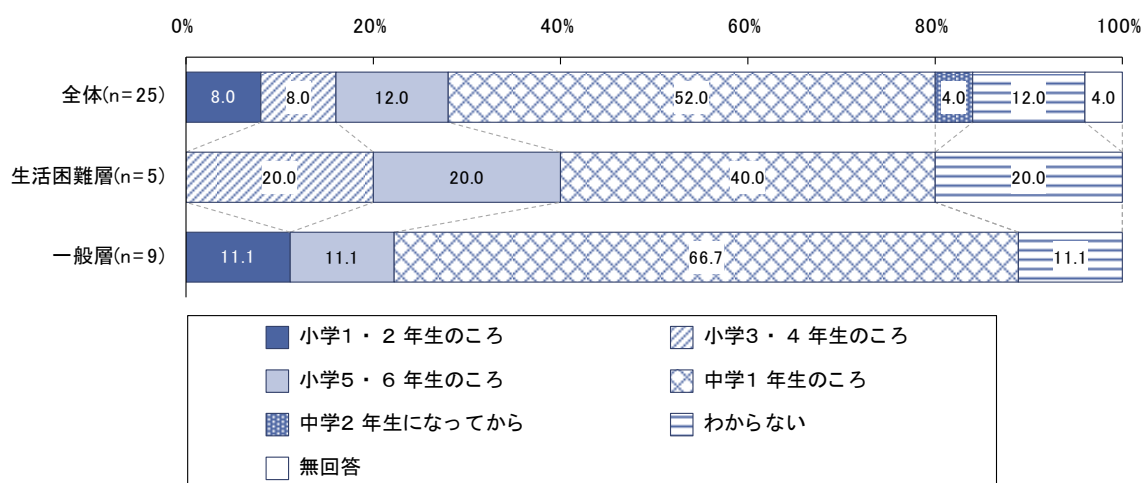
中学 2 年生では全体の 28.0%、生活困難層の 40.0%、一般層の 22.2%が「小学 5・6 年生のころ」までにわからなくなったと回答しています。

問25－1 いっごろから、授業がわからなくなりましたか

小学 5 年生



中学 2 年生



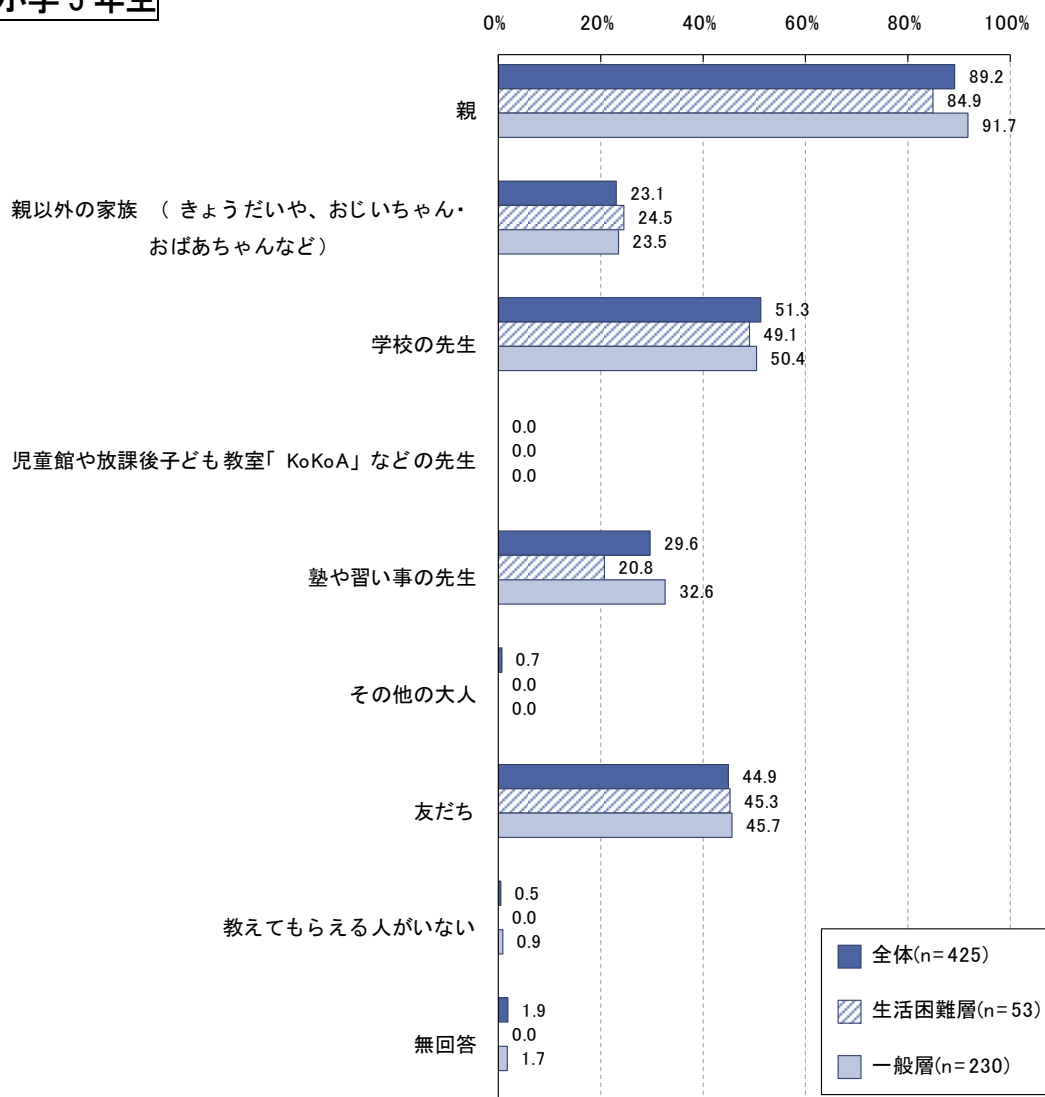
4 学校外での学習・勉強の状況

(1) 勉強を教えてくれる人

小学5年生が勉強を教えてもらう人は、全体で「親」が89.2%で最も多く、次いで「学校の先生」が51.3%、「友だち」が44.9%となっています。生活困難度別でも同様の傾向となっていますが、「塾や習い事の先生」と回答した割合は一般層の32.6%に比べ生活困難層では20.8%と10ポイントほど低くなっています。

問26 勉強がわからないときは、だれに教えてもらいますか(複数回答)

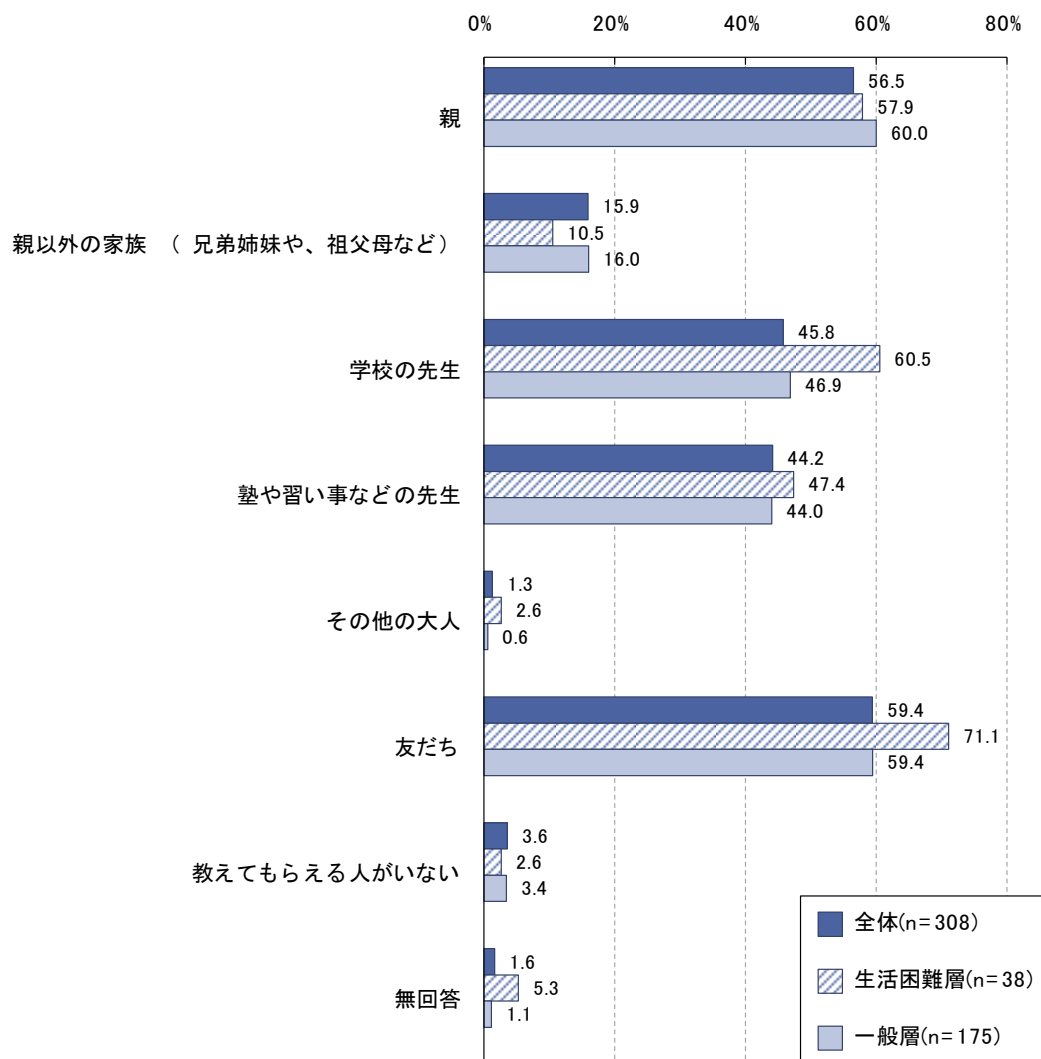
小学5年生



中学2年生が勉強を教えてもらう人は、全体で「友だち」が59.4%で最も多く、次いで「親」が56.5%、「学校の先生」が45.8%となっています。生活困難層でも同様の傾向となっていますが、生活困難層では一般層と比べ、「学校の先生」と「友だち」の割合が12ポイントほど高くなっています。

問26 勉強がわからないときは、だれに教えてもらいますか(複数回答)

中学2年生

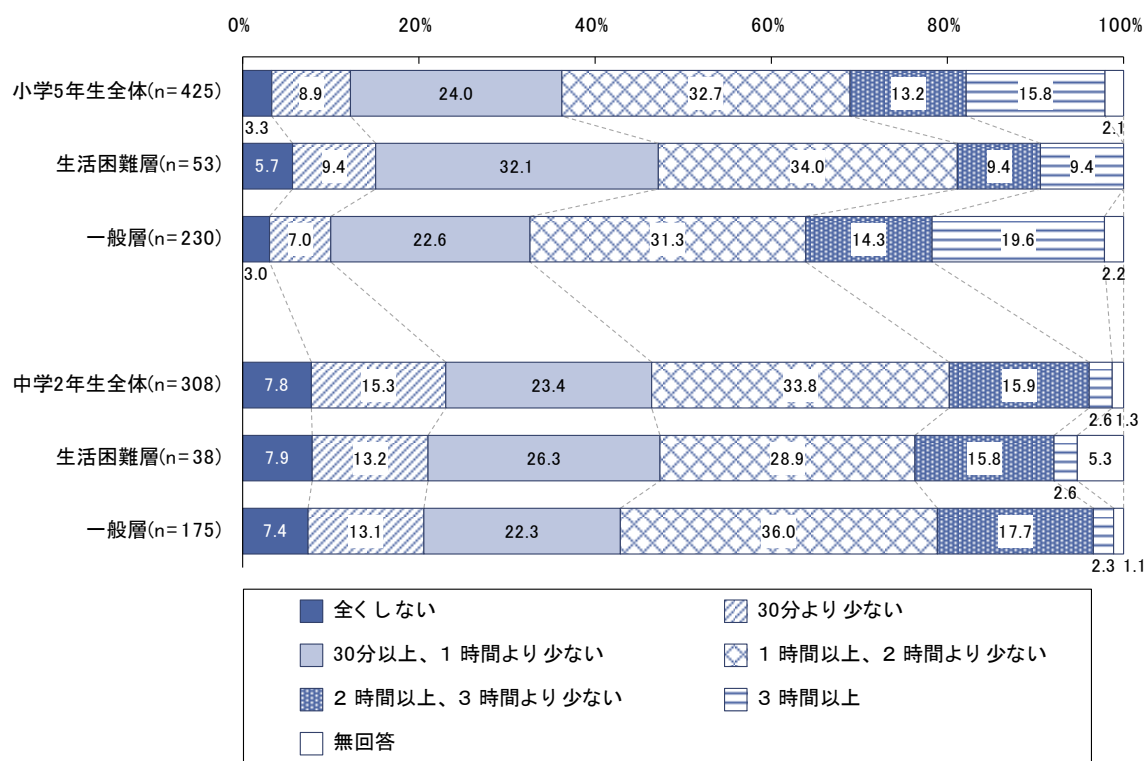


（２）学校の授業以外での勉強時間

平日の勉強時間について、“30 分未満”（「全くしない」と「30 分より少ない」の合計）と回答した割合は、小学 5 年生の全体で 12.2%、生活困難層で 15.1%、一般層で 10.0%、中学 2 年生の全体で 23.1%、生活困難層で 21.1%、一般層で 20.5%となっています。

小学 5 年生は一般層に比べ生活困難層でやや高く、中学 2 年生では生活困難度による差はみられません。

問29 あなたは、ふだん(月～金曜日)学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか

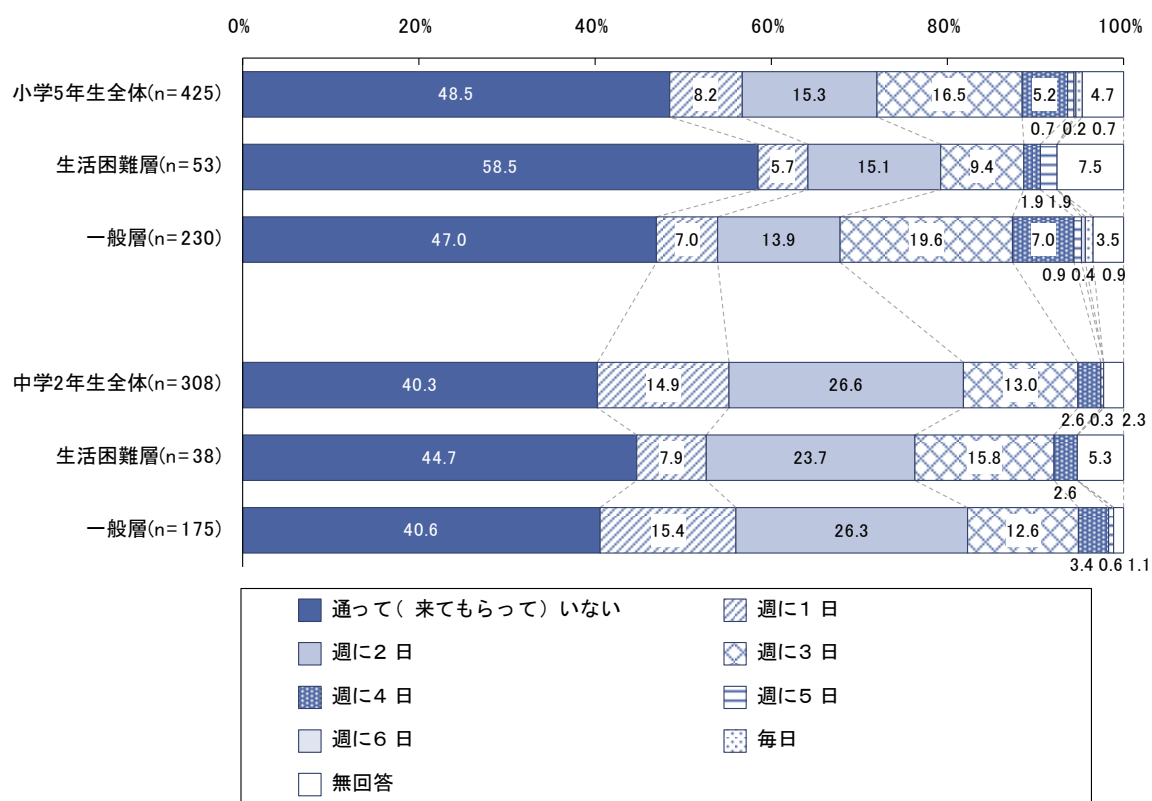


(3) 学習塾・家庭教師の頻度

学習塾に通う・家庭教師に来てもらう頻度について、「通って（来てもらって）いない」と回答した割合は、小学5年生の全体で48.5%、生活困難層で58.5%、一般層で47.0%、中学2年生の全体で40.3%、生活困難層で44.7%、一般層で40.6%となっています。

一般層に比べ、小学5年生の生活困難層で10ポイントほど高く、中学2年生の生活困難層では若干高くなっています。

問30 あなたは、学習塾に通ったり、家庭教師に来てもらっていますか

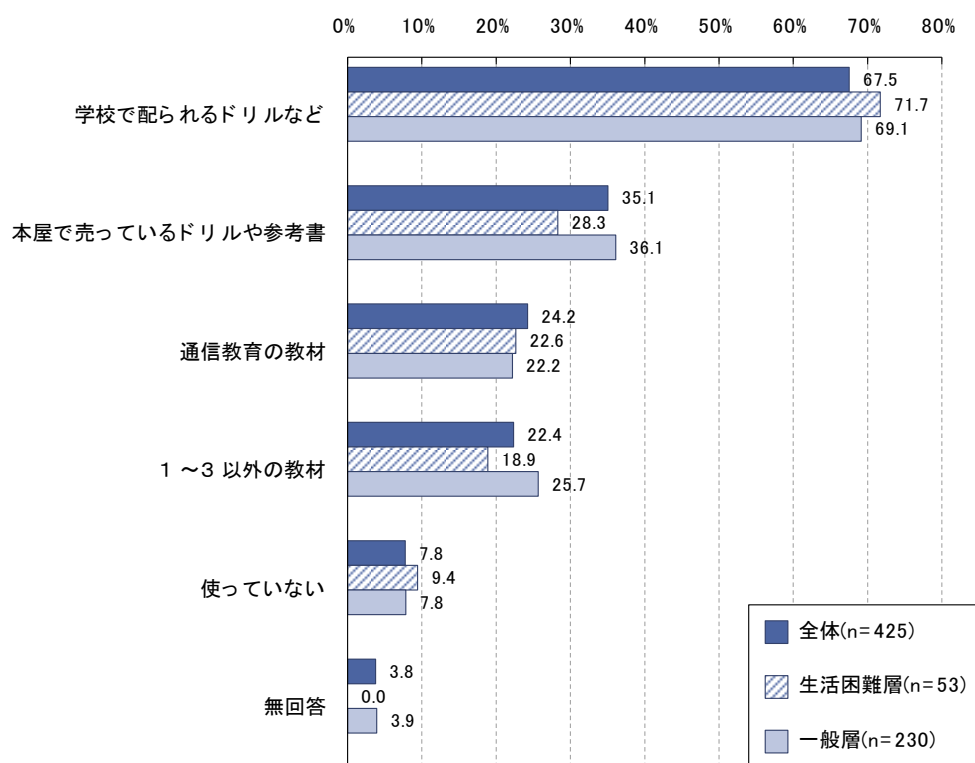


(4) 自宅での教材使用状況

自宅で使用している教材について、小学5年生の全体では、「学校で配られるドリルなど」が67.5%で最も多く、次いで「本屋で売っているドリルや参考書」が35.1%、「通信教育の教材」が24.2%となっています。生活困難層、一般層でも同様の傾向となっていますが、生活困難層では「本屋で売っているドリルや参考書」の割合がやや低くなっています。

問31 あなたは、自宅で以下の教材を使っていますか(複数回答)

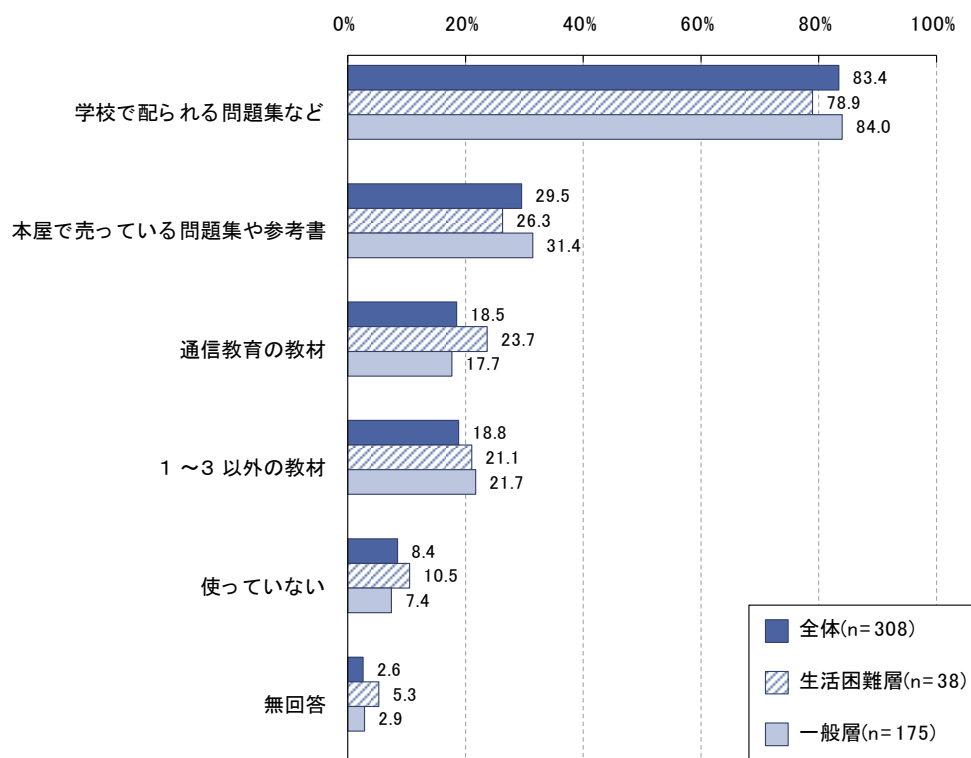
小学5年生



自宅で使用している教材について、中学2年生の全体では「学校で配られる問題集など」が83.4%で最も多く、次いで「本屋で売っている問題集や参考書」が29.5%、「(学校配付や市販の問題集等、通信教材)以外の教材」が18.8%となっています。生活困難層、一般層でも同様の傾向となっています。

問31 あなたは、自宅で以下の教材を使っていますか(複数回答)

中学2年生

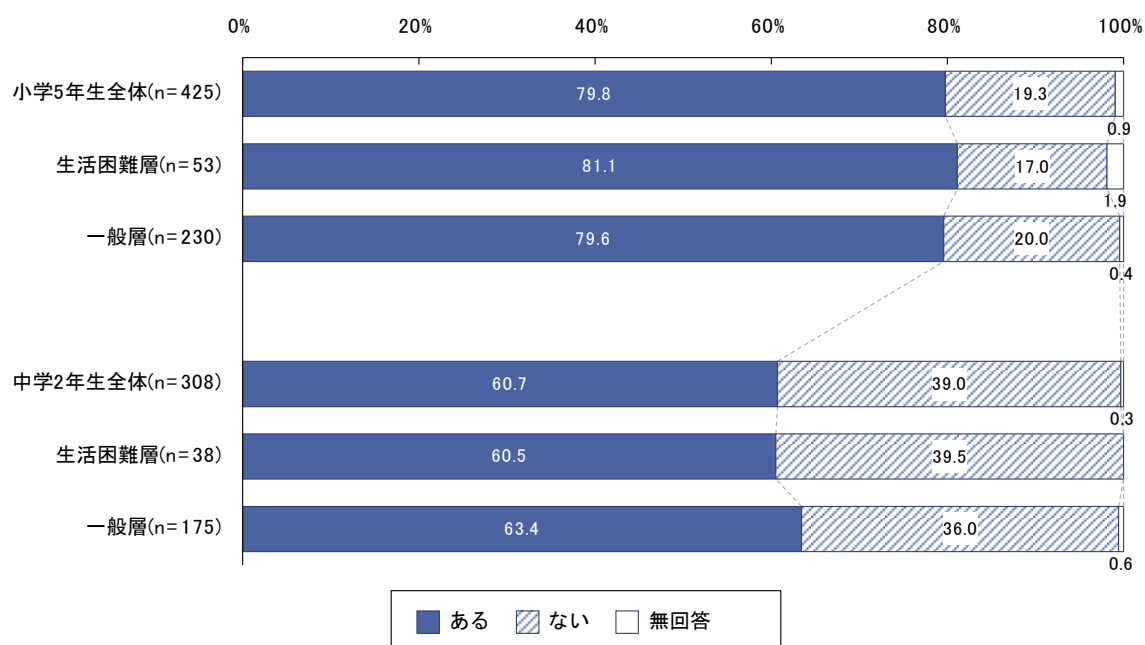


5 将来の夢

(1) 夢の有無

将来の夢について、「ある」と回答した割合は、小学 5 年生の全体で 79.8%、生活困難層で 81.1%、一般層で 79.6%、中学 2 年生では、全体で 60.7%、生活困難層で 60.5%、一般層で 63.4%となっています。小学 5 年生、中学 2 年生とも生活困難度による差はみられませんが、中学 2 年生では小学 5 年生に比べ総じて低くなっています。

問5 あなたは、将来の夢がありますか



(2) 将来の夢

将来の夢があると回答した人の夢や職業の内容は、小学5年生、中学2年生とも男子は「スポーツ選手(サッカー・野球等)」、女子は「医療関係(医師・看護師・助産師)」が、最も多くなっています。

問5-1 その夢は何ですか

【学年別、男女別夢や職業の回答上位5つ】

▼小学5年生

男 子		女 子	
スポーツ選手(サッカー・野球等)	55	医療関係(医師・看護師・助産師)	21
ゲームクリエイター	8	芸能関係(歌手・女優等)	20
ユーチューバー	8	教師	17
建築関係	8	動物関係(獣医・トリマー・飼育員等)	17
料理人・コック	7	保育士・幼稚園の先生	16

上位5つ 数字は回答数

▼中学2年生

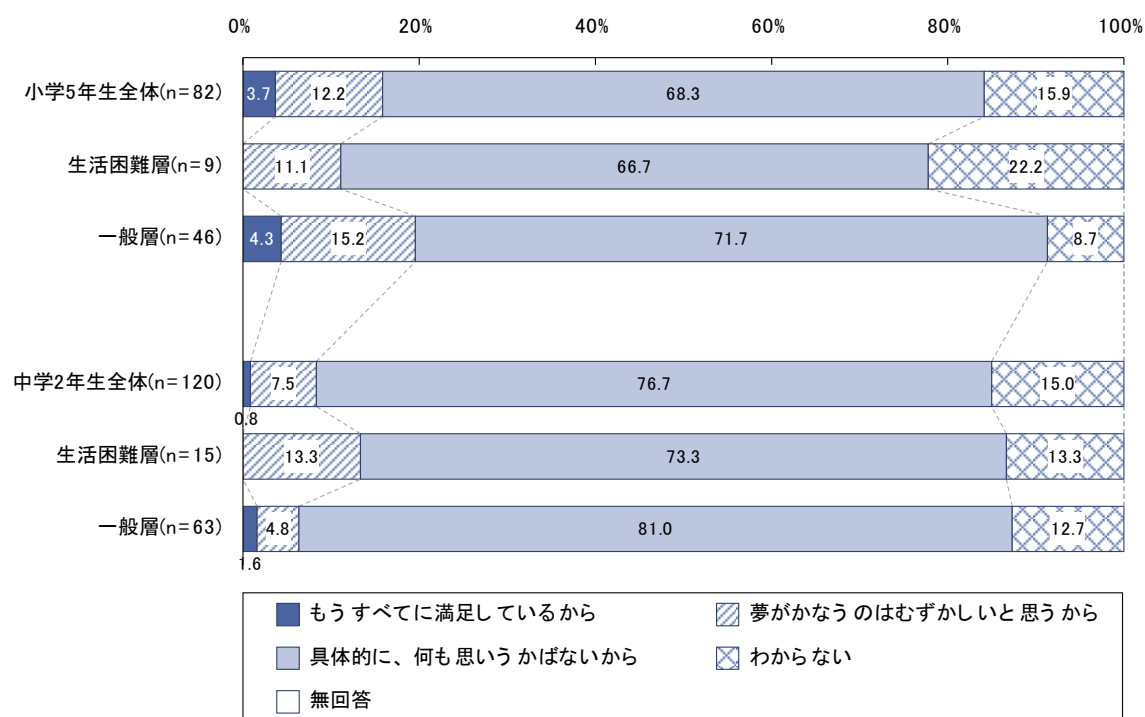
男 子		女 子	
スポーツ選手(サッカー・野球等)	11	医療関係(医師・看護師等)	14
建築関係	7	動物関係(獣医・トリマー・飼育員等)	12
動物関係(獣医・飼育員等)	5	芸能関係(歌手・女優等)	11
スポーツ関係	4	保育士・幼稚園の先生	10
医療関係(医師・薬剤師等)	4	教師	6

上位5つ 数字は回答数

(3) 夢がない理由

将来の夢がないと回答した人の理由として、いずれも「具体的に何も思いうかばないから」が約 7～8 割と高くなっていますが、中学 2 年生の生活困難層の 13.3%が「夢がかなうのはむずかしいと思うから」と回答しています。

問5ー2 夢がない理由は何ですか

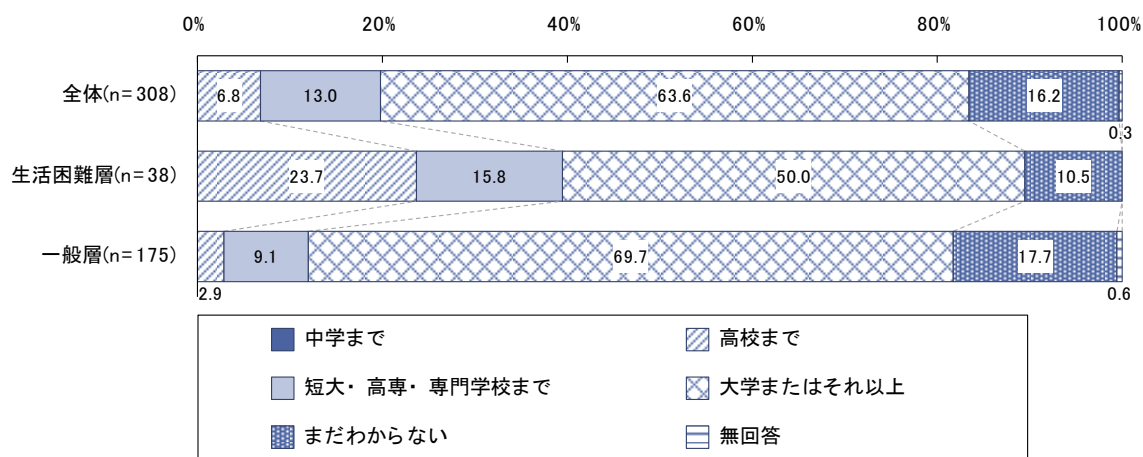


（４）将来の進学希望

中学２年生本人の希望する進学段階について、「大学またはそれ以上」と回答した割合は、全体で 63.6%、生活困難層で 50.0%、一般層で 69.7%となっています。一般層に比べ生活困難層で「大学またはそれ以上」の割合は低く、23.7%は「高校まで」と回答しています。

問５－３ あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか

中学２年生



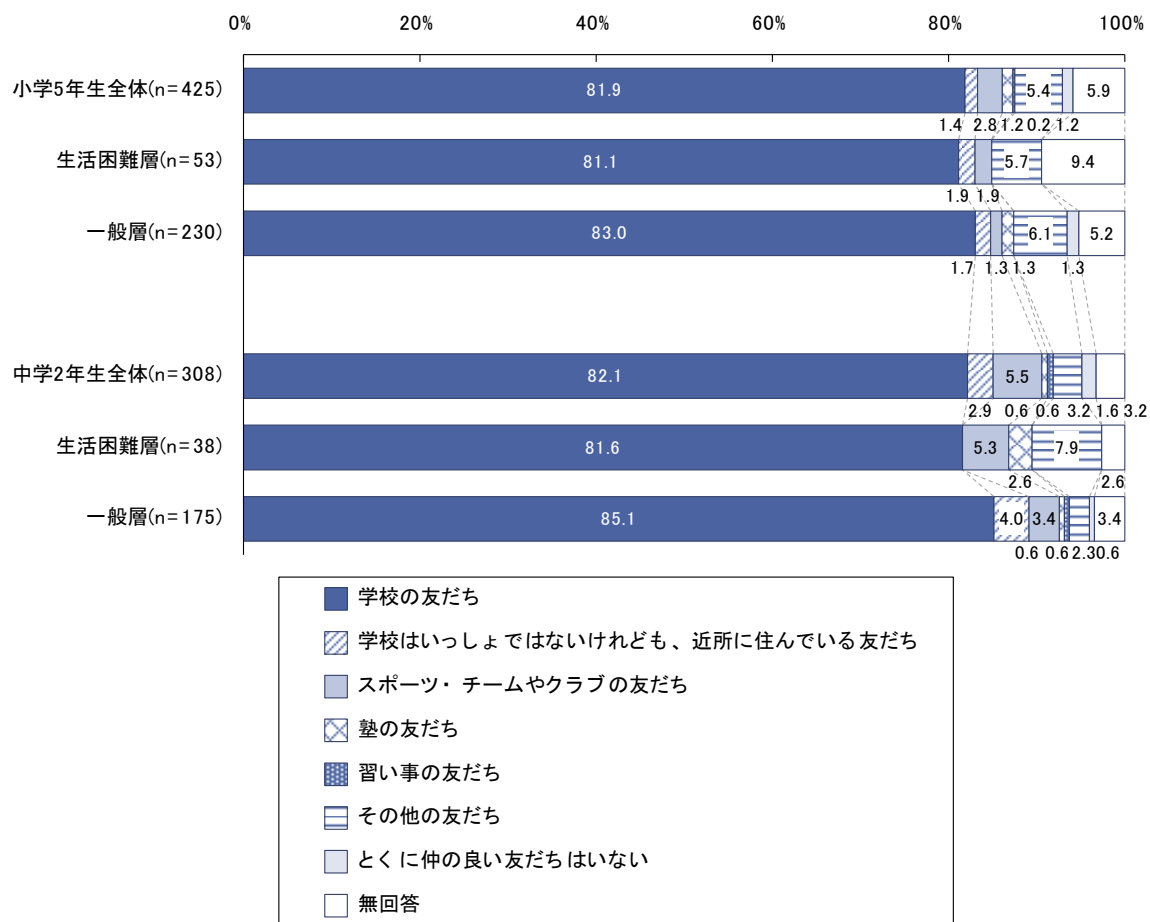
第6章 子どもの生活・友人関係

1 家族や友だち

(1) 一番仲が良い友だち

一番仲の良い友だちについて、小学5年生、中学2年生とも、生活困難度による大きな差はみられず、「学校の友だち」が8割を超えています。

問6 あなたの一番仲が良い友だちは、どのような友だちですか



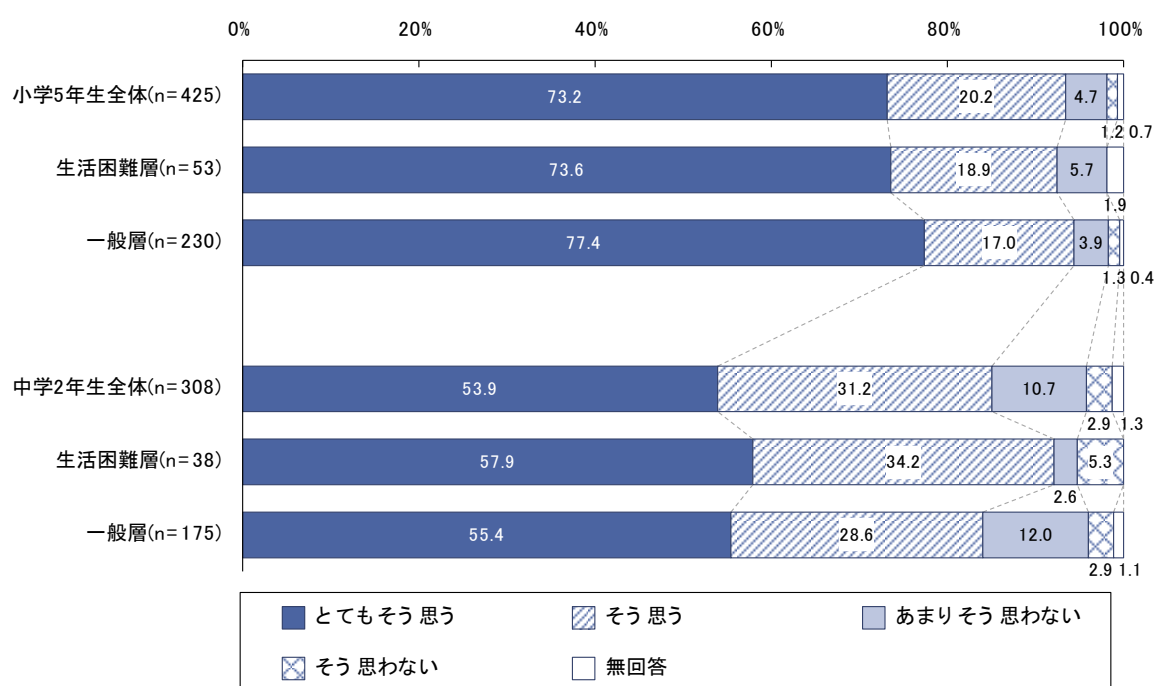
（２）友だちとの関係

A 友だちと一緒にたくさん遊んでいると思う

友だちと一緒にたくさん遊んでいると思うかについて、「とてもそう思う」と回答した割合は、小学５年生の全体で 73.2%、生活困難層で 73.6%、一般層で 77.4%、中学２年生では、全体で 53.9%、生活困難層で 57.9%、一般層で 55.4%となっています。

小学５年生、中学２年生とも生活困難度による差はみられませんが、中学２年生は小学５年生に比べ総じて低くなっています。

問７ あなたと友だちの関係について、どのように思いますか／A 友だちと一緒にたくさん遊んでいると思う

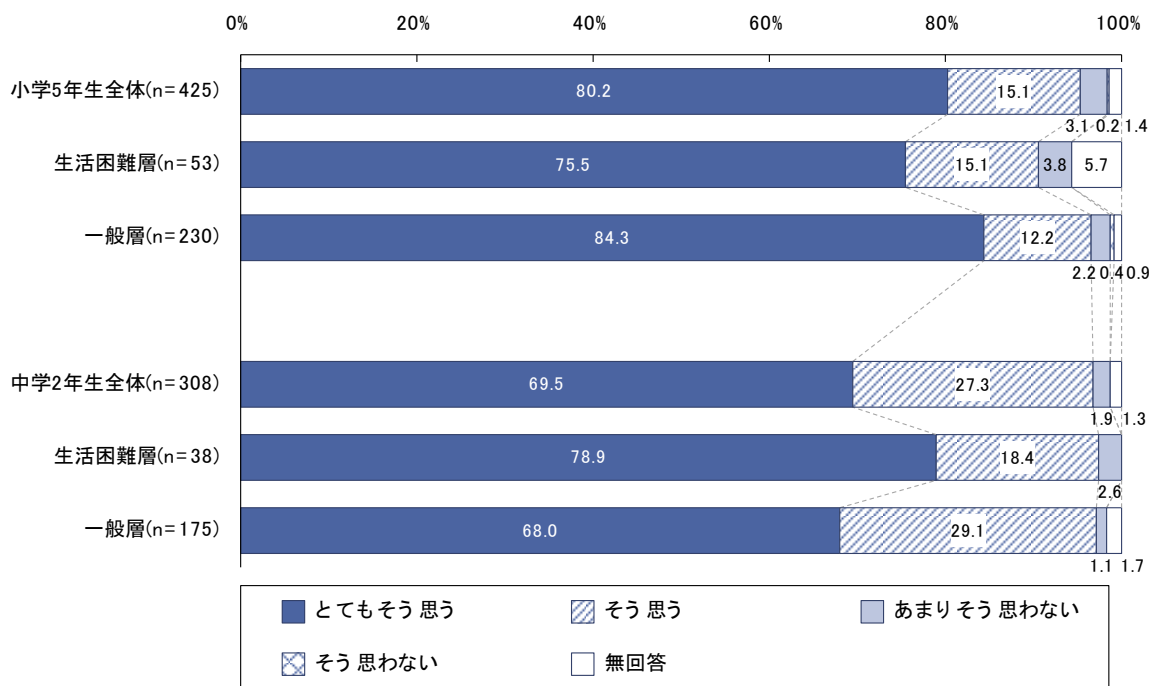


B友だちと仲良くしていると思う

友だちと仲良くしていると思うかについて、「とてもそう思う」と回答した割合は、小学5年生の全体で80.2%、生活困難層で75.5%、一般層で84.3%、中学2年生では、全体で69.5%、生活困難層で78.9%、一般層で68.0%となっています。

一般層と比べ小学5年生の生活困難層では低く、中学2年生の生活困難層では高くなっています。

問7 あなたと友だちの関係について、どのように思いますか／B友だちと仲良くしていると思う

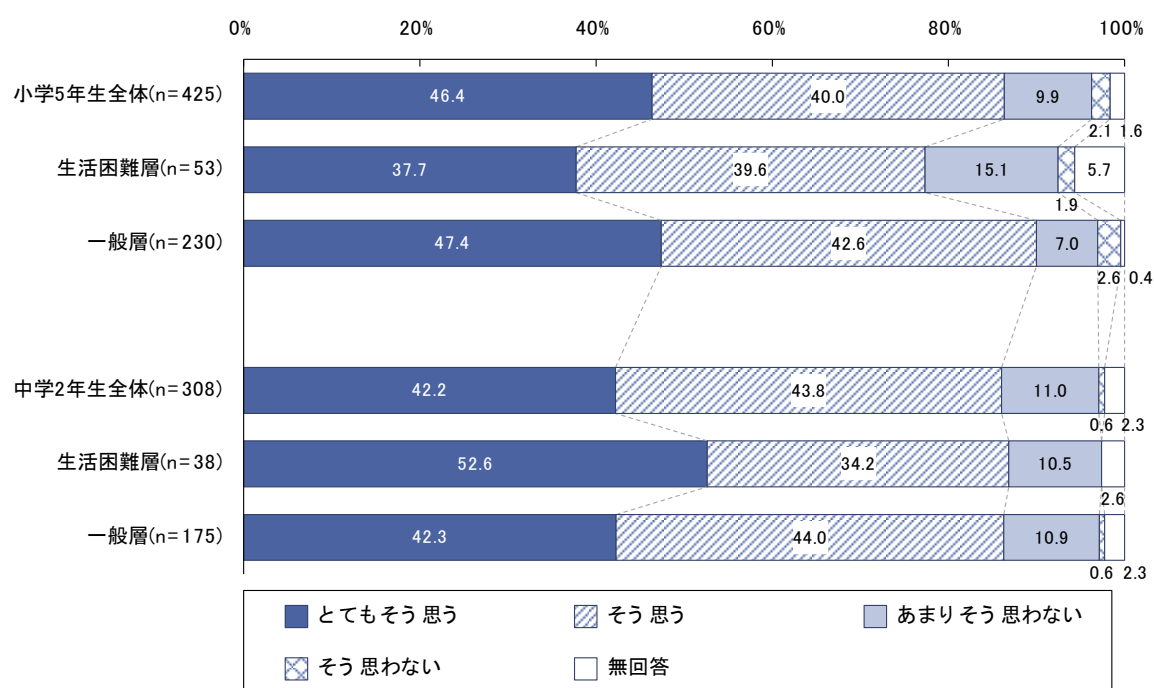


C友だちに好かれていると思う

友だちに好かれていると思うかについて、「とてもそう思う」と回答した割合は、小学5年生の全体で46.4%、生活困難層で37.7%、一般層で47.4%、中学2年生では、全体で42.2%、生活困難層で52.6%、一般層で42.3%となっています。

一般層と比べ小学5年生の生活困難層では低く、中学2年生の生活困難層では高くなっています。

問7 あなたと友だちの関係について、どのように思いますか／C友だちに好かれていると思う

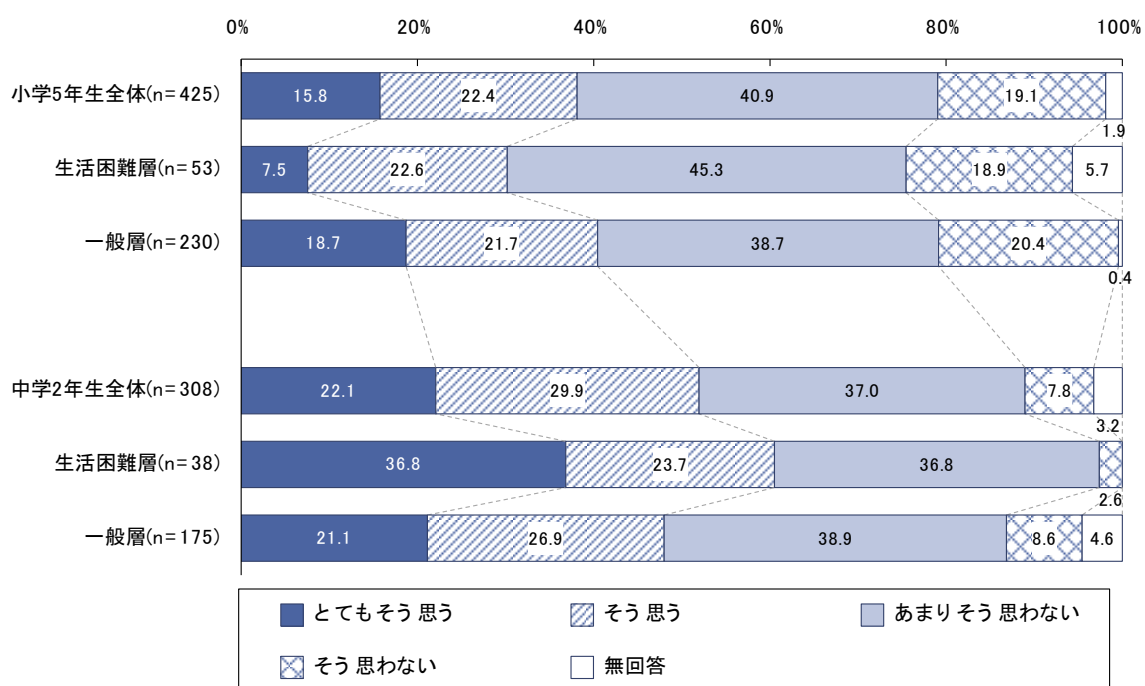


D 自分は友だちとくらべて違うと思う

自分は友だちとくらべて違うと思うかについて、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“思わない”と回答した割合は、小学5年生の全体で60.0%、生活困難層で64.2%、一般層で59.1%、中学2年生では、全体で44.8%、生活困難層で39.4%、一般層で47.5%となっています。一般層と比べ“思わない”割合は、小学5年生の生活困難層でやや高く、中学2年生の生活困難層でやや低くなっています。

また、中学2年生は小学5年生にくらべ「とてもそう思う」と「そう思う」を合わせた“思う”の割合が総じて高くなっています。

問7 あなたと友だちの関係について、どのように思いますか／D自分は友だちとくらべて違うと思う



2 平日の食事

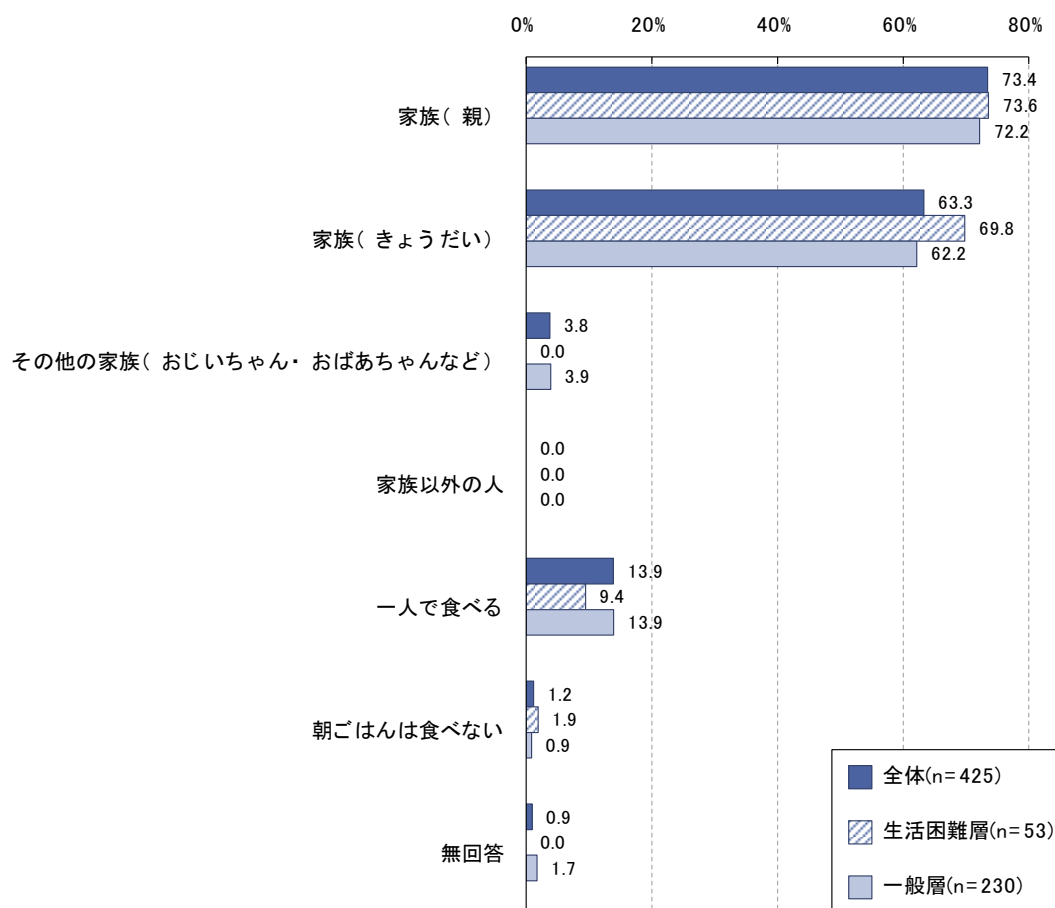
(1) 朝食を一緒にとる人

小学5年生が平日の朝ごはんを一緒に食べる人は「家族（親）」と「家族（きょうだい）」が高くなっていますが、「一人で食べる」と回答した割合は全体で13.9%、生活困難層で9.4%、一般層で13.9%となっています。

生活困難度別でみると、生活困難層は「家族（きょうだい）」の割合が高く、一般層では「一人で食べる」の割合が高くなっています。

問19 あなたは、平日(学校に行く日)に朝ごはんをだれと食べますか(複数回答)

小学5年生

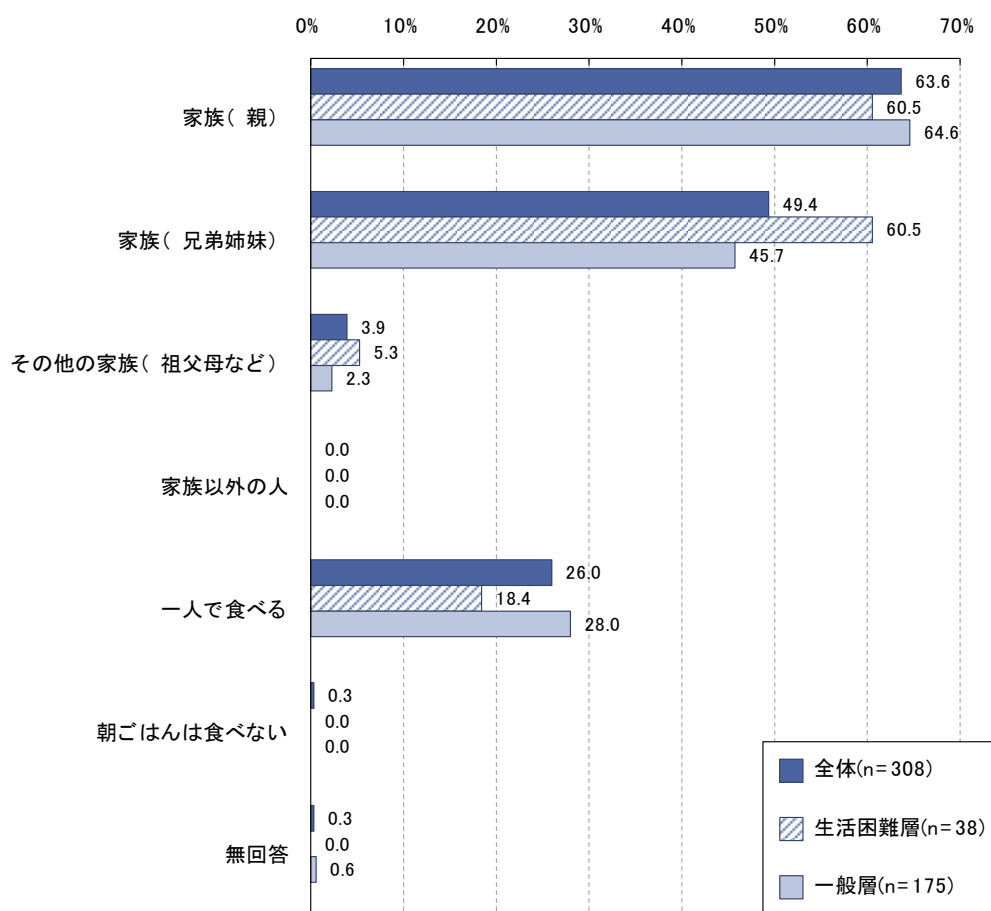


中学2年生が平日の朝ごはんを一緒に食べる人は、「家族（親）」「家族（兄弟姉妹）」が多くなっていますが、「一人で食べる」と回答した割合は全体で26.0%、生活困難層で18.4%、一般層で28.0%となっています。

生活困難度別でみると、小学5年生と同様に生活困難層では「家族（兄弟姉妹）」の割合が高く、一般層では「一人で食べる」の割合が高くなっています。

問19 あなたは、平日（学校に行く日）に朝ごはんをだれと食べますか（複数回答）

中学2年生

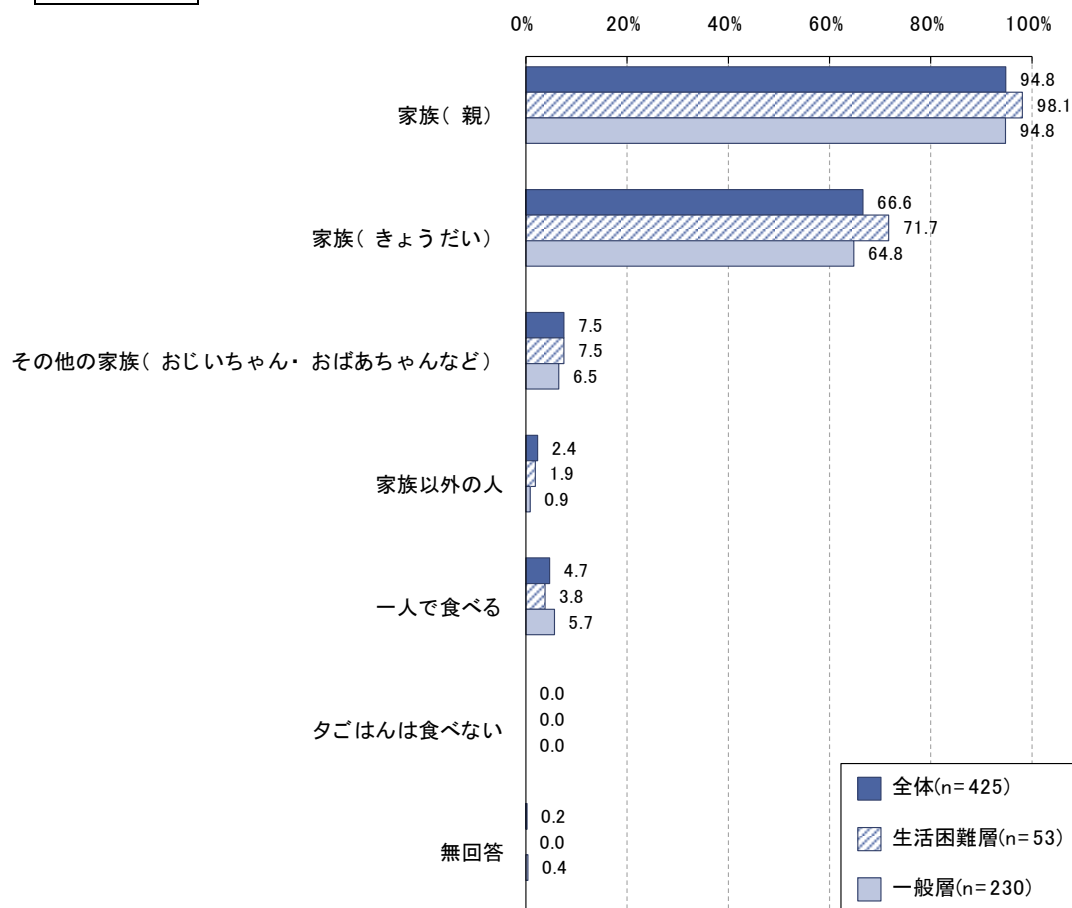


(2) 夕食を一緒にとる人

小学5年生が平日の夕ごはんを一緒に食べる人は、いずれの層も「家族（親）」「家族（きょうだい）」が多くなっています。一方、割合は少ないですが「一人で食べる」との回答は全体で4.7%、生活困難層で3.8%、一般層で5.7%となっています。

問20 あなたは、平日（学校に行く日）に夕ごはんをだれと食べますか（複数回答）

小学5年生

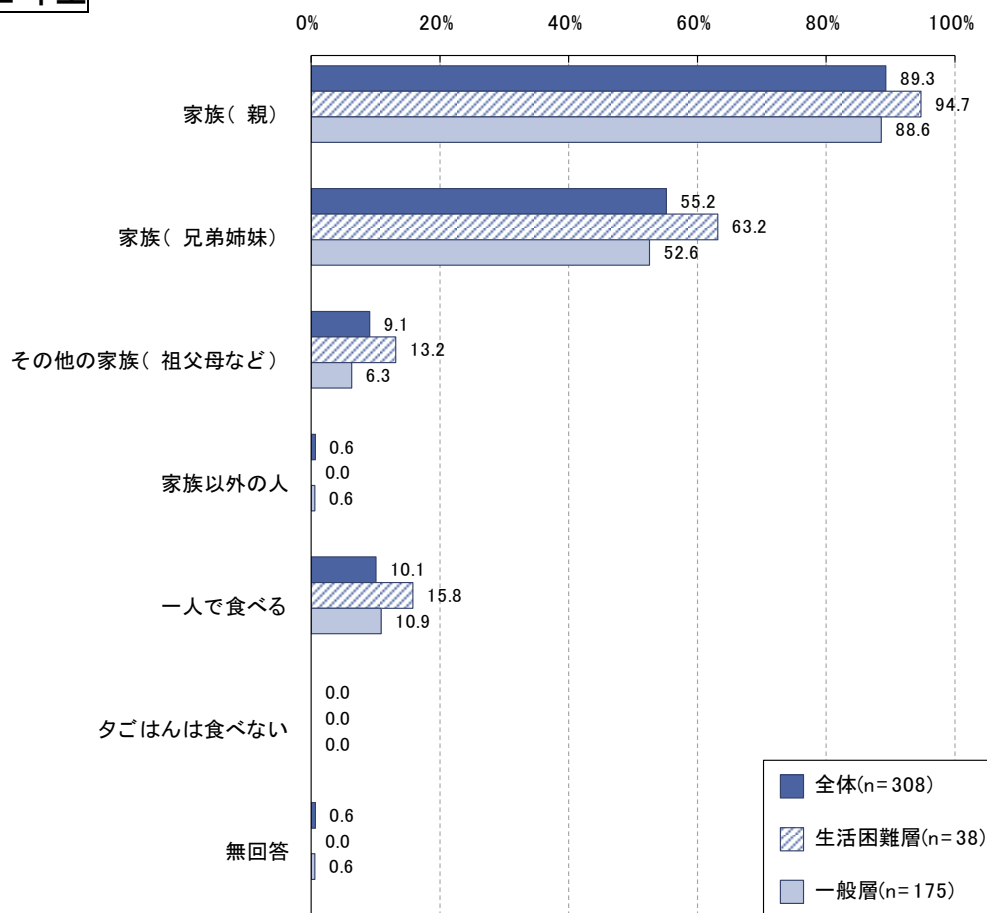


中学2年生が平日の夕ごはんと一緒に食べる人は、「家族（親）」「家族（兄弟姉妹）」が多くなっていますが、「一人で食べる」と回答した割合は、全体で10.1%、生活困難層で15.8%、一般層で10.9%となっています

生活困難度別では、「家族（親）」、「家族（兄弟姉妹）」、「その他の家族（祖父母など）」、「一人で食べる」の割合が生活困難層で高くなっています。

問20 あなたは、平日（学校に行く日）に夕ごはんをだれと食べますか（複数回答）

中学2年生



3 平日の放課後の過ごし方

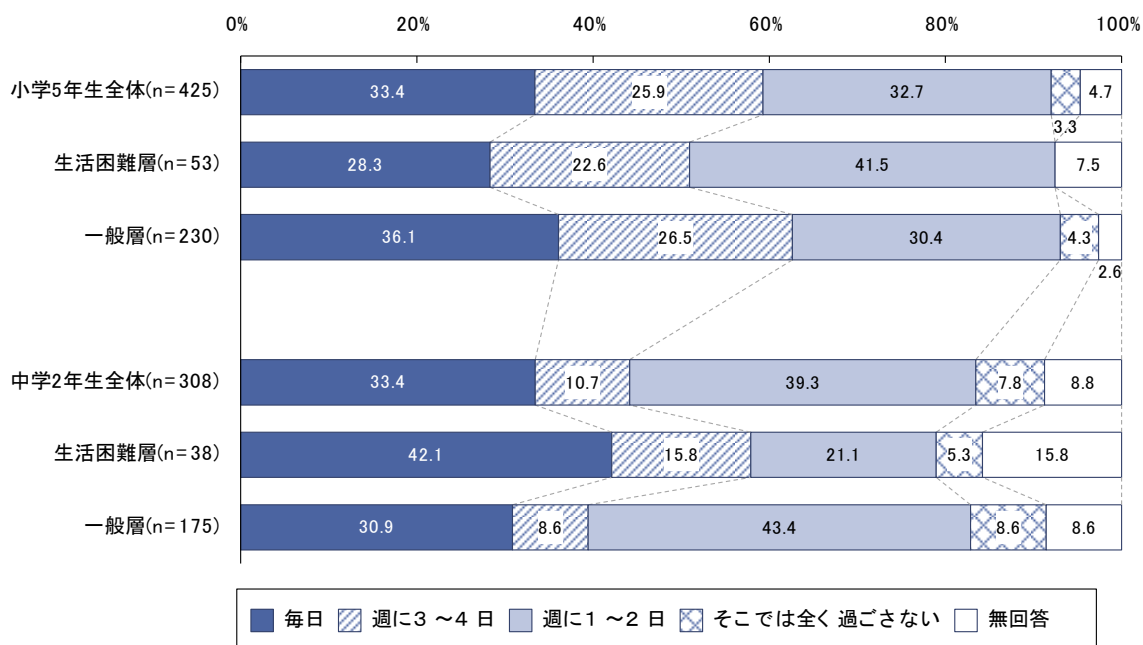
(1) 平日の放課後を過ごす場所と頻度

A自分の家

平日の放課後を自分の家で「毎日」過ごす割合は、小学5年生の全体で33.4%、生活困難層で28.3%、一般層で36.1%、中学2年生の全体で33.4%、生活困難層で42.1%、一般層で30.9%となっています。

一般層と比べ小学5年生の生活困難層で低く、中学2年生の生活困難層では高くなっています。

問9 あなたは、平日(学校に行く日)の放課後(夕方6時くらいまで)、どこで過ごしますか／A自分の家

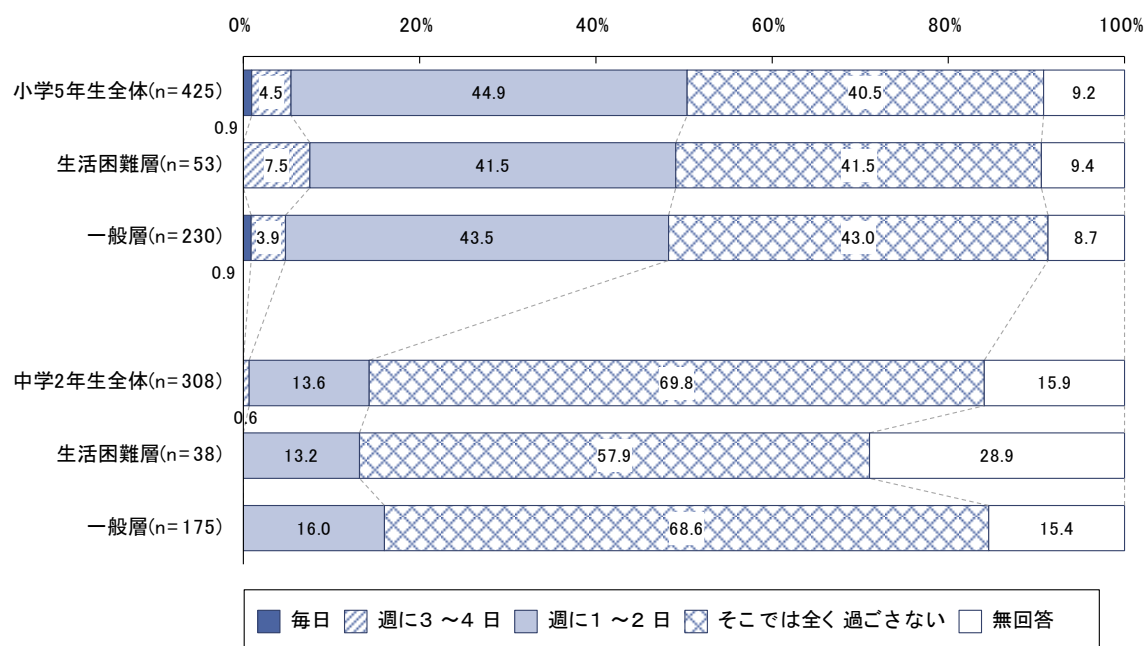


B友だちの家

平日の放課後を友だちの家で過ごす日数について、「そこでは全く過ごさない」と回答した割合は、小学5年生の全体で40.5%、生活困難層で41.5%、一般層で43.0%、中学2年生の全体で69.8%、生活困難層で57.9%、一般層で68.6%となっています。

小学5年生は生活困難度による差はみられませんが、中学2年生は一般層と比べ生活困難層で低くなっています。

問9 あなたは、平日(学校に行く日)の放課後(夕方6時くらいまで)、どこで過ごしますか／B友だちの家

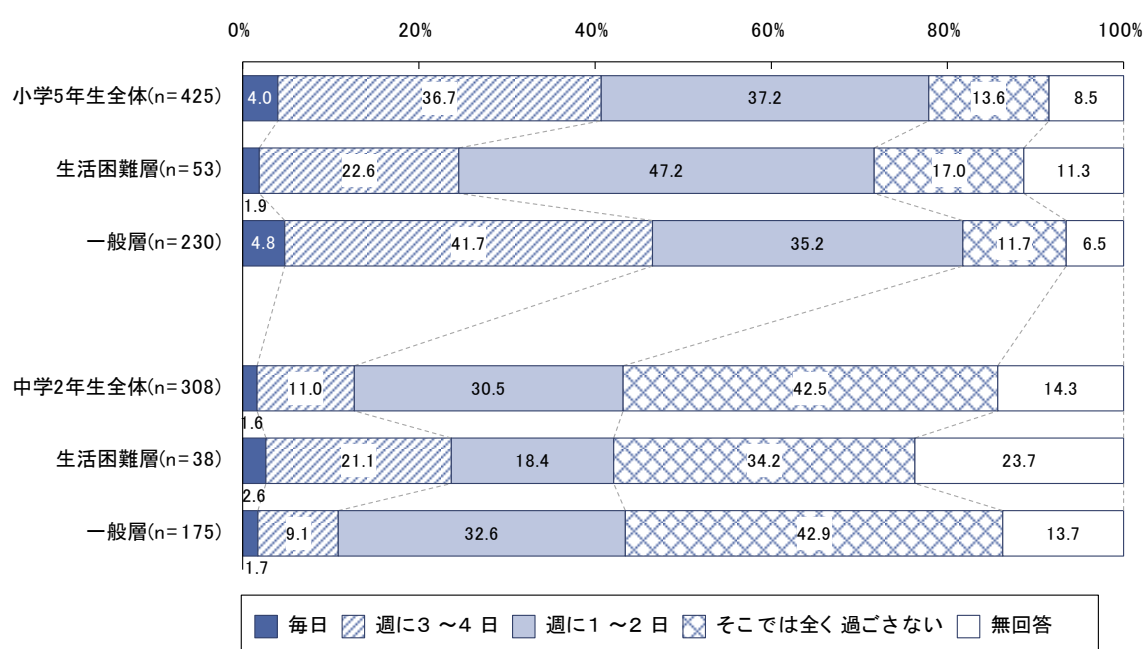


C 塾や習い事

平日の放課後を塾や習い事で「毎日」過ごすとは回答した割合は、いずれの層も 5%以下と低く、反対に「そこでは全く過ごさない」と回答した割合は、小学 5 年生の全体で 13.6%、生活困難層で 17.0%、一般層で 11.7%、中学 2 年生の全体で 42.5%、生活困難層で 34.2%、一般層で 42.9%となっています。

「そこでは全く過ごさない」割合は一般層と比べ、小学 5 年生の生活困難層でやや高く、中学 2 年生の生活困難層でやや低くなっています。

問9 あなたは、平日(学校に行く日)の放課後(夕方6時くらいまで)、どこで過ごしますか／C 塾や習い事

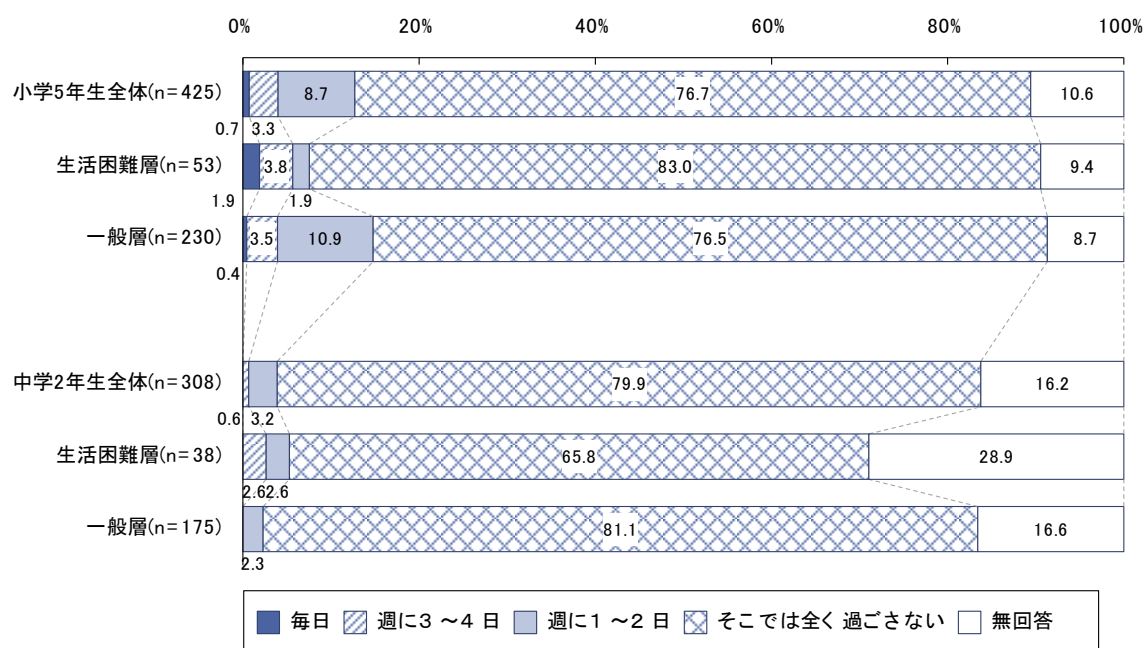


D 児童館・児童センター（学童クラブふくむ）

平日の放課後を児童館・児童センター（学童クラブふくむ）で過ごす日数について、「そこでは全く過ごさない」と回答した割合は、小学5年生の全体で 76.7%、生活困難層で 83.0%、一般層で 76.5%、中学2年生の全体で 79.9%、生活困難層で 65.8%、一般層で 81.1%となっています。

一般層と比べ小学5年生の生活困難層でやや高く、中学2年生の生活困難層で低くなっています。

問9 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか／D 児童館・児童センター（学童クラブふくむ）

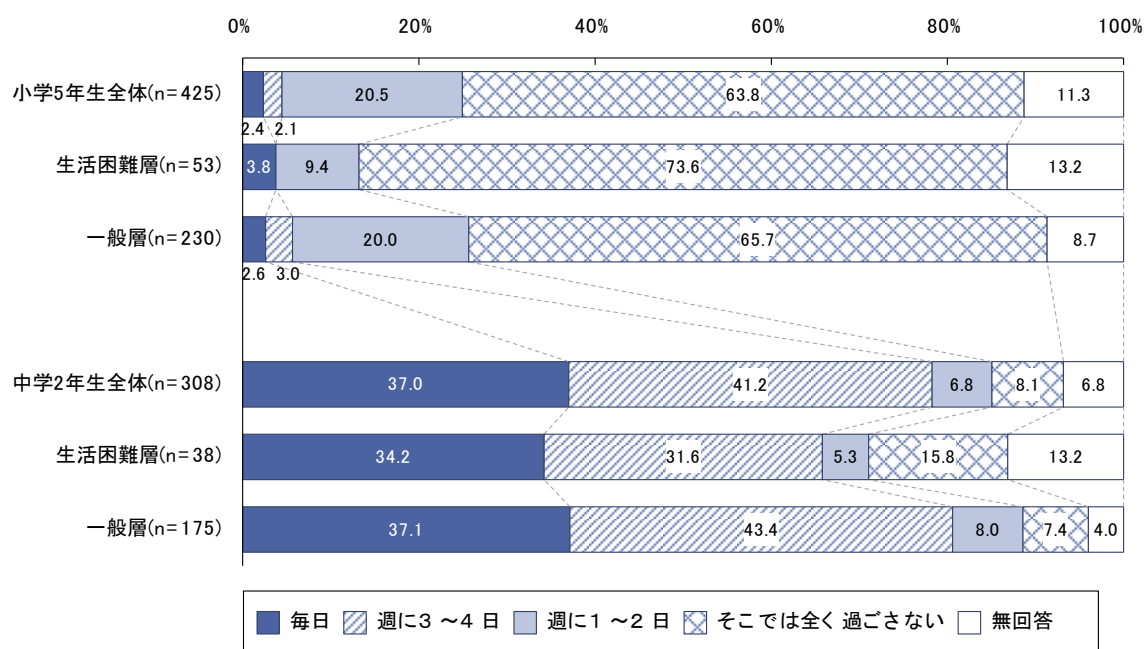


E学校（クラブ活動、放課後子ども教室「KoKoA」、部活など）

平日の放課後を学校（クラブ活動、放課後子ども教室「KoKoA」、部活など）で「毎日」過ごす割合は、小学5年生ではいずれの層も4%以下となっていますが、中学2年生では全体で37.0%、生活困難層で34.2%、一般層で37.1%となっています。一方、「そこでは全く過ごさない」と回答した割合は、小学5年生の全体で63.8%、生活困難層で73.6%、一般層で65.7%、中学2年生の全体で8.1%、生活困難層で15.8%、一般層で7.4%となっています。

「そこでは全く過ごさない」と回答した割合は、小学5年生、中学2年生とも一般層と比べ生活困難層でやや高くなっています。また、小学5年生と比べると中学2年生では部活に参加していると思われるため総じて低くなっています。

問9 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか／E学校（クラブ活動、放課後子ども教室「KoKoA」、部活など）

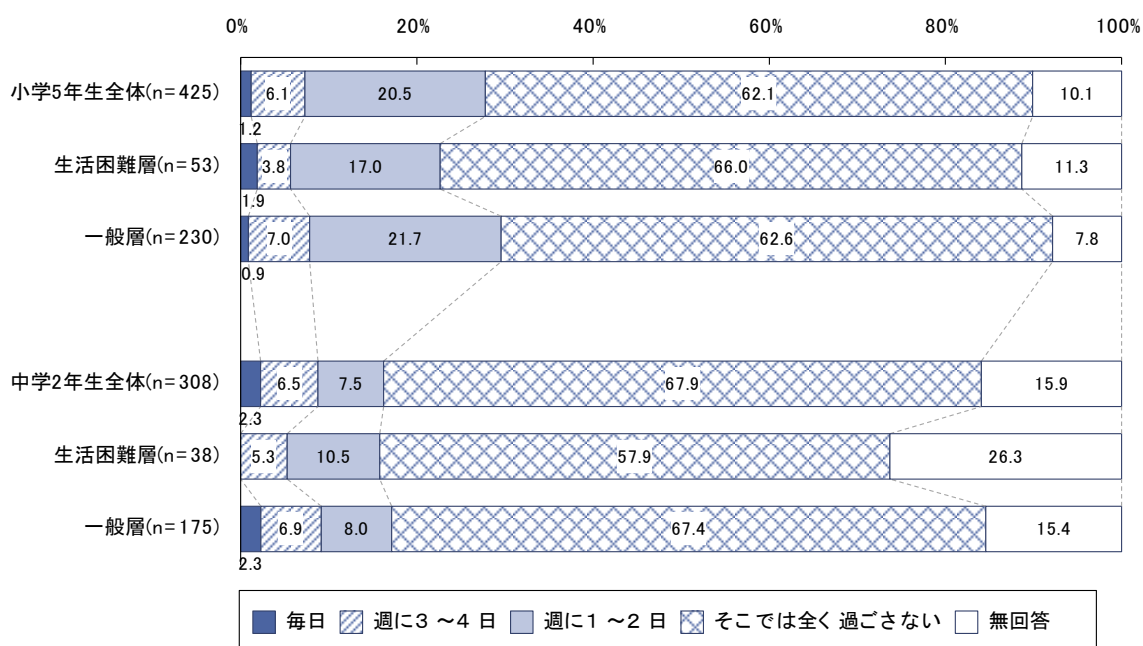


F スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）

平日の放課後をスポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）で過ごす日数について、「そこでは全く過ごさない」と回答した割合は、小学 5 年生の全体で 62.1%、生活困難層で 66.0%、一般層で 62.6%、中学 2 年生の全体で 67.9%、生活困難層で 57.9%、一般層で 67.4%となっています。

小学 5 年生は生活困難度による大きな差はみられず、中学 2 年生の生活困難層は一般層に比べやや低くなっています。

問9 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか／Fスポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）

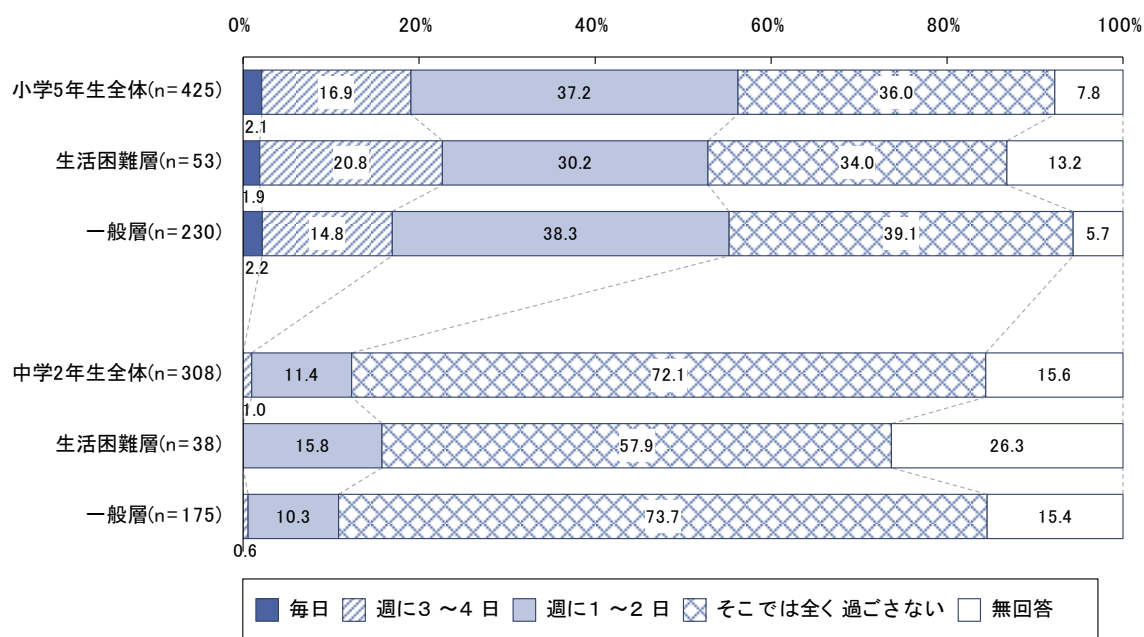


G公園

平日の放課後を公園で過ごす日数について、「そこでは全く過ごさない」と回答した割合は、小学5年生の全体で36.0%、生活困難層で34.0%、一般層で39.1%、中学2年生では、全体で72.1%、生活困難層で57.9%、一般層で73.7%となっています。

小学5年生、中学2年生とも、「そこでは全く過ごさない」割合は、一般層と比べ生活困難層で低く、また、小学5年生に比べ中学2年生では総じて高くなっています。

問9 あなたは、平日(学校に行く日)の放課後(夕方6時くらいまで)、どこで過ごしますか／G公園

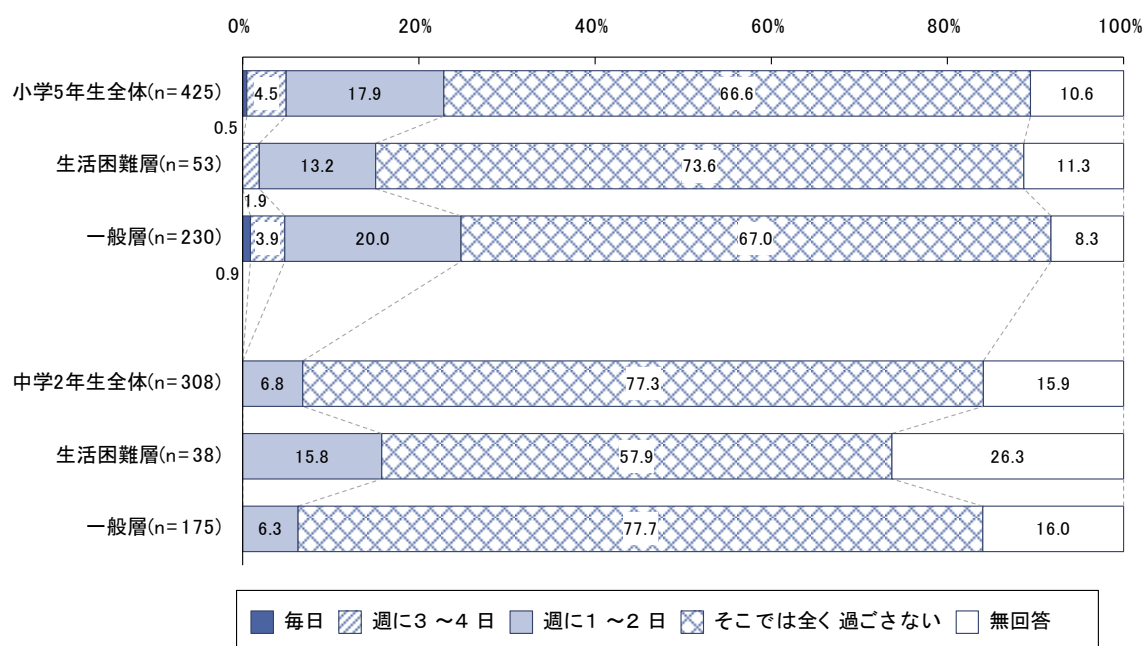


H図書館

平日の放課後を図書館で過ごす日数について、「そこでは全く過ごさない」と回答した割合は、小学5年生の全体で66.6%、生活困難層で73.6%、一般層で67.0%、中学2年生では、全体で77.3%、生活困難層で57.9%、一般層で77.7%となっています。

一般層と比べ小学5年生の生活困難層でやや高く、中学2年生の生活困難層で低くなっています。

問9 あなたは、平日(学校に行く日)の放課後(夕方6時くらいまで)、どこで過ごしますか／H図書館

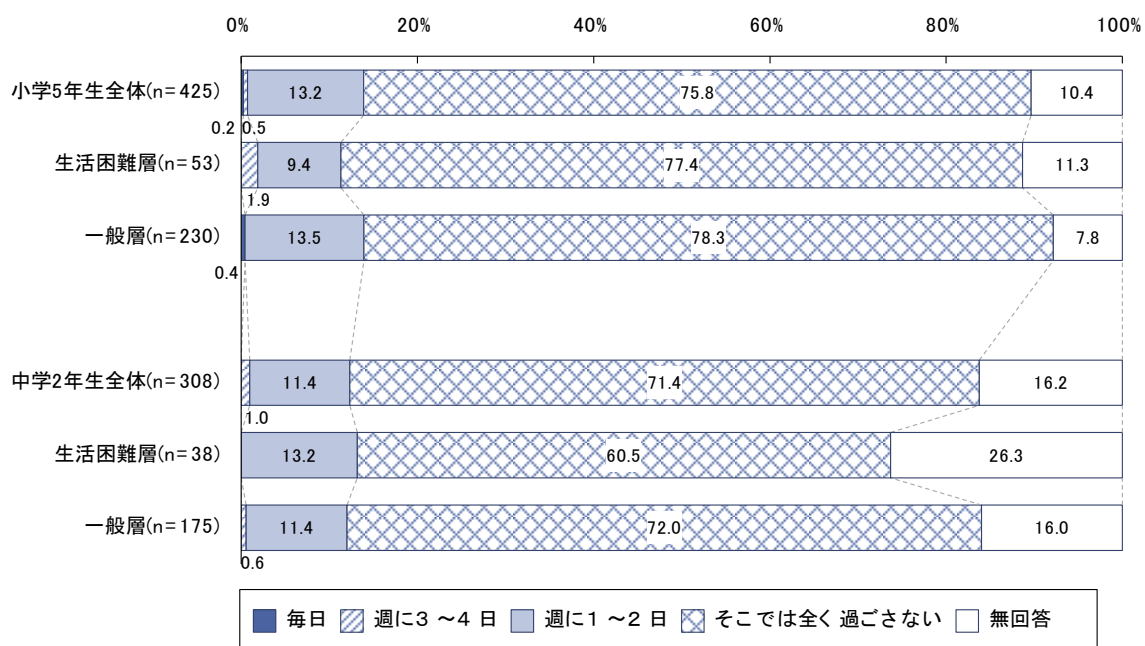


I 商店街やショッピングモール

平日の放課後を商店街やショッピングモールで過ごす日数について、「そこでは全く過ごさない」と回答した割合は、小学5年生の全体で75.8%、生活困難層で77.4%、一般層で78.3%、中学2年生では、全体で71.4%、生活困難層で60.5%、一般層で72.0%となっています。

小学5年生は生活困難度による差はみられませんが、中学2年生は一般層に比べ生活困難層で低くなっています。

問9 あなたは、平日(学校に行く日)の放課後(夕方6時くらいまで)、どこで過ごしますか／I商店街やショッピングモール



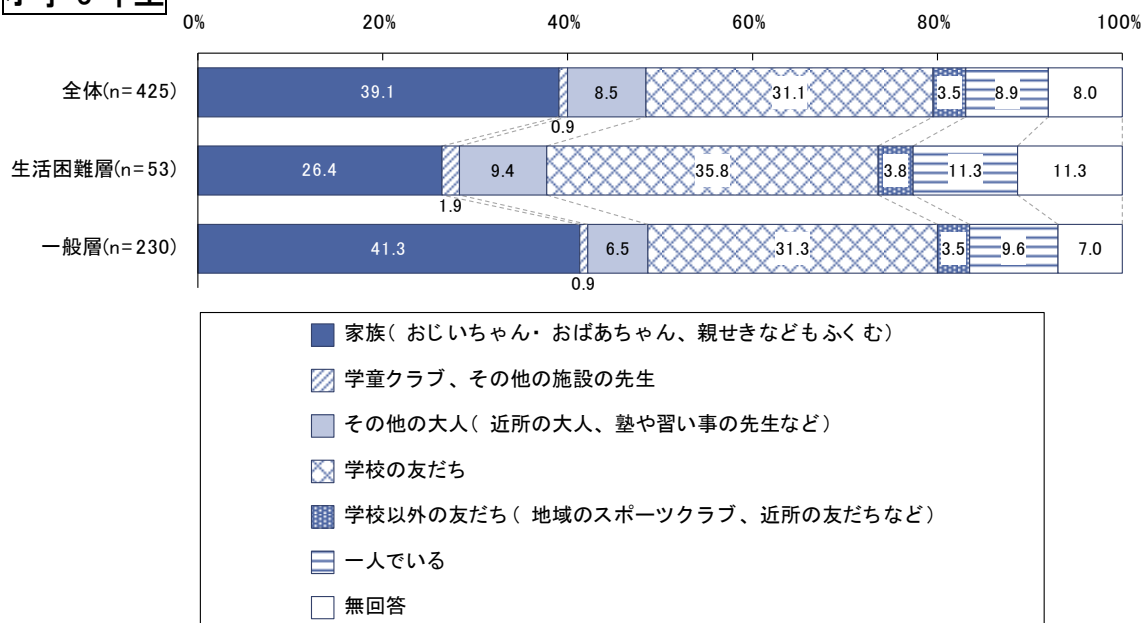
(2) 放課後を一緒に過ごす人

平日の放課後を「一人である」と回答した割合は、小学5年生の全体で8.9%、生活困難層で11.3%、一般層で9.6%、中学2年生では、全体で8.8%、生活困難層で10.5%、一般層で9.7%となっています。

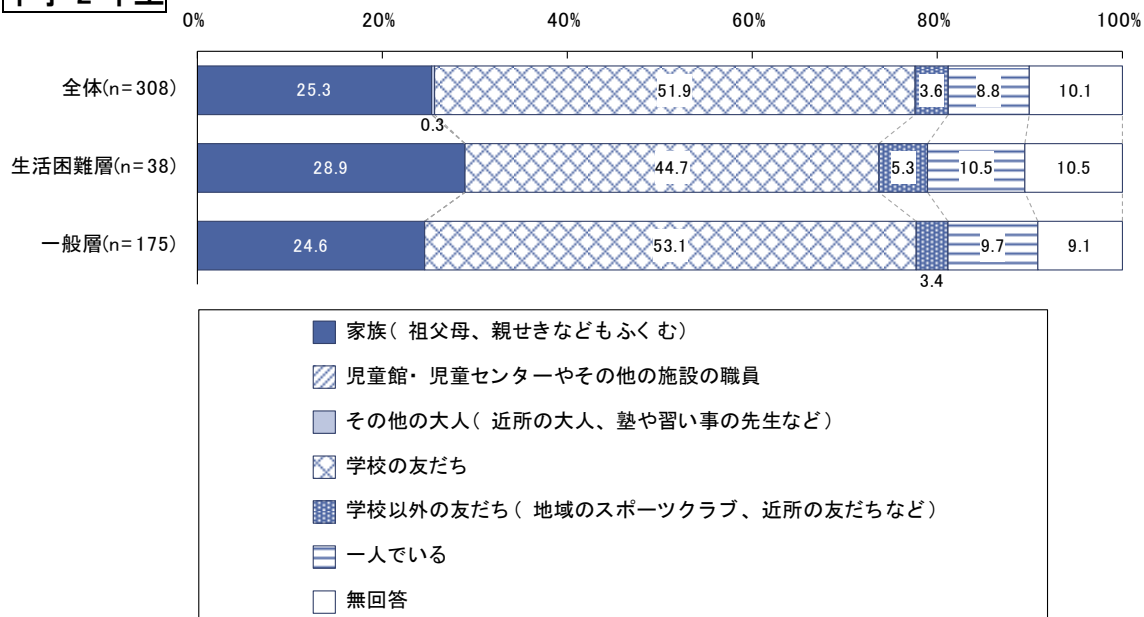
「家族」と回答した割合は、小学5年生の一般層に比べ生活困難層で低くなっていますが、中学2年生では生活困難度による大きな差はみられません。

問8 あなたは、平日(学校に行く日)の放課後(夕方6時くらいまで)はだれと過ごしますか

小学5年生



中学2年生



4 休日の過ごし方

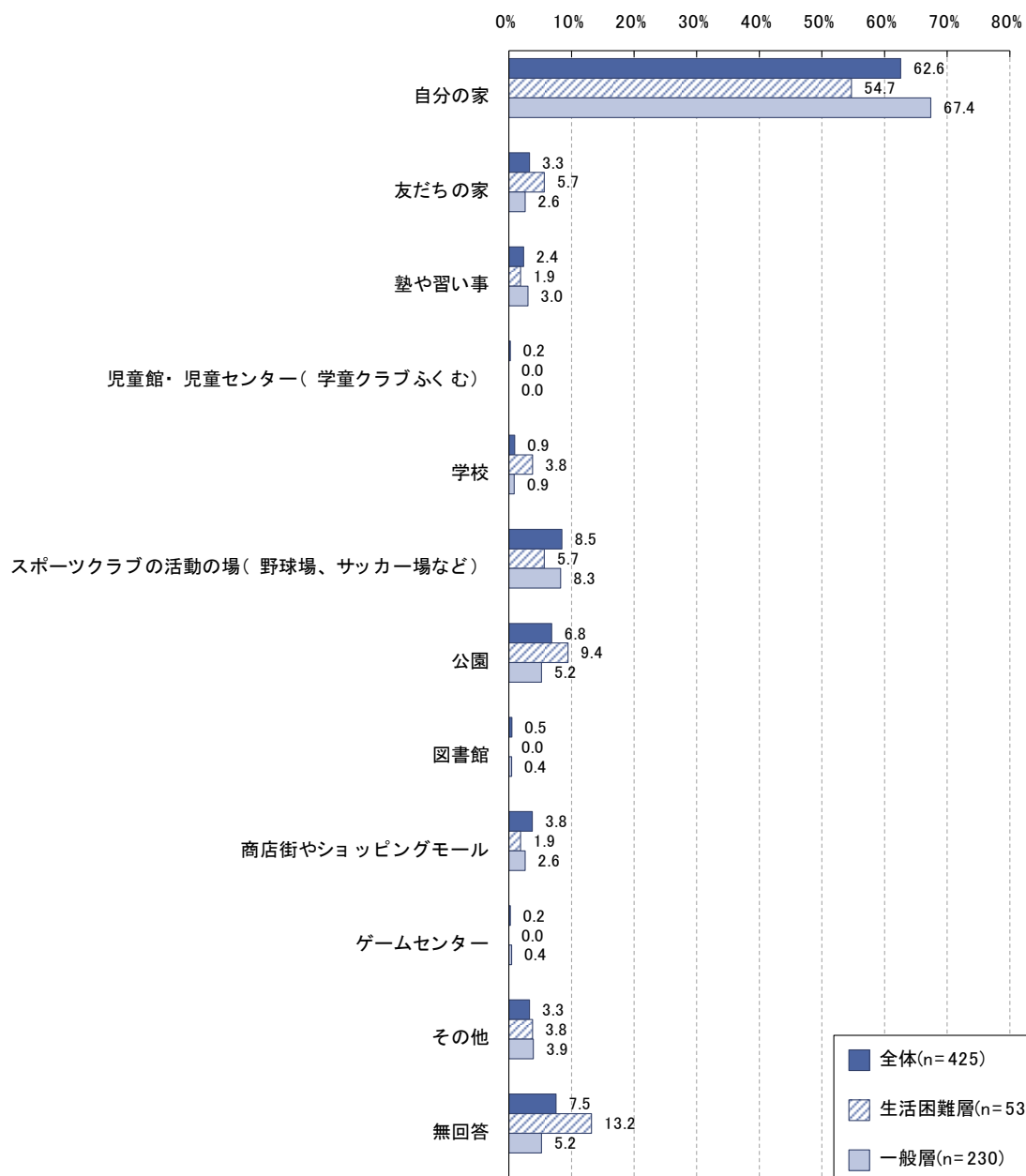
(1) 休日の午後を過ごす場所

小学5年生が休日の午後を過ごす場所は、全体で「自分の家」が62.6%で最も多く、次いで「スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）」が8.5%、「公園」が6.8%となっています。

生活困難層では一般層と比べ「自分の家」が少なく54.7%、一方、「公園」9.4%、「友だちの家」5.7%、「学校」3.8%などが多くなっています。

問13 あなたは、休日（学校がお休みの日）の午後、どこで過ごしますか

小学5年生

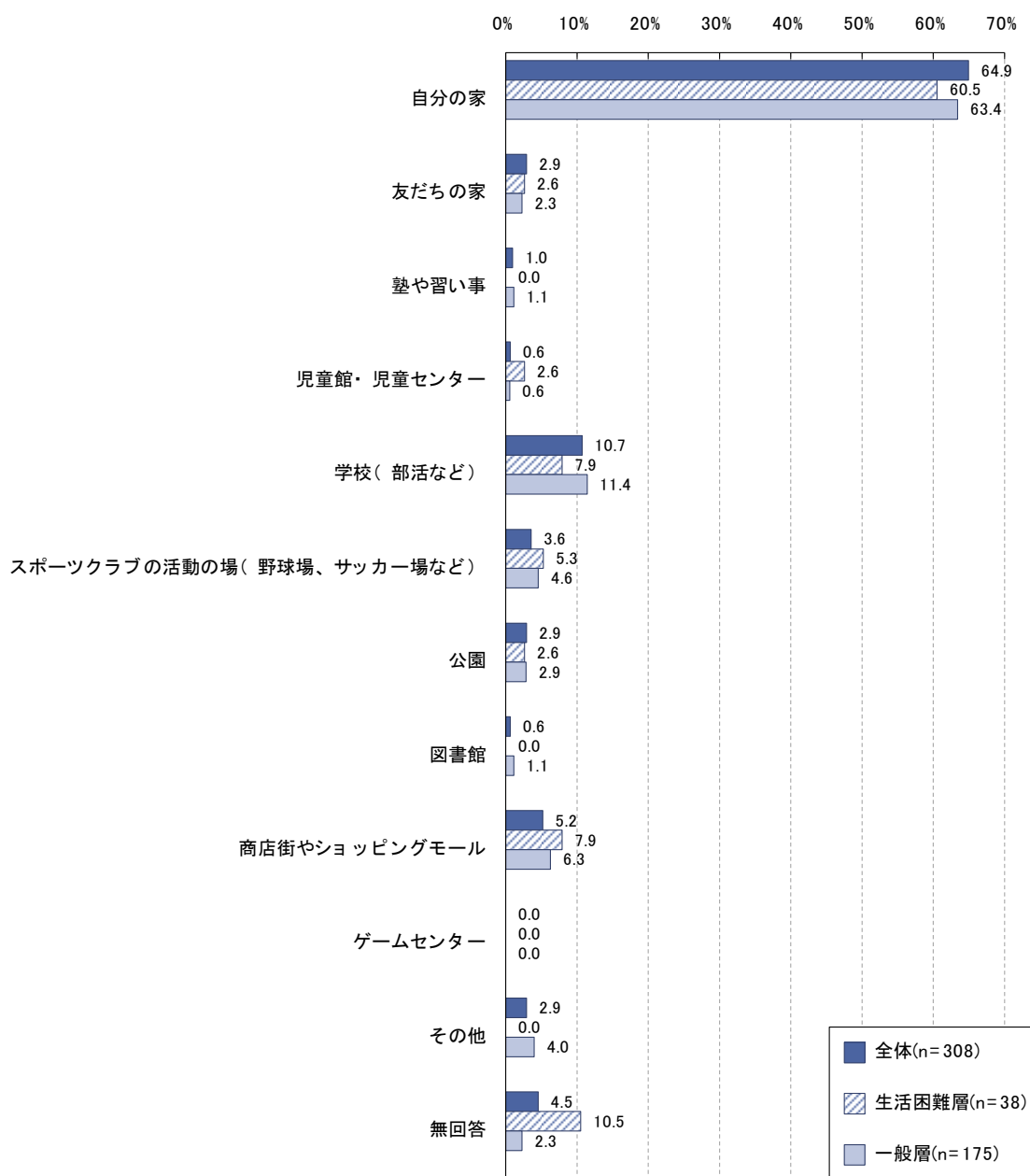


中学2年生が休日の午後を過ごす場所は、全体で「自分の家」が64.9%で最も多く、次いで「学校（部活など）」が10.7%、「商店街やショッピングモール」が5.2%となっています。

生活困難層では一般層と比べ「自分の家」60.5%、「学校（部活など）」7.9%が少なく、反対に「商店街やショッピングモール」7.9%、「スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）」5.3%、「児童館・児童センター」2.6%などが多くなっています。

問13 あなたは、休日（学校がお休みの日）の午後、どこで過ごしますか

中学2年生



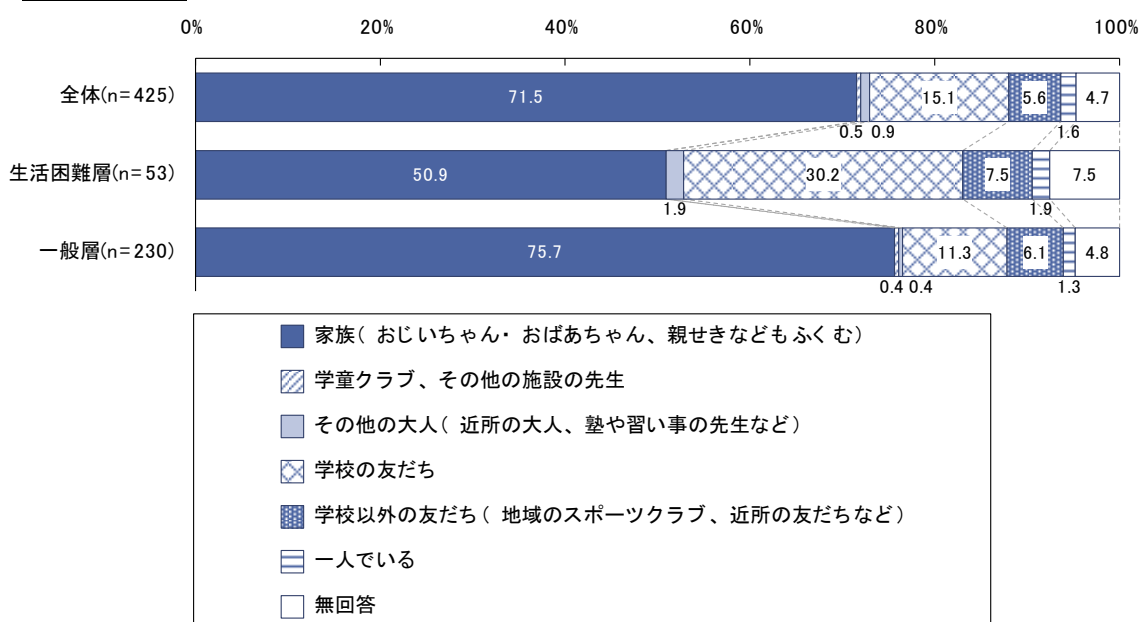
（２）休日の午後を一緒に過ごす人

休日の午後を「家族」や「学校の友だち」と過ごす割合が高いですが、「一人である」と回答した割合は、小学５年生の全体で 1.6%、生活困難層で 1.9%、一般層で 1.3%、中学２年生では、全体で 5.8%、生活困難層 2.6%、一般層で 7.4%となっています。

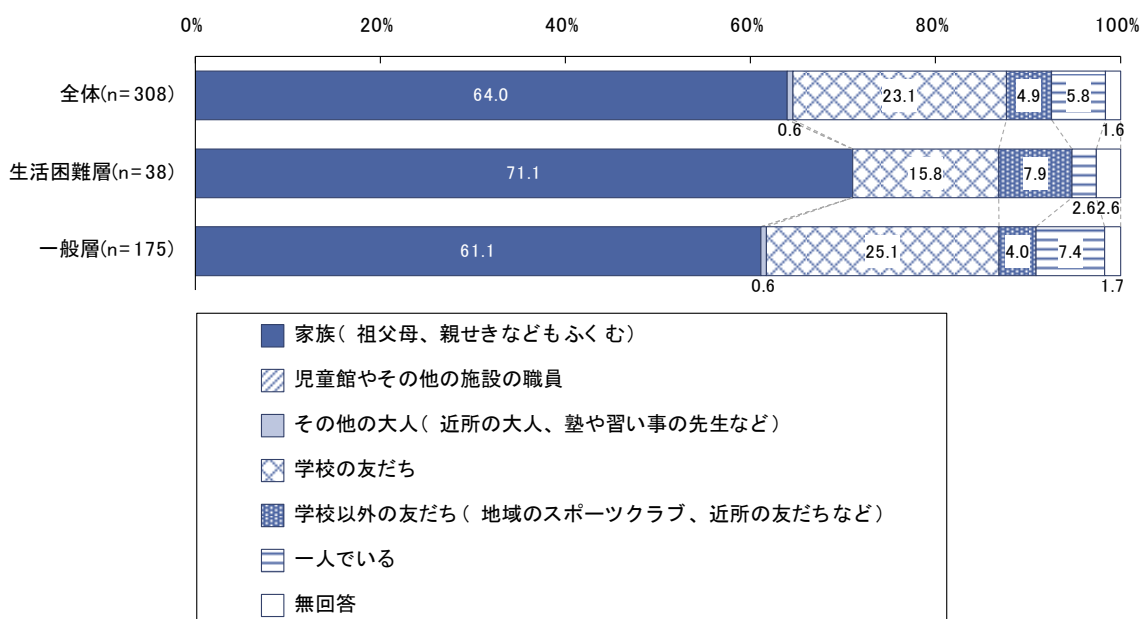
一般層と比べ小学５年生の生活困難層では「家族（おじいちゃん・おばあちゃん、親せきなどもふくむ）」の割合が低く、「学校の友だち」の割合が高いのに対し、中学２年生の生活困難層では「家族（祖父母、親せきなどもふくむ）」の割合がやや高く、「学校の友だち」の割合がやや低くなっています。

問12 あなたは、休日（学校がお休みの日）の午後はだれと過ごしますか

小学５年生



中学２年生



5 一番ほっとできる居場所

小学5年生が一番ほっとできる居場所は、いずれの層も「自分の家」が7割～8割で最も多くなっていますが、「ほっとできる居場所はない」と回答した割合は、全体で1.2%、生活困難層で3.8%、一般層で0.4%となっています。

「自分の家」と回答した割合は、一般層と比べ生活困難層で低くなっています。

問10 問9のA～Kの場所の中で、あなたが一番ほっとできる居場所はどこですか

小学5年生

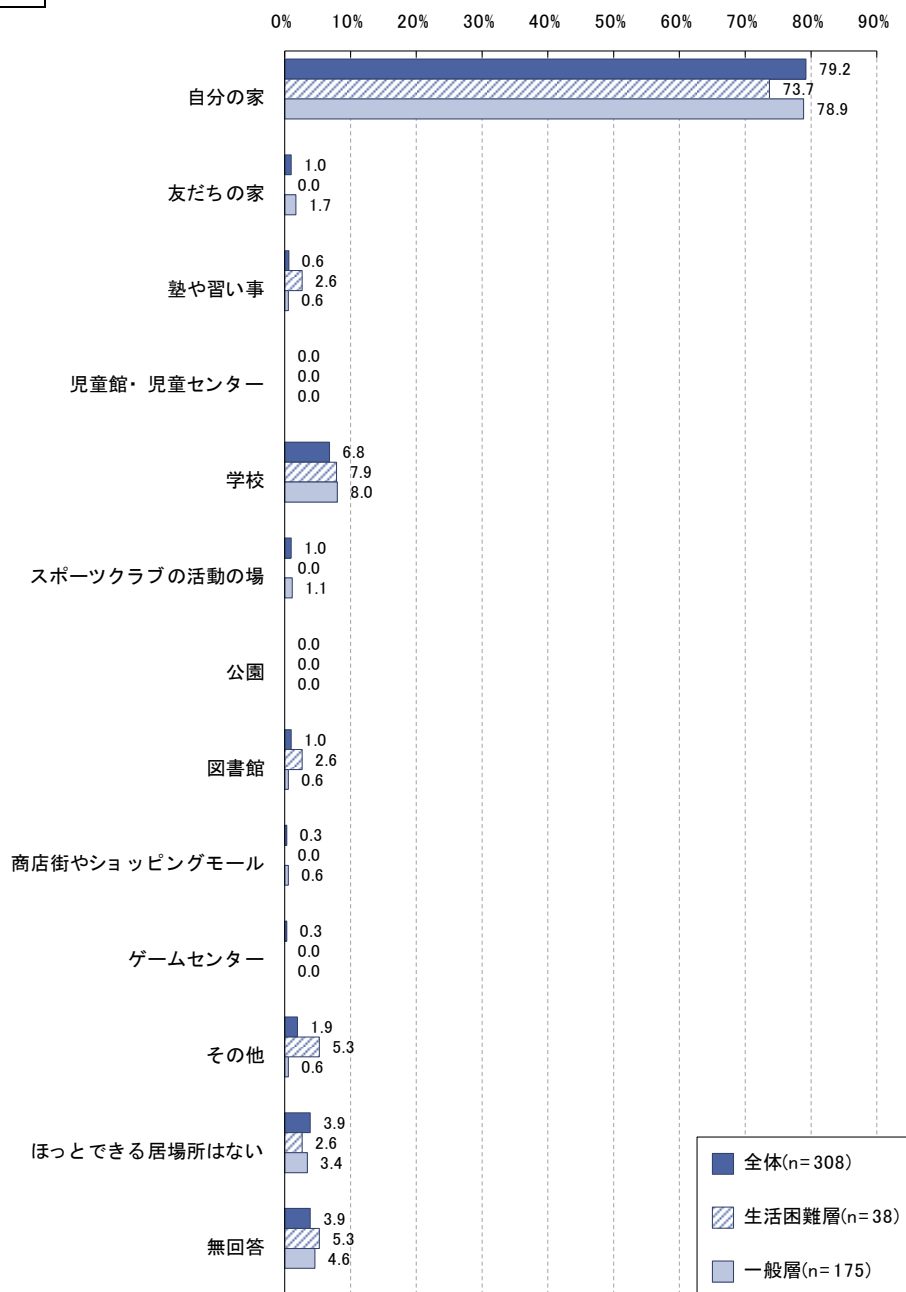


中学2年生が一番ほっとできる居場所は、「自分の家」が7割を超えて最も多くなっていますが、「ほっとできる居場所はない」と回答した割合は、全体で3.9%、生活困難層で2.6%、一般層で3.4%となっています。

「自分の家」と回答した割合は、一般層と比べ生活困難層でやや低くなっています。

問10 問9のA～Kの場所の中で、あなたが一番ほっとできる居場所はどこですか

中学2年生



6 放課後子ども教室・クラブ活動

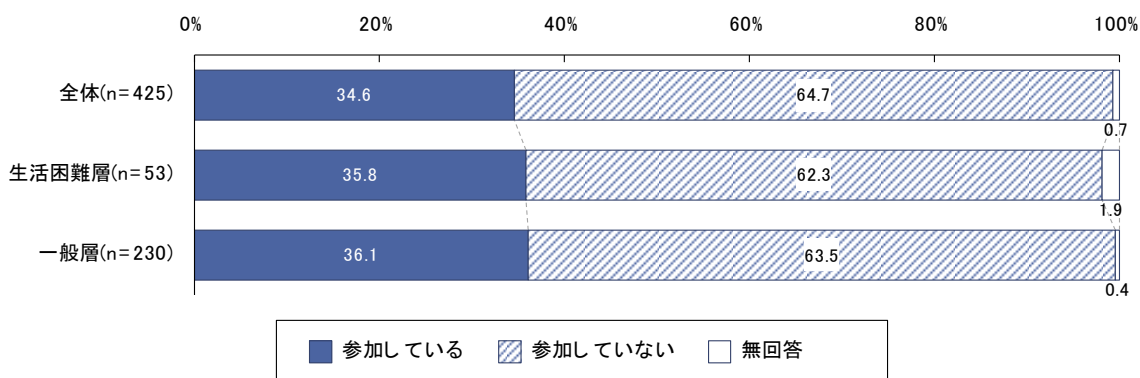
(1) 放課後子ども教室・クラブ活動への参加状況

小学5年生で子ども教室「KoKoA」に「参加していない」と回答した割合は、全体で64.7%、生活困難層で62.3%、一般層で63.5%となっています。

生活困難度による差はみられません。

問11 あなたは、学校の放課後子ども教室「KoKoA」に参加していますか(小学生票)

小学5年生

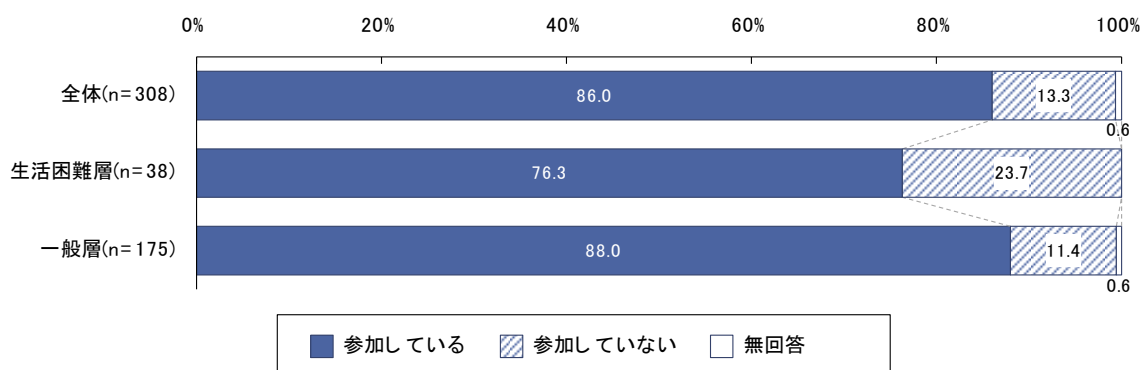


また、中学2年生で学校のクラブ活動に「参加していない」と回答した割合は、全体で13.3%、生活困難層で23.7%、一般層で11.4%となっています。

一般層と比べ生活困難層で「参加していない」割合は高くなっています。

問11 あなたは、学校のクラブ活動に参加していますか(中学生票)

中学2年生



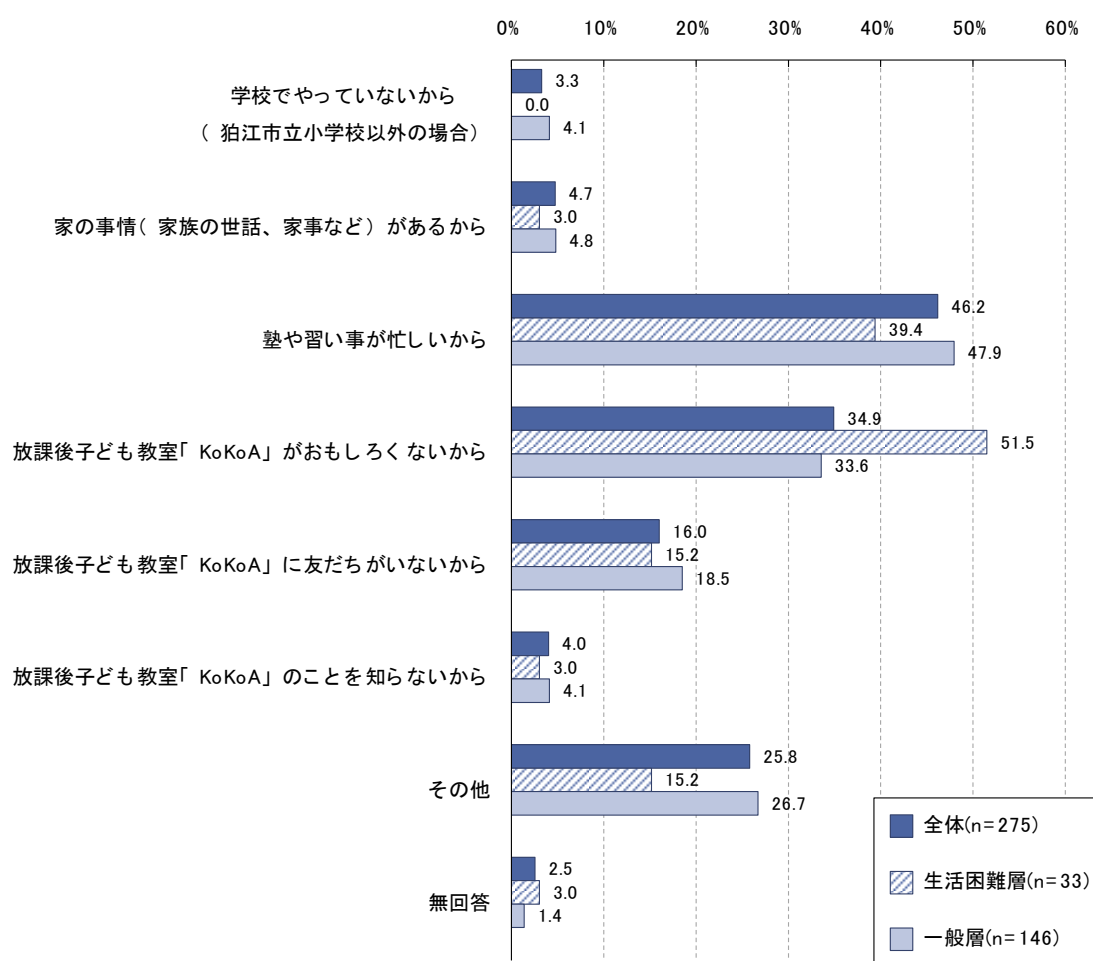
（２）放課後子ども教室・部活動に参加していない理由

小学５年生の子ども教室「KoKoA」に「参加していない」人の理由で、「家の事情（家族の世話、家事など）があるから」と回答した割合は、全体で 4.7%、生活困難層で 3.0%、一般層で 4.8%となっています。また、「放課後子ども教室「KoKoA」のことを知らないから」と回答した割合は、全体で 4.0%、生活困難層で 3.0%、一般層で 4.1%となっています。

一般層と比べ生活困難層では「塾や習い事が忙しいから」の割合がやや低く、「放課後子ども教室「KoKoA」がおもしろくないから」の割合が高くなっています。

問11－１ 放課後子ども教室「KoKoA」に参加しない理由は何ですか（小学生票 複数回答）

小学５年生

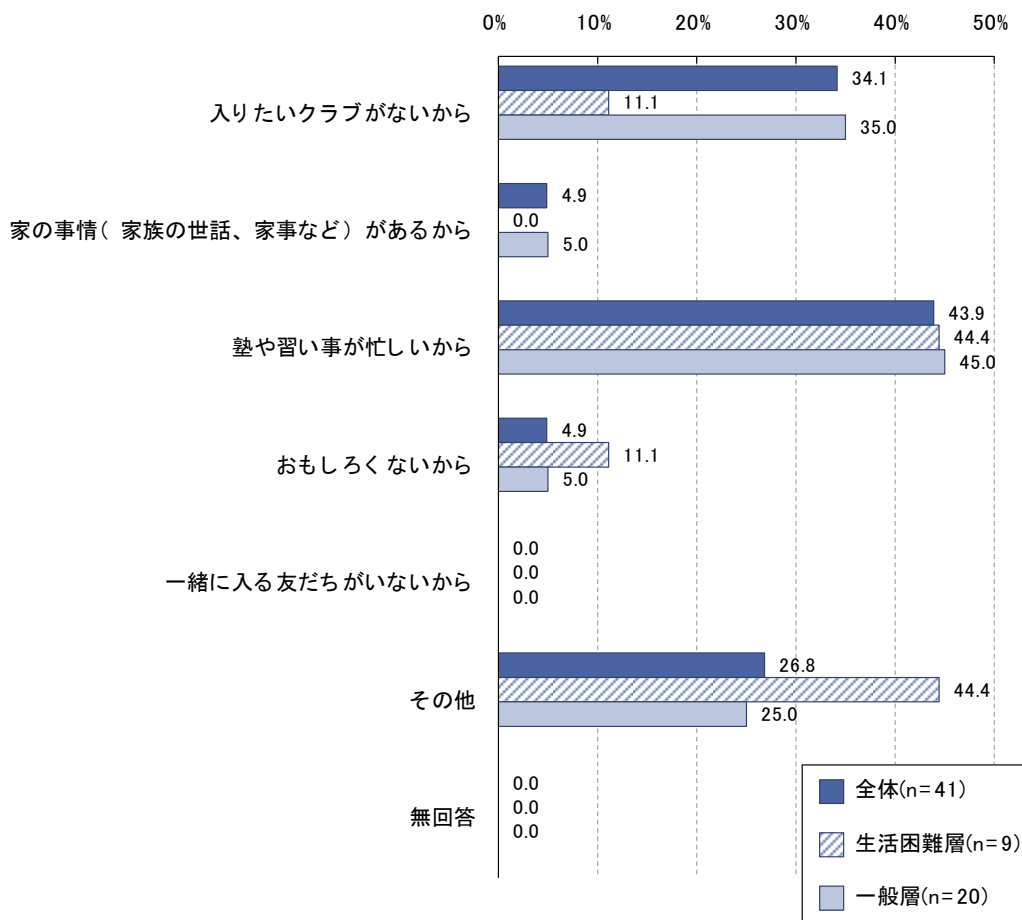


中学2年生の学校のクラブ活動に参加していない人の理由で、「家の事情（家族の世話、家事など）があるから」と回答した割合は、全体で 4.9%、一般層で 5.0%となっていますが、生活困難層では回答はありませんでした。

一般層と比べ生活困難層では「入りたいクラブがないから」の割合が低くなっています。

問11-1 学校のクラブ活動に参加しない理由は何ですか(中学生票 複数回答)

中学2年生



7 活動の状況

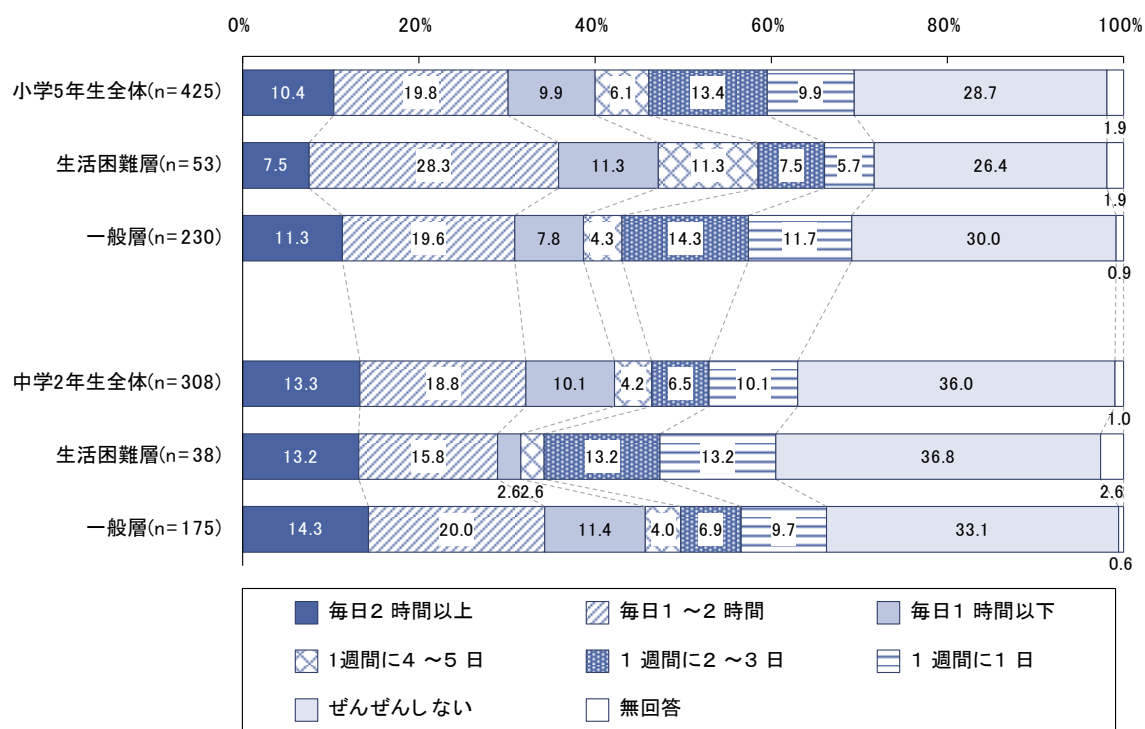
(1) 活動の状況

Aゲーム機で遊ぶ

ゲーム機で遊ぶを“毎日”（「毎日2時間以上」、「毎日1～2時間」、「毎日1時間以下」の合計）していると回答した割合は、小学5年生の全体で40.1%、生活困難層で47.1%、一般層で38.7%、中学2年生では、全体で42.2%、生活困難層で31.6%、一般層で45.7%となっています。

一般層と比べ小学5年生の生活困難層では高く、中学2年生の生活困難層では低くなっています。

問14 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか／Aゲーム機で遊ぶ

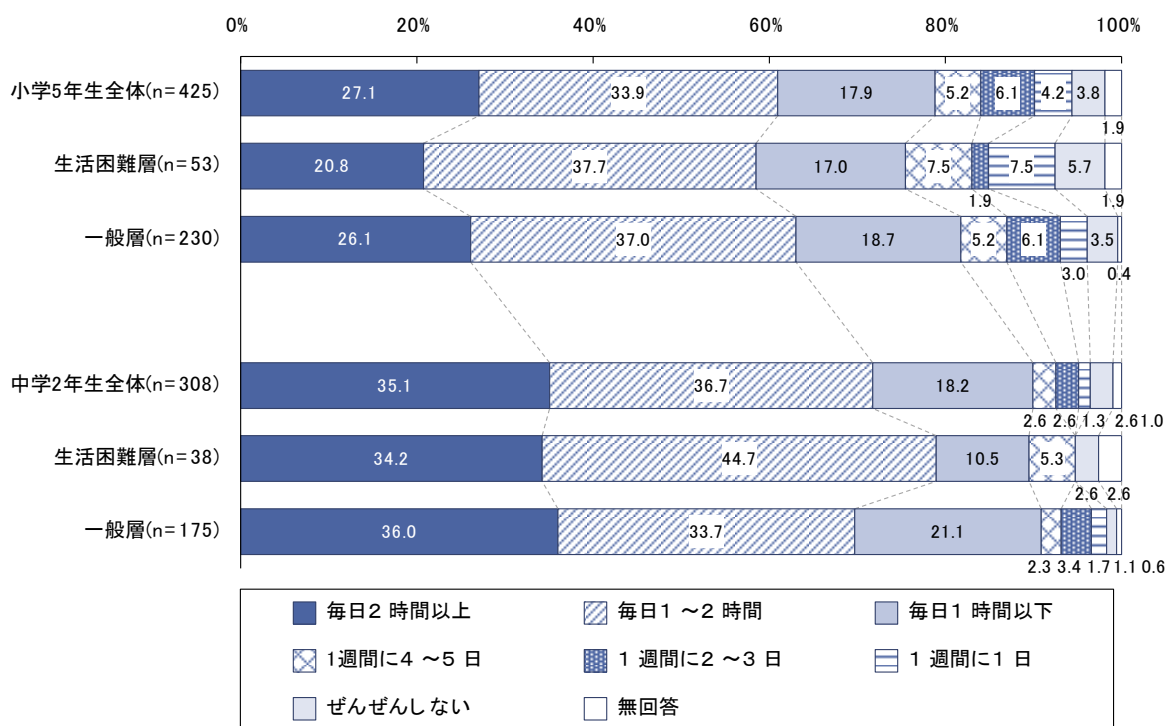


Bテレビ・インターネットを見る

テレビ・インターネットを“毎日”（「毎日2時間以上」、「毎日1～2時間」、「毎日1時間以下」の合計）見ると回答した割合は、小学5年生の全体で78.9%、生活困難層で75.5%、一般層で81.8%、中学2年生では、全体で90.0%、生活困難層で89.4%、一般層で90.8%となっています。

小学5年生、中学2年生とも生活困難度による差はみられませんが、小学5年生に比べ中学2年生は総じて高くなっています。

問14 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか／Bテレビ・インターネットを見る

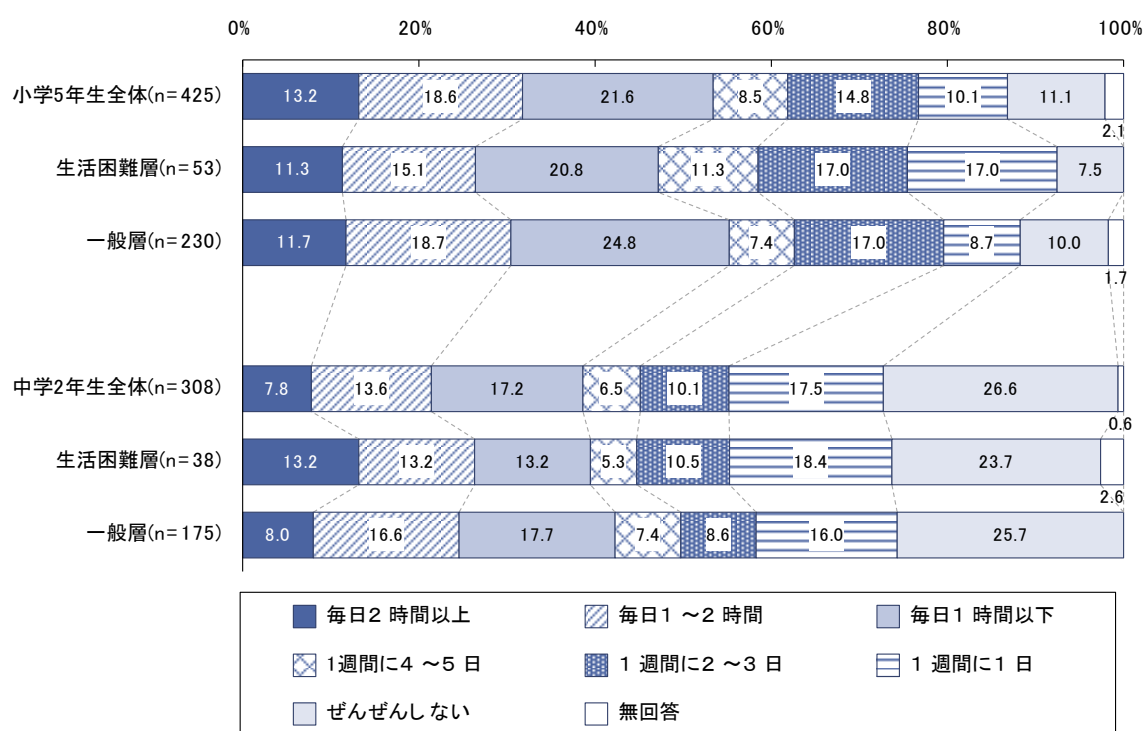


C室内でのほかの活動（読書、室内遊びなど）

室内でのほかの活動（読書、室内遊びなど）を“毎日”（「毎日2時間以上」、「毎日1～2時間」、「毎日1時間以下」の合計）していると回答した割合は、小学5年生の全体で53.4%、生活困難層で47.2%、一般層で55.2%、中学2年生では、全体で38.6%、生活困難層で39.6%、一般層で42.3%となっています。

小学5年生、中学2年生とも生活困難度による差はみられませんが、小学5年生に比べ中学2年生は総じて低くなっています。

問14 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか／C室内でのほかの活動（読書、室内遊びなど）

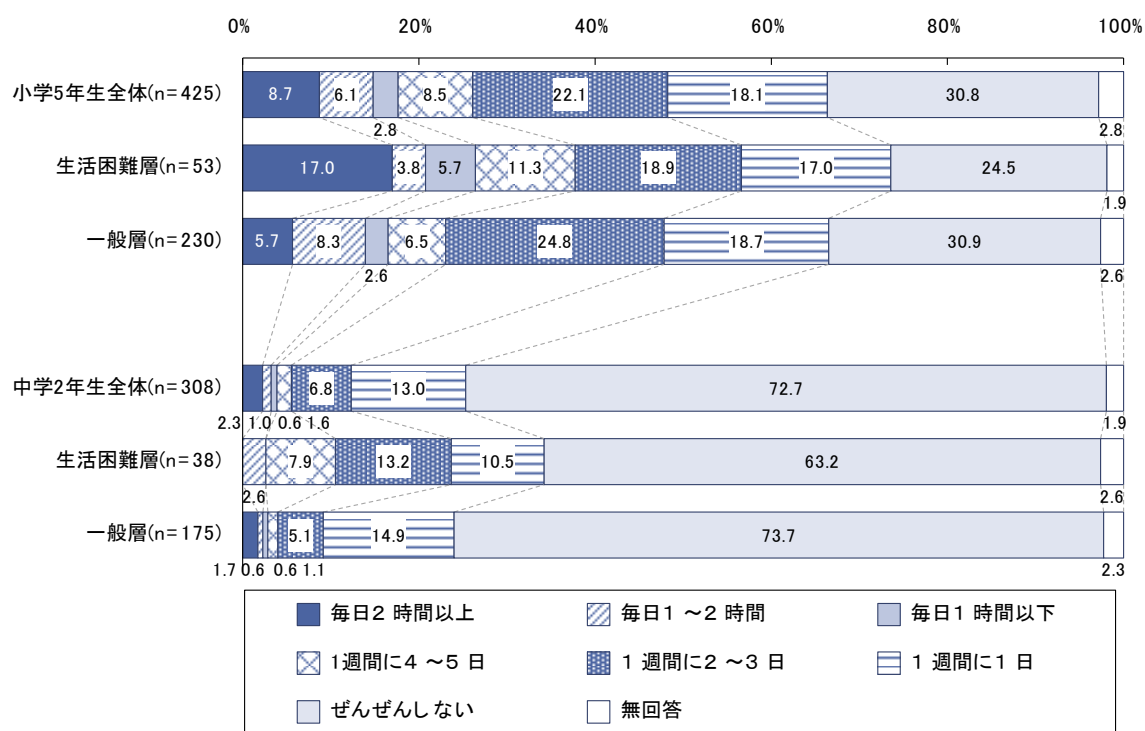


D公園で遊ぶ

公園で“毎日”（「毎日2時間以上」、「毎日1～2時間」、「毎日1時間以下」の合計）遊ぶと回答した割合は、小学5年生の全体で17.6%、生活困難層で26.5%、一般層で16.6%、中学2年生では、全体で3.9%、生活困難層で2.6%、一般層で2.9%となっています。

一般層と比べ小学5年生の生活困難層でやや高く、中学2年生は生活困難度による差はみられません。また、小学5年生に比べ中学2年生は総じて低くなっています。

問14 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか／D公園で遊ぶ

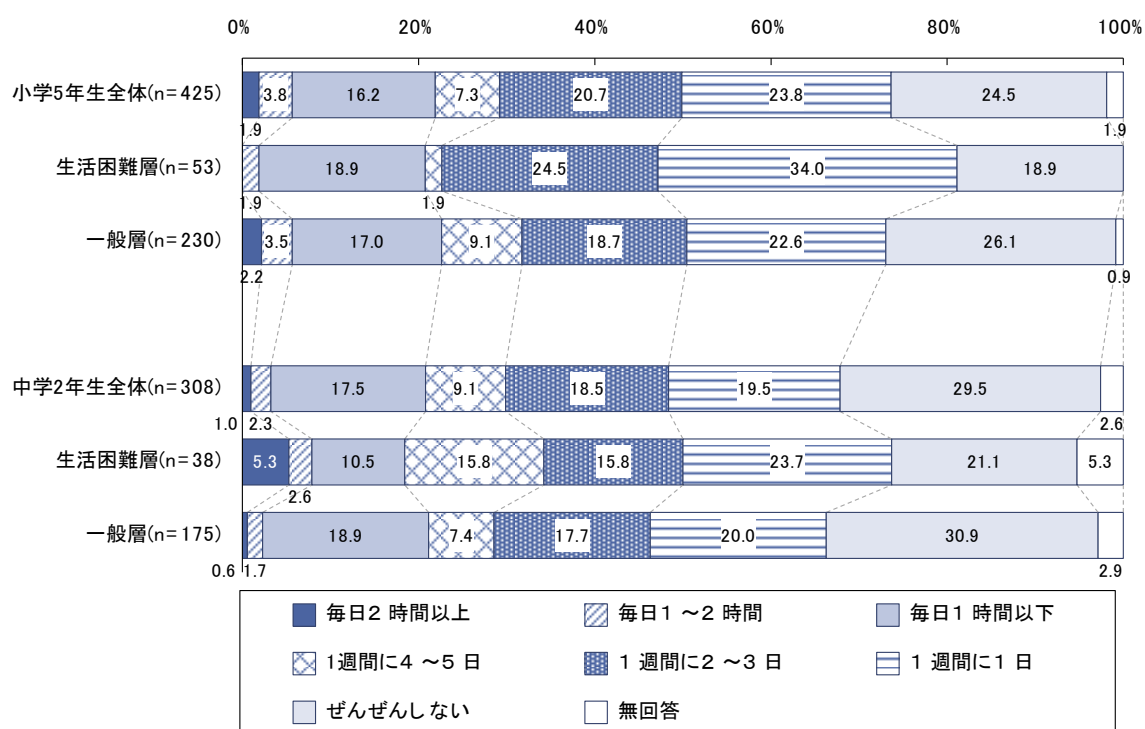


E家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）

家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）を“毎日”（「毎日2時間以上」、「毎日1～2時間」、「毎日1時間以下」の合計）していると回答した割合は、小学5年生の全体で21.9%、生活困難層で20.8%、一般層で22.7%、中学2年生では、全体で20.8%、生活困難層で18.4%、一般層で21.2%となっています。

小学5年生、中学2年生とも生活困難度による差はみられません。

問14 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか／E家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）

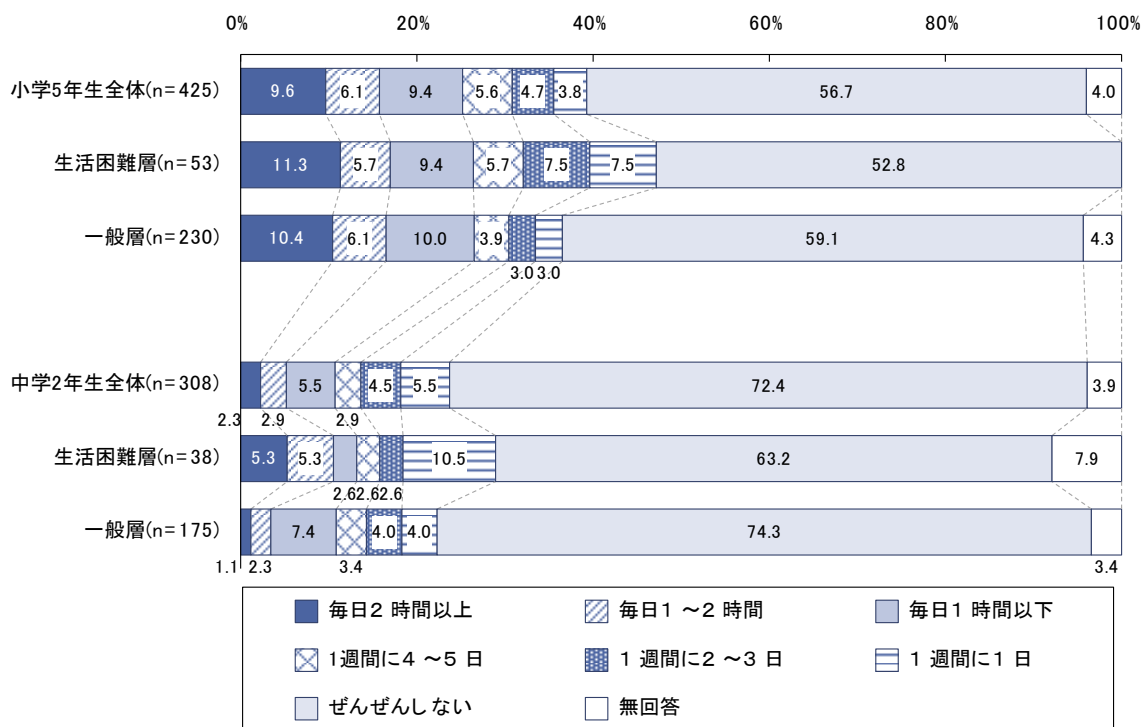


F 兄弟姉妹の世話や祖父母の介護

兄弟姉妹の世話や祖父母の介護を“毎日”（「毎日2時間以上」、「毎日1～2時間」、「毎日1時間以下」の合計）していると回答した割合は、小学5年生の全体で25.1%、生活困難層で26.4%、一般層で26.5%、中学2年生では、全体で10.7%、生活困難層で13.2%、一般層で10.8%となっています。

小学5年生、中学2年生とも生活困難度による差はみられませんが、小学5年生に比べ中学2年生は総じて低くなっています。

問14 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか／F兄弟姉妹の世話や祖父母の介護

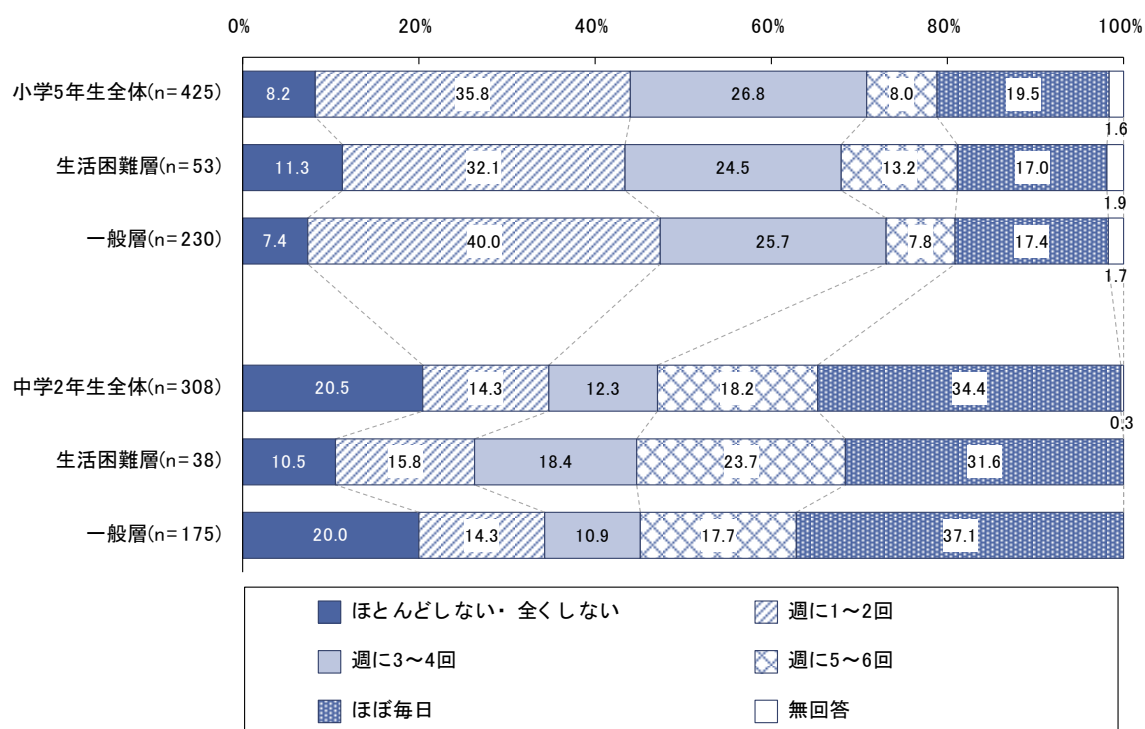


（２）運動の状況

1週間に体育の授業以外で30分以上からだを動かす遊びや習い事をする頻度について、「ほとんどしない・全くしない」と回答した割合は、小学5年生の全体で8.2%、生活困難層で11.3%、一般層で7.4%、中学2年生では、全体で20.5%、生活困難層で10.5%、一般層で20.0%となっています。反対に「ほぼ毎日」と回答した割合は、小学5年生の全体で19.5%、生活困難層で17.0%、一般層で17.4%、中学2年生では、全体で34.4%、生活困難層で31.6%、一般層で37.1%となっています。

「ほぼ毎日」と回答した割合では、小学5年生、中学2年生とも生活困難度による差はみられませんが、小学5年生に比べ中学2年生は総じて高くなっています。

問15 あなたは、体育の授業以外で30分以上からだを動かす遊びや習い事を、1週間でどれくらいしますか

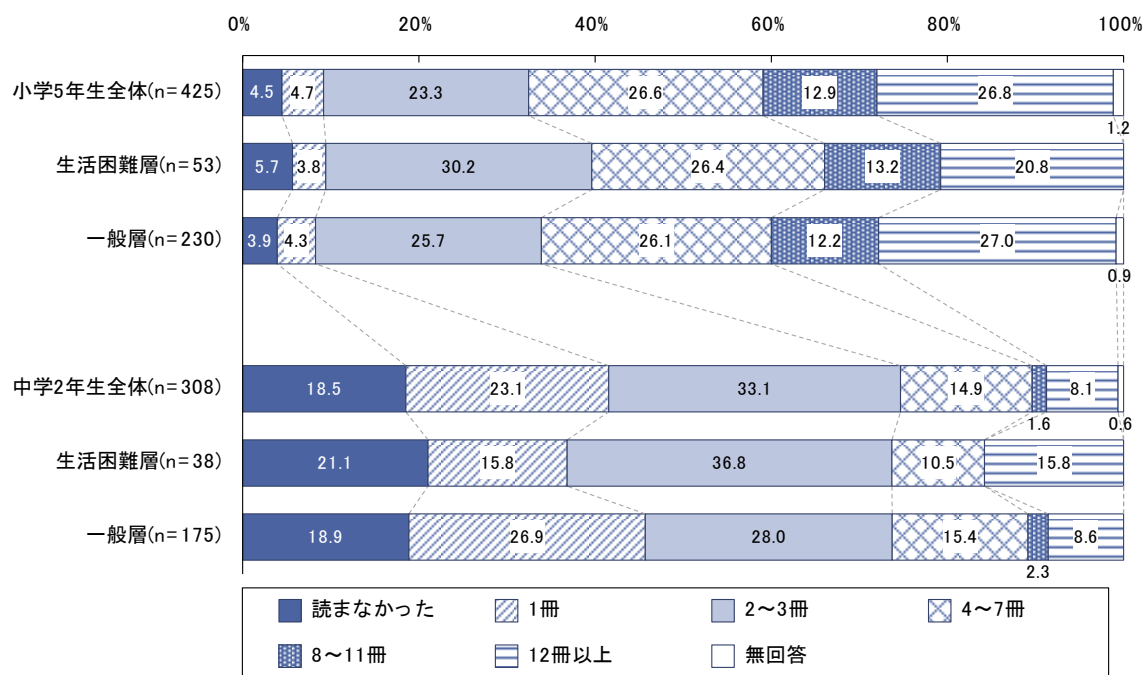


(3) 読書の状況

この1か月の間に読んだ本の冊数について、「12冊以上」と回答した割合は、小学5年生の全体で26.8%、生活困難層で20.8%、一般層で27.0%、中学2年生では、全体で8.1%、生活困難層で15.8%、一般層で8.6%となっています。反対に「読まなかった」と回答した割合は、小学5年生の全体で4.5%、生活困難層で5.7%、一般層で3.9%、中学2年生では、全体で18.5%、生活困難層で21.1%、一般層で18.9%となっています。

小学5年生、中学2年生とも生活困難度による差はみられません。

問16 あなたは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか



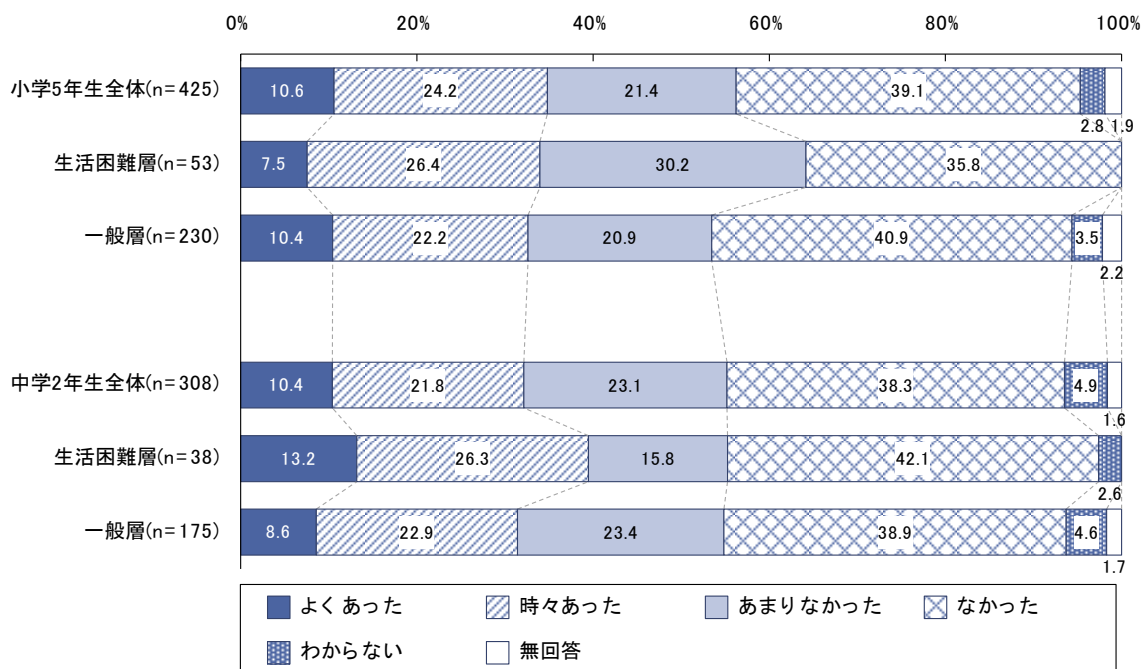
8 経験の状況

A学校に行きたくないと思った

学校に行きたくないと思ったことが“あった”（「よくあった」と「時々あった」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で34.8%、生活困難層で33.9%、一般層で32.6%、中学2年生では、全体で32.2%、生活困難層で39.5%、一般層で31.5%となっています。

小学5年生では生活困難度による差はみられませんが、中学2年生では一般層と比べ生活困難層で“あった”割合がやや高くなっています。

問33 あなたは、これまでに以下のようなことがありましたか／A学校に行きたくないと思った

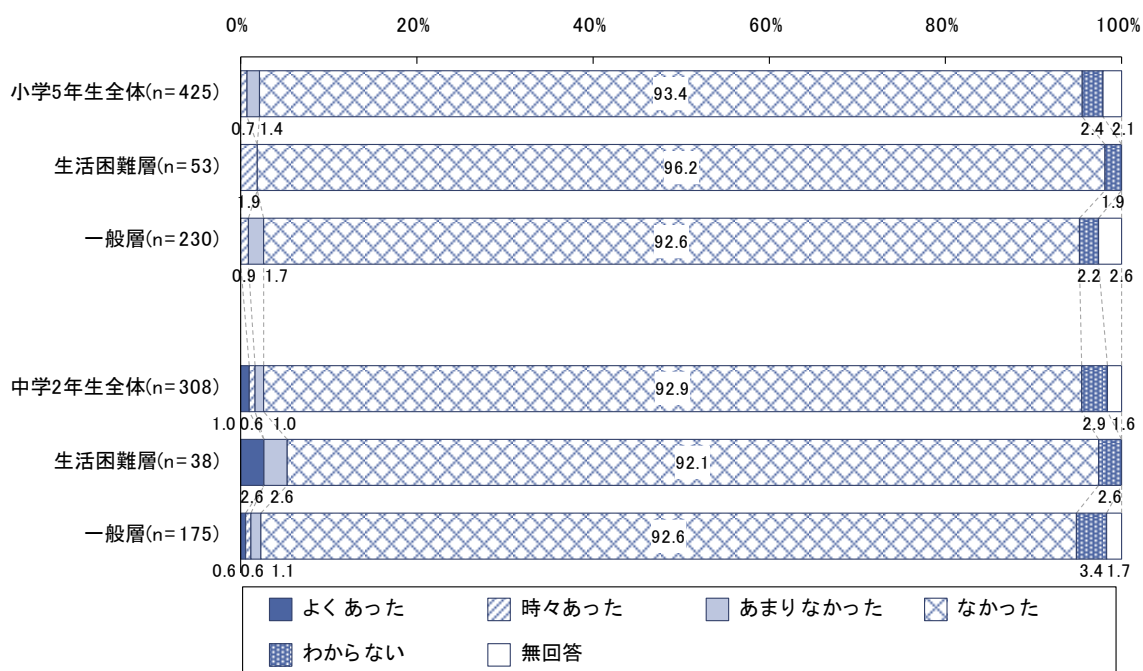


B 1 か月以上学校を休んだ（病気のときをのぞく）

病気のときをのぞき 1 か月以上学校を休んだことがあったかについて、いずれの層も「なかった」が 9 割を超え大多数を占めていますが、中学 2 年生の生活困難層の 2.6%が「よくあった」と回答しています。

小学 5 年生、中学 2 年生とも生活困難度による差はみられません。

問33 あなたは、これまでに以下のようなことがありましたか／B1か月以上学校を休んだ（病気のときをのぞく）

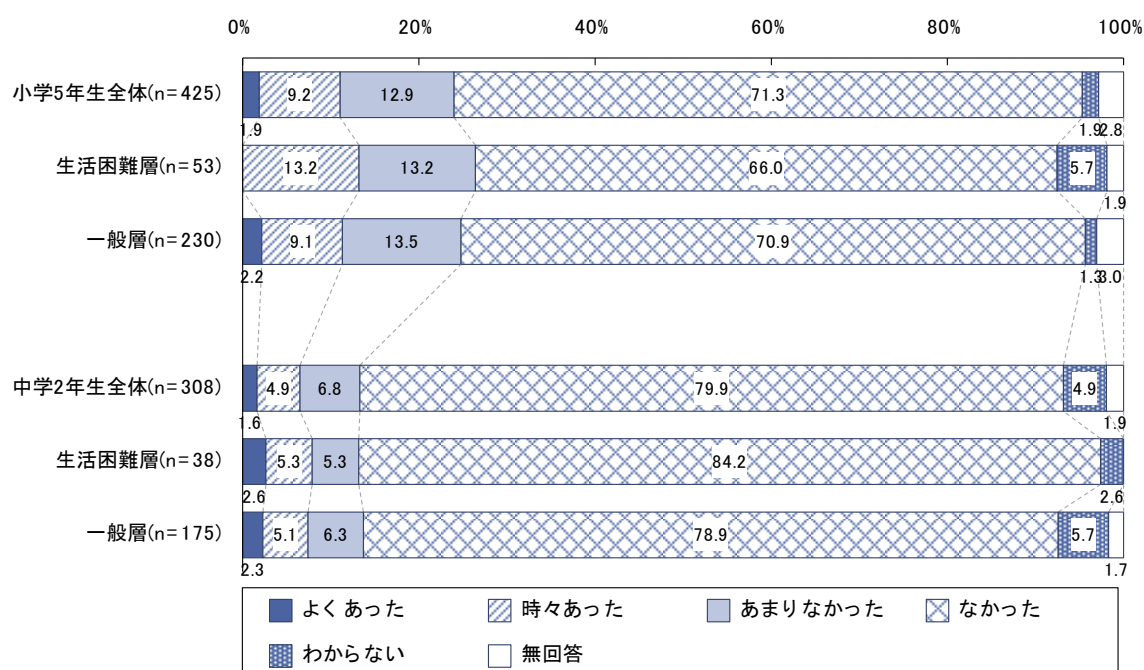


C いじめられた

いじめられたことが“あった”（「よくあった」と「時々あった」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で11.1%、生活困難層で13.2%、一般層で11.3%、中学2年生では、全体で6.5%、生活困難層で7.9%、一般層で7.4%となっています。

小学5年生、中学2年生とも生活困難度による差はみられませんが、小学5年生と比べ中学2年生では“あった”の割合は総じて低くなっています。

問33 あなたは、これまでに以下のようなことがありましたか／C いじめられた

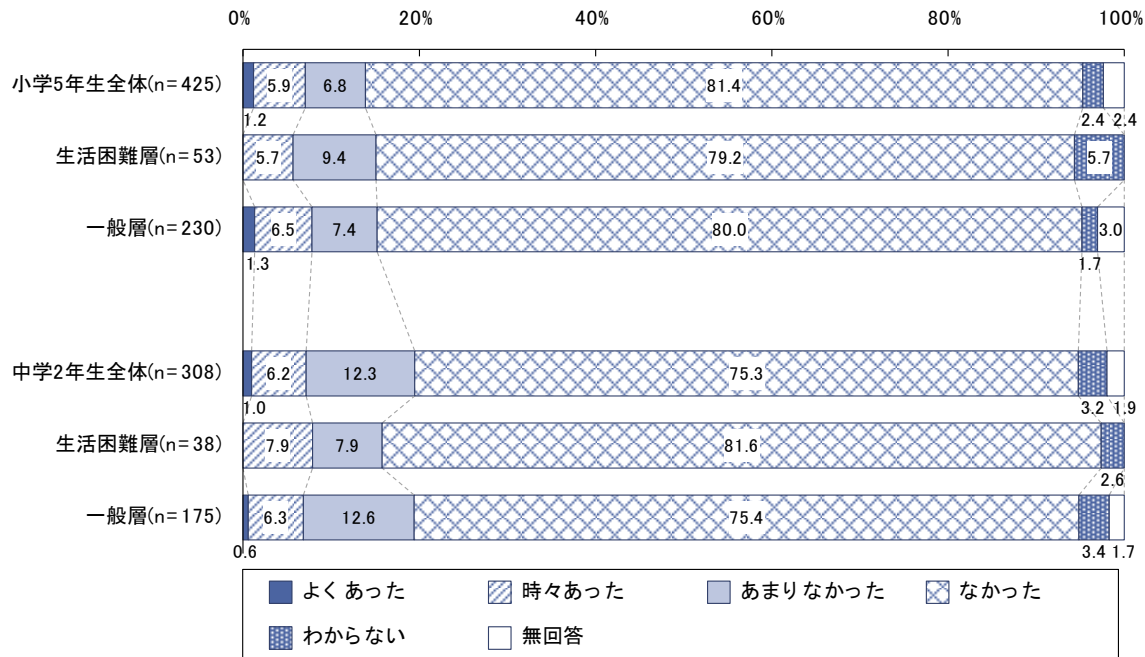


D夜遅くまで子どもだけで過ごした

夜遅くまで子どもだけで過ごしたことが“あった”（「よくあった」と「時々あった」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で7.1%、生活困難層で5.7%、一般層で7.8%、中学2年生では、全体で7.2%、生活困難層で7.9%、一般層で6.9%となっています。

小学5年生、中学2年生とも生活困難度による差はみられません。

問33 あなたは、これまでに以下のようなことがありましたか／D夜遅くまで子どもだけで過ごした



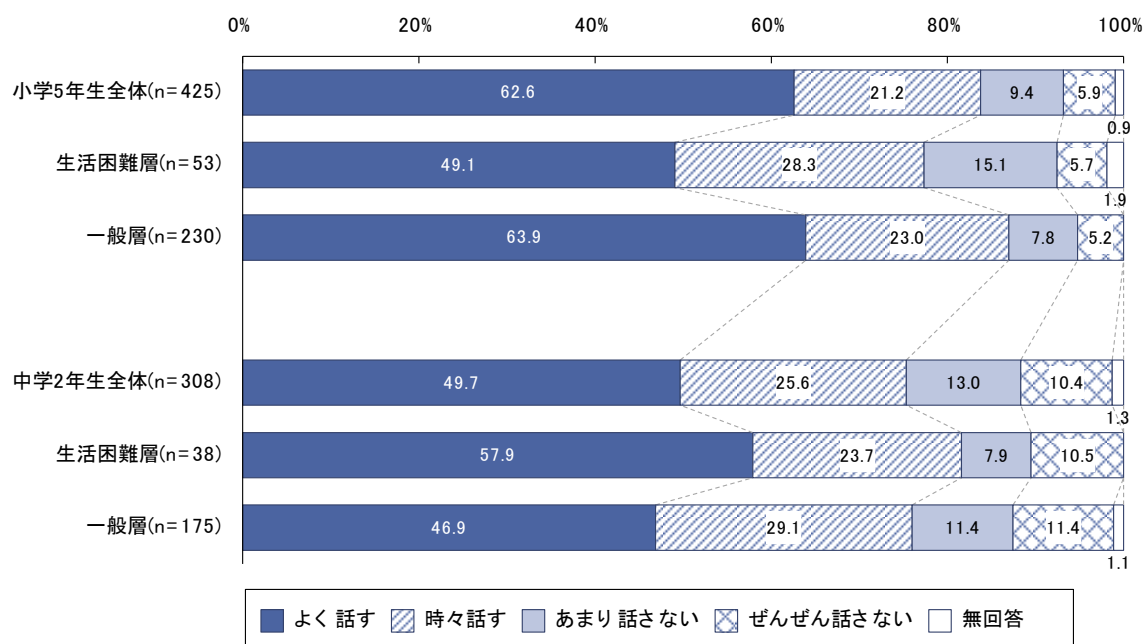
9 会話の頻度

A家族（親）

家族（親）との会話について、“話す”（「よく話す」と「時々話す」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で83.8%、生活困難層で77.4%、一般層で86.9%、中学2年生では、全体で75.3%、生活困難層で81.6%、一般層で76.0%となっています。

一般層と比べ小学5年生の生活困難層で低く、中学2年生の生活困難層でやや高くなっています。

問17 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか／A家族（親）

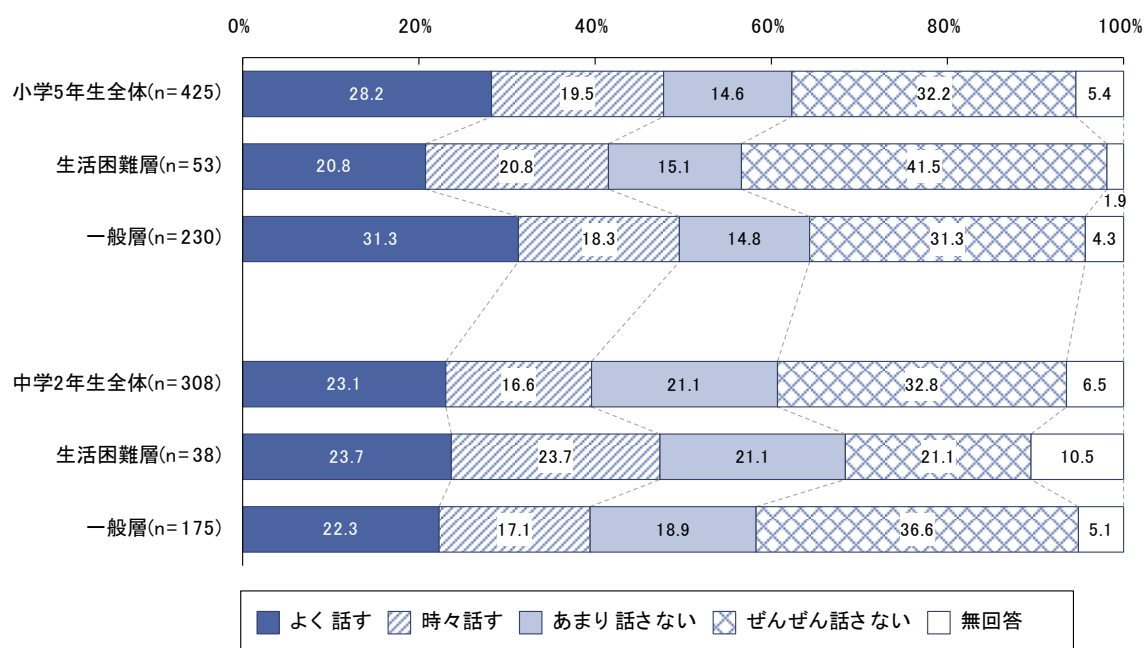


B家族（兄弟姉妹）

家族（兄弟姉妹）との会話について、“話す”（「よく話す」と「時々話す」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で47.7%、生活困難層で41.6%、一般層で49.6%、中学2年生では、全体で39.7%、生活困難層で47.4%、一般層で39.4%となっています。

一般層と比べ小学5年生の生活困難層でやや低く、中学2年生の生活困難層でやや高くなっています。

問17 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか／B家族（兄弟姉妹）

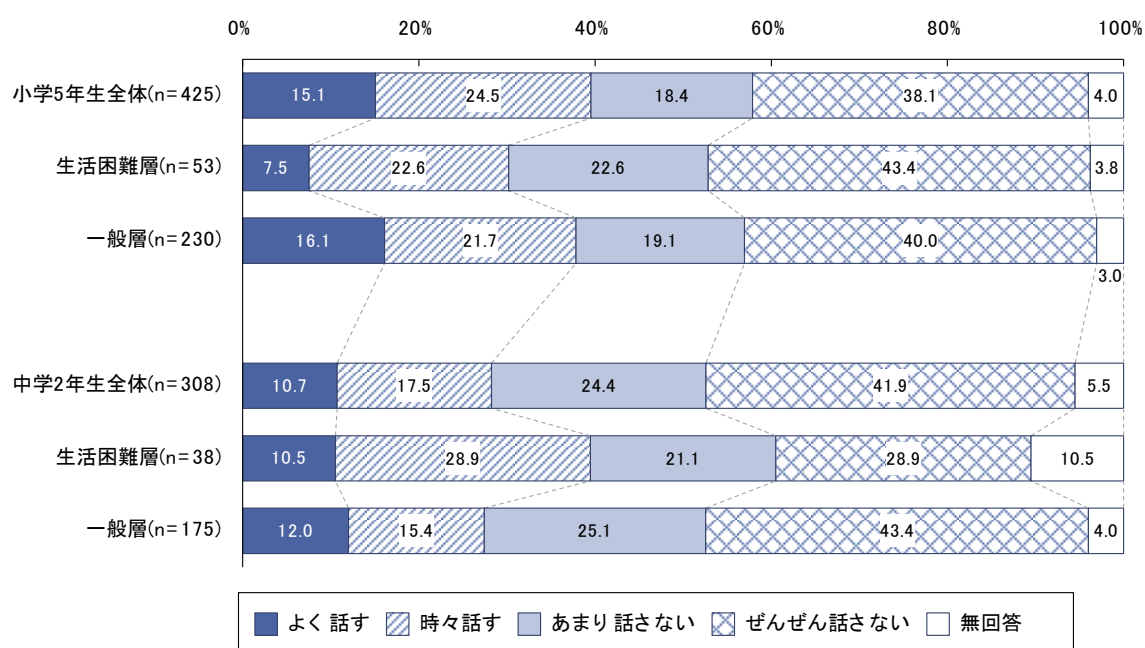


C家族(祖父母など)

家族(祖父母など)との会話について、“話す”(「よく話す」と「時々話す」の合計)と回答した割合は、小学5年生の全体で39.6%、生活困難層で30.1%、一般層で37.8%、中学2年生では、全体で28.2%、生活困難層で39.4%、一般層で27.4%となっています。

一般層と比べ小学5年生の生活困難層でやや低く、中学2年生の生活困難層で高くなっています。

問17 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか／C家族(祖父母など)

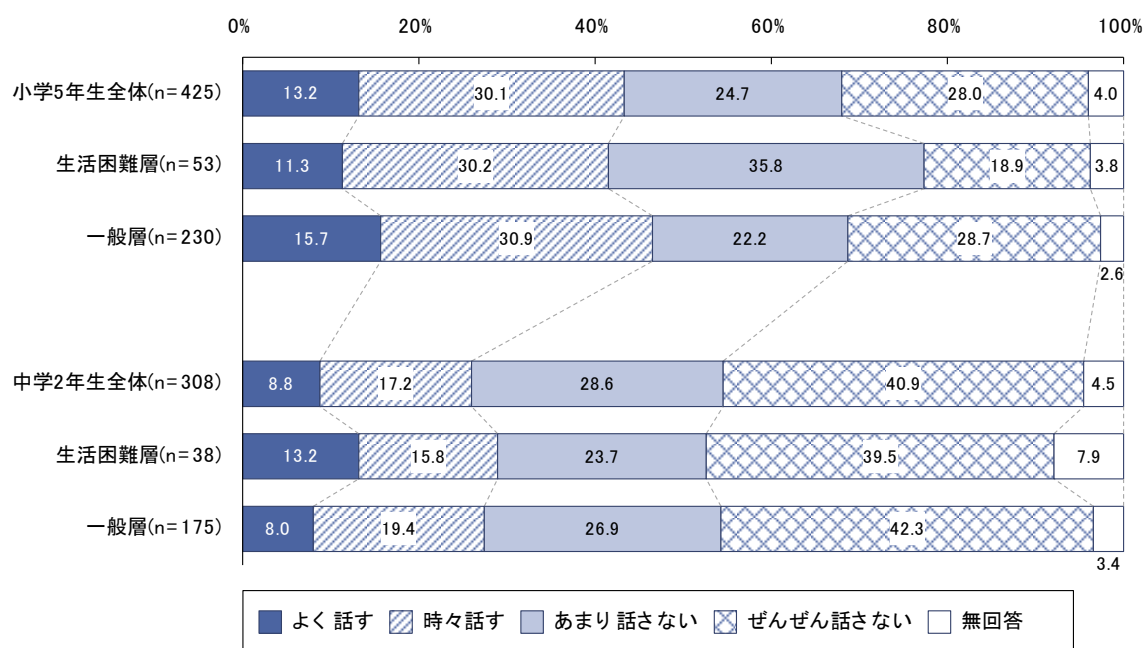


D学校の先生

学校の先生との会話について、“話す”（「よく話す」と「時々話す」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で43.3%、生活困難層で41.5%、一般層で46.6%、中学2年生では、全体で26.0%、生活困難層で29.0%、一般層で27.4%となっています。

小学5年生、中学2年生とも生活困難度による差はみられませんが、小学5年生に比べ中学2年生では“話す”割合が総じて低くなっています。

問17 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか／D学校の先生

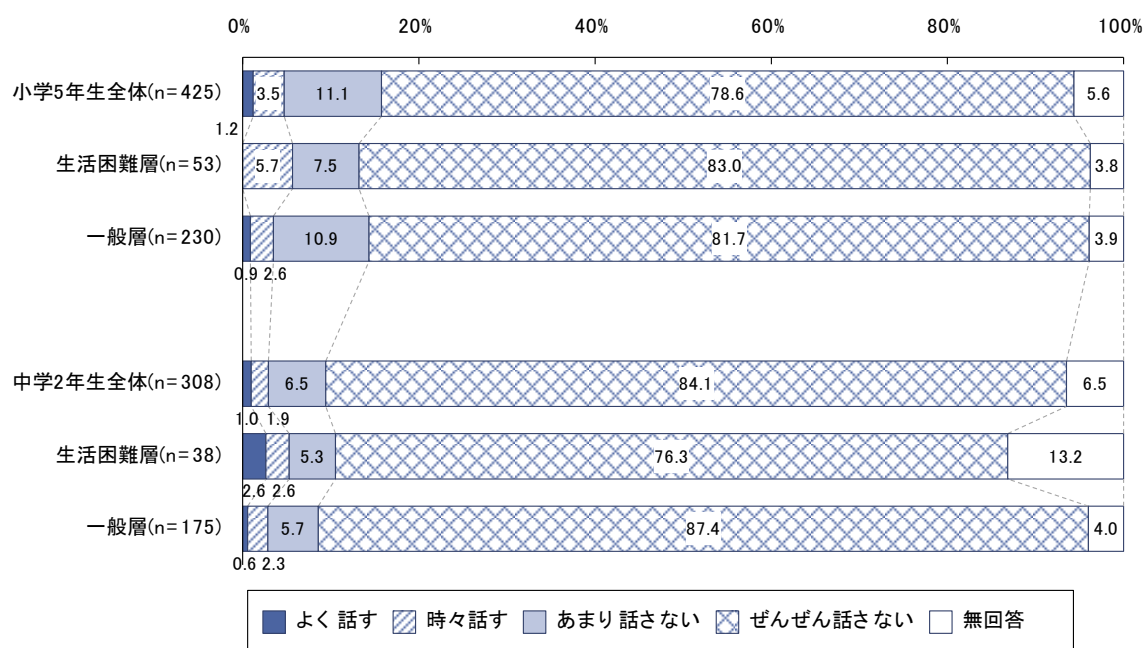


E児童館・児童センター（学童クラブふくむ）の職員

児童館・児童センター（学童クラブふくむ）の職員との会話について、「話す」（「よく話す」と「時々話す」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で4.7%、生活困難層で5.7%、一般層で3.5%、中学2年生では、全体で2.9%、生活困難層で5.2%、一般層で2.9%となっています。

小学5年生、中学2年生とも生活困難度による大きな差はみられません。

問17 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか／E児童館・児童センター（学童クラブふくむ）の職員

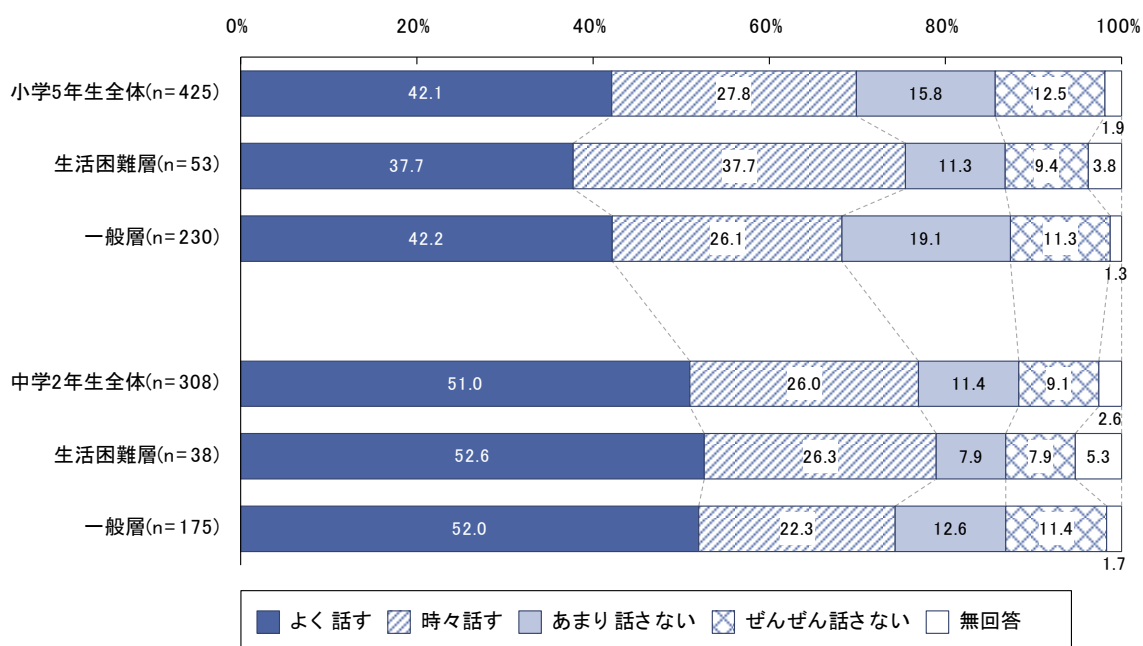


F 友だち

友だちとの会話について、“話す”（「よく話す」と「時々話す」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で 69.9%、生活困難層で 75.4%、一般層で 68.3%、中学2年生では、全体で 77.0%、生活困難層で 78.9%、一般層で 74.3%となっています。

一般層と比べ小学5年生の生活困難層で“話す”割合はやや高く、中学2年生では生活困難層による大きな差はみられません。

問17 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか／F友だち



第7章 子どもの健康と自己肯定感

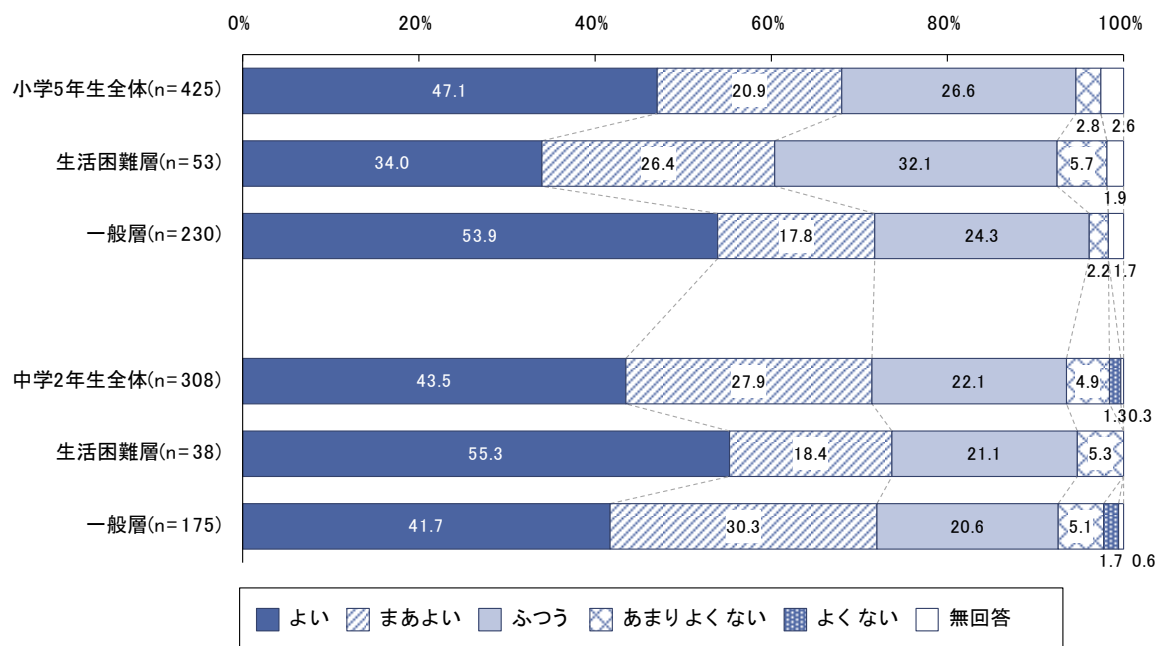
1 子どもの健康状態

(1) 子どもの主観的健康状態

子ども自身が感じている健康状態について、“よい”（「よい」と「まあよい」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で68.0%、生活困難層で60.4%、一般層で71.7%、中学2年生では、全体で71.4%、生活困難層で73.7%、一般層で72.0%となっています。

一般層と比べ、小学5年生の生活困難層で“よい”割合は低くなっていますが、中学2年生では生活困難度による差はみられません。

問22 あなたは、現在の健康状態についてどう感じていますか

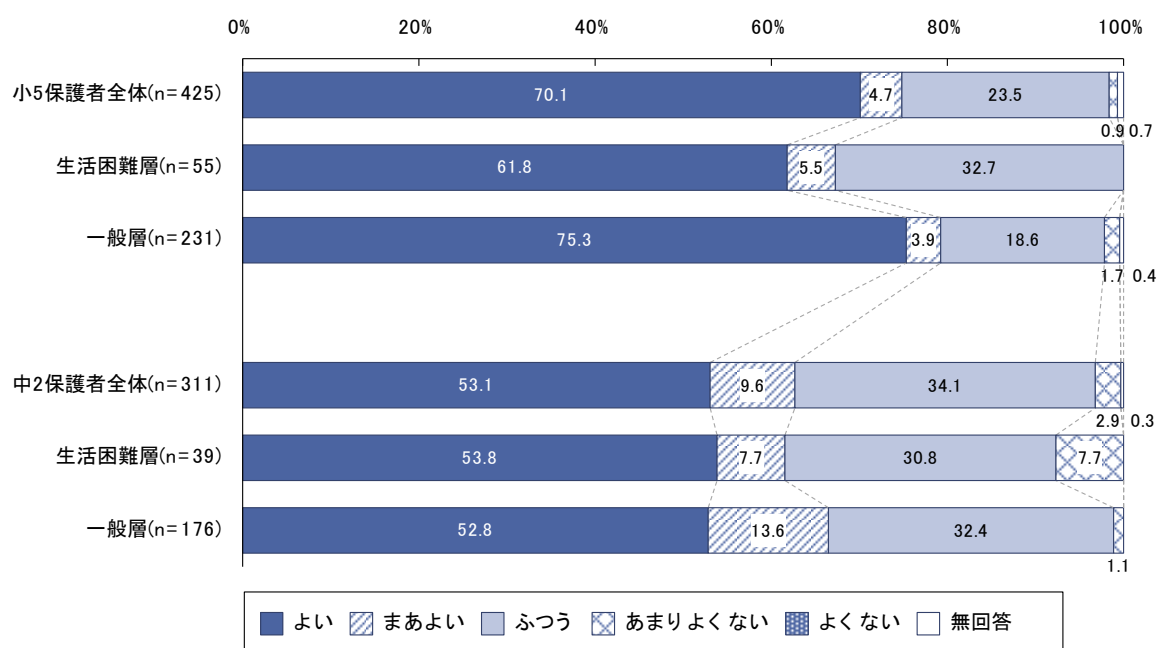


（２）保護者からみた子どもの健康状態

保護者からみた子どもの健康状態について、“よい”（「よい」と「まあよい」の合計）と回答した割合は、小学５年生の全体で 74.8%、生活困難層で 67.3%、一般層で 79.2%、中学２年生では、全体で 62.7%、生活困難層で 61.5%、一般層で 66.4%となっています。

一般層と比べ、小学５年生の生活困難層で“よい”割合は低くなっていますが、中学２年生では生活困難度による差はみられません。

問16 あなたとお子さんの健康状態についておうかがいします／子ども

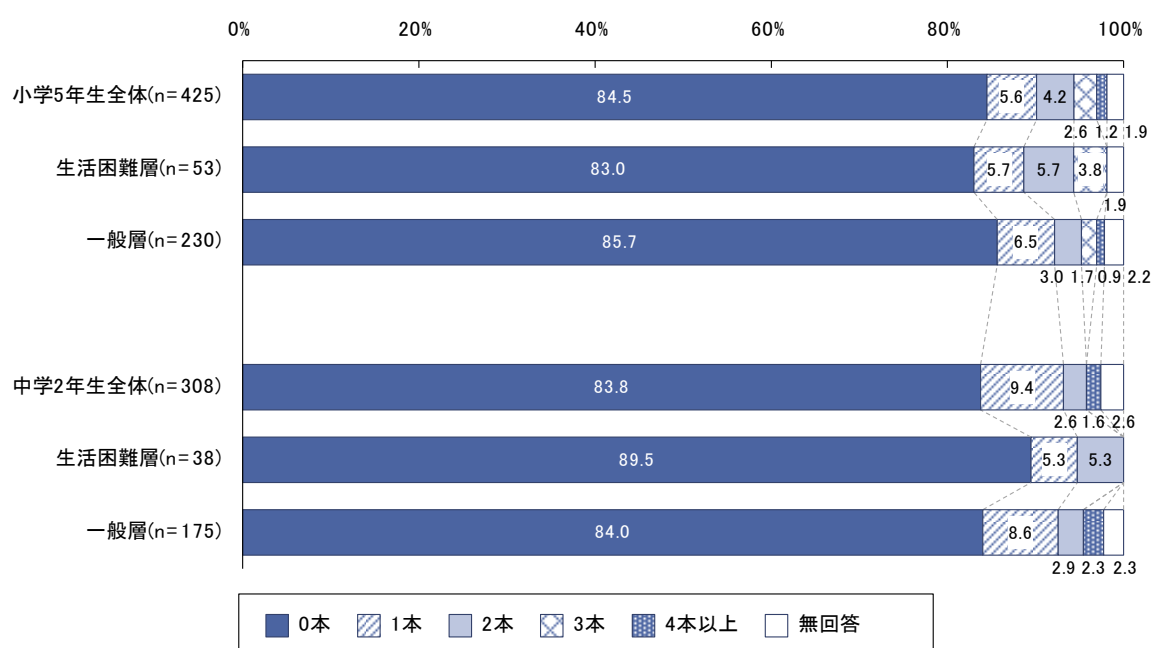


（３）むし歯の本数

むし歯が“ある”（「１本」～「４本以上」の合計）と回答した割合は、小学５年生の全体で 13.6%、生活困難層で 15.2%、一般層で 12.1%、中学２年生では、全体で 13.6%、生活困難層で 10.6%、一般層で 13.8%となっています。

一般層と比べ、むし歯が“ある”割合は、小学５年生の生活困難層で若干高く、中学２年生では生活困難層で若干低くなっています。

問23 あなたは、今、虫歯がおおよそ何本くらいありますか

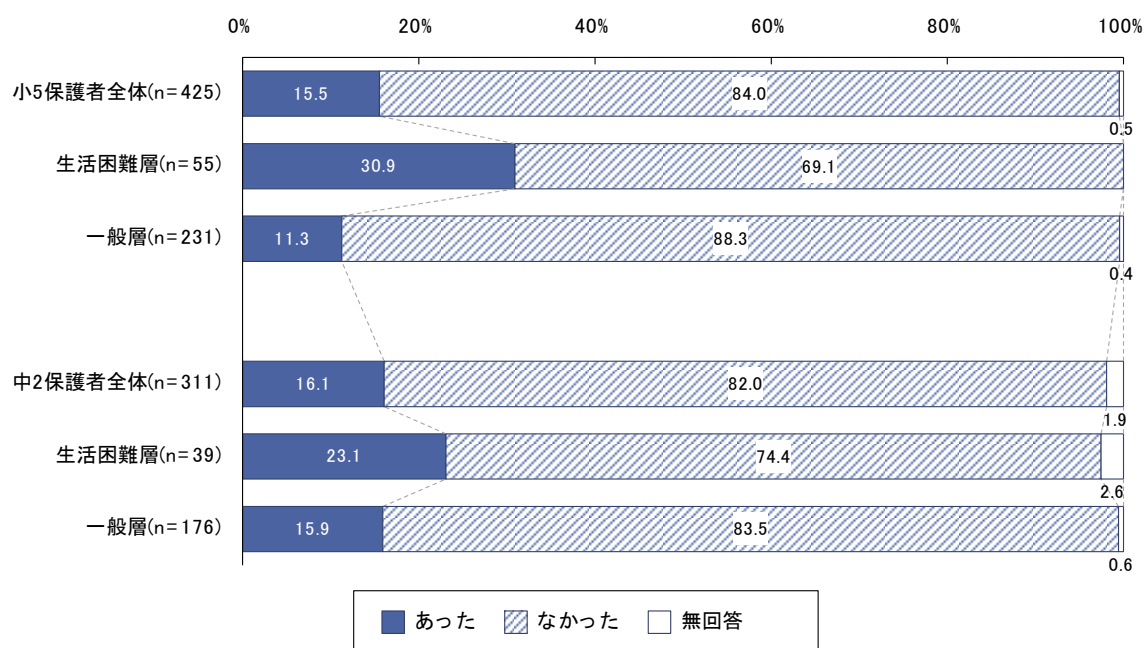


（４）子どもの医療受診抑制経験

過去１年間に医療機関を受診させなかったことがあるかについて、「あった」と回答した割合は、小学５年生の全体で 15.5%、生活困難層で 30.9%、一般層で 11.3%、中学２年生では、全体で 16.1%、生活困難層で 23.1%、一般層で 15.9%となっています。

小学５年生、中学２年生とも生活困難層で割合が高くなっています。

問17 過去１年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか

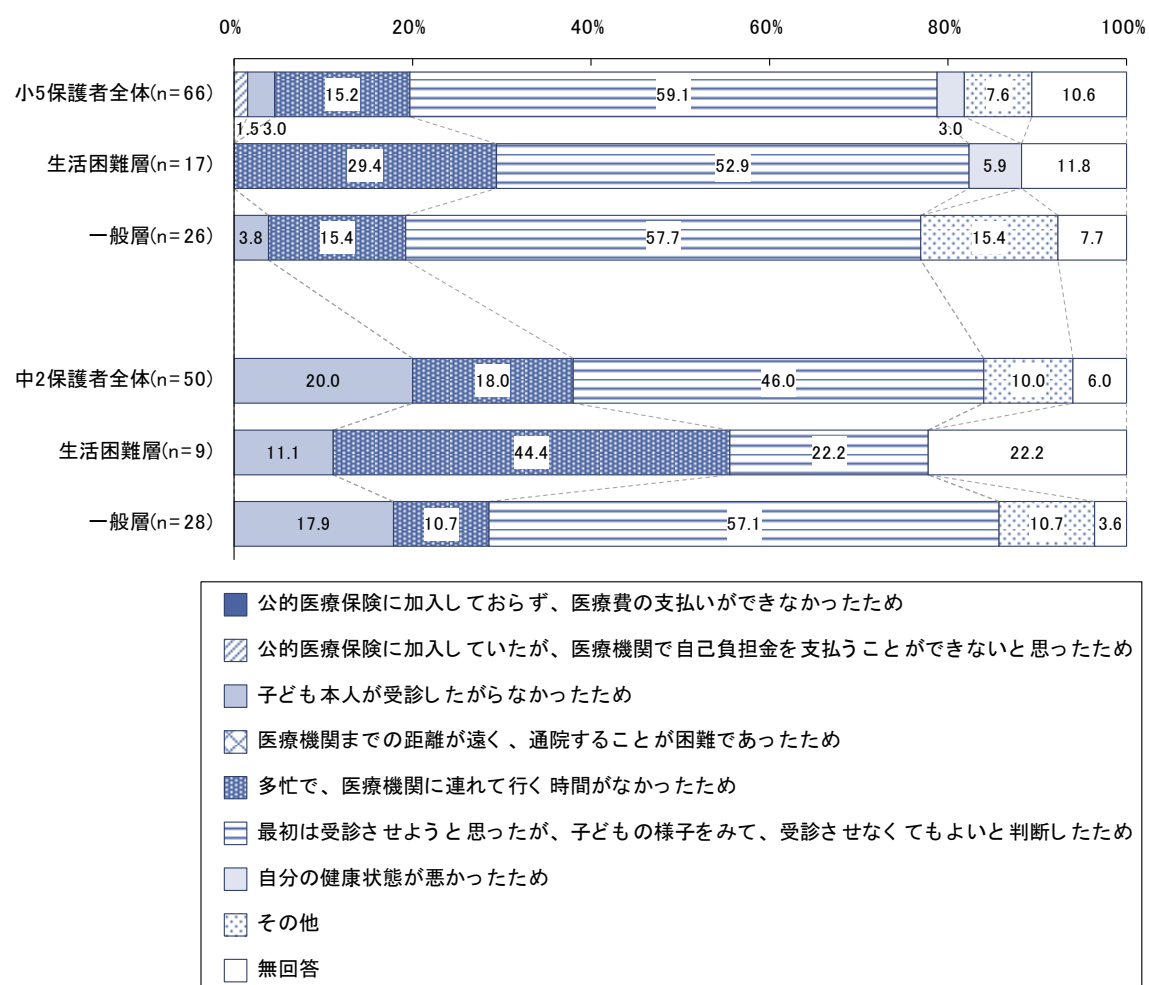


受診しなかった理由

過去1年間に医療機関を受診させなかったことがあったと回答した人の理由として、「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」と回答した割合は、小学5年生の全体で15.2%、生活困難層で29.4%、一般層で15.4%、中学2年生では、全体で18.0%、生活困難層で44.4%、一般層で10.7%となっています。また、小学5年生の生活困難層の5.9%が「自分の健康状態が悪かったため」と回答しています。

小学5年生、中学2年生とも一般層と比べ、「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」の割合が生活困難層で高くなっています。

問17-1 受診させなかった理由は、何ですか



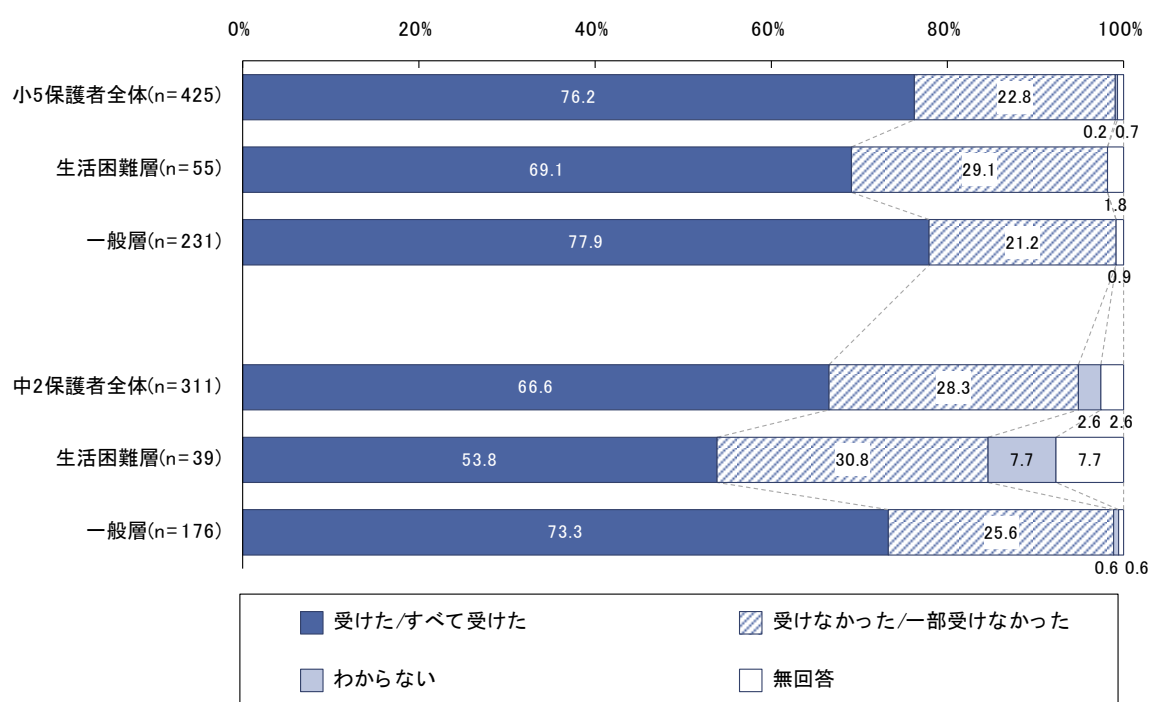
（５）予防接種状況

A 定期予防接種

定期予防接種を「受けなかった／一部受けなかった」と回答した割合は、小学５年生の全体で 22.8%、生活困難層で 29.1%、一般層で 21.2%、中学２年生では、全体で 28.3%、生活困難層で 30.8%、一般層で 25.6%となっています。

小学５年生、中学２年生とも一般層と比べ、「受けた／すべて受けた」の割合が生活困難層で低くなっています。

問18 お子さんの予防接種の受診状況について、最も近いものに○をつけてください／A 定期予防接種

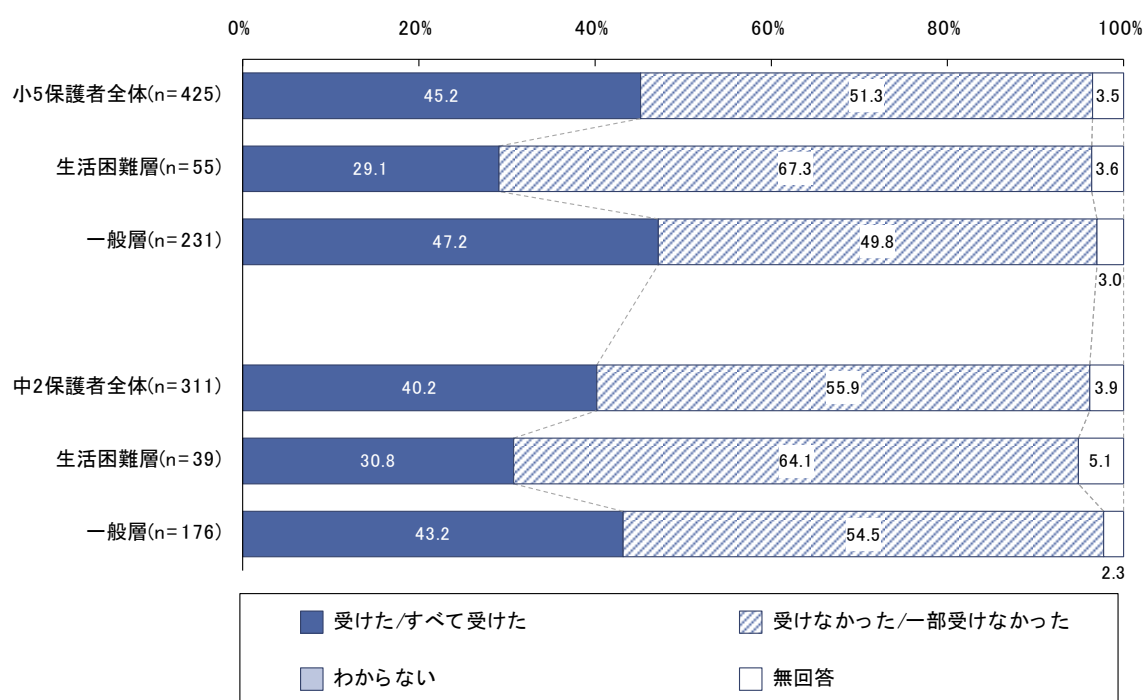


B任意接種（インフルエンザ）

インフルエンザの予防接種を「受けなかった／一部受けなかった」と回答した割合は、小学5年生の全体で51.3%、生活困難層で67.3%、一般層で49.8%、中学2年生では、全体で55.9%、生活困難層で64.1%、一般層で54.5%となっています。

小学5年生、中学2年生とも一般層と比べ、「受けた／すべて受けた」の割合が生活困難層で低くなっています。

問18 お子さんの予防接種の受診状況について、最も近いものに○をつけてください／B任意接種（インフルエンザ）

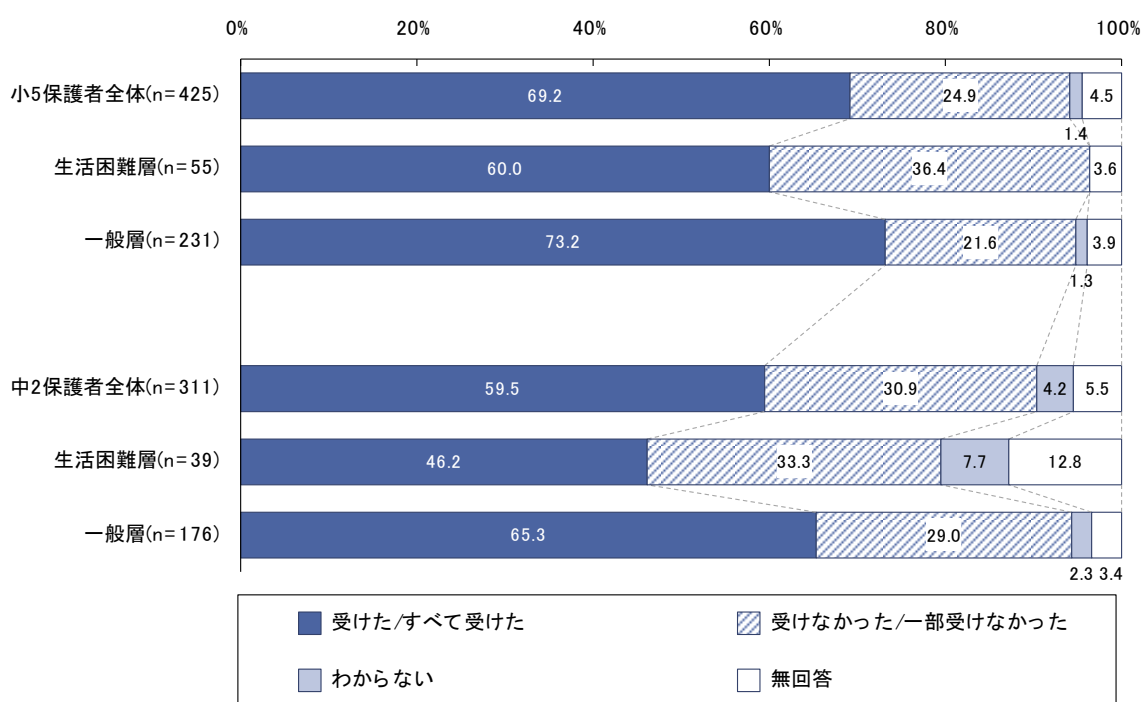


C任意接種（おたふくかぜ）

おたふくかぜの予防接種を「受けなかった／一部受けなかった」と回答した割合は、小学5年生の全体で24.9%、生活困難層で36.4%、一般層で21.6%、中学2年生では、全体で30.9%、生活困難層で33.3%、一般層で29.0%となっています。

小学5年生、中学2年生とも一般層と比べ、「受けた／すべて受けた」の割合が生活困難層で低くなっています。

問18 お子さんの予防接種の受診状況について、最も近いものに○をつけてください／C任意接種（おたふくかぜ）

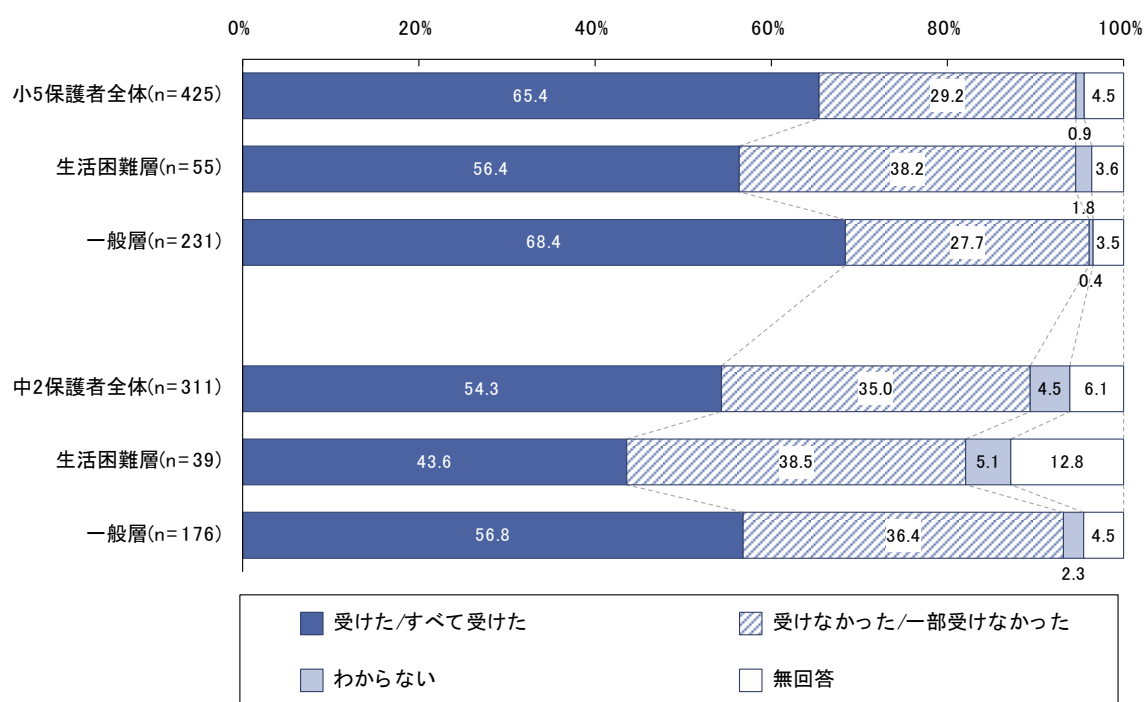


D 任意接種（水ぼうそう）

水ぼうそうの予防接種を「受けなかった／一部受けなかった」と回答した割合は、小学 5 年生の全体で 29.2%、生活困難層で 38.2%、一般層で 27.7%、中学 2 年生では、全体で 35.0%、生活困難層で 38.5%、一般層で 36.4%となっています。

小学 5 年生、中学 2 年生とも一般層と比べ、「受けた／すべて受けた」の割合が生活困難層で低くなっています。

問18 お子さんの予防接種の受診状況について、最も近いものに○をつけてください／D任意接種（水ぼうそう）

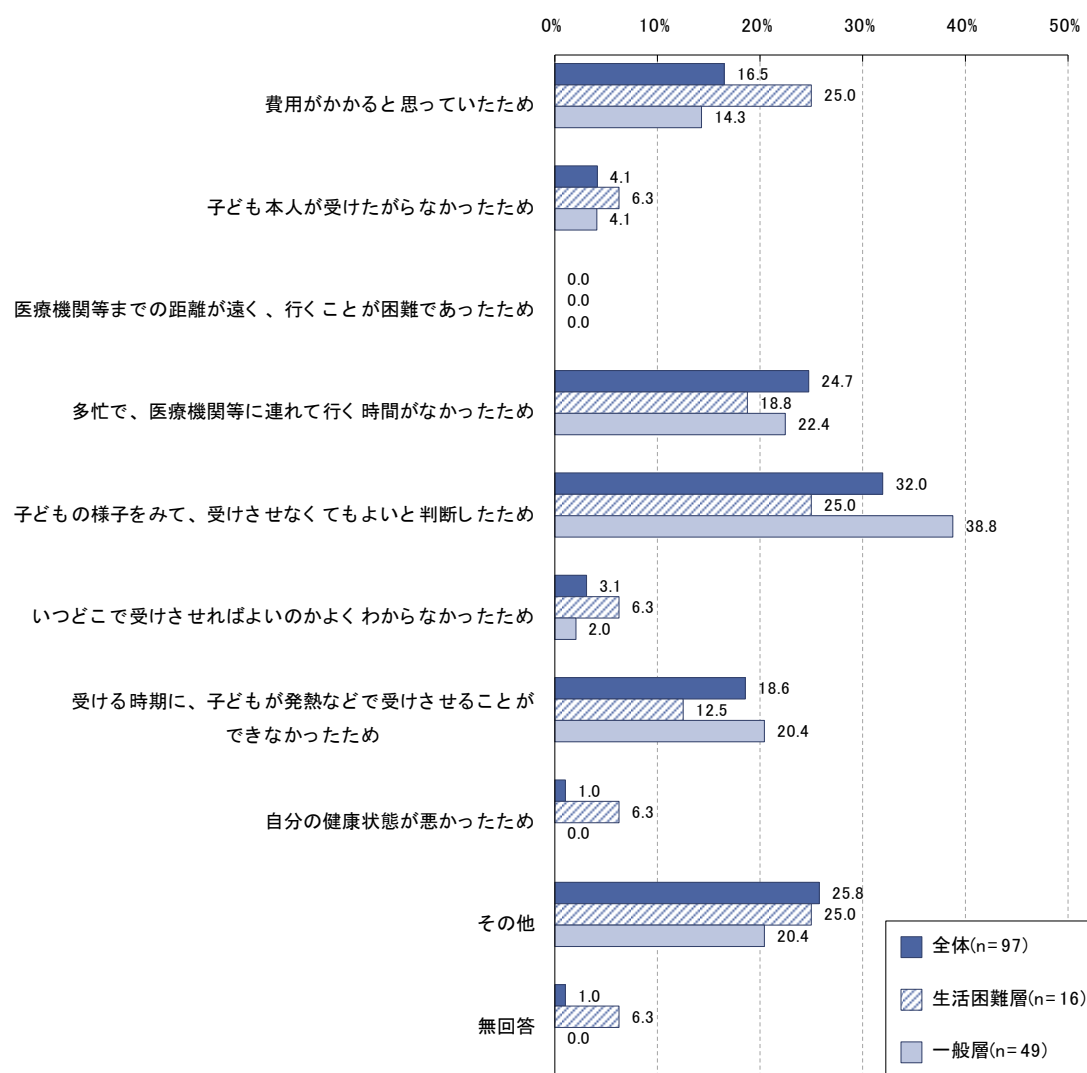


定期予防接種の未接種の理由

小学5年生の定期予防接種を「受けなかった／一部受けなかった」と回答した人の理由として、「子どもの様子をみて、受けさせなくてもよいと判断したため」が最も多く、全体の32.0%、生活困難層の25.0%、一般層の38.8%が回答しています。また、生活困難層では「費用がかかると思っていたため」との回答も25.0%となっています。

問18-1 定期予防接種を受けないことがあったのはなぜですか(複数回答)

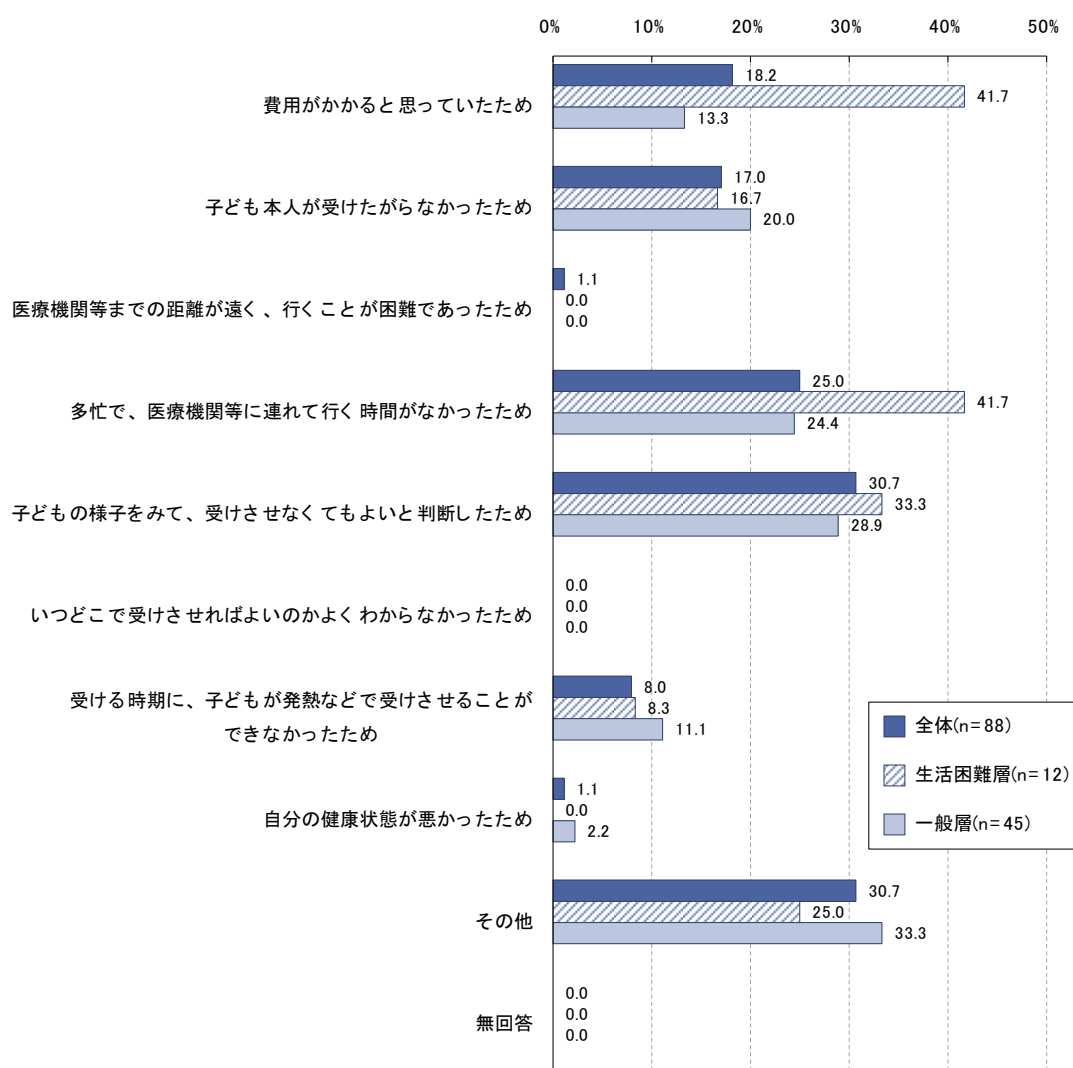
小5 保護者



中学２年生の定期予防接種を「受けなかった／一部受けなかった」と回答した人の理由として、「子どもの様子をみて、受けさせなくてもよいと判断したため」が多く、全体の 30.7%、生活困難層の 33.3%、一般層の 28.9%が回答していますが、生活困難層では「費用がかかると思っていたため」及び「多忙で、医療機関等に連れて行く時間がなかったため」が同率で 41.7%と最も多くなっています。

問18ー1 定期予防接種を受けないことがあったのはなぜですか(複数回答)

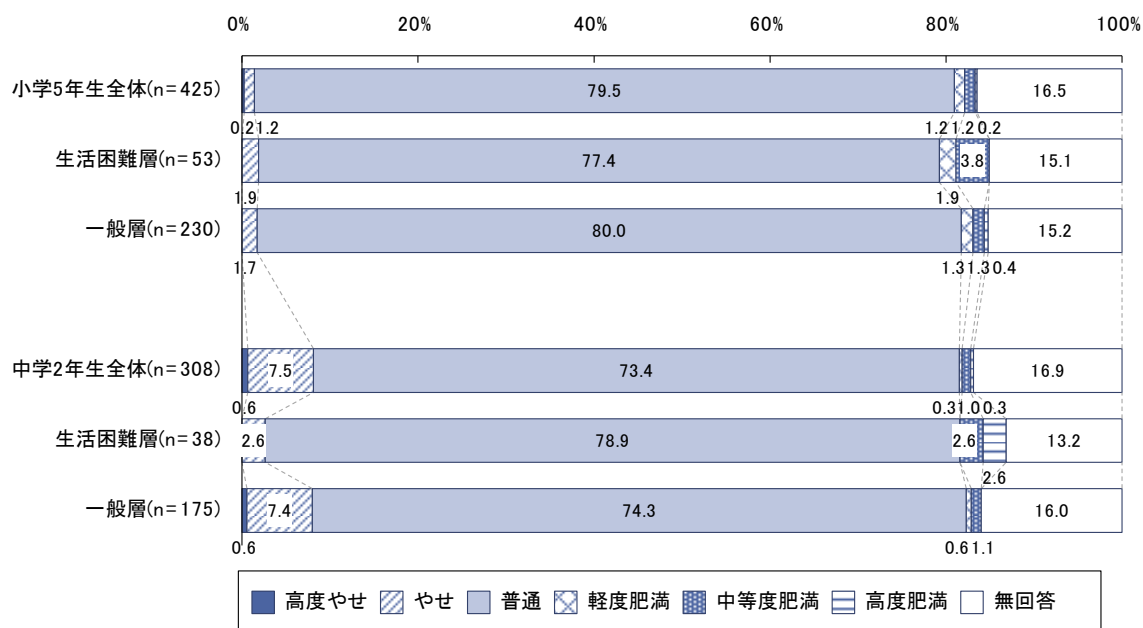
中２保護者



(6) 肥満度

身長、体重、計測年月から肥満度※を算出した結果、いずれも「普通」が7割～8割と多数を占めています。また、一般層に比べ小学5年生の生活困難層では「中等度肥満」の割合が高く、また、中学2年生の生活困難層では「やせ」の割合が低く、「中等度肥満」と「高度肥満」の割合が高くなっています。

問2 あなたの身長・体重を教えてください



※肥満度判定方法

学校保健統計調査で用いられる計算方法で、子どもの性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下をやせ傾向、-20%超～+20%未満を普通、20%以上を肥満傾向としています。

計算式：肥満度＝（子どもの体重－身長別標準体重）／身長別標準体重×100（％）

2 自己肯定感

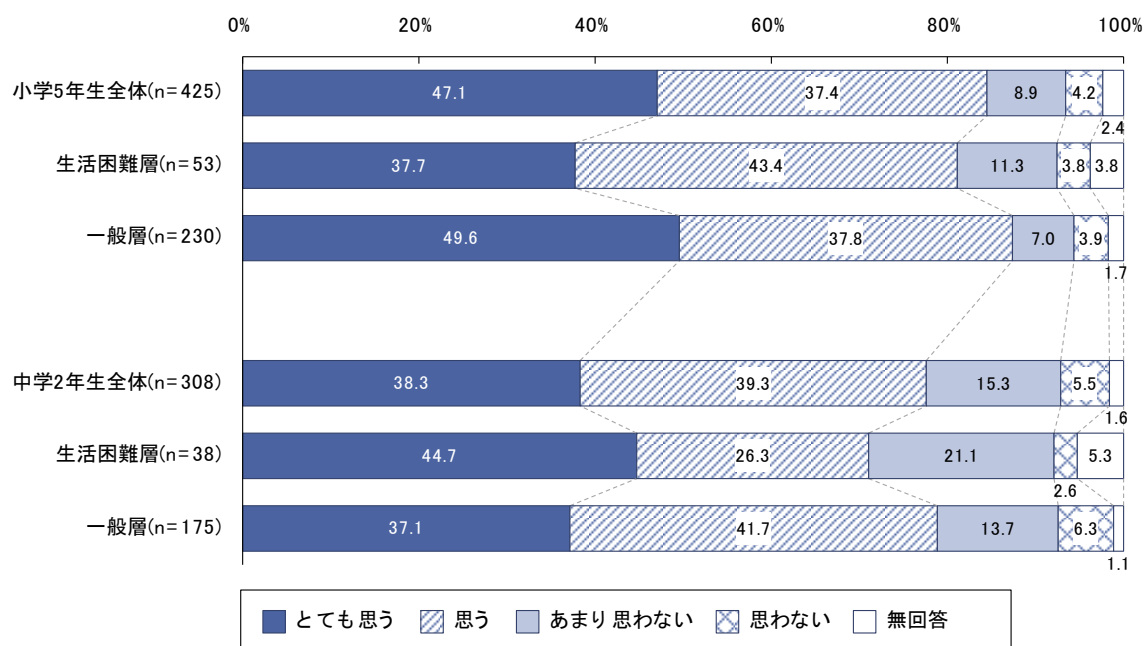
(1) 自己肯定感

Aがんばれば、むくわれると思う

がんばれば、むくわれると思うかについて「とても思う」と回答した割合は、小学5年生の全体で47.1%、生活困難層で37.7%、一般層で49.6%、中学2年生では、全体で38.3%、生活困難層で44.7%、一般層で37.1%となっています。また、“思わない”（「あまり思わない」と「思わない」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で13.1%、生活困難層で15.1%、一般層で10.9%、中学2年生では、全体で20.8%、生活困難層で23.7%、一般層で20.0%となっています。

小学5年生、中学2年生とも一般層と比べ、むくわれると“思わない”割合は、生活困難層でやや高くなっています。

問32 あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のもっとも近いものに○をつけてください／Aがんばれば、むくわれると思う

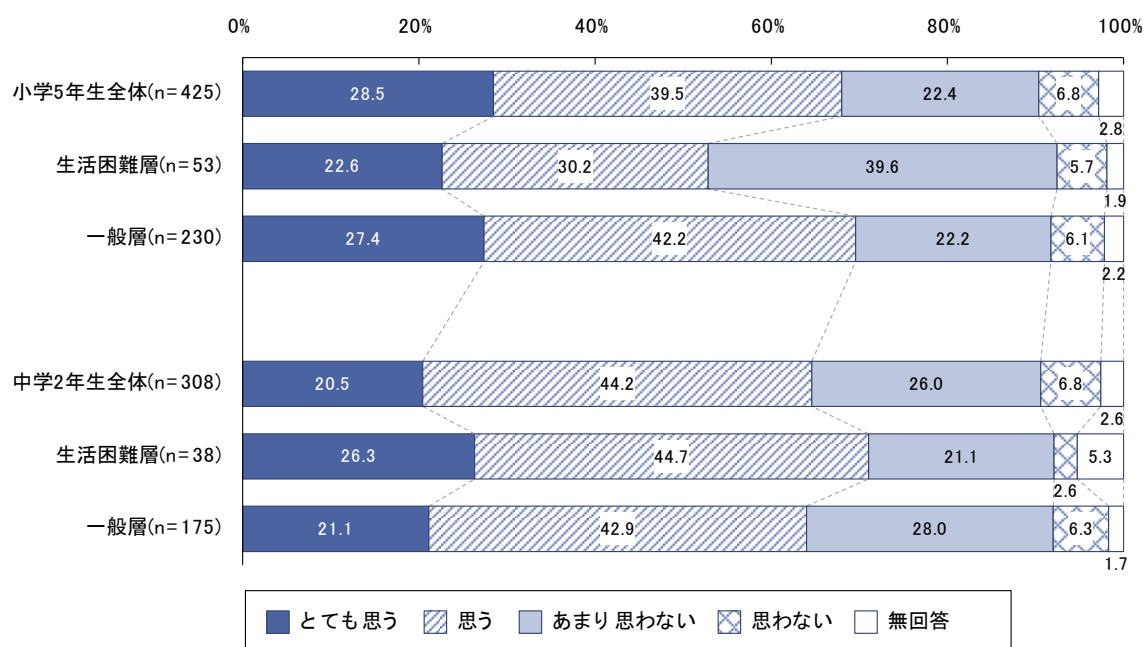


B 自分は価値のある人間だと思う

自分は価値のある人間だと思うかについて、「とても思う」と回答した割合は、小学5年生の全体で28.5%、生活困難層で22.6%、一般層で27.4%、中学2年生では、全体で20.5%、生活困難層で26.3%、一般層で21.1%となっています。また、“思わない”（「あまり思わない」と「思わない」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で29.2%、生活困難層で45.3%、一般層で28.3%、中学2年生では、全体で32.8%、生活困難層で23.7%、一般層で34.3%となっています。

一般層と比べ価値のある人間だと“思わない”割合は小学5年生の生活困難層で高く、中学2年生の生活困難層で低くなっています。

問32 あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のもっとも近いものに○をつけてください／B 自分は価値のある人間だと思う

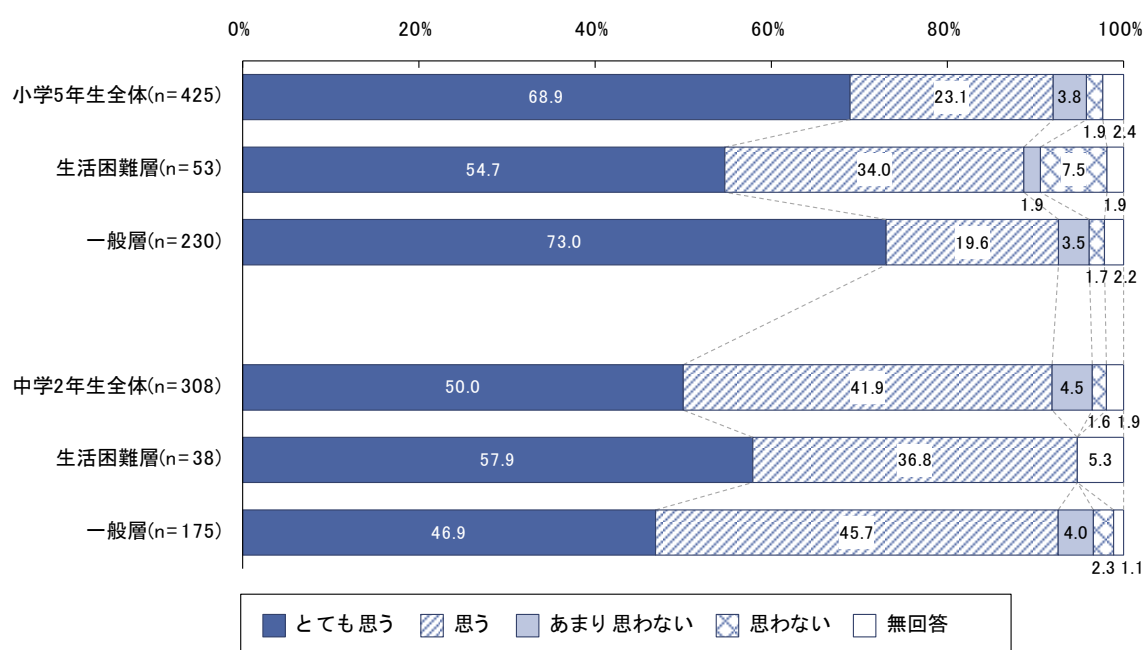


C 自分は家族に大事にされていると思う

自分は家族に大事にされていると思うかについて、「思う」（「とても思う」と「思う」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で 92.0%、生活困難層で 88.7%、一般層で 92.6%、中学2年生では、全体で 91.9%、生活困難層で 94.7%、一般層で 92.6%となっています。

小学5年生、中学2年生とも生活困難度による大きな差はみられません。

問32 あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のもっとも近いものに○をつけてください／C 自分は家族に大事にされていると思う

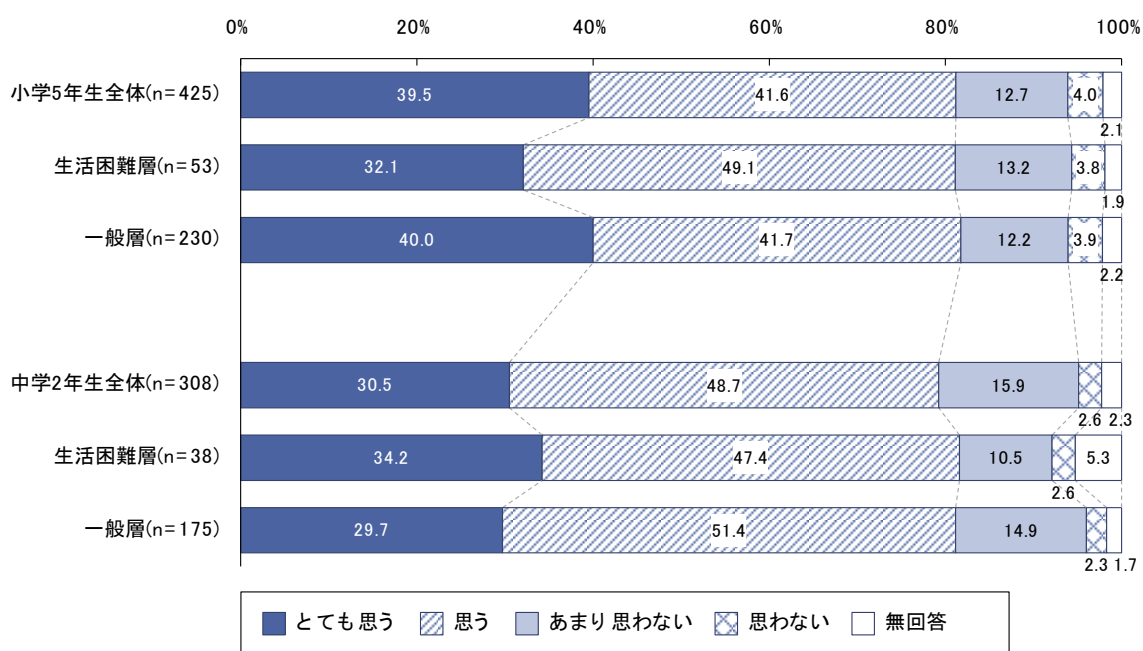


D 自分は友だちに好かれていると思う

自分は友だちに好かれていると思うかについて、「思う」（「とても思う」と「思う」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で81.1%、生活困難層で81.2%、一般層で81.7%、中学2年生では、全体で79.2%、生活困難層で81.6%、一般層で81.1%となっています。

小学5年生、中学2年生とも生活困難度による差はみられません。

問32 あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のもっとも近いものに○をつけてください／D自分は友だちに好かれていると思う

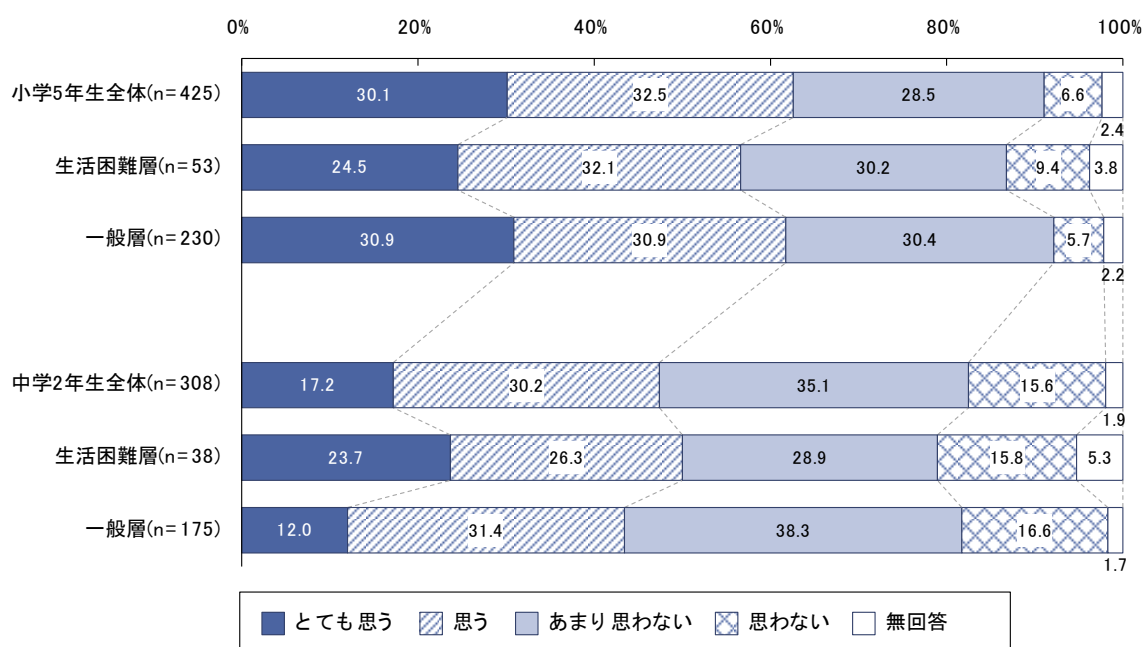


E 不安に感じることはないと思う

不安に感じることはないと思うかについて、「とても思う」と回答した割合は、小学5年生の全体で30.1%、生活困難層で24.5%、一般層で30.9%、中学2年生では、全体で17.2%、生活困難層で23.7%、一般層で12.0%となっています。また、“思わない”（「あまり思わない」と「思わない」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で35.1%、生活困難層で39.6%、一般層で36.1%、中学2年生では、全体で50.7%、生活困難層で44.7%、一般層で54.9%となっています。

小学5年生では生活困難度による大きな差はみられませんが、中学2年生では一般層と比べ、不安に感じることはない“思わない”割合は、生活困難層で低くなっています。

問32 あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のもっとも近いものに○をつけてください／E不安に感じることはないと思う

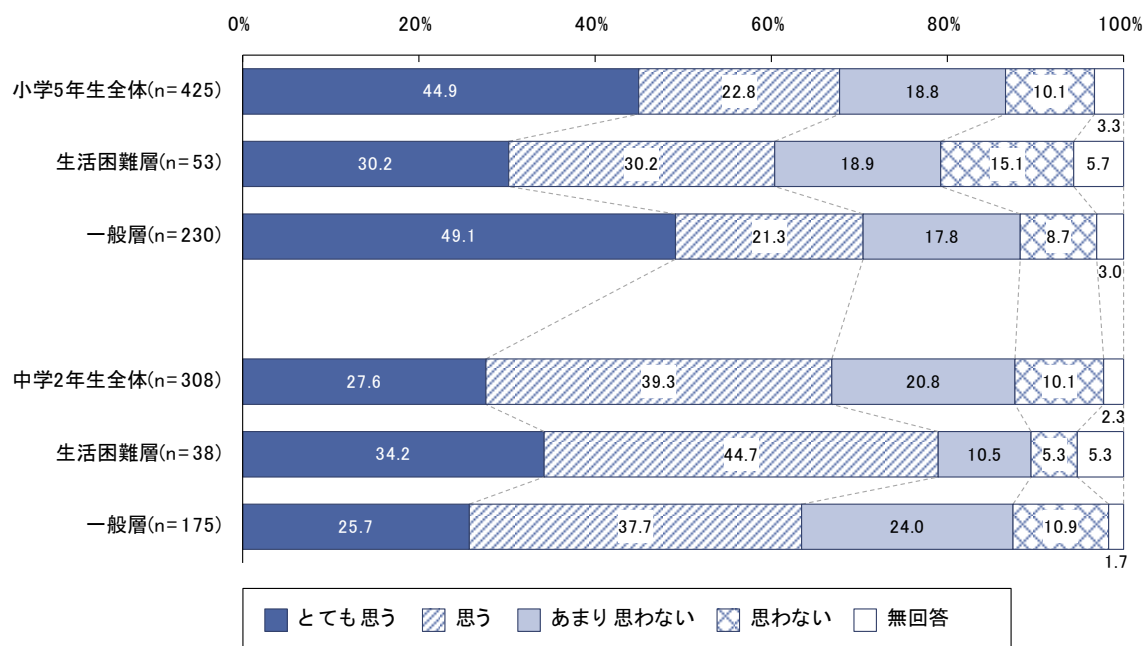


F 孤独を感じることはない

孤独を感じることはないと思うかについて、「とても思う」と回答した割合は、小学5年生の全体で44.9%、生活困難層で30.2%、一般層で49.1%、中学2年生では、全体で27.6%、生活困難層で34.2%、一般層で25.7%となっています。また、“思わない”（「あまり思わない」と「思わない」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で28.9%、生活困難層で34.0%、一般層で26.5%、中学2年生では、全体で30.9%、生活困難層で15.8%、一般層で34.9%となっています。約3割は孤独を感じている状況がうかがえます。

一般層と比べ孤独を感じると“思わない”割合は、小学5年生の生活困難層でやや高く、中学2年生の生活困難層で低くなっています。

問32 あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のもっとも近いものに○をつけてください／F孤独を感じることはない

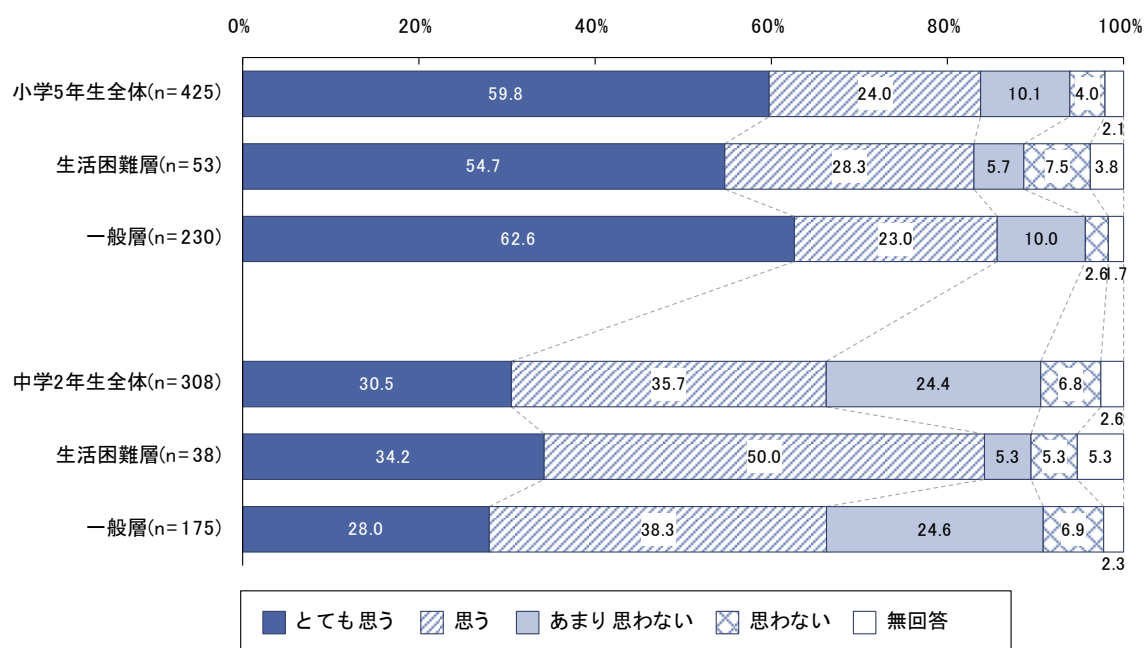


G自分の将来が楽しみだ

自分の将来が楽しみだと思うかについて、“思う”（「とても思う」と「思う」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で83.8%、生活困難層で83.0%、一般層で85.6%、中学2年生では、全体で66.2%、生活困難層で84.2%、一般層で66.3%となっています。

小学5年生は生活困難度による差はみられず、中学2年生の生活困難層は一般層と比べ“思う”割合が高くなっています。

問32 あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のもっとも近いものに○をつけてください／G自分の将来が楽しみだ

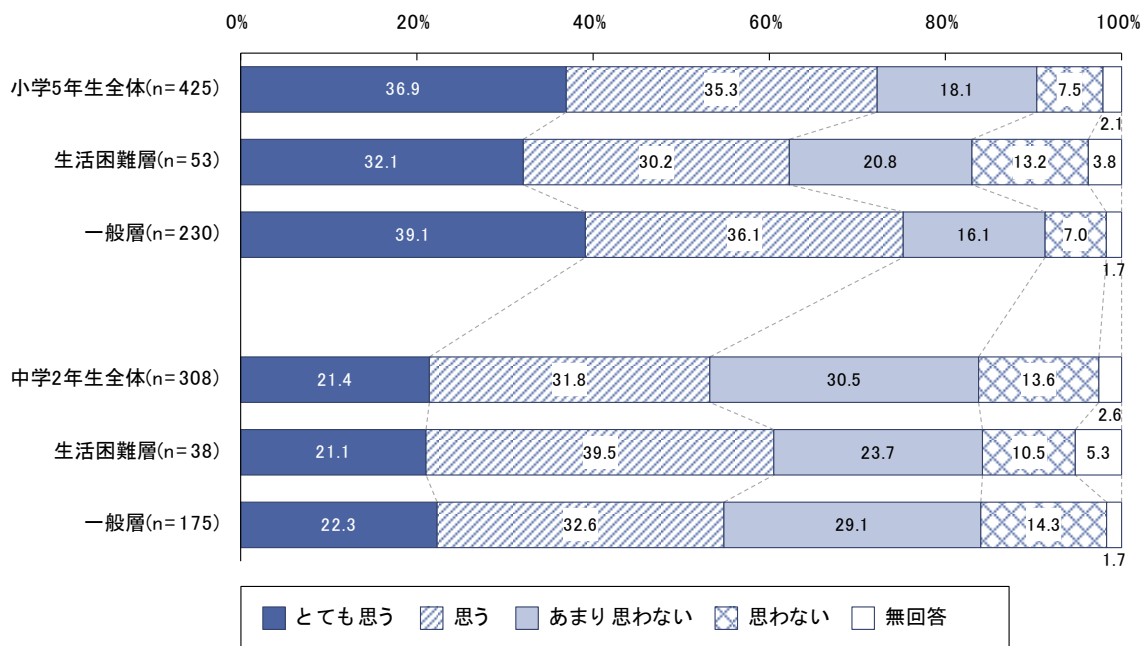


H自分のことが好きだ

自分のことが好きだと思うかについて、「とても思う」と回答した割合は、小学5年生の全体で 36.9%、生活困難層で 32.1%、一般層で 39.1%、中学2年生では、全体で 21.4%、生活困難層で 21.1%、一般層で 22.3%となっています。また、“思わない”（「あまり思わない」と「思わない」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体 25.6%、生活困難層で 34.0%、一般層で 23.1%、中学2年生では、全体で 44.1%、生活困難層で 34.2%、一般層で 43.4%となっています。

一般層と比べ自分の事を好きだと“思わない”割合は小学5年生の生活困難層で高く、中学2年生の生活困難層でやや低くなっています。

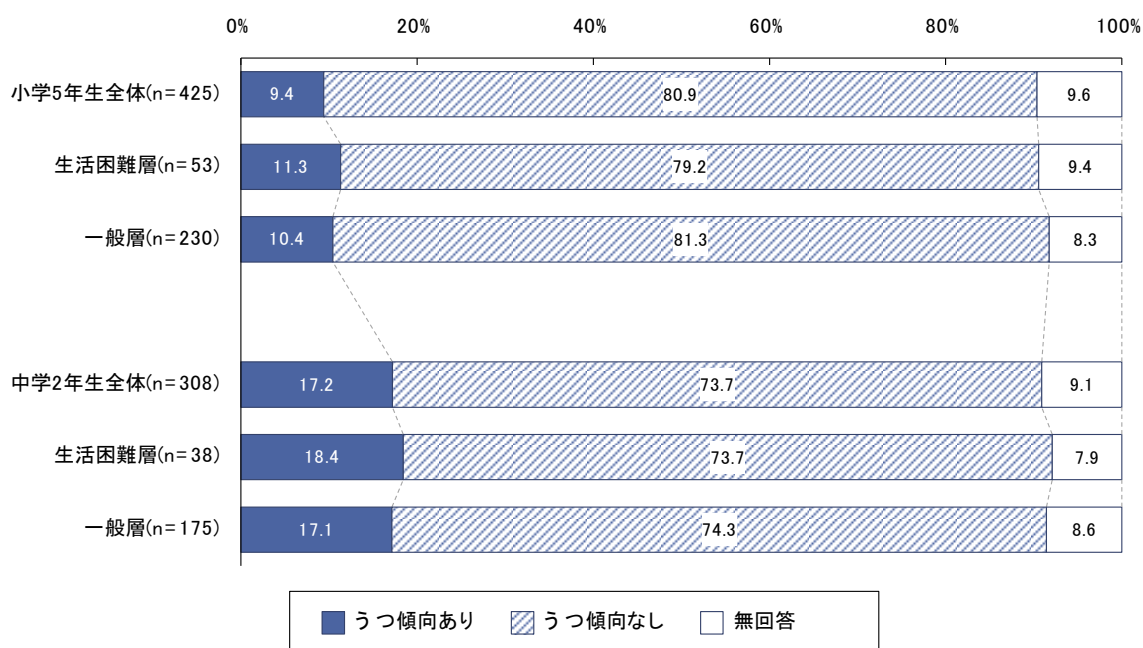
問32 あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のもっとも近いものに○をつけてください／H自分のことが好きだ



(2) 抑うつ傾向

小学5年生、中学2年生の抑うつ傾向を示す指標としてDSRS-C バールソン児童用抑うつ性尺度※を用いて分析した結果、小学5年生では約1割、中学2年生では約2割で抑うつの傾向がみられました。

小学5年生、中学2年生ともに生活困難度による差はみられません。



※DSRS-C バールソン児童用抑うつ性尺度は、最近1週間の心状態（18項目）について、子ども自身が3段階評価を行うものです。各項目は選択肢に応じてそれぞれ0～2点で指標化され、その合計が16点以上であった場合、抑うつ傾向があると判断されます。

第8章 保護者の状況

1 回答者の状況

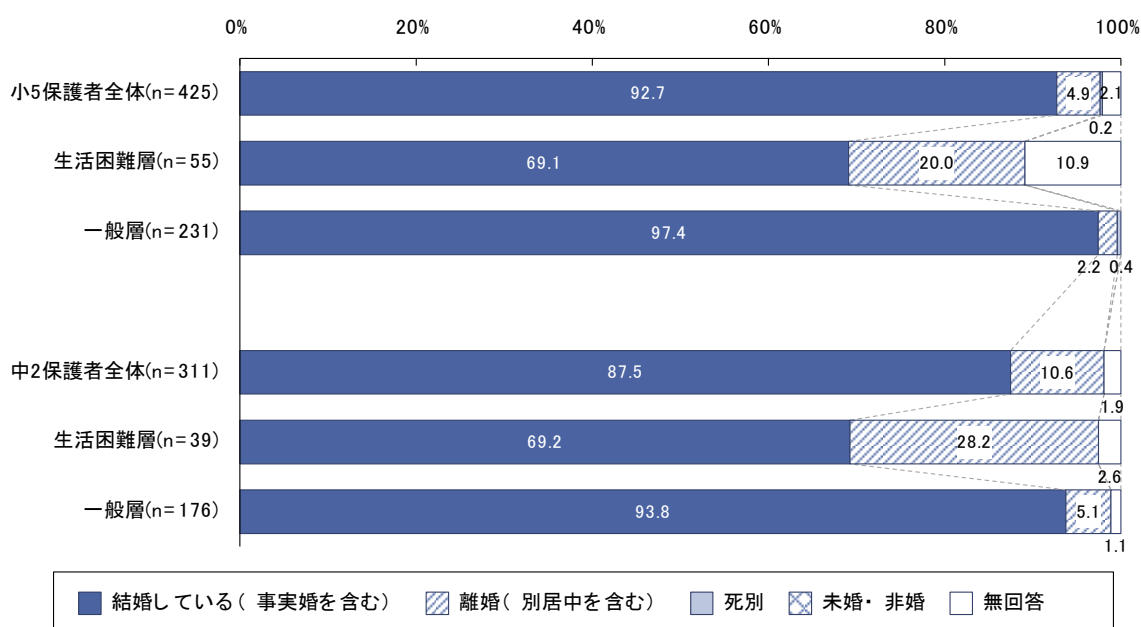
(1) 婚姻状況

現在の婚姻状況について、「結婚している（事実婚を含む）」との回答は、小学5年生は全体で92.7%、生活困難層で69.1%、一般層で97.4%となっています。

中学2年生では、全体で87.5%、生活困難層で69.2%、一般層で93.8%となっています。

一方、「離婚（別居中を含む）」と回答した割合は、小学5年生、中学2年生とも生活困難層で高くなっています。

問4 現在のあなたの婚姻状況を教えてください

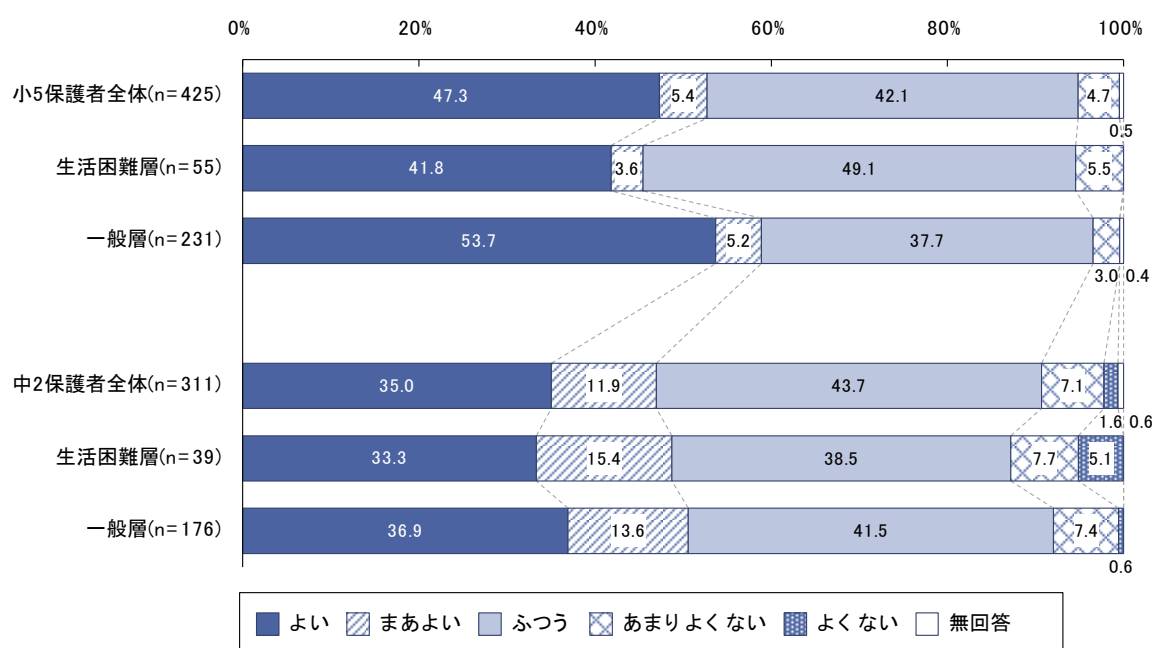


(2) 健康状態

保護者自身の健康状態について、“よい”（「よい」と「まあよい」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で52.7%、生活困難層で45.4%、一般層で58.9%、中学2年生では、全体で46.9%、生活困難層で48.7%、一般層で50.5%となっています。

一般層と比べ小学5年生の生活困難層で低くなっていますが、中学2年生では生活困難度による差はみられません。

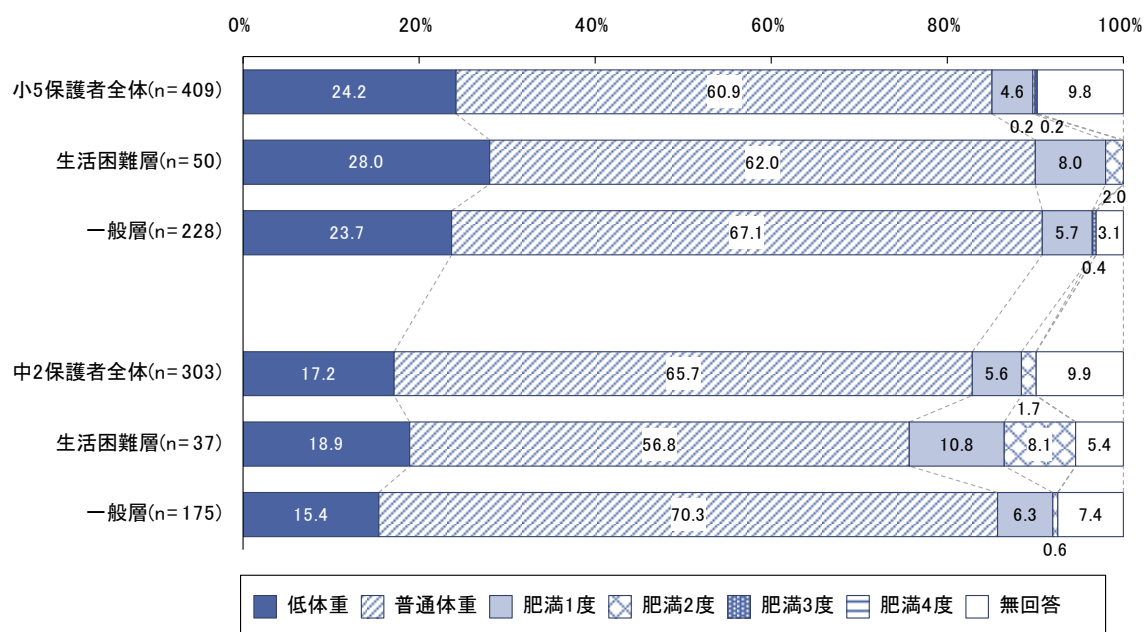
問16 あなたとお子さんの健康状態についておうかがいします／保護者



(3) 肥満度

身長・体重からBMI※を算出した結果、いずれの層も「普通体重」が約6割～7割と多数を占めていますが、小学5年生、中学2年生ともに一般層と比べ生活困難層で「肥満1度」と「肥満2度」の割合が高くなっています。

問15 あなた(回答者)が、封筒の宛名のお子さんのお父さまかお母さまの場合、あなたの現在の身長・体重を教えてください

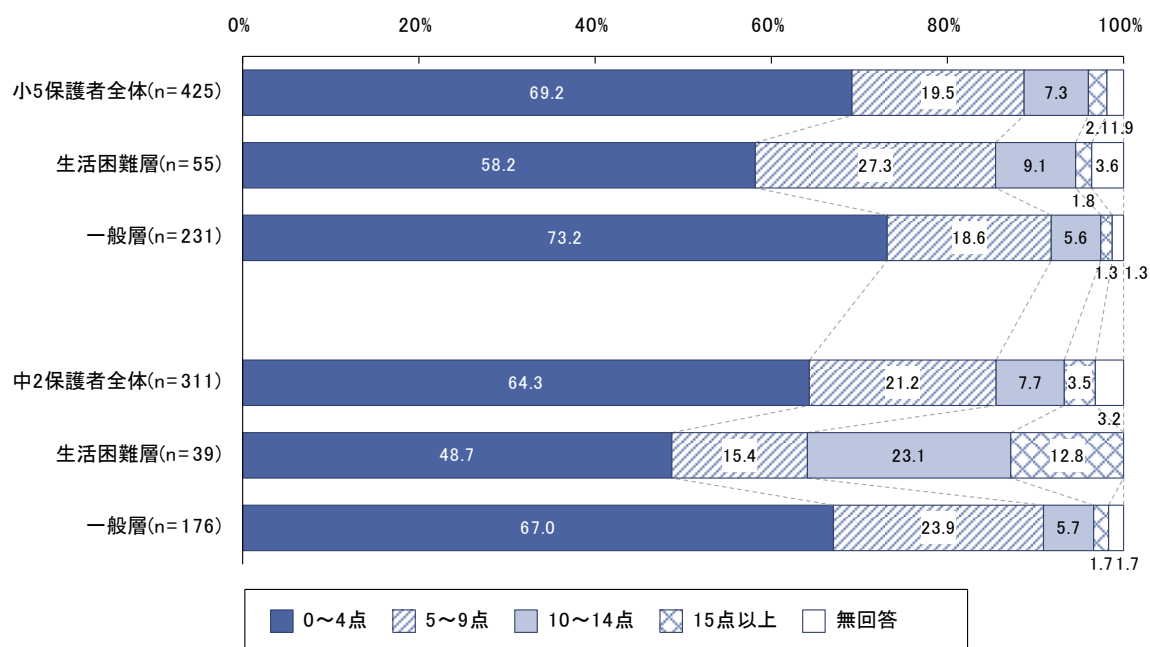


※BMI 指数：体重（kg）÷（身長（m）×身長（m））

身長と体重に基づいて太り具合を指数化した値。日本肥満学会では、統計的にもっとも病気にかかりにくい BMI 指数 22 を標準体重として、その前後の 18.5 から 25 未満を普通体重、18.5 未満を低体重、25 以上の場合を肥満とし、4 つの段階に分けています。

(4) 抑うつ傾向

一般的にうつ傾向をはかる指標として普及している K6 指標※を用いて保護者（回答者）の抑うつ傾向を計った結果、小学 5 年生、中学 2 年生ともに一般層と比べ生活困難層で「0～4 点」の割合が 15～20 ポイントほど低く、精神的に厳しい状況であることがうかがえます。



※K6 は米国の Kessler らによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で、心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として広く利用されています。過去 30 日の間で心の状況（6 項目）を指数化します。合計点数が高いほど、精神的な問題がより重い可能性があるとされています。

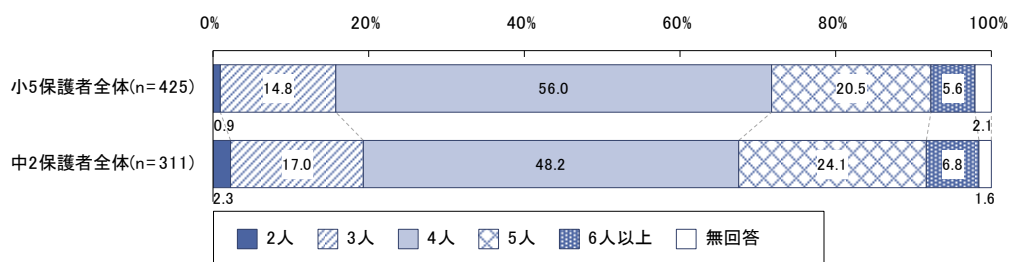
2 家族

(1) 同居人数

同居している人数について、小学5年生の全体では「4人」が56.0%と半数以上を占め、次いで「5人」が20.5%、「3人」が14.8%となっています。

中学2年生の全体では、「4人」が48.2%、次いで「5人」が24.1%、「3人」が17.0%となっています。

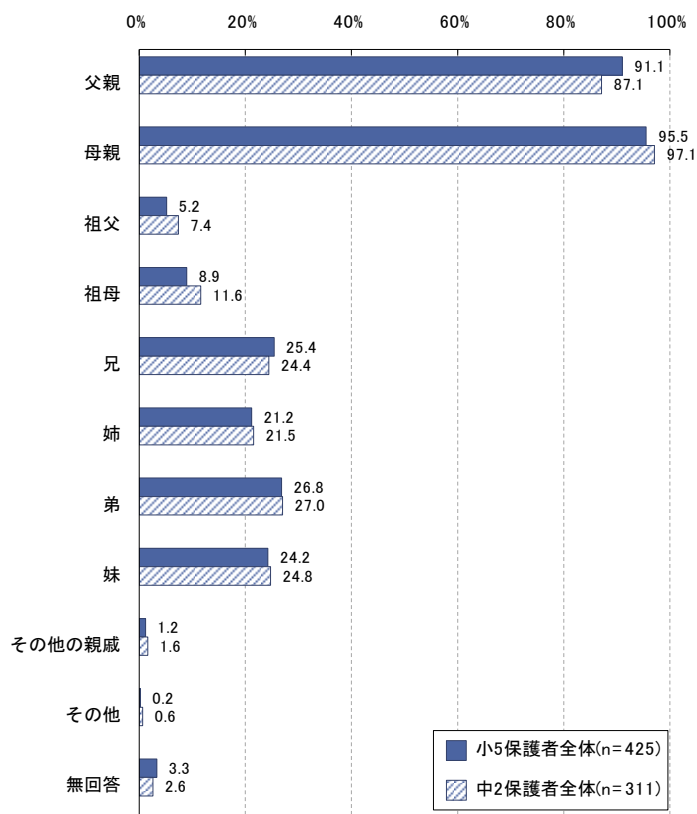
問5 お子さんと同居しているご家族の人数を教えてください



(2) 世帯構成

同居の家族について、小学5年生全体では、「母親」が95.5%と最も多く、次いで「父親」が91.1%、「弟」が26.8%、「兄」が25.4%、「妹」が24.2%、「姉」が21.2%となっており、中学2年生全体でも同様の傾向となっています。

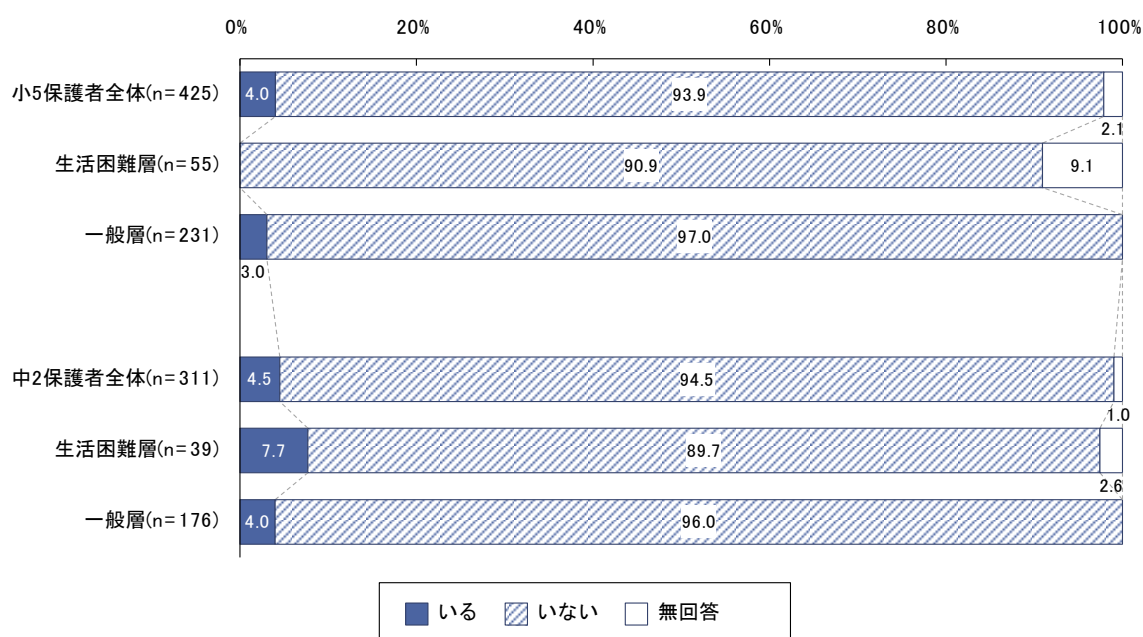
問6 お子さんと同居しているご家族の方は、どなたですか（複数回答）



（３）介護が必要な同居家族の有無

介護が必要な同居家族については、「いない」との回答は、小学５年生の全体で 93.9%、生活困難層で 90.9%、一般層で 97.0%、中学２年生では、全体で 94.5%、生活困難層で 89.7%、一般層で 96.0%といずれも 9 割前後と大多数を占めています。また、「いる」と回答した割合は、一般層と比べ中学２年生の生活困難層でやや高くなっています。小学５年生の生活困難層では回答はありませんでした。

問７ お子さんと同居しているご家族の中に、高齢であったり障がいがあったりするなど、介護が必要な方はいますか

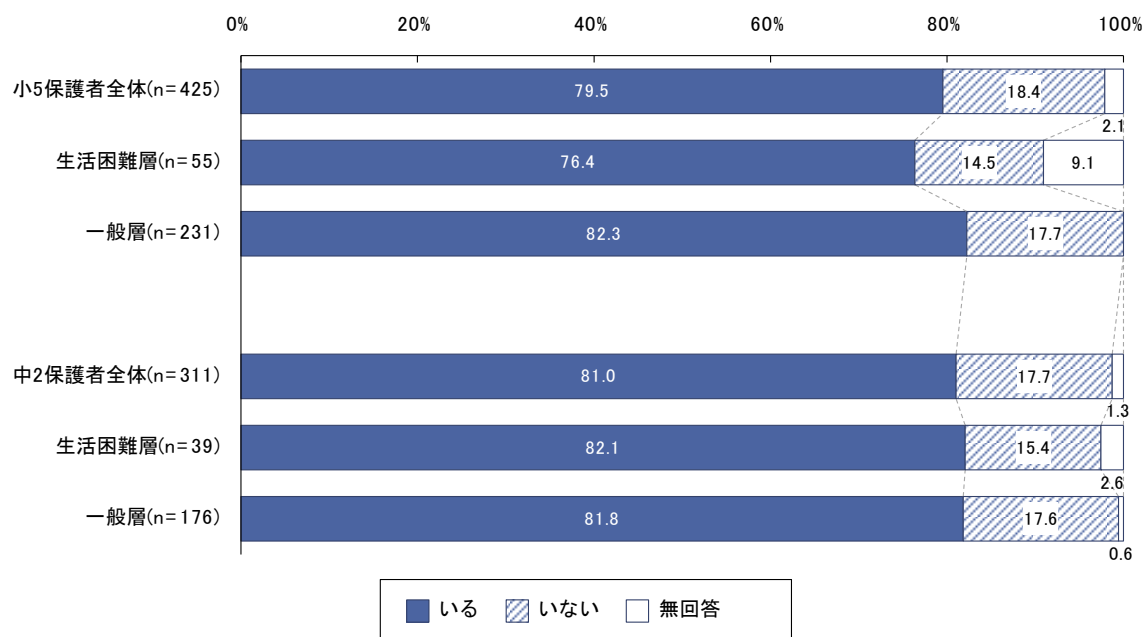


（４）頼れる親族・友人の有無

頼れる親族や友人の有無について、「いる」との回答は、小学５年生の全体で 79.5%、生活困難層で 76.4%、一般層で 82.3%、中学２年生では、全体で 81.0%、生活困難層で 82.1%、一般層で 81.8%となっています。

一般層と比べ小学５年生の生活困難層でやや低く、中学２年生では生活困難度による差はみられませんでした。

問8 お子さんが病気のときや、ご自身の用事のときなどに頼れる親族や友人などがいますか

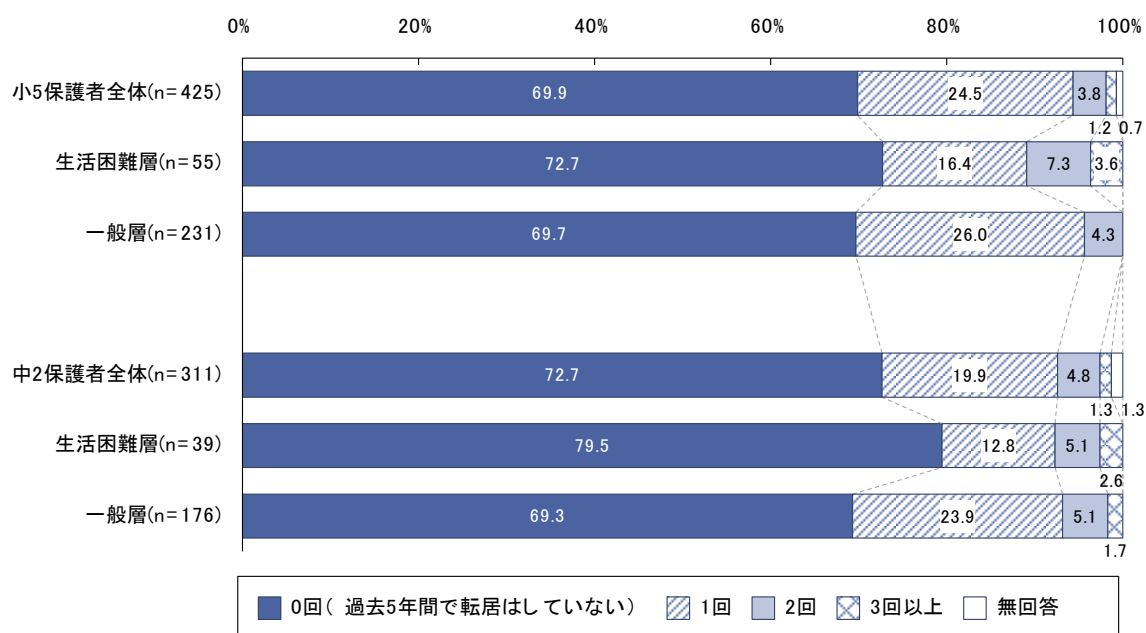


（５）転居経験

過去５年間の転居回数について、「０回（転居はしていない）」との回答は、小学５年生の全体で 69.9%、生活困難層で 72.7%、一般層で 69.7%、中学２年生では、全体で 72.7%、生活困難層で 79.5%、一般層で 69.3%と多数を占めています。一般層と比べ小学５年生は生活困難度による大きな差はみられませんが、中学２年生の生活困難層では高くなっています。

一方、割合は少ないですが、小学５年生の一般層で「３回以上」との回答がなかったのに対し、生活困難層では 3.6%となっています。

問33 あなたのご家庭では、過去5年の間に、何回転居がありましたか



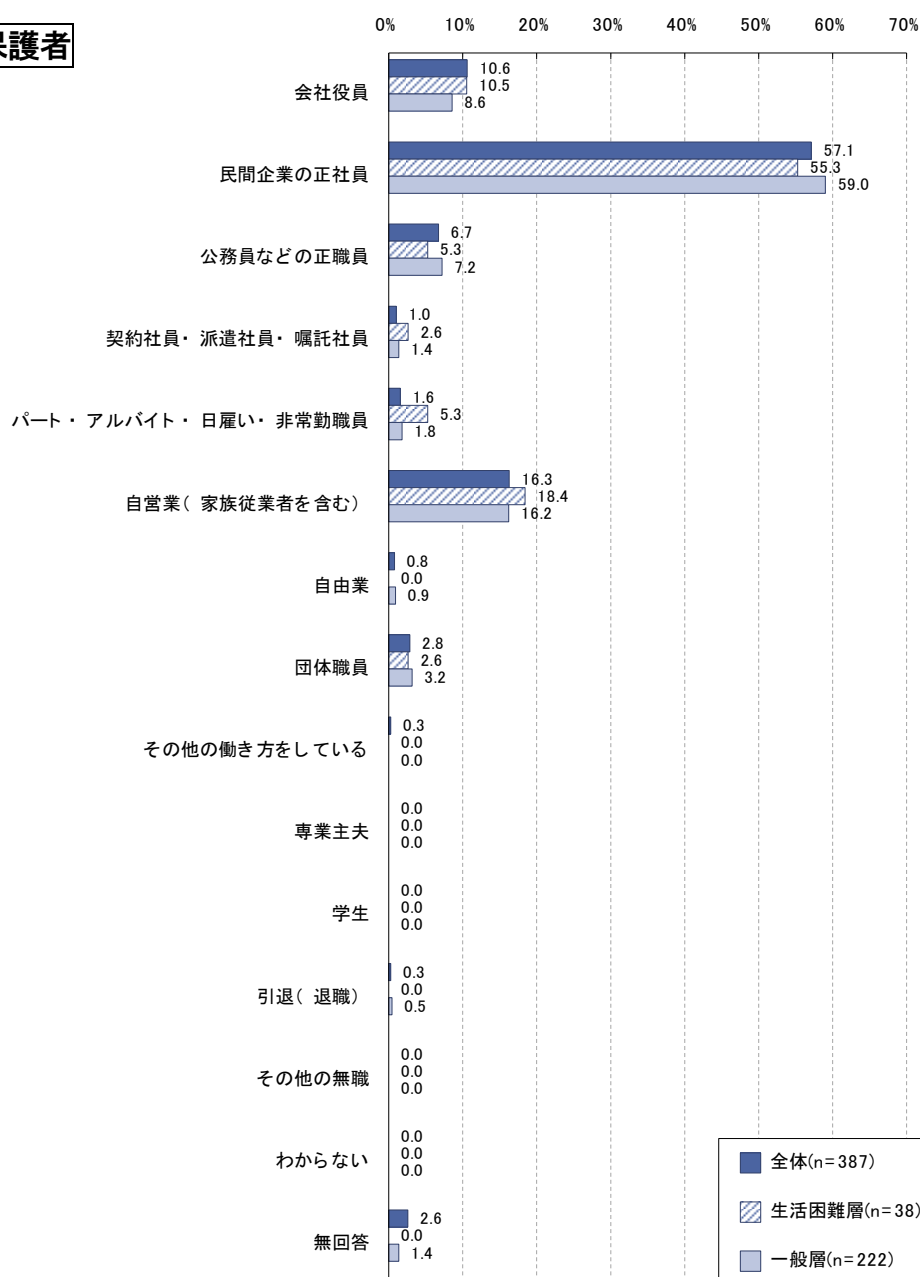
3 父親のこと

(1) 職業

父親の職業について、小学5年生全体では「民間企業の正社員」が57.1%、「自営業（家族従業者を含む）」が16.3%、「会社役員」が10.6%となっています。生活困難度別でも同様の傾向となっていますが、生活困難層では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合がやや高くなっています。

問12 お子さんのお父さまの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか

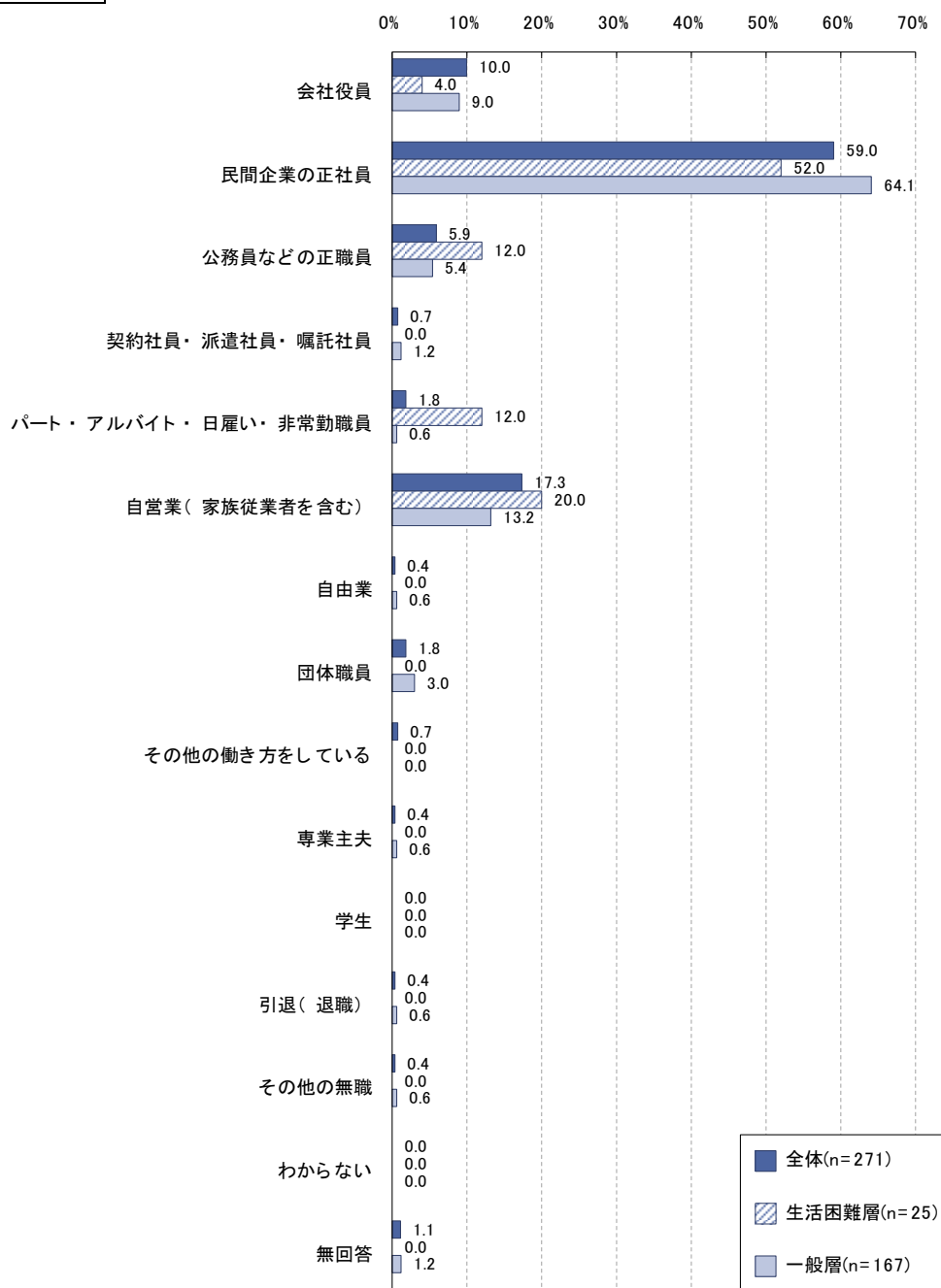
小5 保護者



父親の職業について、中学 2 年生全体では「民間企業の正社員」が 59.0%、「自営業（家族従業者を含む）」が 17.3%、「会社役員」が 10.0%となっています。生活困難度別にみると、一般層では全体と同様の傾向となっていますが、生活困難層では「自営業（家族従業者を含む）」の割合が高く、「民間企業の正社員」及び「会社役員」の割合が低くなっています。

問12 お子さんのお父さまの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか

中 2 保護者

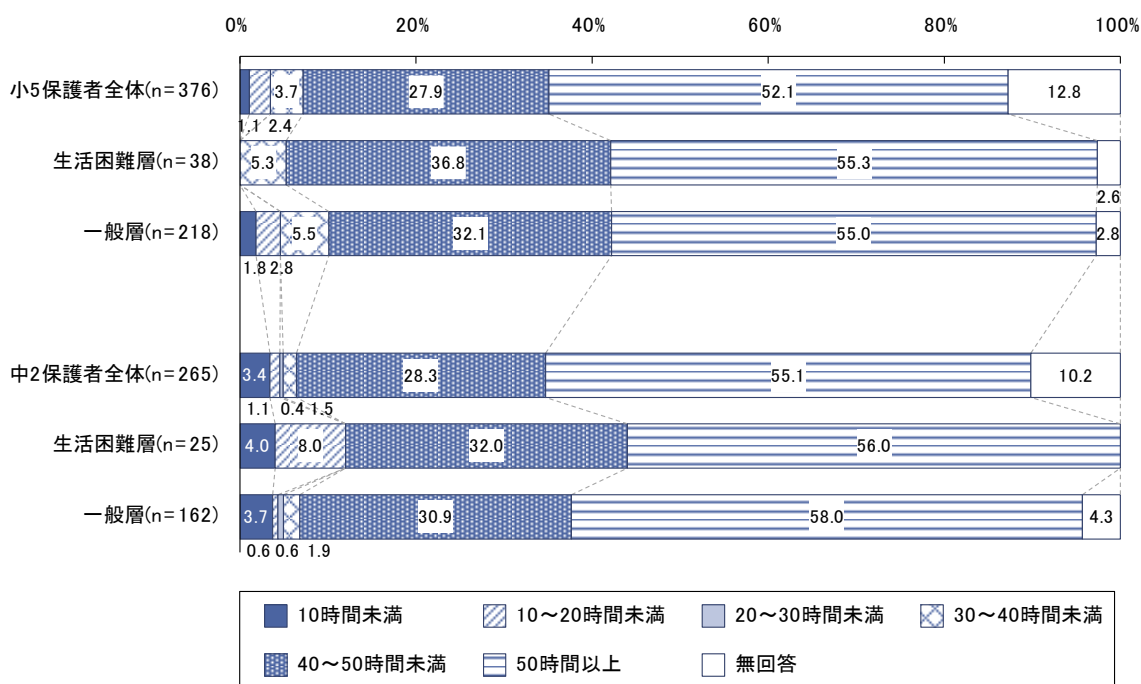


（２）就労時間

父親の１週間の平均就労時間について、「50 時間以上」と回答した割合は、小学 5 年生の全体で 52.1%、生活困難層で 55.3%、一般層で 55.0%、中学 2 年生では、全体で 55.1%、生活困難層で 56.0%、一般層で 58.0%となっています。

一般層と比べ“40 時間未満”（「10 時間未満」～「30～40 時間未満」の合計）の割合では、小学 5 年生の生活困難層ではやや低く、中学 2 年生の生活困難層ではやや高くなっています。

問12ー1 お子さんのお父さまは、1週間に平均何時間、お仕事をされていますか



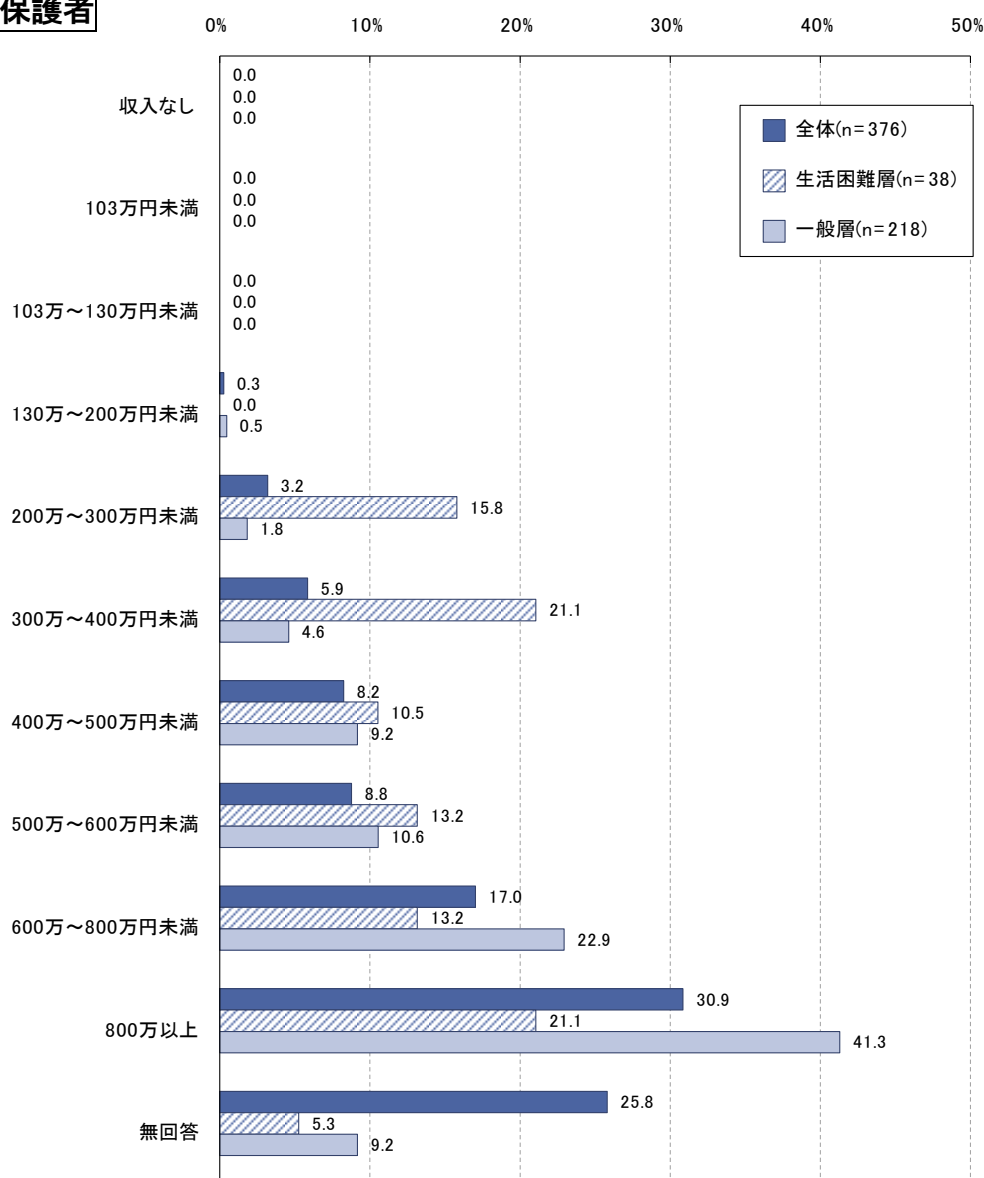
(3) 税込収入

就労していると回答した小学5年生の父親の年収は、全体では、「800万以上」が30.9%で最も多く、次いで「600万～800万円未満」が17.0%、「500万～600万円未満」が8.8%となっています。

生活困難層では「300万～400万円未満」及び「800万以上」が21.1%で最も多く、次いで「200万～300万円未満」が15.8%、「500万～600万円未満」及び「600万～800万円未満」が13.2%となっています。600万円未満までは生活困難層で割合が高く、600万円以上になると一般層の割合が高くなっています。

問12-2 昨年1年間(2017年1月～12月)を合計した、お子さんのお父さまのお仕事からの収入(税込)は、およそいくらですか

小5 保護者

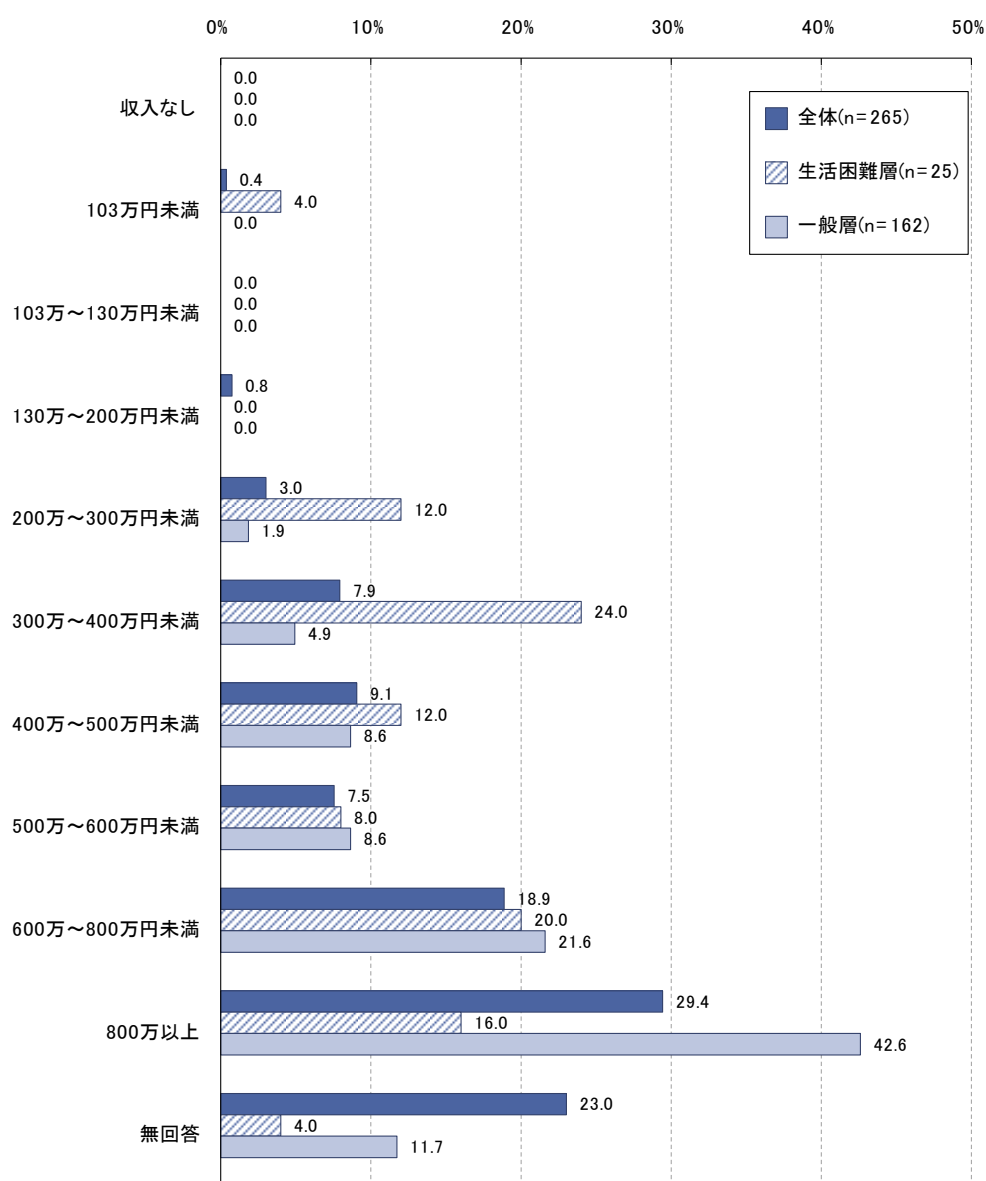


就労していると回答した中学2年生の父親の年収は、全体では、「800万以上」が29.4%で最も多く、次いで「600万～800万円未満」が18.9%、「400万～500万円未満」が9.1%となっています。

生活困難層では「300万～400万円未満」が24.0%で最も多く、次いで「600万～800万円未満」が20.0%、「800万以上」が16.0%となっています。500万円未満までは生活困難層で割合が高く、500万円以上になると一般層の割合が高くなっています。

問12-2 昨年1年間(2017年1月～12月)を合計した、お子さんのお父さまのお仕事からの収入(税込)は、およそいくらですか

中2保護者



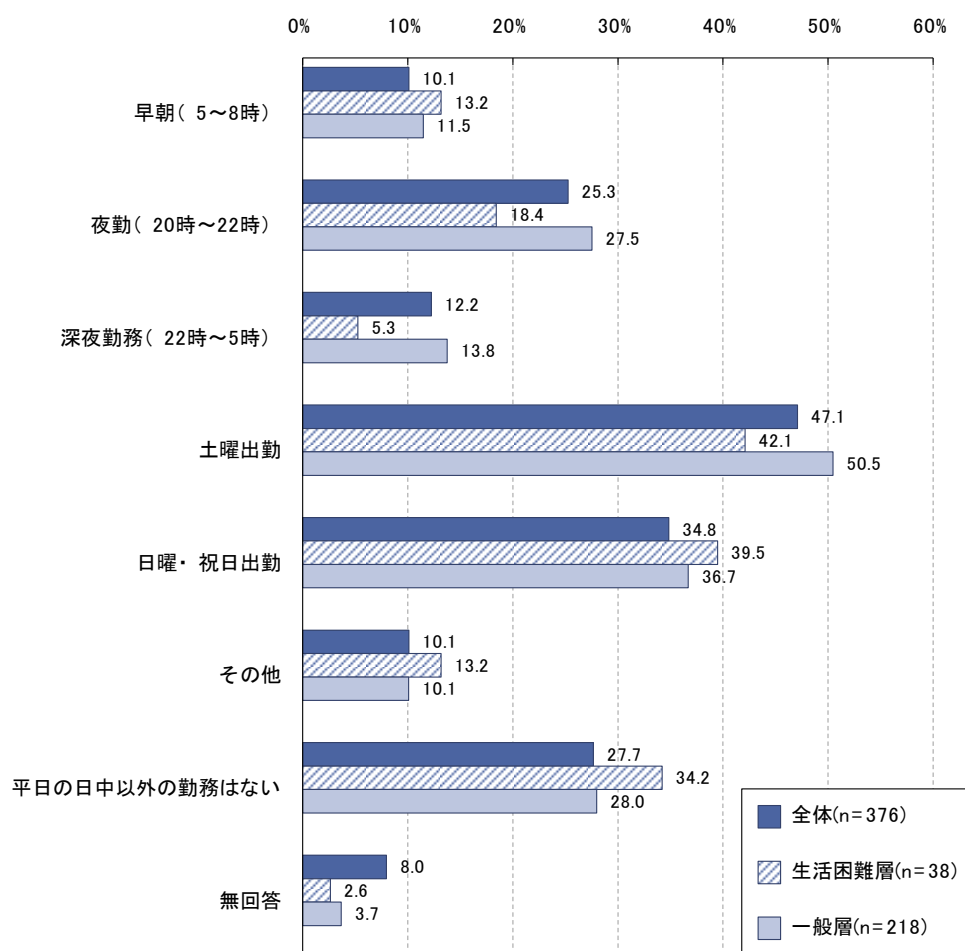
（４）平日の日中以外の勤務状況

小学５年生の父親の平日の日中以外の勤務状況について、全体では、「土曜出勤」が 47.1%、「日曜・祝日出勤」が 34.8%、「平日の日中以外の勤務はない」が 27.7%となっています。

生活困難度別でも同様の傾向となっていますが、一般層と比べ生活困難層では「夜勤（20 時～22 時）」、「深夜勤務（22 時～5 時）」の割合が低く、「平日の日中以外の勤務はない」の割合がやや高くなっています。

問12－3 お父さまは、平日の日中以外の勤務がありますか（複数回答）

小５保護者

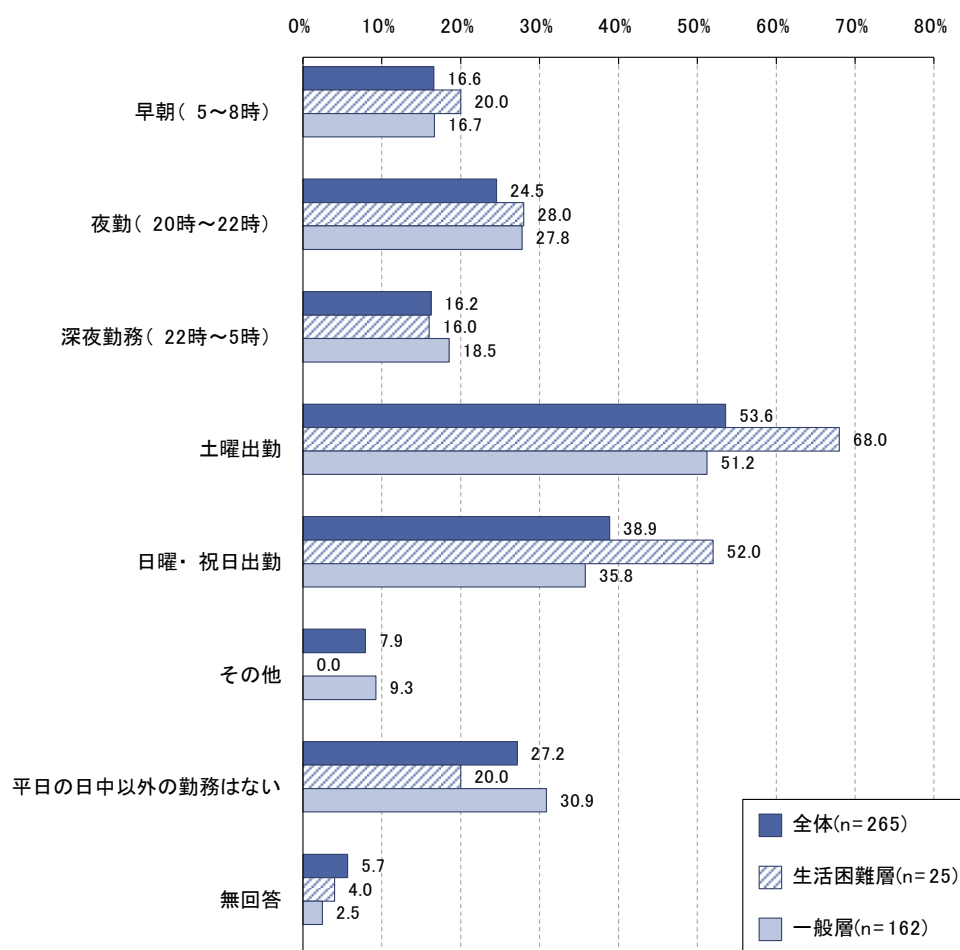


中学2年生の父親の平日日中以外の勤務状況について、全体では、「土曜出勤」が53.6%、「日曜・祝日出勤」が38.9%、「平日の日中以外の勤務はない」が27.2%となっています。

生活困難度別でも同様の傾向となっていますが、一般層と比べ生活困難層では「土曜出勤」、「日曜・祝日出勤」の割合が高く、「平日の日中以外の勤務はない」の割合がやや低くなっています。

問12-3 お父さまは、平日の日中以外の勤務がありますか(複数回答)

中2保護者

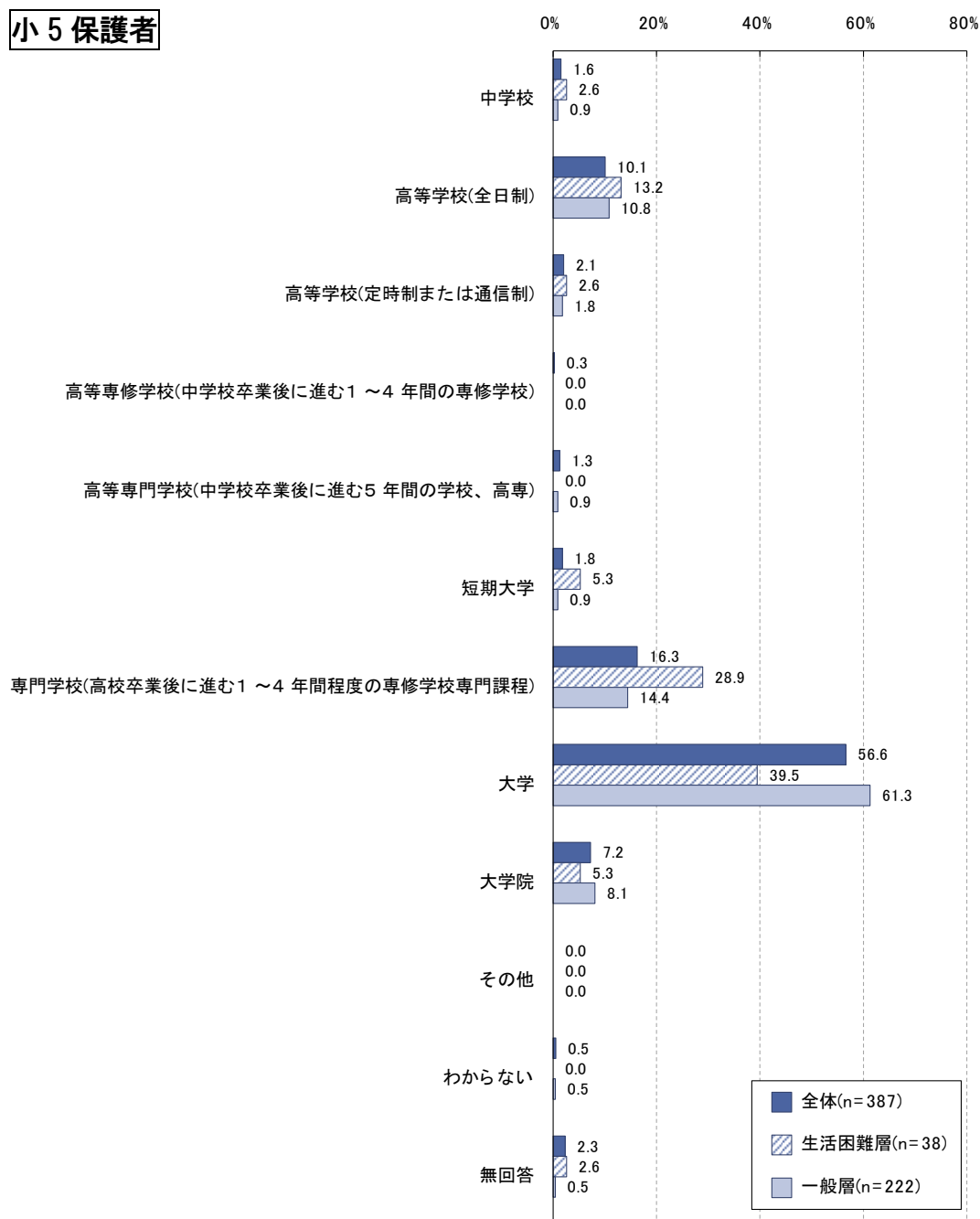


(5) 最終学歴

小学5年生の父親の最終学歴について、全体では「大学」が56.6%、「専門学校（高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程）」が16.3%、「高等学校（全日制）」が10.1%となっています。生活困難層では、「専門学校（高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程）」の割合が高く、「大学」の割合は低くなっています。

問37 お子さんのお父さまが、最後に通った学校は次のどちらにあたりますか

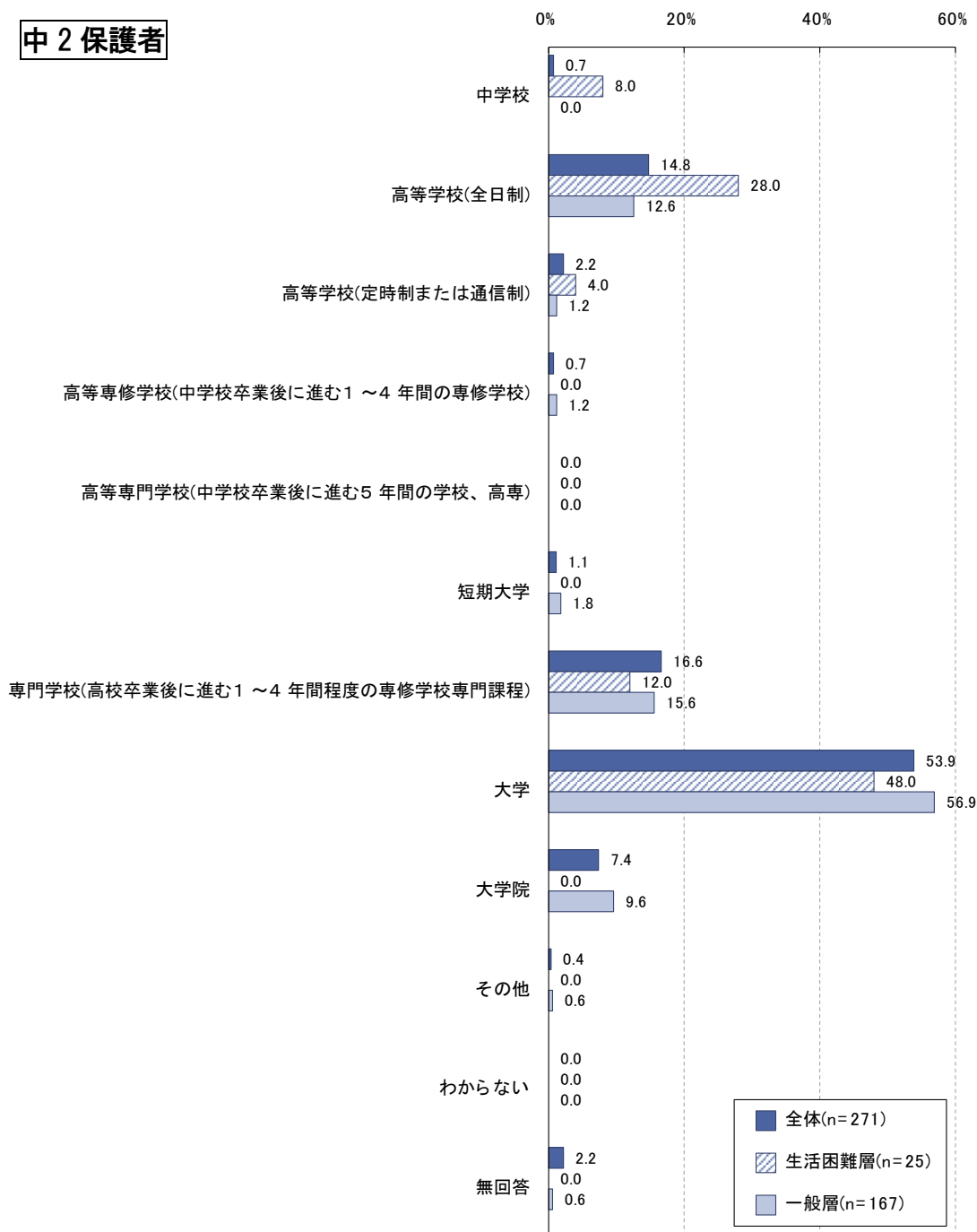
小5保護者



中学 2 年生の父親の最終学歴について、全体では「大学」が 53.9%、「専門学校（高校卒業後に進む 1 ～ 4 年間程度の専修学校専門課程）」が 16.6%、「高等学校（全日制）」が 14.8% となっています。生活困難層では、「中学校」、「高等学校（全日制）」の割合が高く「大学」の割合はやや低くなっています。

問37 お子さんのお父さまが、最後に通った学校は次のどちらにあたりますか

中 2 保護者

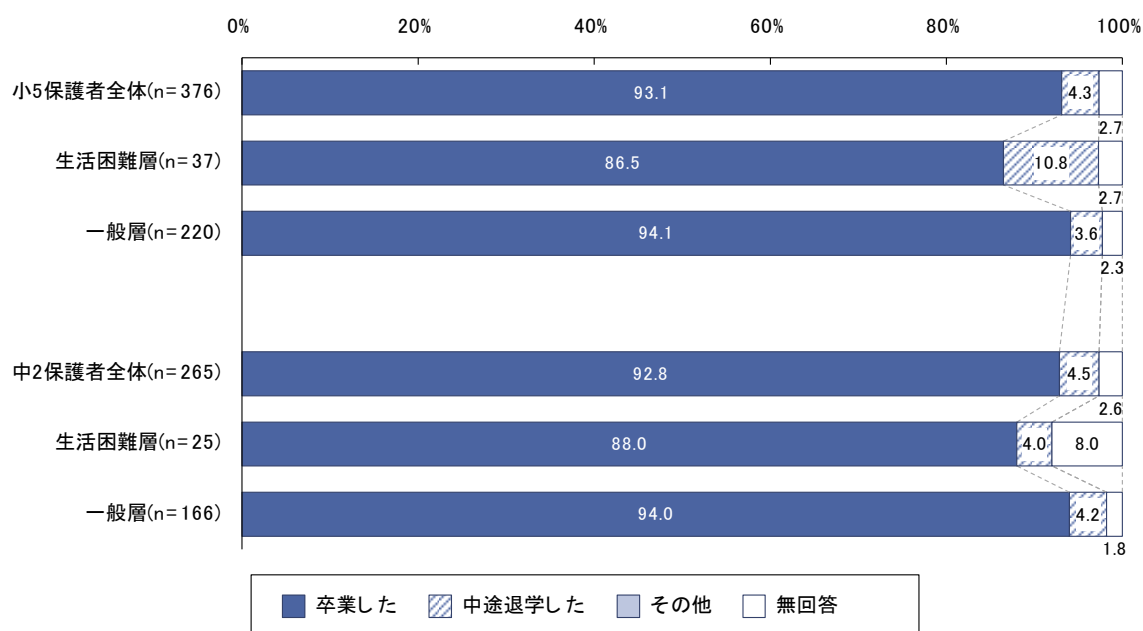


（６）最終学校の卒業の有無

最終学校の卒業の有無について、「卒業した」と回答した割合は、小学５年生の全体で 93.1%、生活困難層で 86.5%、一般層で 94.1%、中学２年生では、全体で 92.8%、生活困難層で 88.0%、一般層で 94.0%となっています。

小学５年生、中学２年生とも一般層と比べ生活困難層で「卒業した」割合が低くなっています。

問37ー1 お子さんのお父さまは、問37で答えた学校を卒業されましたか



4 母親のこと

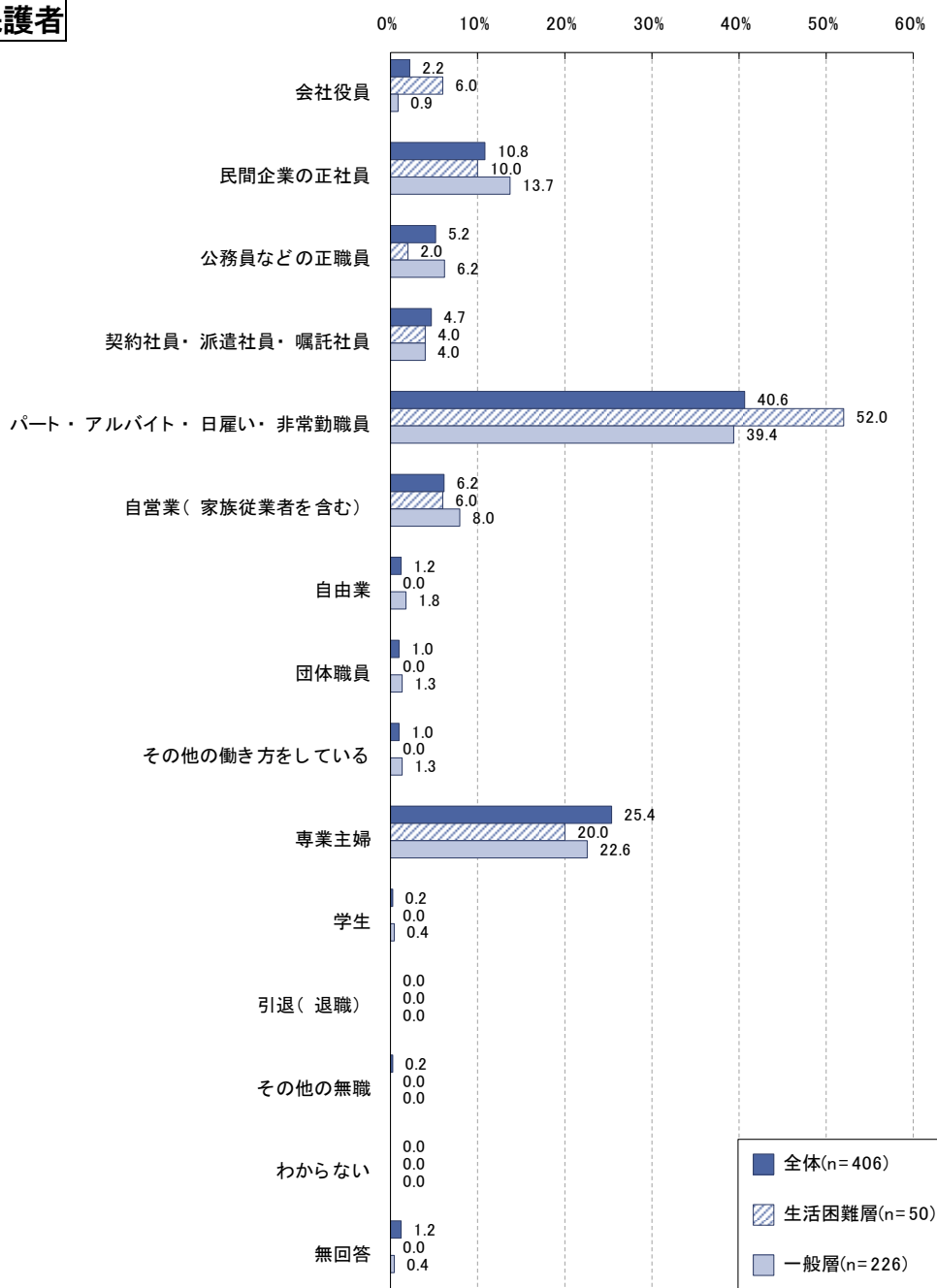
(1) 職業

小学5年生の母親の職業について、全体では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が40.6%、「専業主婦」が25.4%、「民間企業の正社員」が10.8%となっています。

生活困難度別でも同様の傾向となっていますが、生活困難層では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が一般層に比べ12ポイントほど高くなっています。

問11 お子さんのお母さまの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか

小5保護者

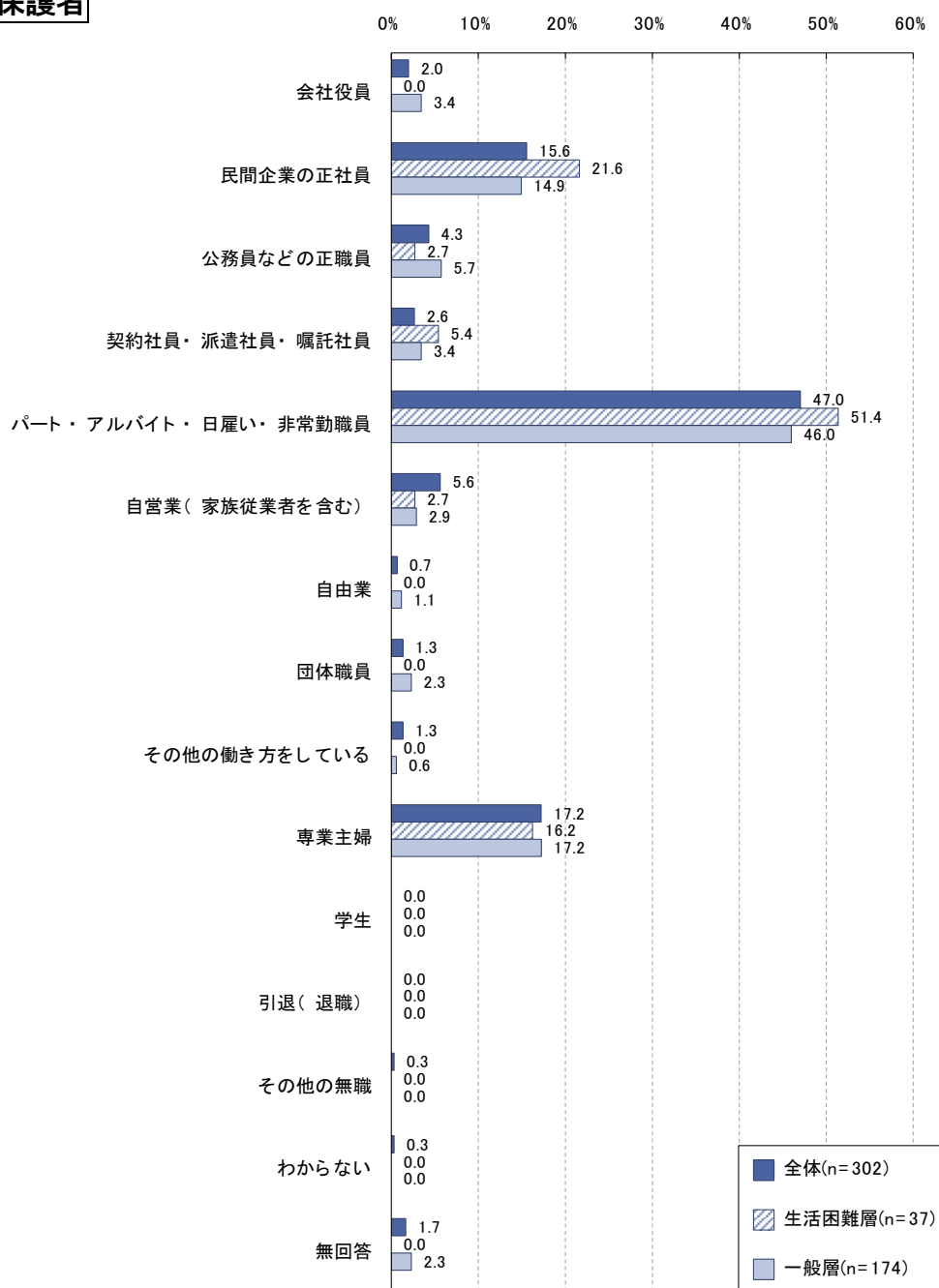


中学2年生の母親の職業について、全体では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が47.0%、「専業主婦」が17.2%、「民間企業の正社員」が15.6%となっています。

生活困難度別でも同様の傾向となっていますが、生活困難層では「民間企業の正社員」、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合がやや高くなっています。

問11 お子さんのお母さまの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか

中2 保護者

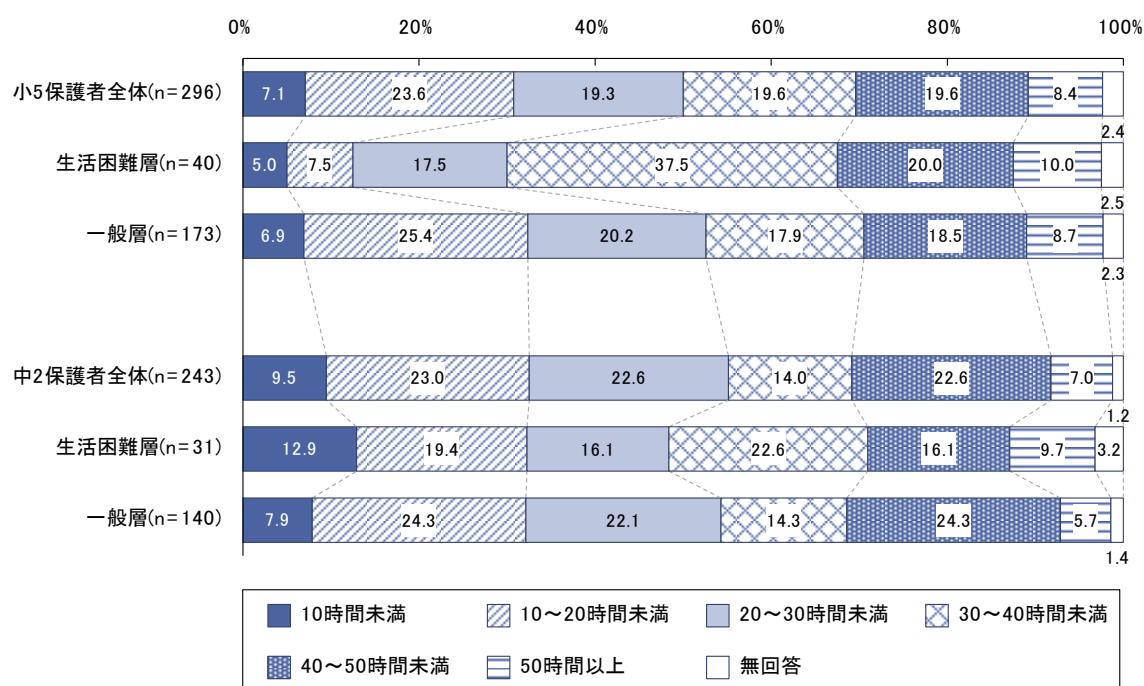


(2) 就労時間

母親の1週間の平均就労時間について、“40時間未満”（「10時間未満」～「30～40時間未満」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で69.6%、生活困難層で67.5%、一般層で70.4%、中学2年生では、全体で69.1%、生活困難層で71.0%、一般層で68.6%となっています。

一般層と比べ小学5年生の生活困難層で「30～40時間未満」の割合が高くなっています。

問11-1 お子さんのお母さまは、1週間に平均何時間、お仕事をされていますか



(3) 税込収入

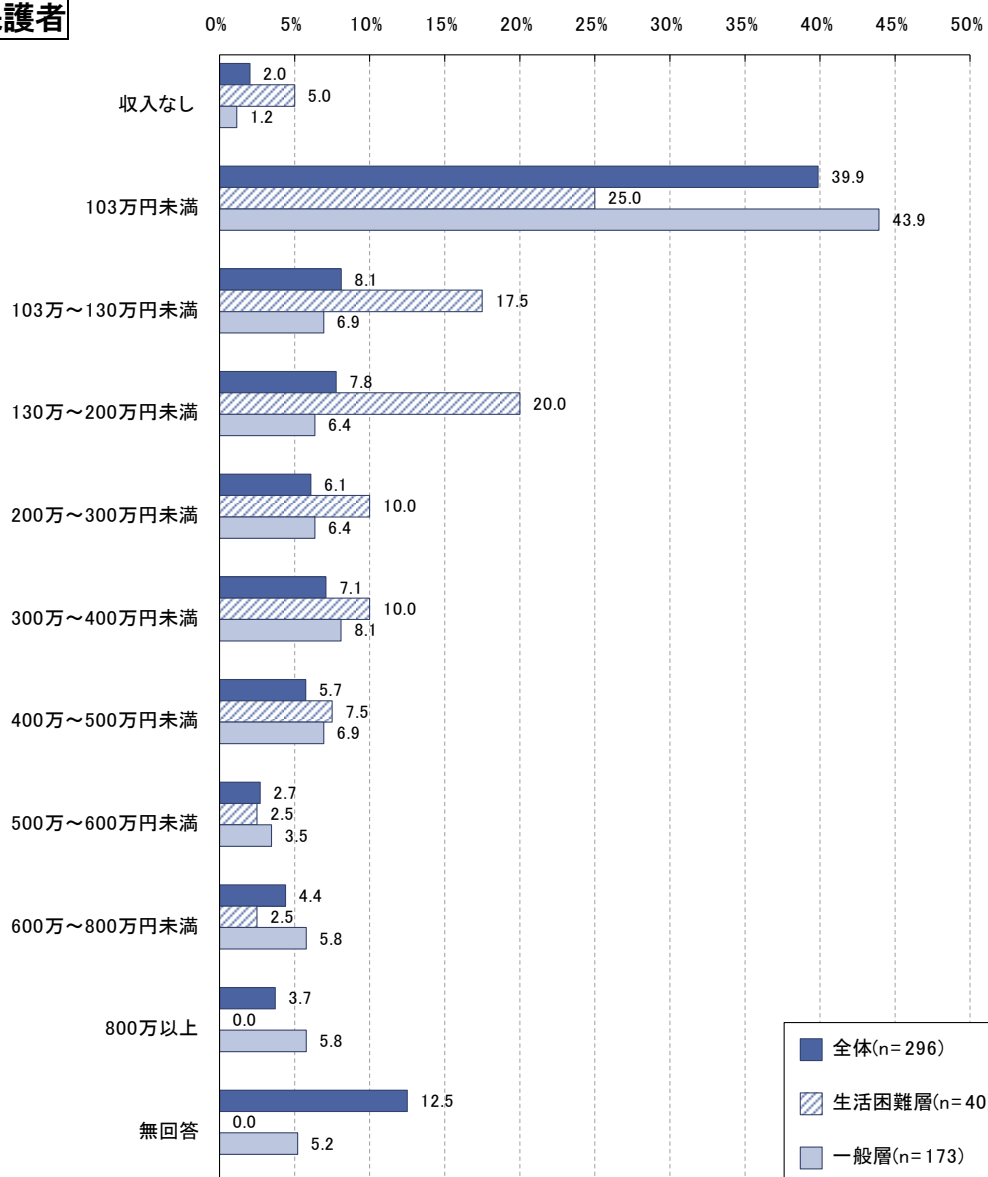
就労していると回答した小学5年生の母親の年収は、全体では、「103万円未満」が39.9%で最も多く、次いで「103万～130万円未満」が8.1%、「130万～200万円未満」が7.8%となっています。

生活困難層では「103万円未満」が25.0%で最も多く、次いで「130万～200万円未満」が20.0%、「103万～130万円未満」が17.5%となっています。

一般層では、「103万円未満」が43.9%と約半数を占め、生活困難層より高くなっているほか、500万円以上で割合が高くなっています。

問11-2 昨年1年間(2017年1月～12月)を合計した、お子さんのお母さまのお仕事からの収入(税込)は、およそいくらですか

小5 保護者



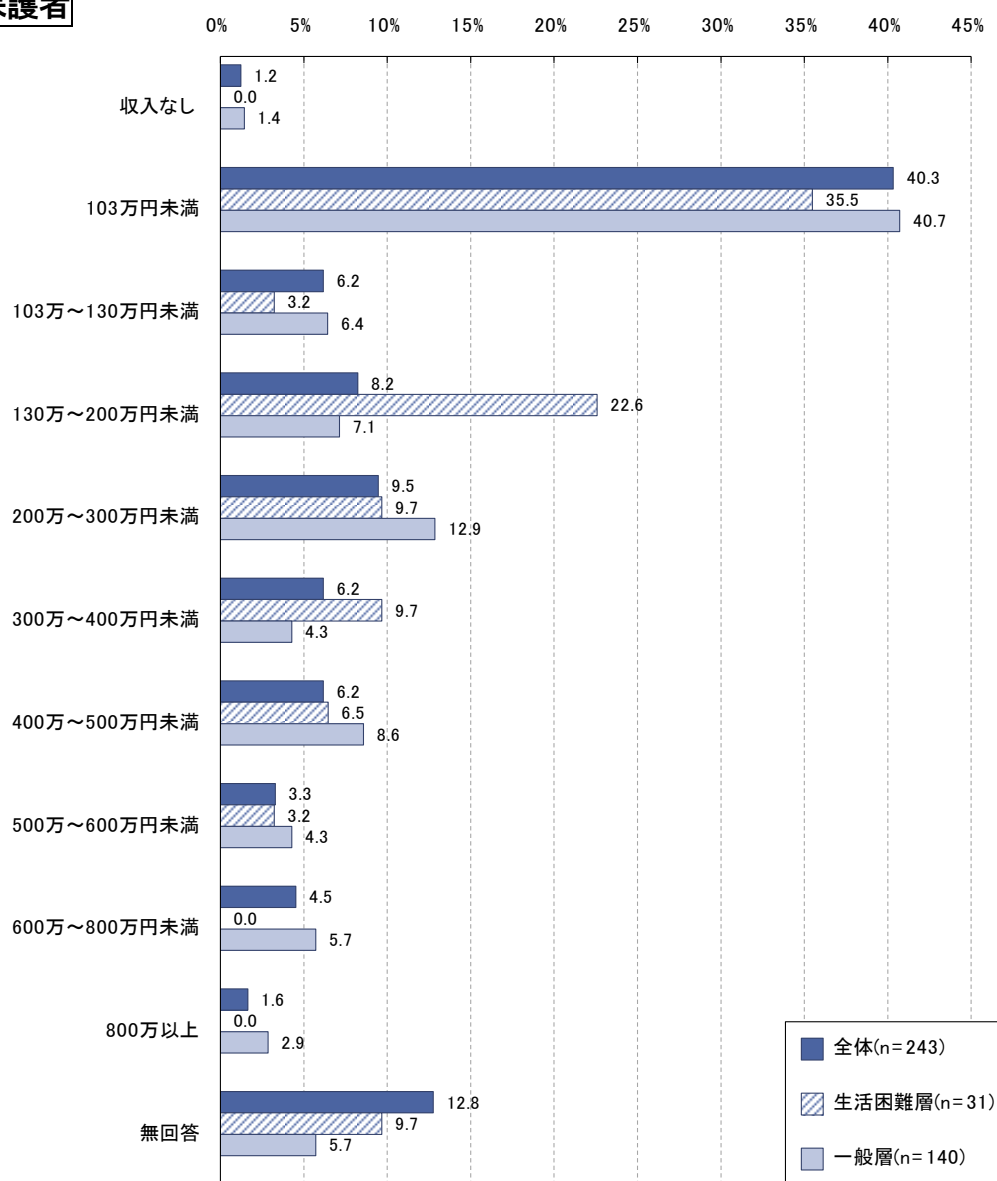
就労していると回答した中学2年生の母親の年収は、全体では、「103万円未満」が40.3%で最も多く、次いで「200万円～300万円未満」が9.5%、「130万円～200万円未満」が8.2%となっています。

生活困難層では「103万円未満」が35.5%で最も多く、次いで「130万円～200万円未満」が22.6%、「200万円～300万円未満」及び「300万円～400万円未満」が9.7%となっています。

一般層では、「103万円未満」が40.7%と生活困難層より高くなっているほか、「200万円～300万円未満」及び400万円以上からの割合が高くなっています。

問11-2 昨年1年間(2017年1月～12月)を合計した、お子さんのお母さまのお仕事からの収入(税込)は、およそいくらですか

中2保護者



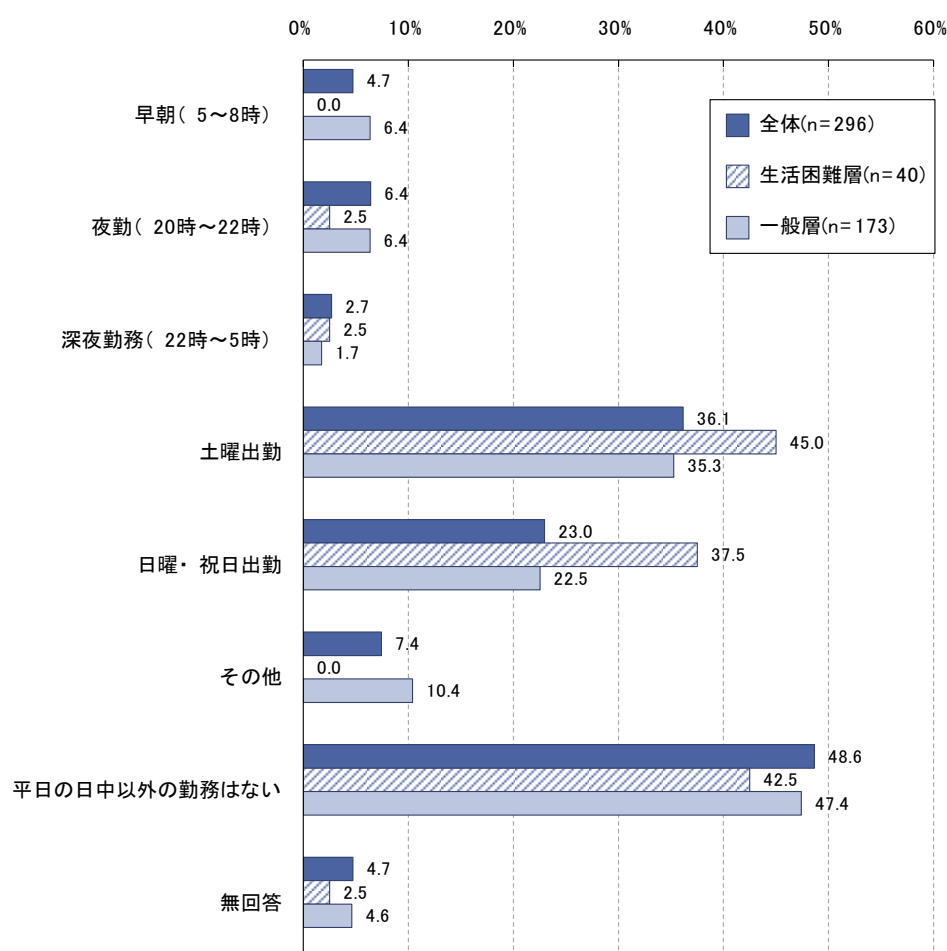
（４）平日の日中以外の勤務状況

小学５年生の母親の平日の日中以外の勤務状況について、全体では「平日の日中以外の勤務はない」が48.6%、「土曜出勤」が36.1%、「日曜・祝日出勤」が23.0%となっています。

生活困難度別でみると、生活困難層では「早朝（５～８時）」の勤務はなく、一般層に比べ「夜勤（２０時～２２時）」及び「平日の日中以外の勤務はない」の割合がやや低く、「土曜出勤」及び「日曜・祝日出勤」の割合が１０～１５ポイントほど高くなっています。

問11－３ お母さまは、平日の日中以外の勤務がありますか（複数回答）

小５保護者

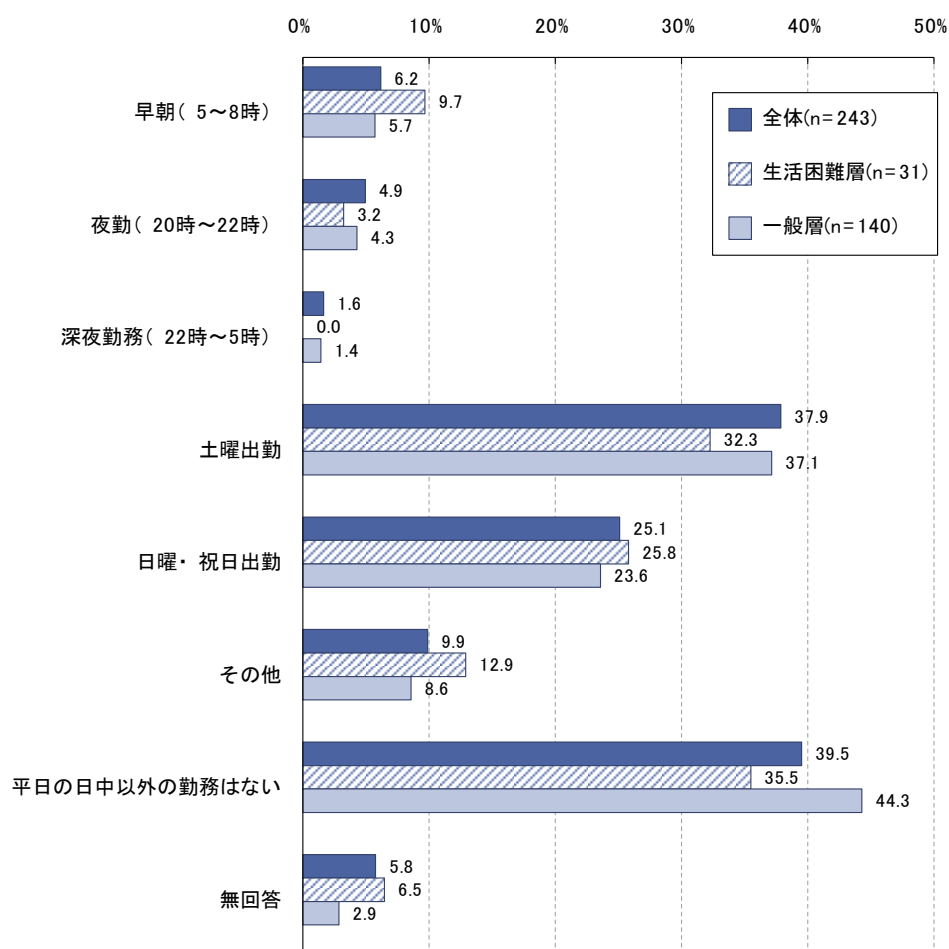


中学2年生の母親の平日日中以外の勤務状況について、全体では「平日の日中以外の勤務はない」が39.5%、「土曜出勤」が37.9%、「日曜・祝日出勤」が25.1%となっています。

生活困難度別でも同様の傾向となっていますが、生活困難層で「早朝（5～8時）」、「日曜・祝日出勤」の割合が高く、「土曜出勤」、「平日の日中以外の勤務はない」の割合がやや低くなっています。

問11-3 お母さまは、平日の日中以外の勤務がありますか(複数回答)

中2保護者

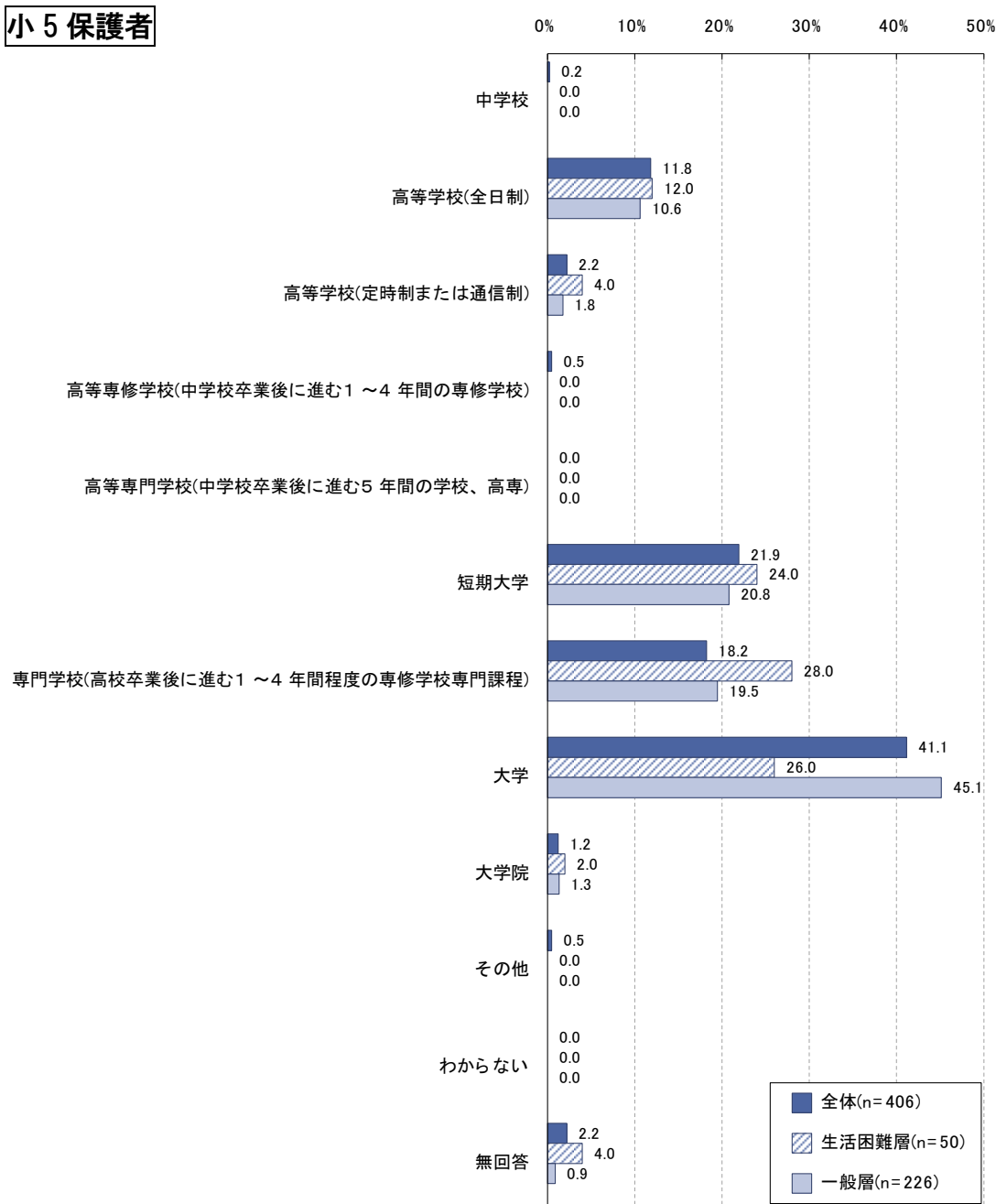


(5) 最終学歴

小学5年生の母親の最終学歴について、全体では「大学」が41.1%、「短期大学」が21.9%、「専門学校（高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程）」が18.2%、「高等学校（全日制）」が11.8%となっています。生活困難層では、「専門学校（高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程）」の割合が高く、「大学」の割合は一般層に比べ19ポイントほど低くなっています。

問36 お子さんのお母さまが、最後に通った学校は次のどちらにあたりますか

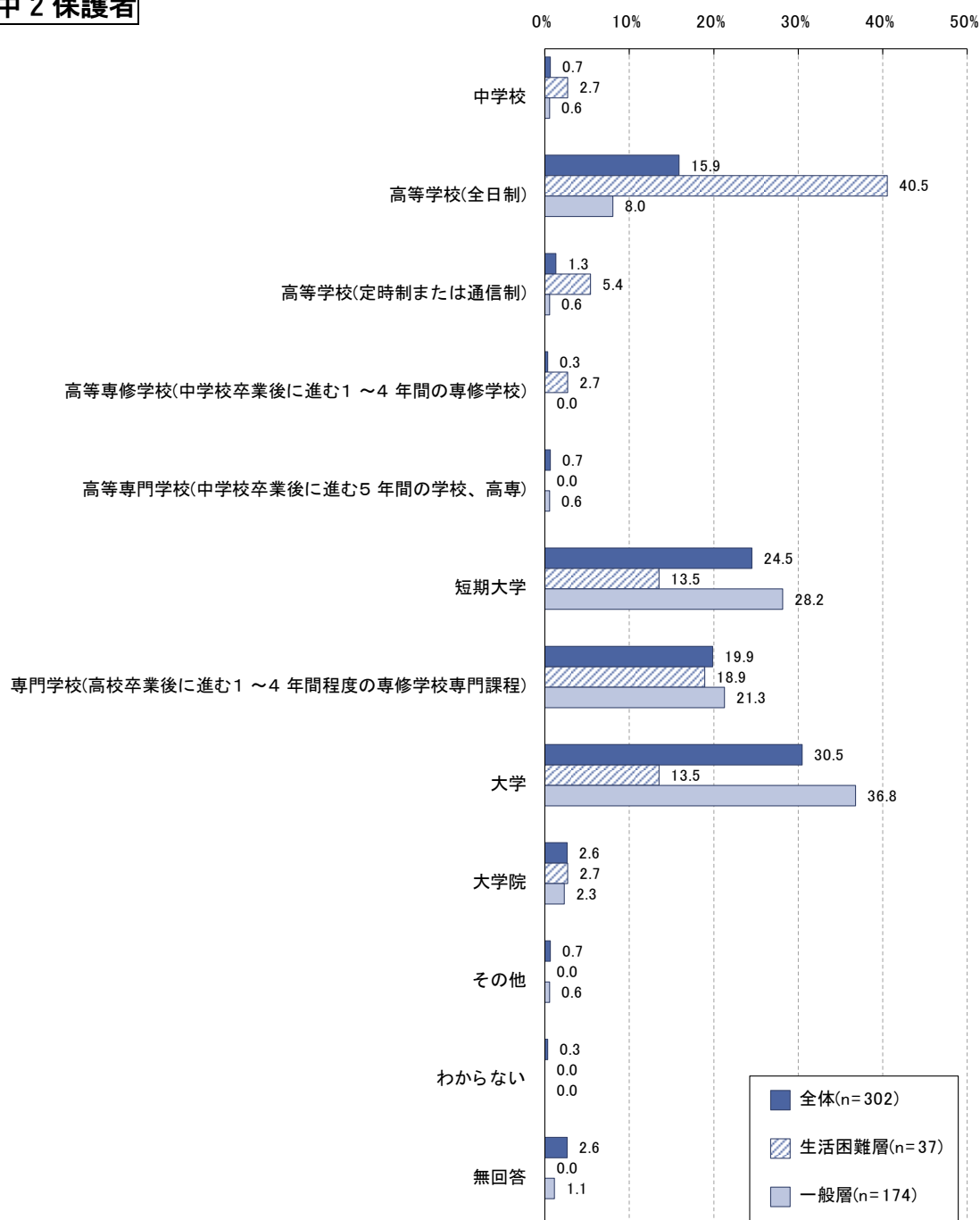
小5保護者



中学2年生の母親の最終学歴について、全体では「大学」が30.5%、「短期大学」が24.5%、「専門学校（高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程）」が19.9%となっています。生活困難層では一般層に比べ、「高等学校（全日制）」の割合が約5倍と高い一方、「短期大学」や「大学」の割合は2分の1から3分の1程度となっています。

問36 お子さんのお母さまが、最後に通った学校は次のどちらにあたりますか

中2保護者

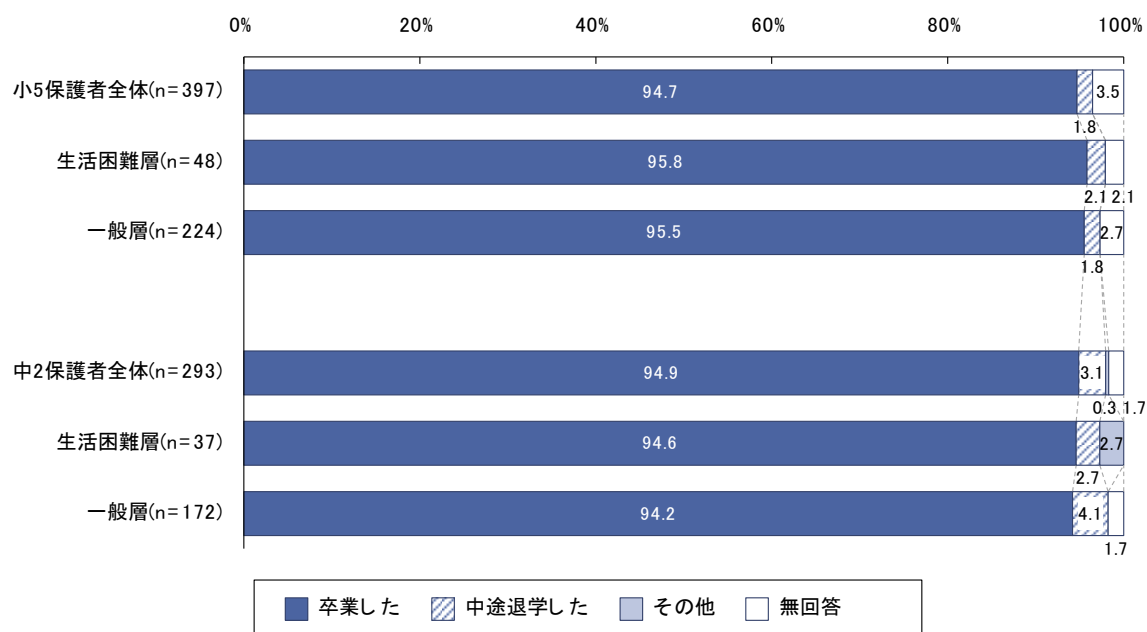


（６）最終学校の卒業の有無

最終学校の卒業の有無について、「卒業した」と回答した割合は、小学５年生の全体で 94.7%、生活困難層で 95.8%、一般層で 95.5%、中学２年生では、全体で 94.9%、生活困難層で 94.6%、一般層で 94.2%となっています。

小学５年生、中学２年生とも生活困難度による差はみられませんでした。

問36ー1 お子さんのお母さまは、問36で答えた学校を卒業されましたか



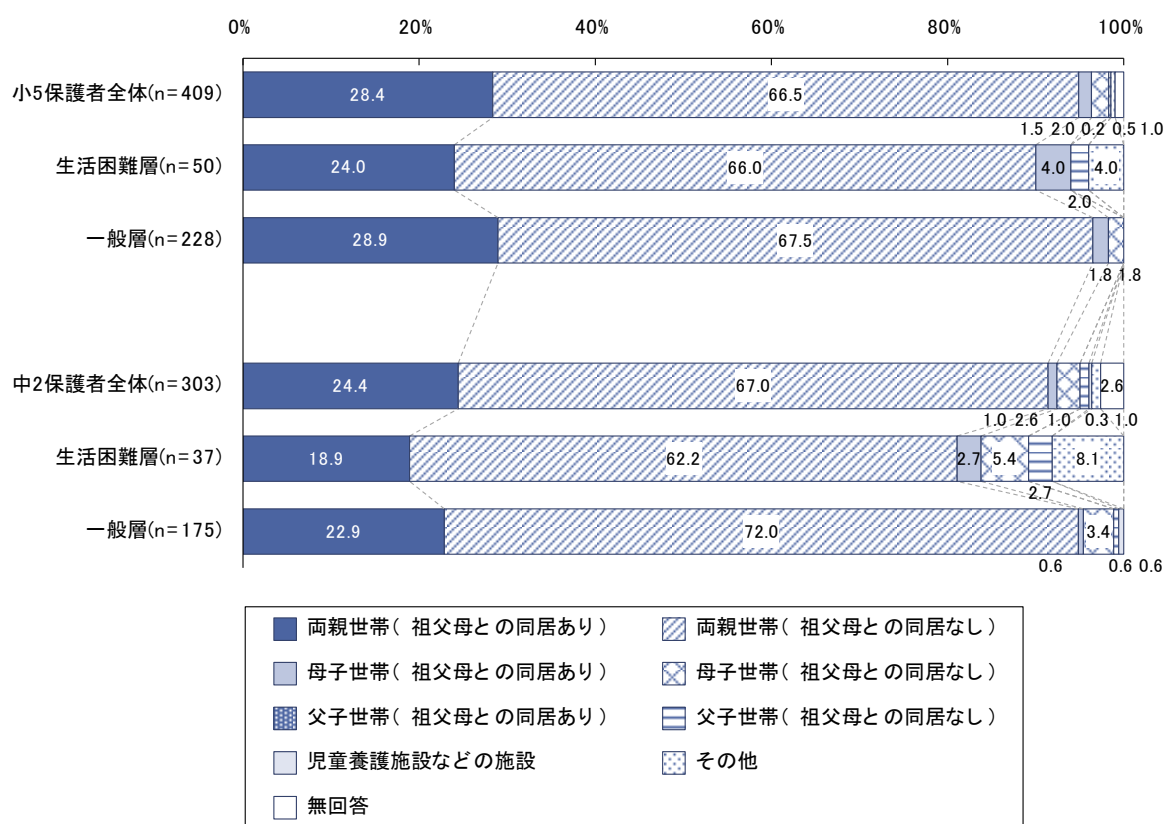
5 父親・母親のこれまでの経験

(1) 15歳の頃の家族構成

15歳の頃の家族構成について、「両親世帯」（「両親世帯（祖父母との同居なし）」と「両親世帯（祖父母との同居あり）」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で94.9%、生活困難層で90.0%、一般層で96.4%、中学2年生では、全体で91.4%、生活困難層で81.1%、一般層で94.9%となっています。

一般層と比べ中学2年生の生活困難層で“母子・父子世帯”の割合が高くなっています。

問38 あなたが15歳の頃のご家庭の様子に最も近いものに○をつけてください

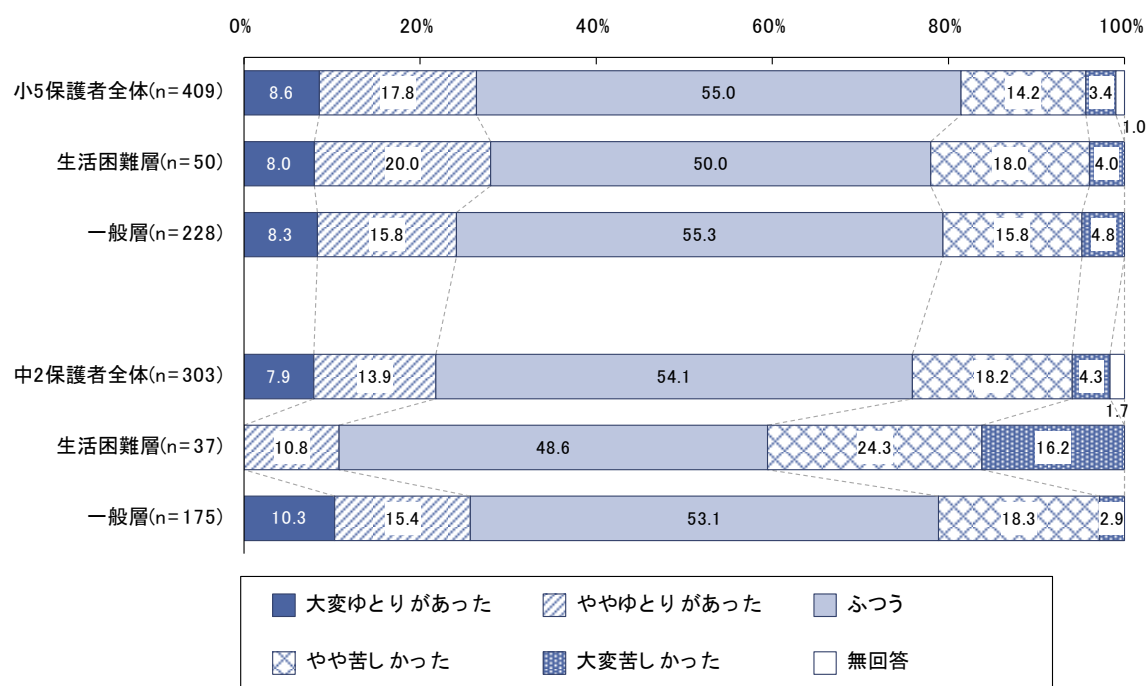


(2) 15歳の頃の(主観的)暮らし向き

15歳の頃の暮らし向きについて、“苦しかった”(「やや苦しかった」と「大変苦しかった」の合計)と回答した割合は、小学5年生の全体で17.6%、生活困難層で22.0%、一般層で20.6%、中学2年生では、全体で22.5%、生活困難層で40.5%、一般層で21.2%となっています。

中学2年生の生活困難層で一般層と比べ、“苦しかった”の割合が高くなっています。

問39 あなたが15歳の頃の、あなたのご家庭の暮らし向きについて、最も近いものに○をつけてください

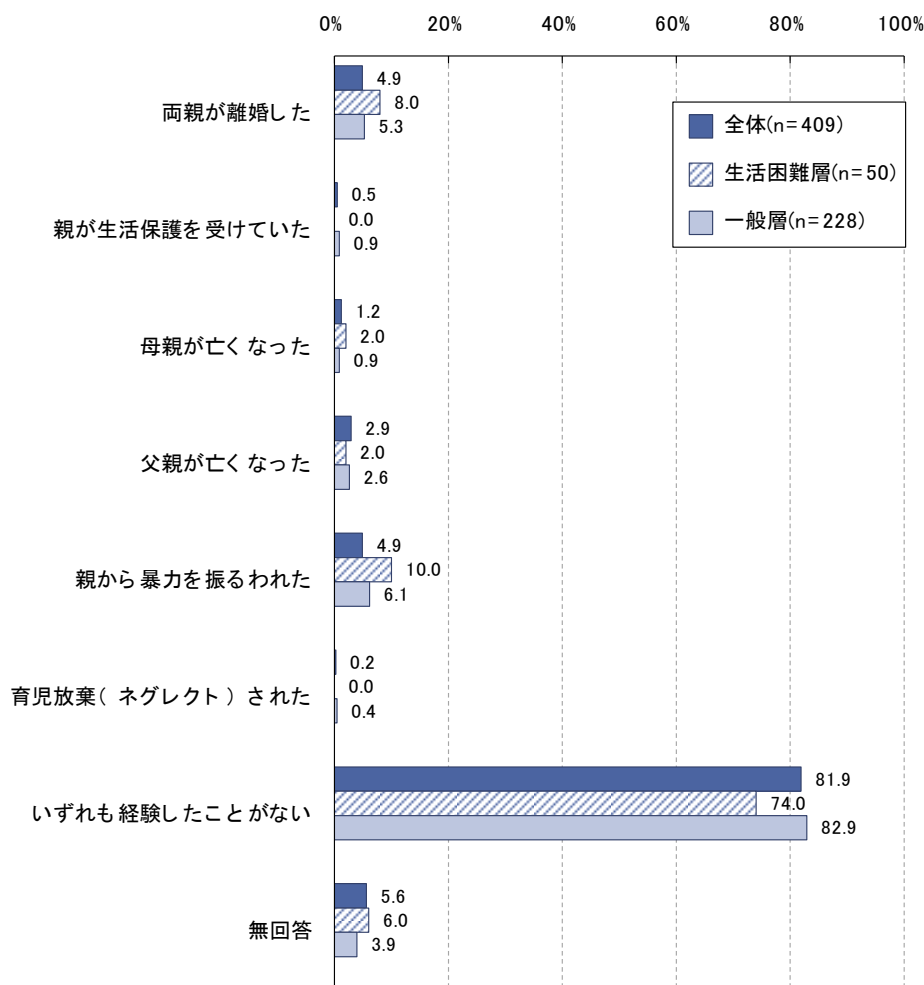


（３）成人するまでの体験

成人するまでの体験について、小学５年生の全体では、「いずれも経験したことがない」が81.9%と多数を占めています。生活困難度別でも同様の傾向となっていますが、生活困難層では「いずれも経験したことがない」と回答した割合がやや低く、「両親が離婚した」、「親から暴力を振るわれた」と回答した割合が若干高くなっています。

問40 あなたは、成人する前に以下のような体験をしたことがありますか（複数回答）

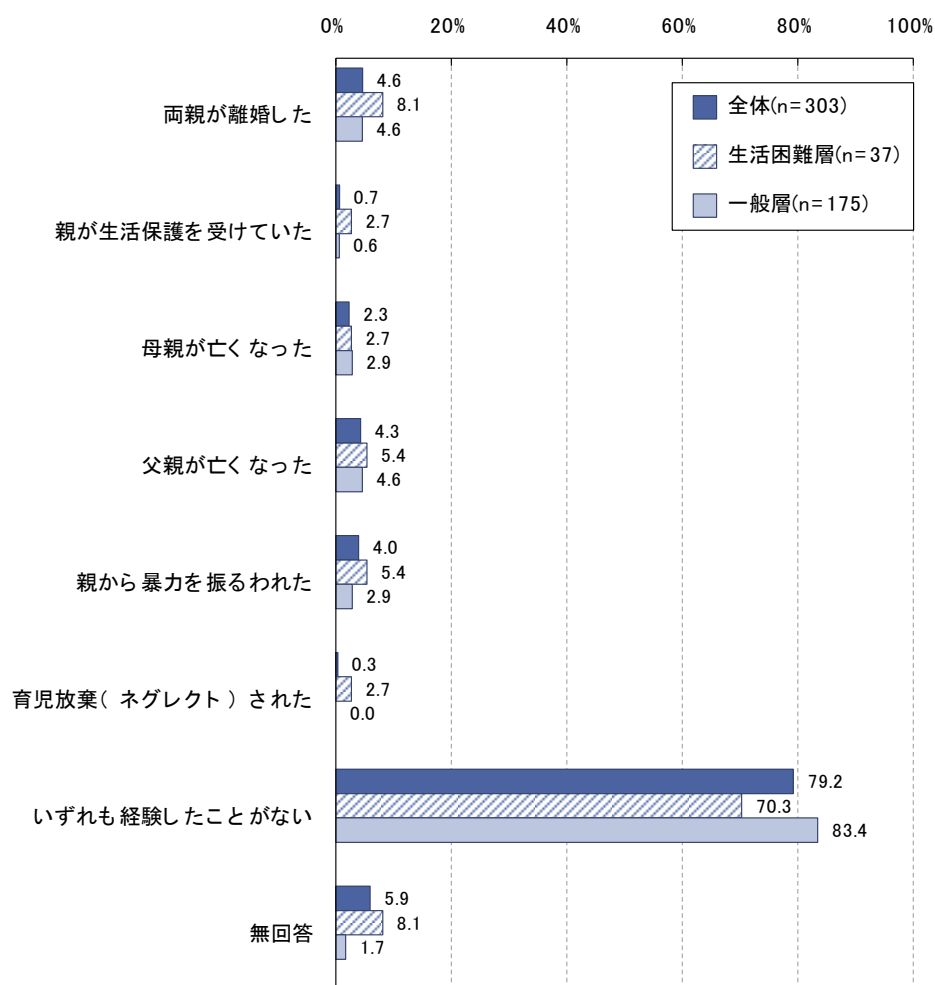
小５保護者



成人するまでの体験について、中学2年生の全体では、「いずれも経験したことがない」が79.2%と多数を占めています。生活困難度別でも同様の傾向となっていますが、生活困難層では「いずれも経験したことがない」と回答した割合が低く、「両親が離婚した」、「親から暴力を振るわれた」、「育児放棄（ネグレクト）された」と回答した割合が若干高くなっています。

問40 あなたは、成人する前に以下のような体験をしたことがありますか（複数回答）

中2 保護者

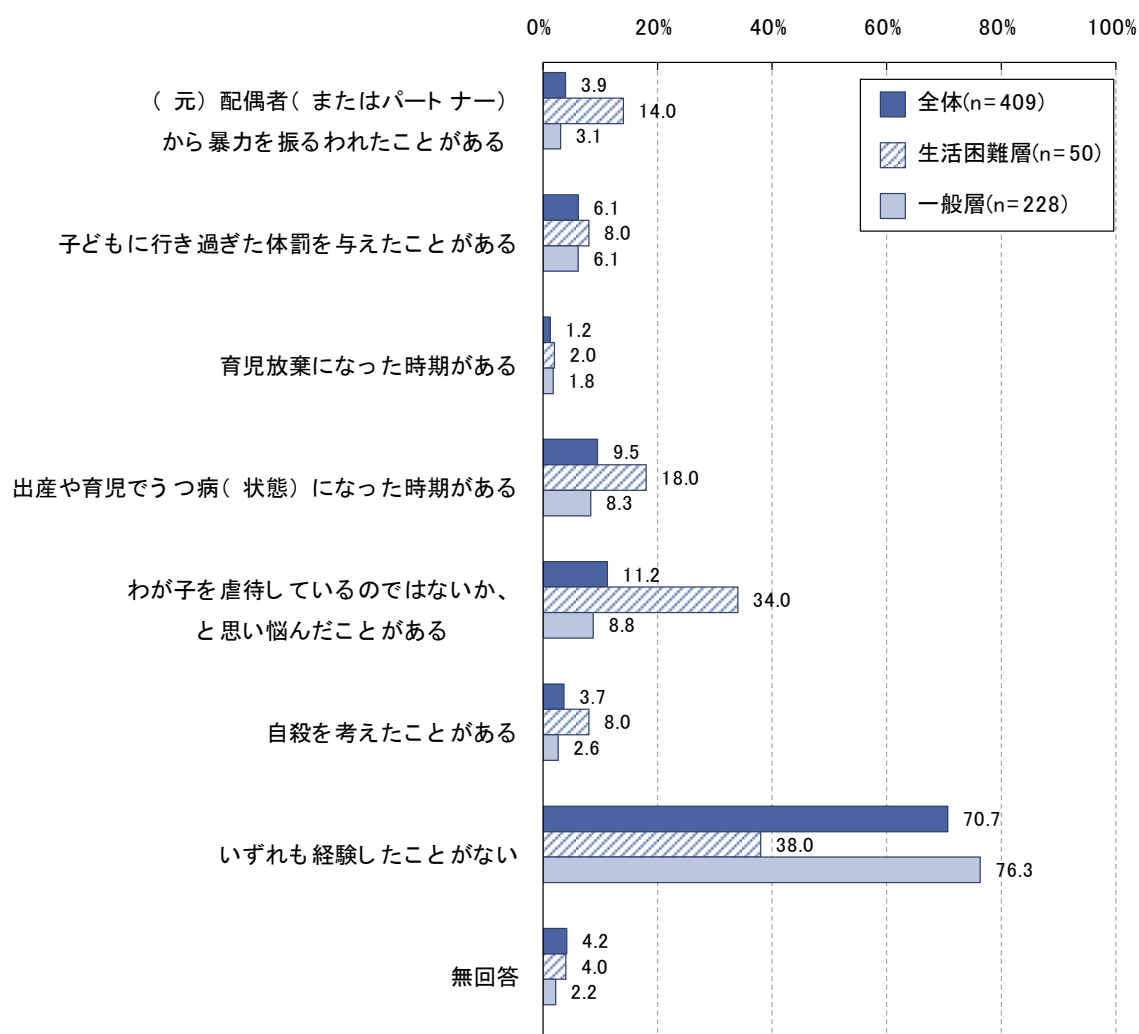


（４）子育てにかかわってからの経験

子育てにかかわってからの経験について、小学５年生の全体では、「いずれも経験したことがない」が70.7%と多数を占めています。生活困難層では「いずれも経験したことがない」が38.0%と一般層の76.3%の約半数と低く、「わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」は34.0%、「出産や育児でうつ病（状態）になった時期がある」は18.0%、「（元）配偶者（またはパートナー）から暴力を振るわれたことがある」は14.0%と割合が高くなっています。

問41 あなたはお子さんをもってから、以下のような経験をしたことがありますか（複数回答）

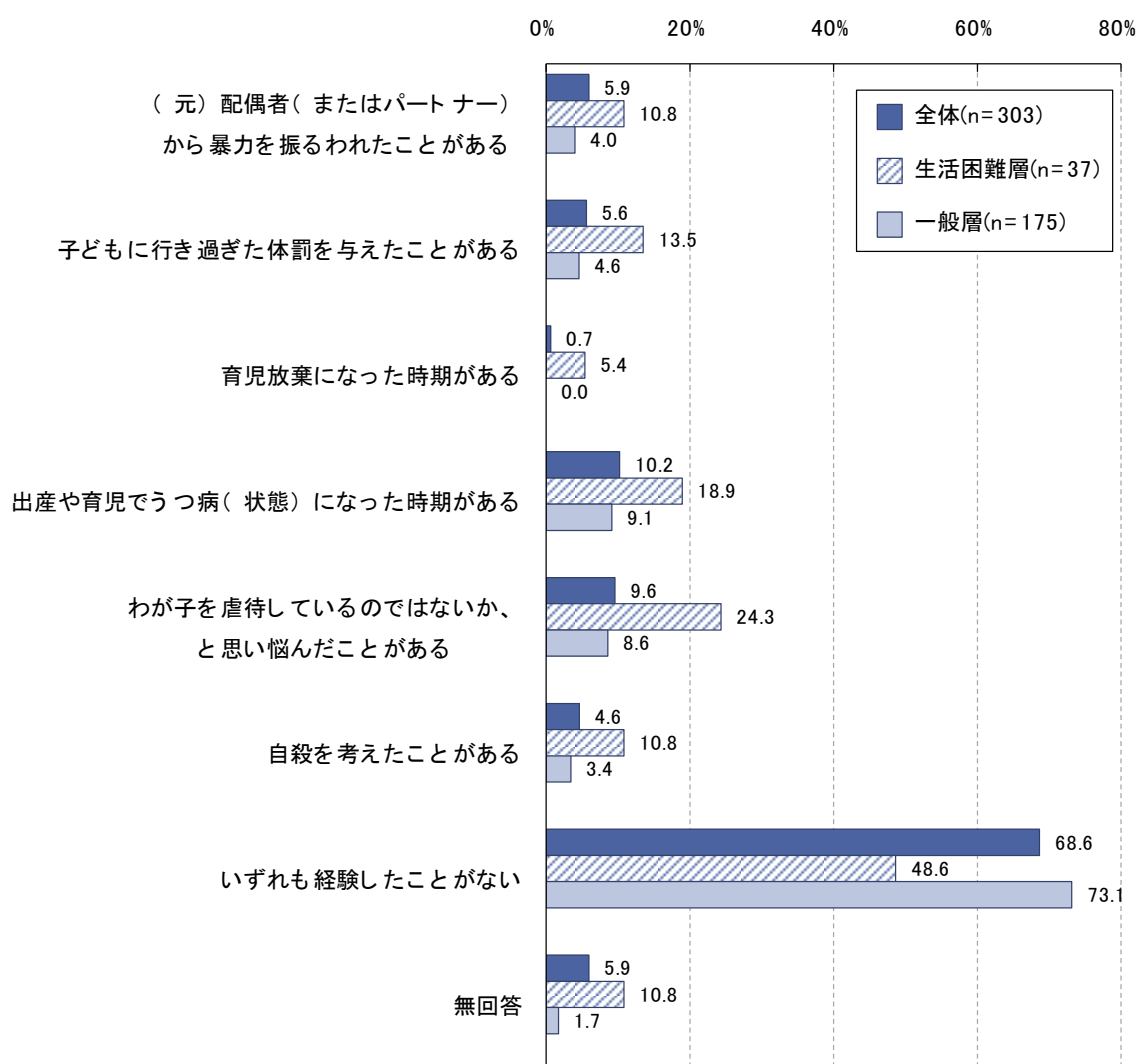
小5 保護者



子育てにかかわってからの経験について、中学2年生の全体では、「いずれも経験したことがない」が68.6%と多数を占めています。生活困難層では「いずれも経験したことがない」が48.6%と一般層の73.1%と比べ低く、また、「わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」は24.3%、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」は18.9%、「子どもに行き過ぎた体罰を与えたことがある」は13.5%と割合が高くなっています。

問41 あなたはお子さんをもってから、以下のような経験をしたことがありますか(複数回答)

中2 保護者



6 子どもとのかかわり

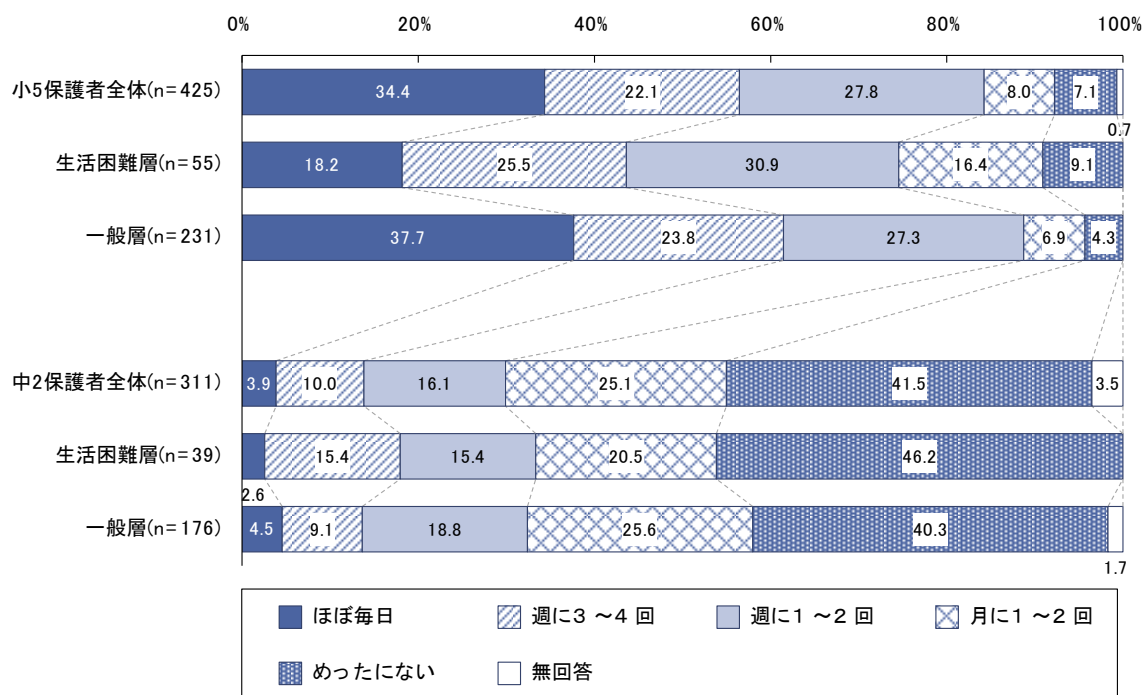
(1) 子どもとのかかわりの頻度

A お子さんの勉強をみる

子どもの勉強をみる頻度について、“週に1回以上”（「ほぼ毎日」、「週に3～4回」、「週に1～2回」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で84.3%、生活困難層で74.6%、一般層で88.8%、中学2年生では、全体で30.0%、生活困難層で33.4%、一般層で32.4%となっています。

一般層と比べ小学5年生の生活困難層では“週に1回以上”の割合が低く、中学2年生の生活困難層では「めったにない」がやや高くなっています。また、小学5年生に比べ中学2年生でかかわる頻度は、総じて少なくなっています。

問25 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか／A お子さんの勉強をみる

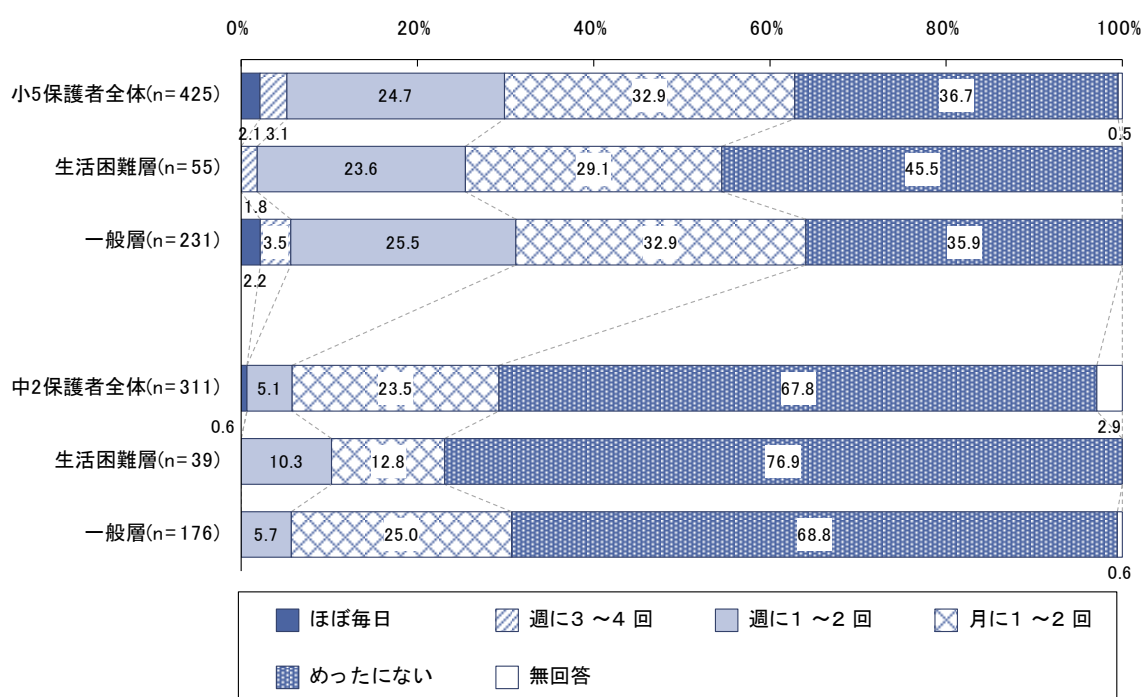


Bお子さんとからだを動かして遊ぶ（キャッチボールなど）

子どもとからだを動かして遊ぶ頻度について、“週に1回以上（「ほぼ毎日」、「週に3～4回」、「週に1～2回」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で29.9%、生活困難層で25.4%、一般層で31.2%、中学2年生では、全体で5.7%、生活困難層で10.3%、一般層で5.7%となっています。

一般層と比べ小学5年生では生活困難層で“週に1回以上”の割合が低く、中学2年生の生活困難層では高くなっています。また、小学5年生に比べ中学2年生でかわる頻度は、総じて少なくなっています。

問25 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか／Bお子さんとからだを動かして遊ぶ（キャッチボールなど）

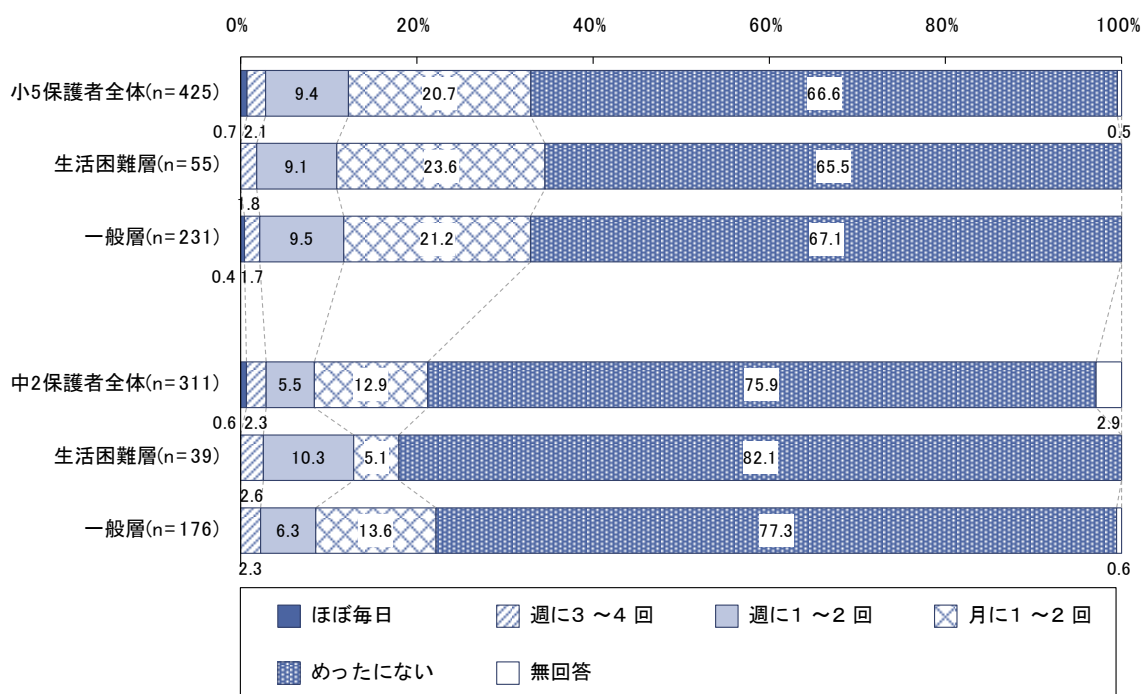


Cお子さんとコンピュータゲームで遊ぶ（テレビゲーム・パソコンゲーム・携帯ゲームなど）

子どもとコンピュータゲームで遊ぶ頻度について、“週に1回以上”（「ほぼ毎日」、「週に3～4回」、「週に1～2回」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で12.2%、生活困難層で10.9%、一般層で11.6%、中学2年生では、全体で8.4%、生活困難層で12.9%、一般層で8.6%となっています。

小学5年生、中学2年生とも生活困難度による大きな差はみられませんが、小学5年生に比べ中学2年生でかかわる頻度は、総じて少なくなっています。

問25 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか／Cお子さんとコンピュータゲームで遊ぶ（テレビゲーム・パソコンゲーム・携帯ゲームなど）

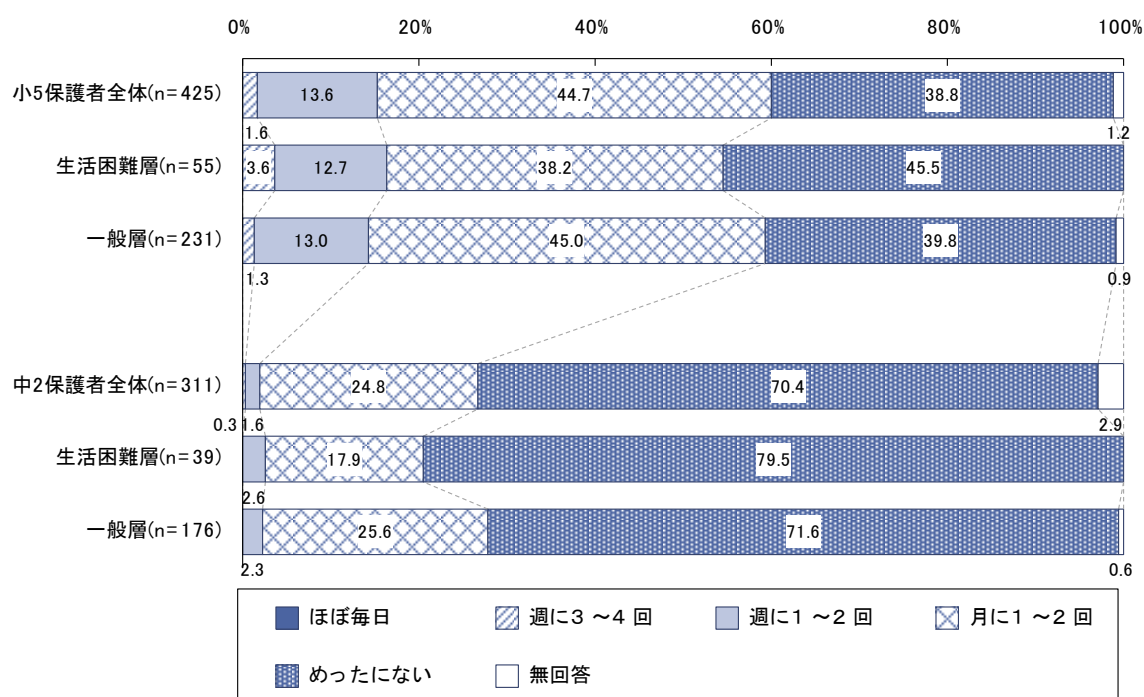


D お子さんとカードゲームなどで遊ぶ（トランプ・ボードゲーム・将棋など）

子どもとカードゲームなどで遊ぶ頻度について、“週に1回以上”（「ほぼ毎日」、「週に3～4回」、「週に1～2回」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体15.2%、生活困難層で16.3%、一般層で14.3%、中学2年生では、全体で1.9%、生活困難層で2.6%、一般層で2.3%となっています。

小学5年生、中学2年生とも生活困難度による大きな差はみられませんが、小学5年生に比べ中学2年生でかわる頻度は、総じて少なくなっています。

問25 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか／Dお子さんとカードゲームなどで遊ぶ（トランプ・ボードゲーム・将棋など）

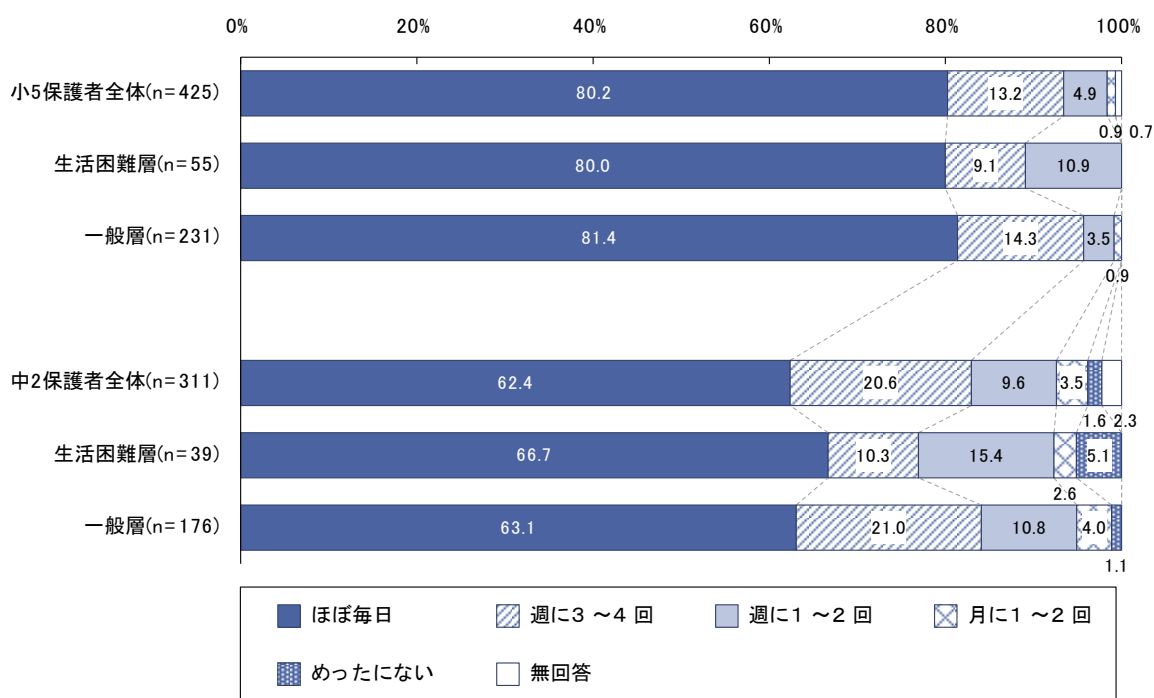


E お子さんと学校生活の話をする

子どもと学校生活の話をする頻度について、“週に1回以上”(「ほぼ毎日」、「週に3～4回」、「週に1～2回」の合計)と回答した割合は、小学5年生の全体で98.3%、生活困難層で100%、一般層で99.2%、中学2年生では、全体で92.6%、生活困難層で92.4%、一般層で94.9%となっています。

小学5年生、中学2年生とも生活困難度による大きな差はみられませんが、中学2年生の生活困難層で「めったにない」が若干高くなっています。

問25 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか／Eお子さんと学校生活の話をする

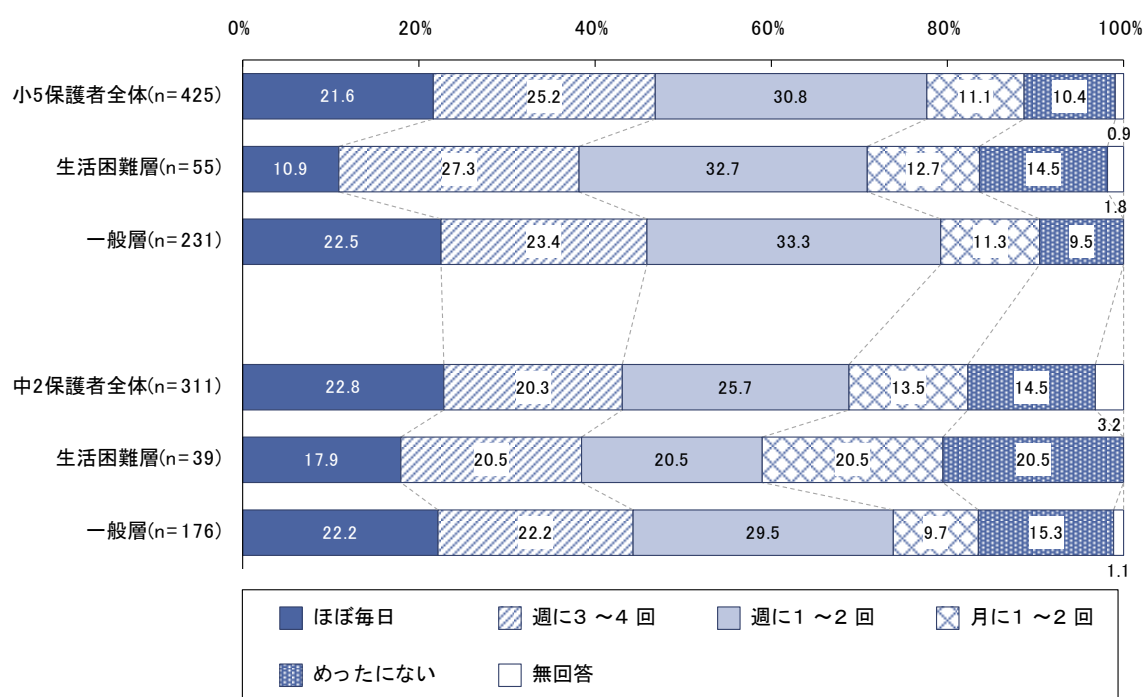


F お子さんと政治経済・社会問題などのニュースの話をする

子どもと政治経済・社会問題などのニュースの話をする頻度について、「週に1回以上」（「ほぼ毎日」、「週に3～4回」、「週に1～2回」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で77.6%、生活困難層で70.9%、一般層で79.2%、中学2年生では、全体で68.8%、生活困難層で58.9%、一般層で73.9%となっています。

小学5年生、中学2年生とも、一般層と比べ生活困難層では“週に1回以上”の割合が低くなっています。

問25 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか／Fお子さんと政治経済・社会問題などのニュースの話をする

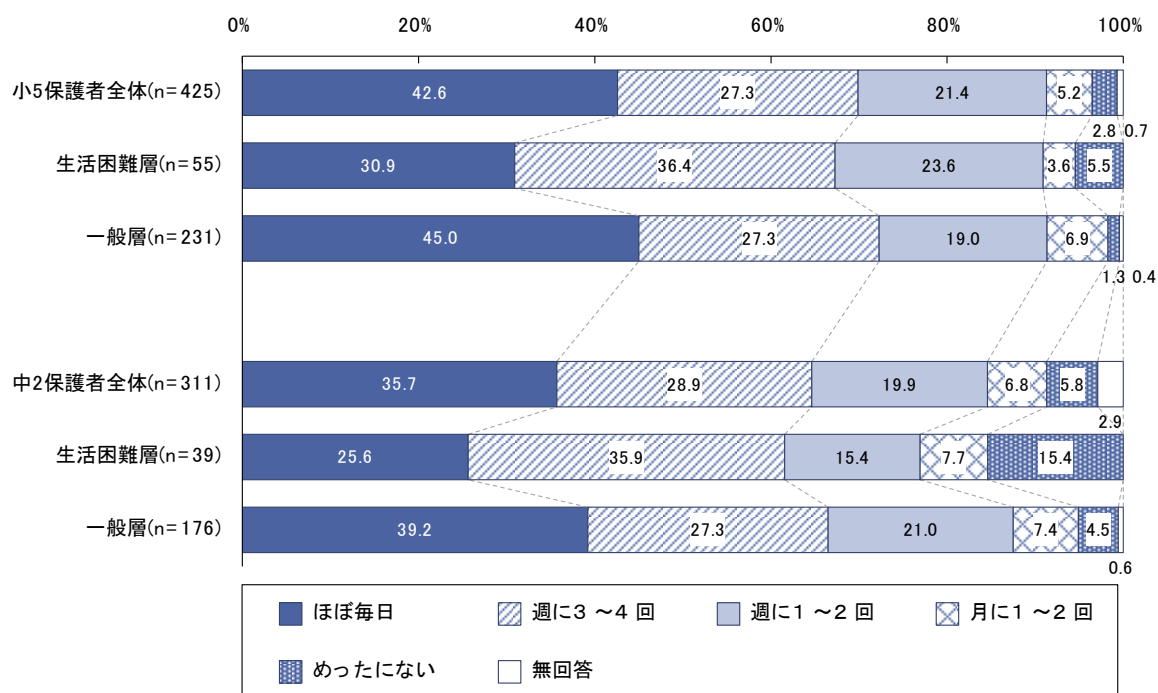


Gお子さんとテレビ番組（ニュースを除く）の話をする

子どもとテレビ番組（ニュースを除く）の話をする頻度について、“週に1回以上”（「ほぼ毎日」、「週に3～4回」、「週に1～2回」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で91.3%、生活困難層で90.9%、一般層で91.3%、中学2年生では、全体で84.5%、生活困難層で76.9%、一般層で87.5%となっています。

小学5年生では生活困難度による差はみられず、中学2年生の生活困難層では一般層に比べ“週に1回以上”の割合が低くなっています。

問25 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか／Gお子さんとテレビ番組（ニュースを除く）の話をする

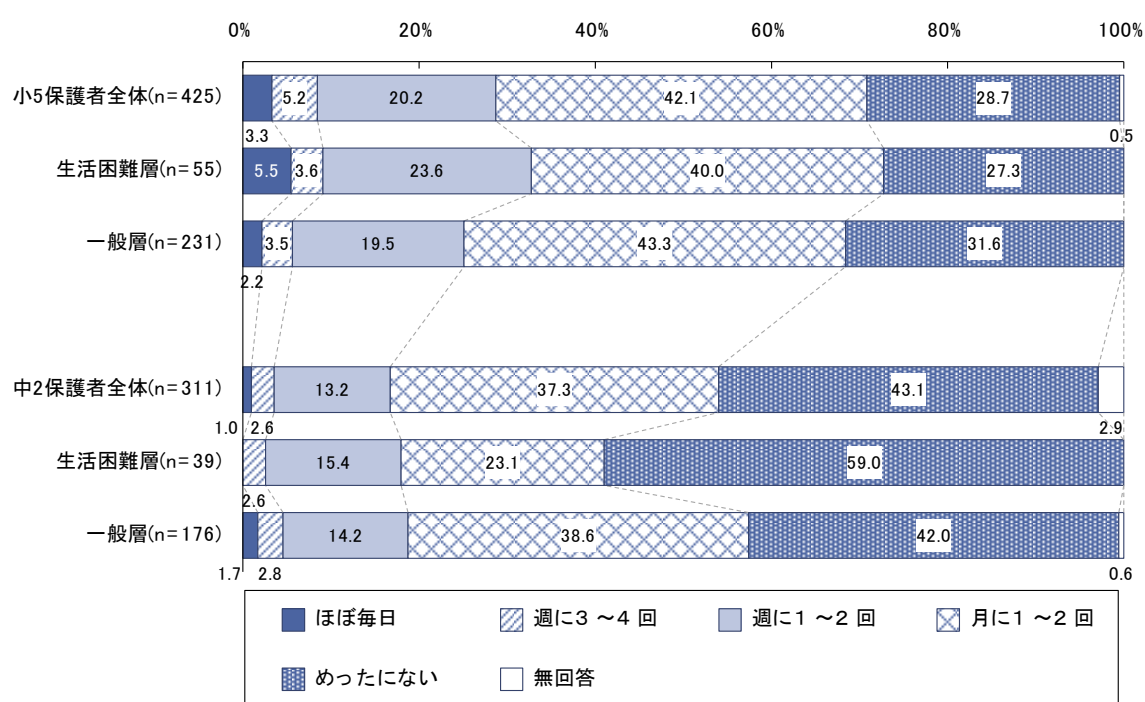


Hお子さんと一緒に料理をする

子どもと一緒に料理をする頻度について、“週に1回以上”（「ほぼ毎日」、「週に3～4回」、「週に1～2回」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で28.7%、生活困難層で32.7%、一般層で25.2%、中学2年生では、全体で16.8%、生活困難層で18.0%、一般層で18.7%となっています。

小学5年生の生活困難層は、一般層と比べ“週に1回以上”の割合が高く、中学2年生では生活困難度による差はみられません。しかし、「めったにない」と回答した割合は、中学2年生の生活困難層で高くなっています。

問25 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか／Hお子さんと一緒に料理をする

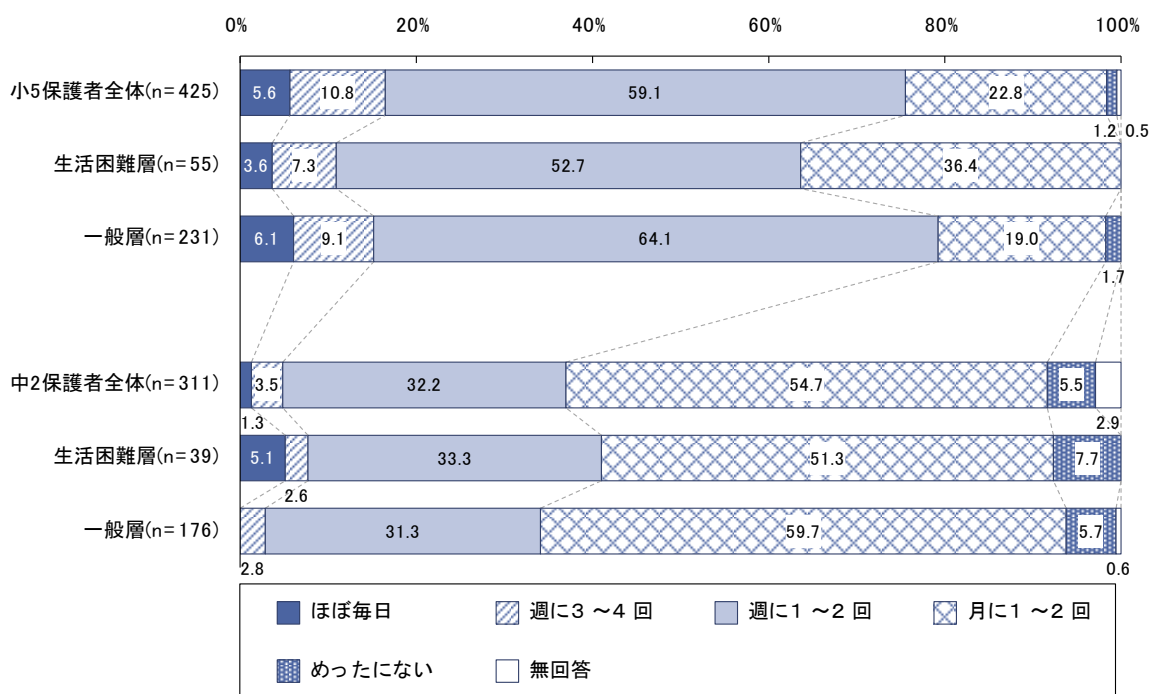


Ⅰ お子さんと一緒に外出をする

子どもと一緒に外出をする頻度について、“週に1回以上”（「ほぼ毎日」、「週に3～4回」、「週に1～2回」の合計）と回答した割合は、小学5年生の全体で75.5%、生活困難層で63.6%、一般層で79.3%、中学2年生では、全体で37.0%、生活困難層で41.0%、一般層で34.1%となっています。

一般層と比べ小学5年生の生活困難層では“週に1回以上”の割合が低く、中学2年生の生活困難層では高くなっています。また、小学5年生に比べ中学2年生で外出する頻度は、総じて少なくなっています。

問25 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか／Ⅰ お子さんと一緒に外出をする

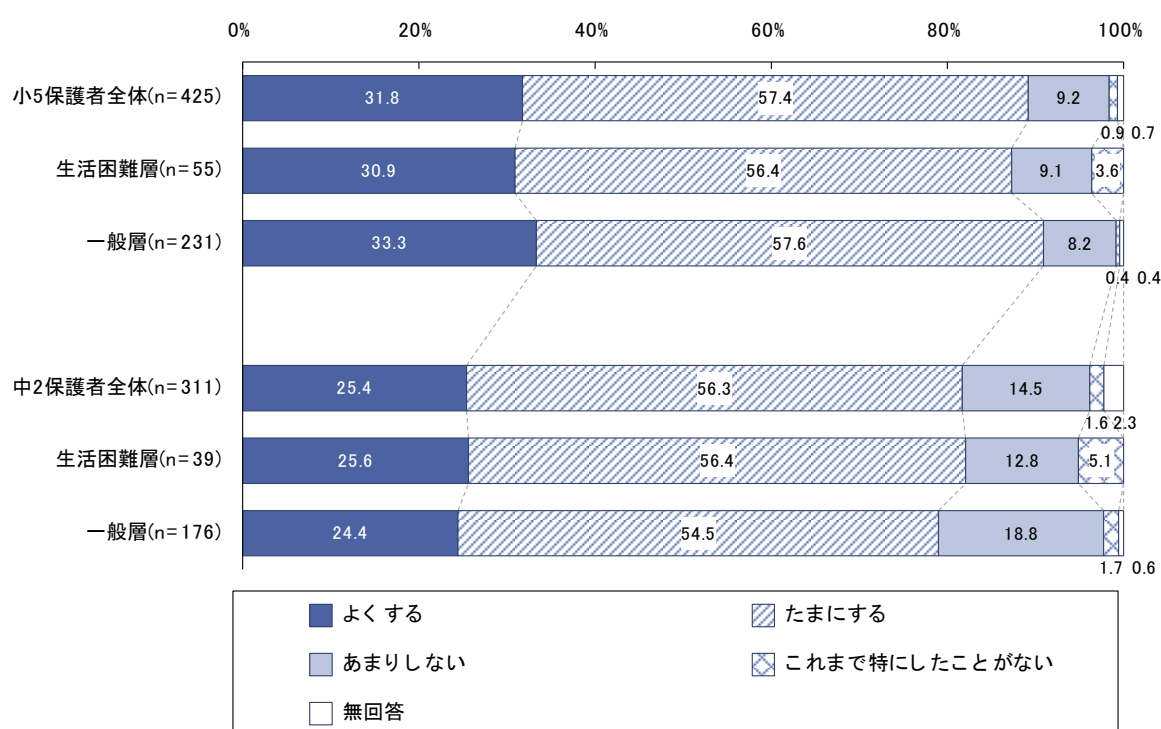


（２）子どもの将来についての会話

子どもの将来についての会話をすることについて、「よくする」、「たまにする」の回答を合わせた割合は、小学５年生の全体で 89.2%、生活困難層で 87.3%、一般層で 90.9%、中学２年生では、全体で 81.7%、生活困難層で 82.0%、一般層で 78.9%となっています。小学５年生、中学２年生とも生活困難度による大きな差はみられません。

一方、小学５年生の生活困難層の 3.6%、中学２年生の生活困難層の 5.1%が「これまで特にしたことがない」と回答しています。

問27 あなたは、お子さんの将来(夢・進路・職業等)について、お子さんと一緒に考えたり、話すことがありますか

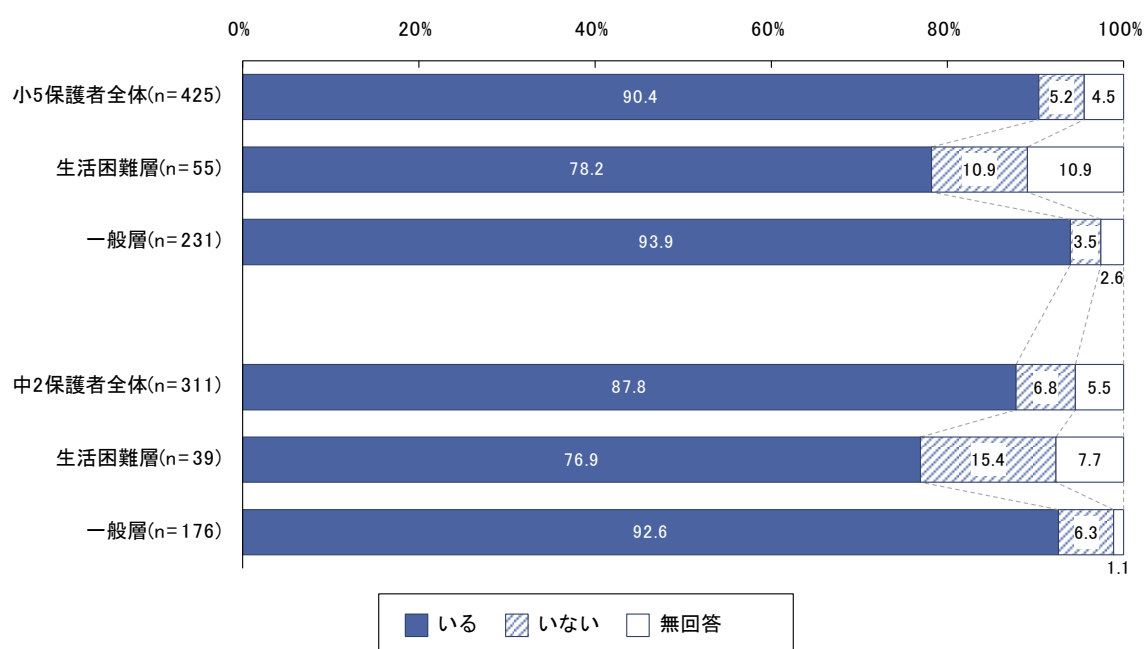


7 相談相手の有無

困ったときに相談できる相手が「いない」と回答した割合は、小学5年生の全体で5.2%、生活困難層で10.9%、一般層で3.5%、中学2年生では、全体で6.8%、生活困難層で15.4%、一般層で6.3%となっています。

一般層と比べ生活困難層で高く、小学5年生で約3倍、中学2年生で約2.5倍となっています。

問45 あなたは、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人（家族、友人、親戚、同僚など）がいますか



第9章 制度・サービスの利用

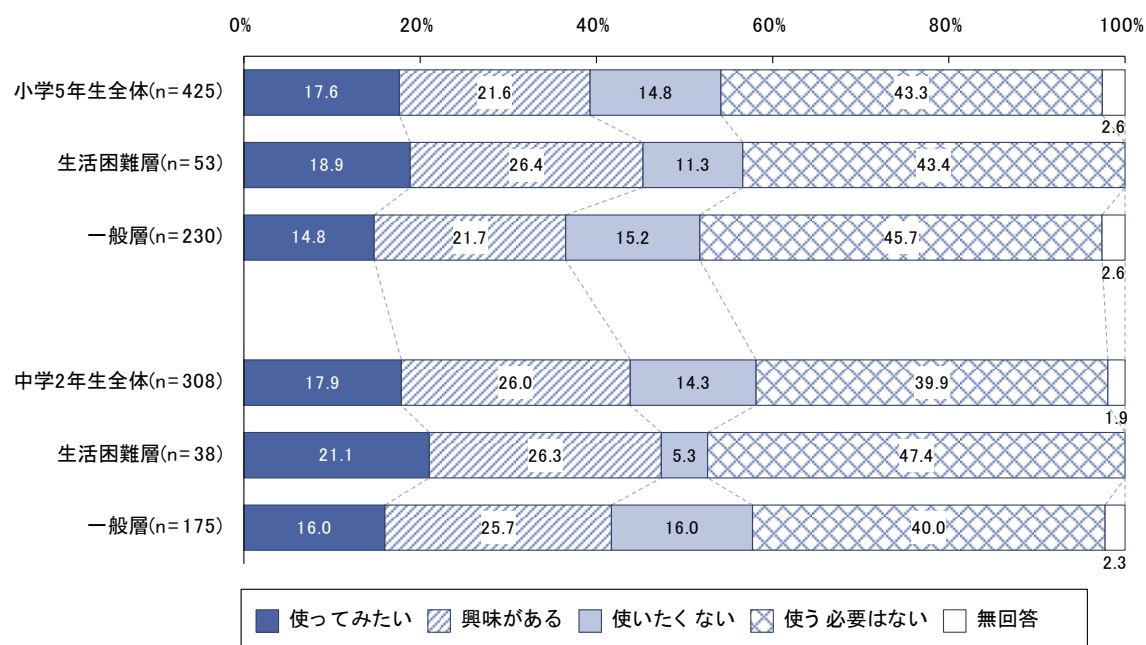
1 子ども本人の支援サービス利用意向

A（家以外で）平日の放課後に夜までいることができる場所

（家以外で）平日の放課後に夜までいることができる場所を「使ってみたい」と回答した割合は、小学5年生の全体で17.6%、生活困難層で18.9%、一般層で14.8%、中学2年生では、全体で17.9%、生活困難層で21.1%、一般層で16.0%となっています。

小学5年生、中学2年生とも、「使ってみたい」と「興味がある」を合わせた割合は、一般層と比べ生活困難層で高くなっています。

問35 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか／A（家以外で）平日の放課後に夜までいることができる場所

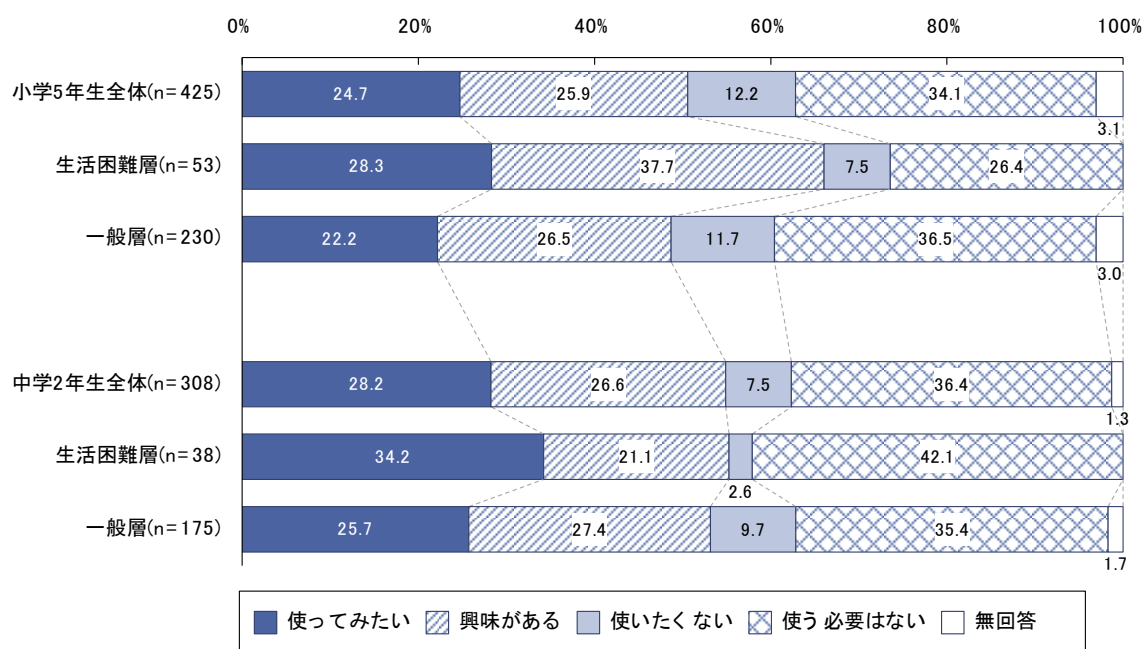


B（家以外で）休日にいることができる場所

（家以外で）休日にいることができる場所を「使ってみたい」と回答した割合は、小学 5 年生の全体で 24.7%、生活困難層で 28.3%、一般層で 22.2%、中学 2 年生では、全体で 28.2%、生活困難層で 34.2%、一般層で 25.7%となっています。

「使ってみたい」と「興味がある」を合わせた割合は、一般層と比べ小学 5 年生の生活困難層で高く、中学 2 年生では生活困難度による差はみられませんでした。

問35 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか／B(家以外で)休日にいることができる場所

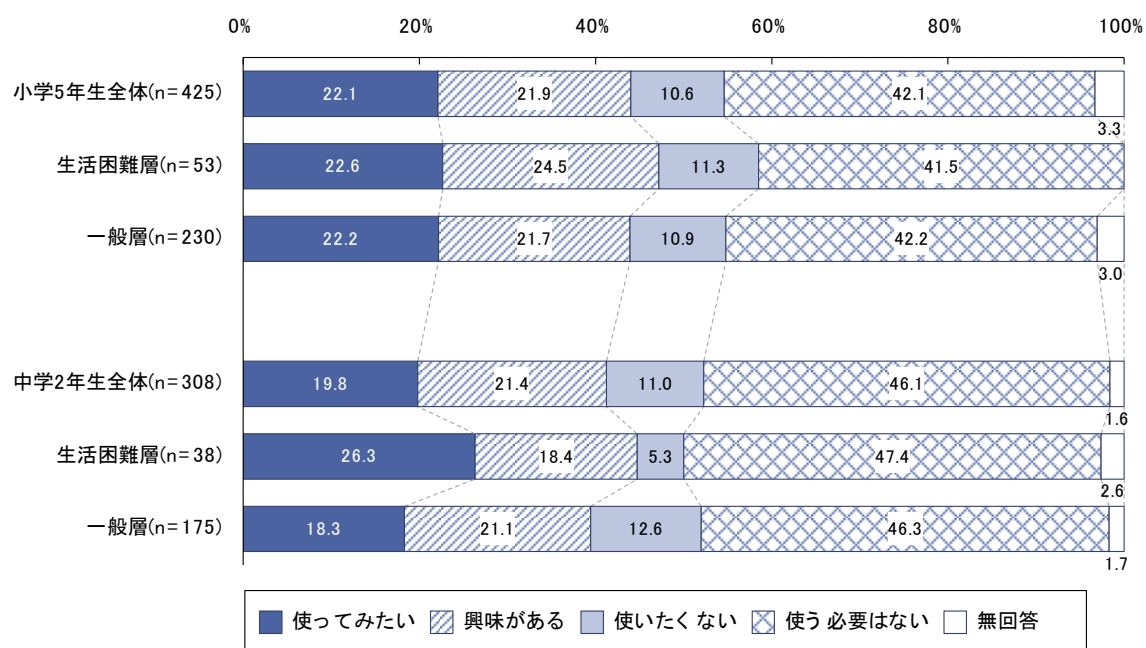


C家の人がないとき、夕ごはんをみんなで食べることができる場所

家の人がないとき、夕ごはんをみんなで食べることができる場所を「使ってみたい」と回答した割合は、小学5年生の全体で22.1%、生活困難層で22.6%、一般層で22.2%、中学2年生では、全体で19.8%、生活困難層で26.3%、一般層で18.3%となっています。

一般層と比べ中学2年生の生活困難層で「使ってみたい」の割合はやや高くなっていますが、「使ってみたい」「興味がある」を合わせた割合は、小学5年生では、生活困難度による大きな差はみられませんが、中学2年生では、生活困難層でやや高くなっています。

問35 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか／C家の人がないとき、夕ごはんをみんなで食べることができる場所

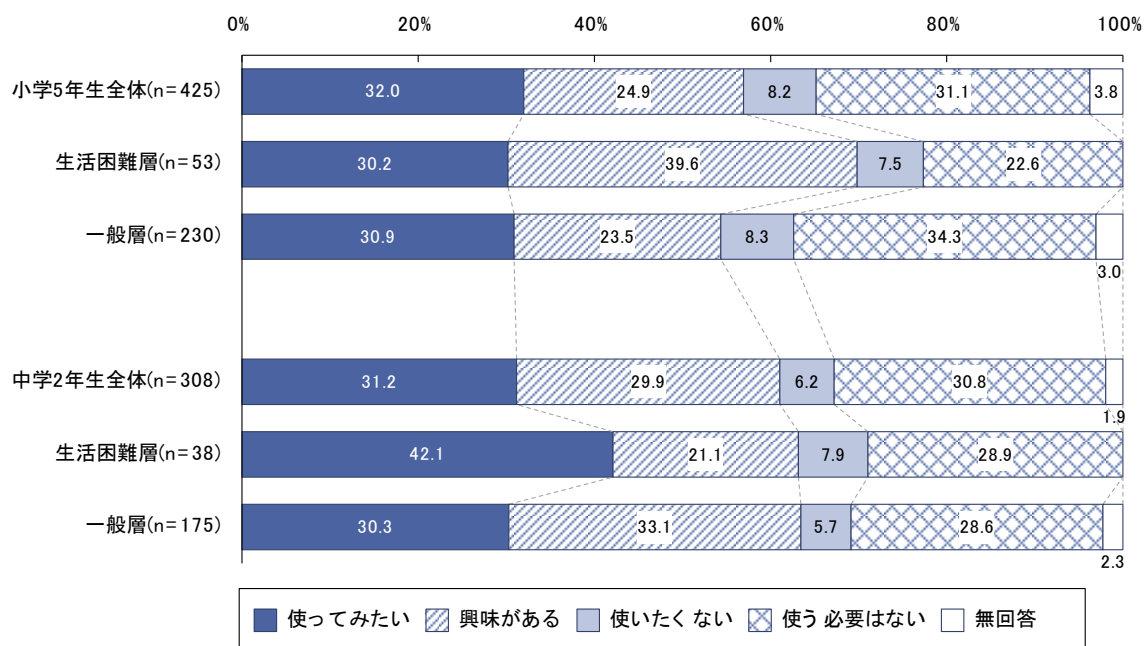


D家で勉強できないとき、静かに勉強できる場所

家で勉強できないとき、静かに勉強できる場所を「使ってみたい」と回答した割合は、小学5年生の全体で32.0%、生活困難層で30.2%、一般層で30.9%、中学2年生では、全体で31.2%、生活困難層で42.1%、一般層で30.3%となっています。

一般層と比べ中学2年生の生活困難層で「使ってみたい」の割合は高くなっていますが、「使ってみたい」と「興味がある」を合わせた割合では、一般層と比べ小学5年生の生活困難層で高く、中学2年生では生活困難度による大きな差はみられませんでした。

問35 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか／D家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所

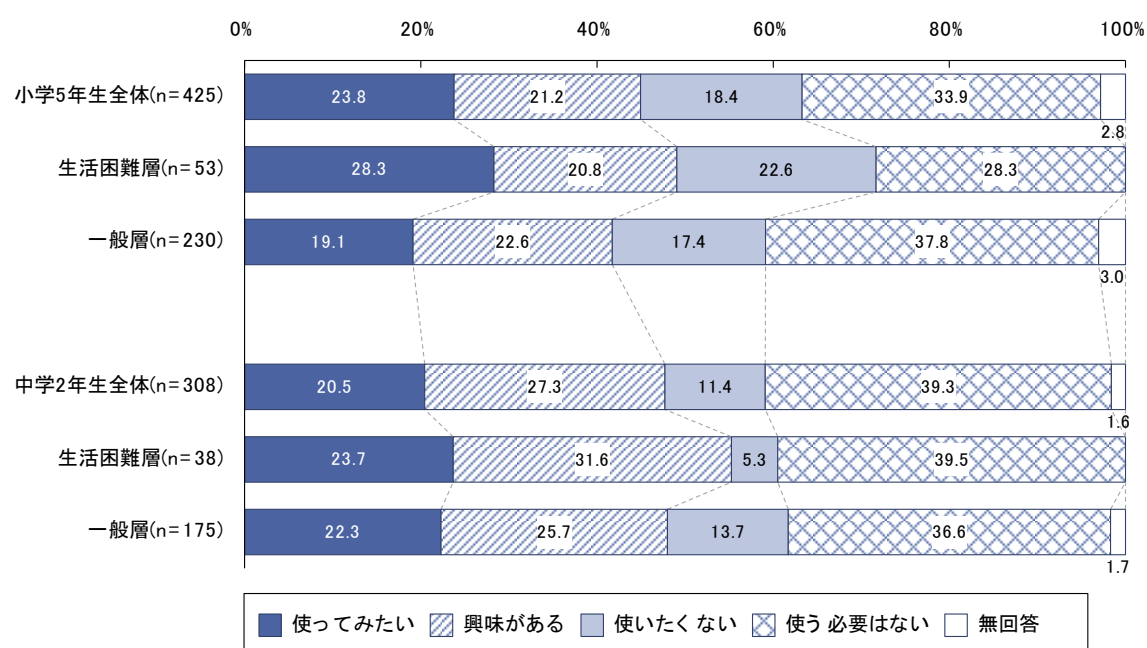


E大学生のボランティアが勉強を無料でみてる場所

大学生のボランティアが勉強を無料でみてる場所を「使ってみたい」と回答した割合は、小学5年生の全体で23.8%、生活困難層で28.3%、一般層で19.1%、中学2年生では、全体で20.5%、生活困難層で23.7%、一般層で22.3%となっています。

一般層と比べ小学5年生の生活困難層で「使ってみたい」の割合はやや高く、「使ってみたい」と「興味がある」を合わせた割合では、一般層と比べ小学5年生、中学2年生とも生活困難層で高くなっています。

問35 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか／E大学生ボランティアが、勉強を無料でみてる場所

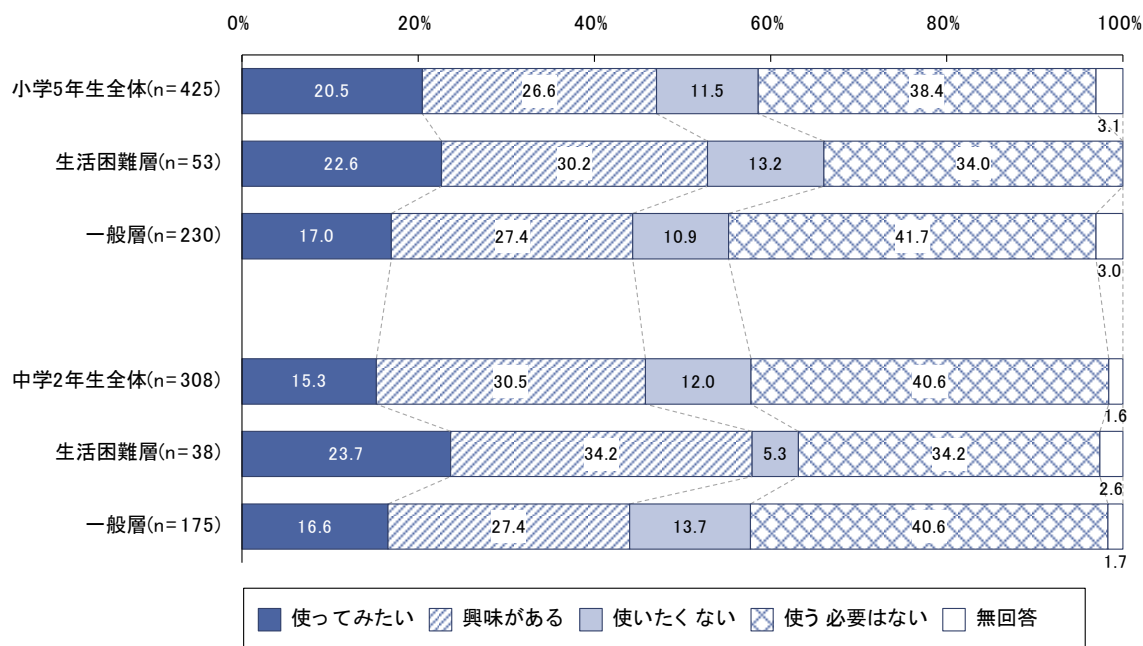


F（学校以外で）勉強、進学、家族のことなど、何でも相談できる場所

（学校以外で）勉強、進学、家族のことなど、何でも相談できる場所を「使ってみたい」と回答した割合は、小学5年生の全体で20.5%、生活困難層で22.6%、一般層で17.0%、中学2年生では、全体で15.3%、生活困難層で23.7%、一般層で16.6%となっています。

一般層と比べ中学2年生の生活困難層で「使ってみたい」の割合はやや高く、また、「使ってみたい」と「興味がある」を合わせた割合では、一般層と比べ小学5年生、中学2年生とも生活困難層で高くなっています。

問35 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか／F（学校以外で）勉強、進学、家族のことなど、何でも相談できる場所



2 制度・サービスの利用

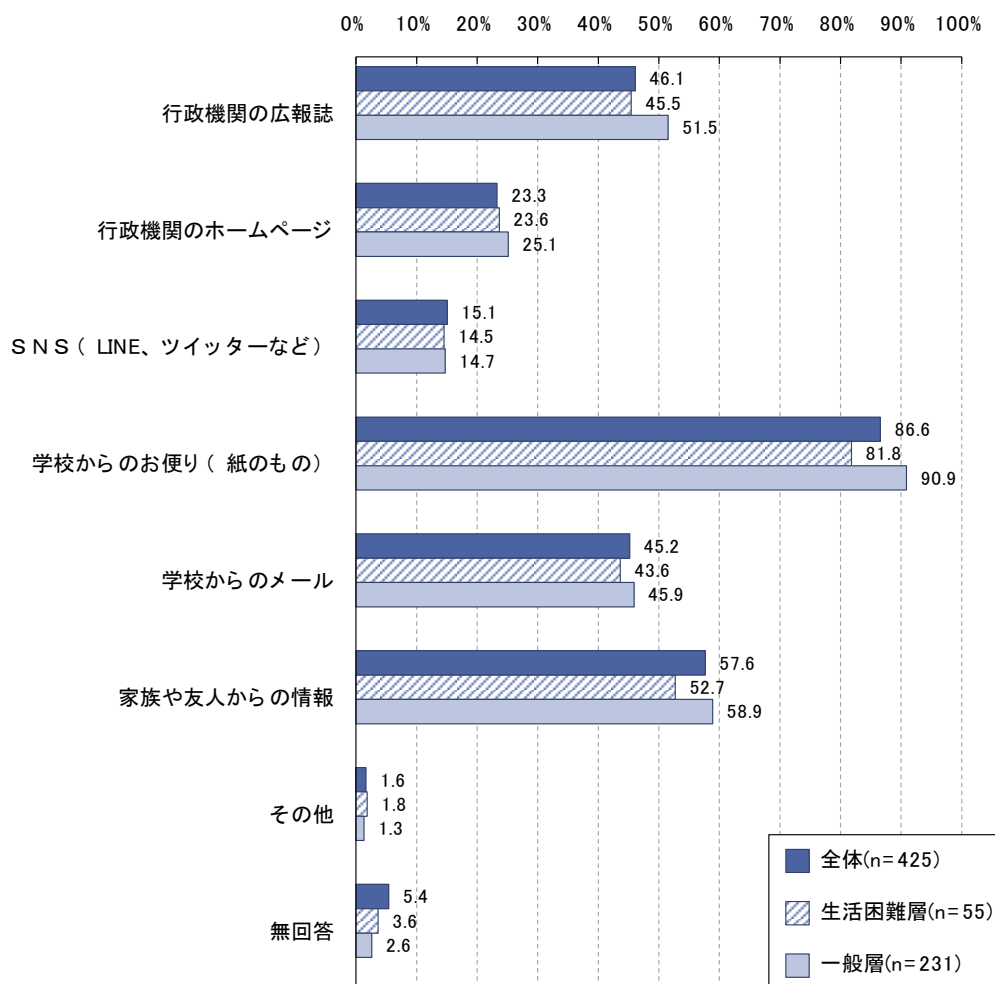
(1) 子ども関連情報の入手方法の現状と意向

A 現在の受け取り方法

現在の受け取り方法について、小学5年生の全体では、「学校からのお便り（紙のもの）」が86.6%、「家族や友人からの情報」が57.6%、「行政機関の広報誌」が46.1%となっています。生活困難度別でも同様の傾向となっています。

問42 あなたは、子どもに関する施策等の情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後、受け取りたいですか／A 現在の受け取り方法（複数回答）

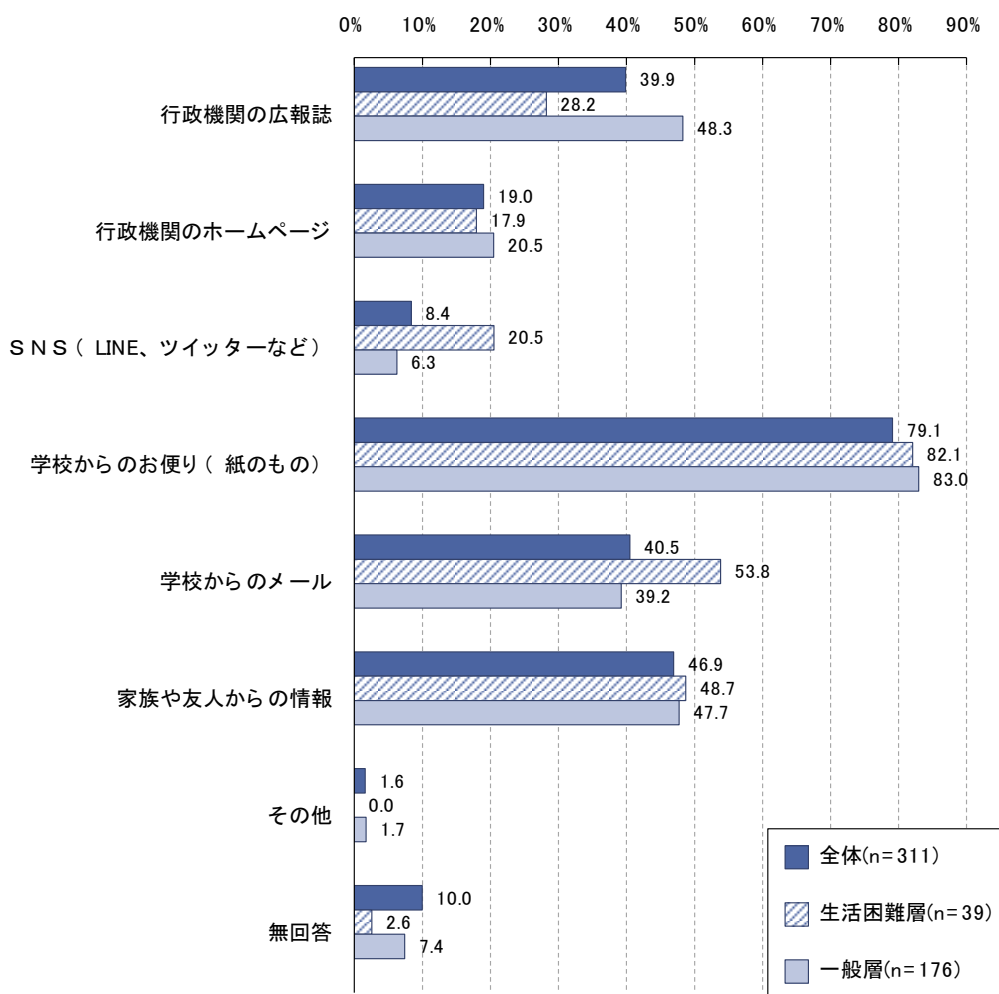
小5 保護者



現在の受け取り方法について、中学2年生の全体では、「学校からのお便り（紙のもの）」が79.1%、「家族や友人からの情報」が46.9%、「学校からのメール」が40.5%となっています。生活困難度別でも同様の傾向となっていますが、生活困難層では「SNS（LINE、ツイッターなど）」、「学校からのメール」の割合が高くなっています。

問42 あなたは、子どもに関する施策等の情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後、受け取りたいですか／A 現在の受け取り方法（複数回答）

中2 保護者

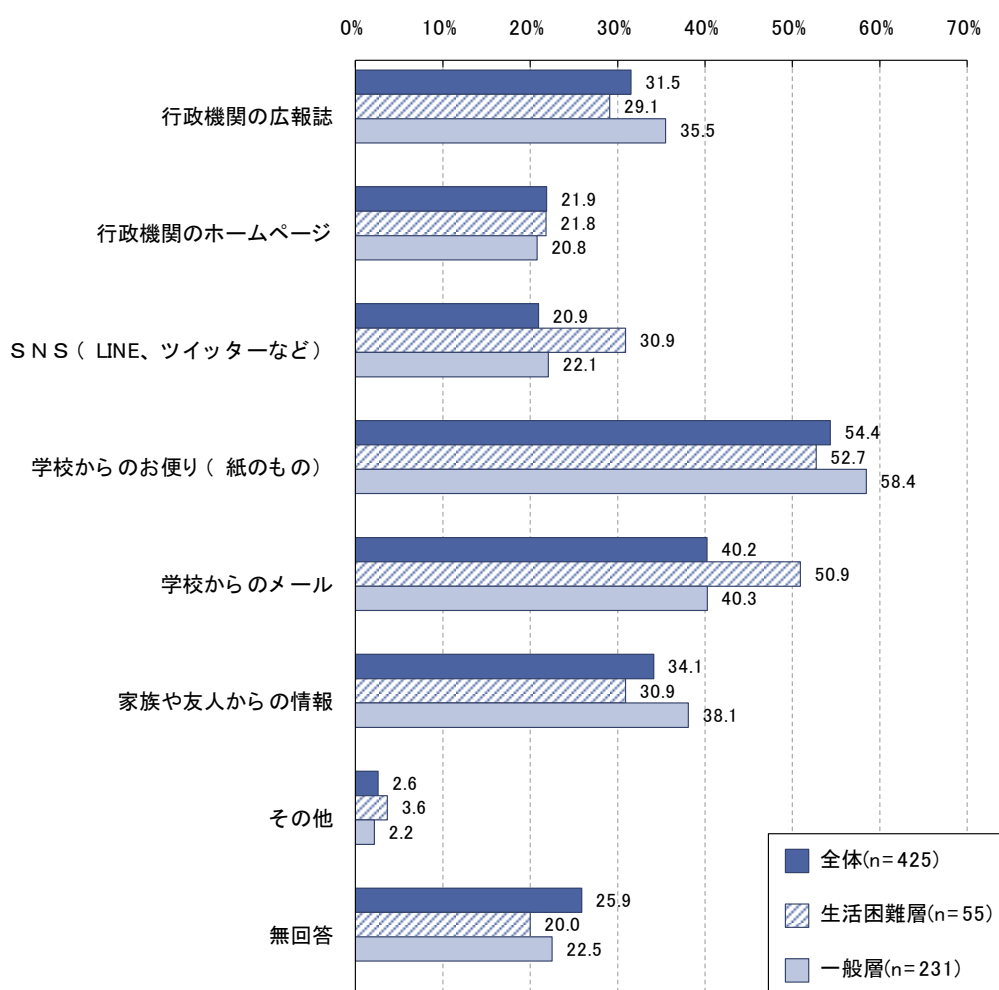


B 今後、受け取りたい方法

今後の受け取り方法について、小学5年生の全体では、「学校からのお便り（紙のもの）」が54.4%、「学校からのメール」が40.2%、「家族や友人からの情報」が34.1%となっています。生活困難層では「SNS（LINE、ツイッターなど）」、「学校からのメール」の割合が高くなっています。

問42 あなたは、子どもに関する施策等の情報をどういう方法で受け取っていますか。また、今後、受け取りたいですか／B 今後、受け取りたい方法（複数回答）

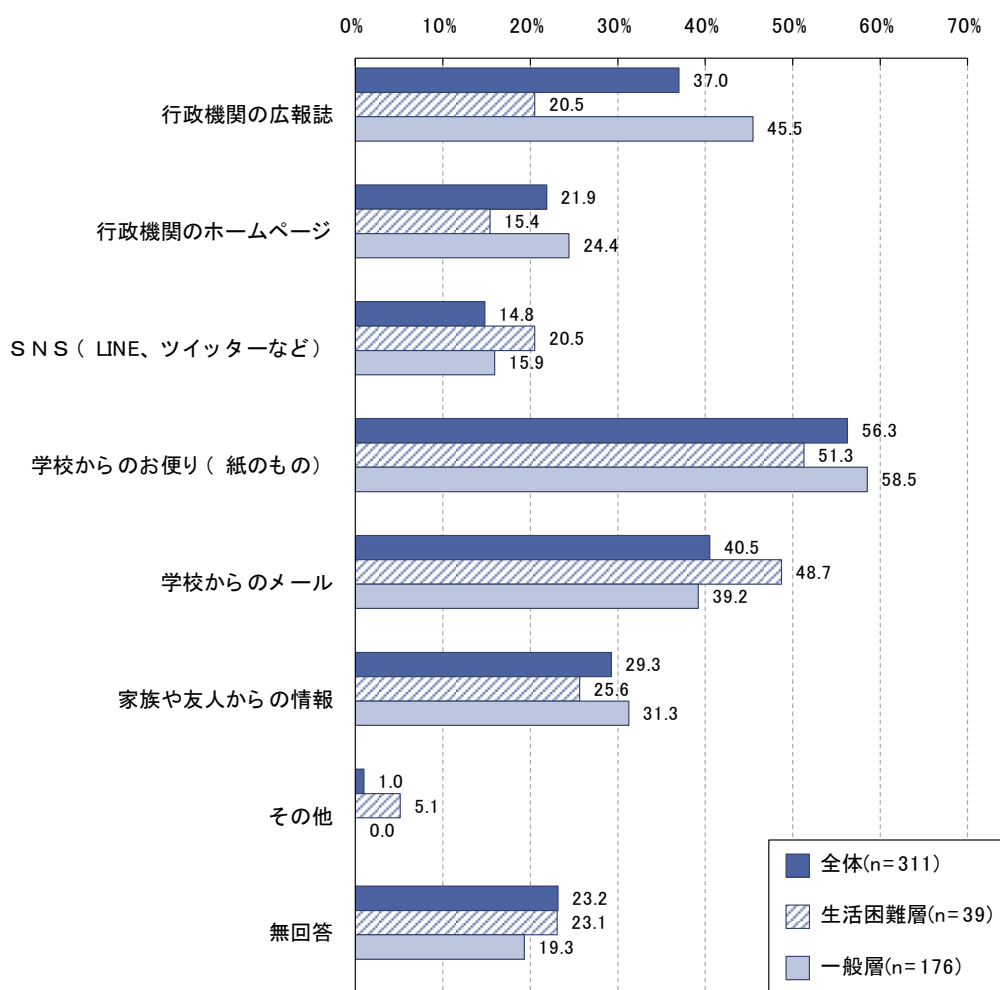
小5 保護者



今後の受け取り方法について、中学2年生の全体では、「学校からのお便り（紙のもの）」が56.3%、「学校からのメール」が40.5%、「行政機関の広報誌」が37.0%となっています。
生活困難層では「SNS（LINE、ツイッターなど）」、「学校からのメール」の割合が高くなっています。

問42 あなたは、子どもに関する施策等の情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後、受け取りたいですか／B 今後、受け取りたい方法（複数回答）

中2 保護者



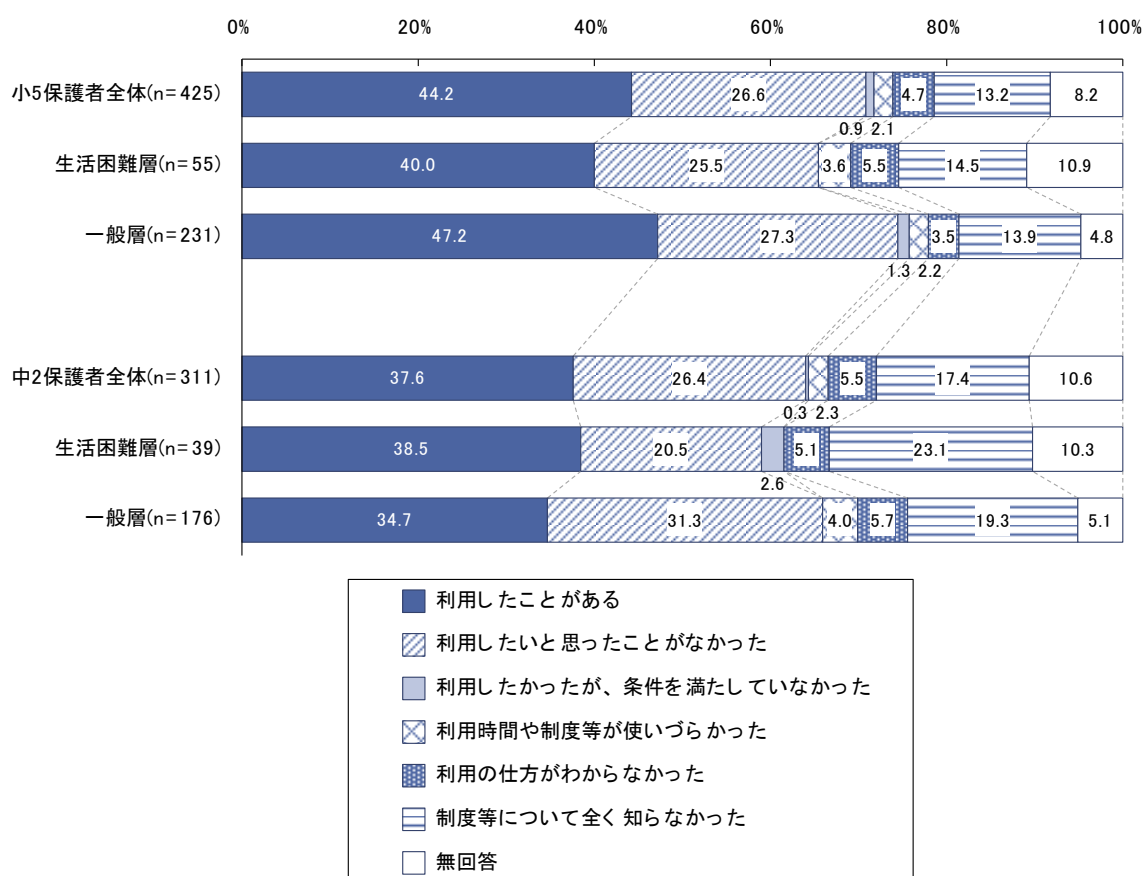
（２）子育て支援制度の利用経験

A子育てひろば

子育てひろばの利用経験について、「利用したことがある」と回答した割合は、小学５年生の全体で 44.2%、生活困難層で 40.0%、一般層で 47.2%、中学２年生では、全体で 37.6%、生活困難層で 38.5%、一般層で 34.7%となっています。一方、「制度等について全く知らなかった」と回答した割合は、小学５年生の全体で 13.2%、生活困難層で 14.5%、一般層で 13.9%、中学２年生では、全体で 17.4%、生活困難層で 23.1%、一般層で 19.3%となっています。

一般層と比べ「利用したことがある」割合は、小学５年生の生活困難層でやや低くなっていますが、中学２年生では、生活困難度による大きな差はみられません。

問43 お子さんについて、以下のA～Gの支援制度等をこれまでに利用したことがありますか／A子育てひろば

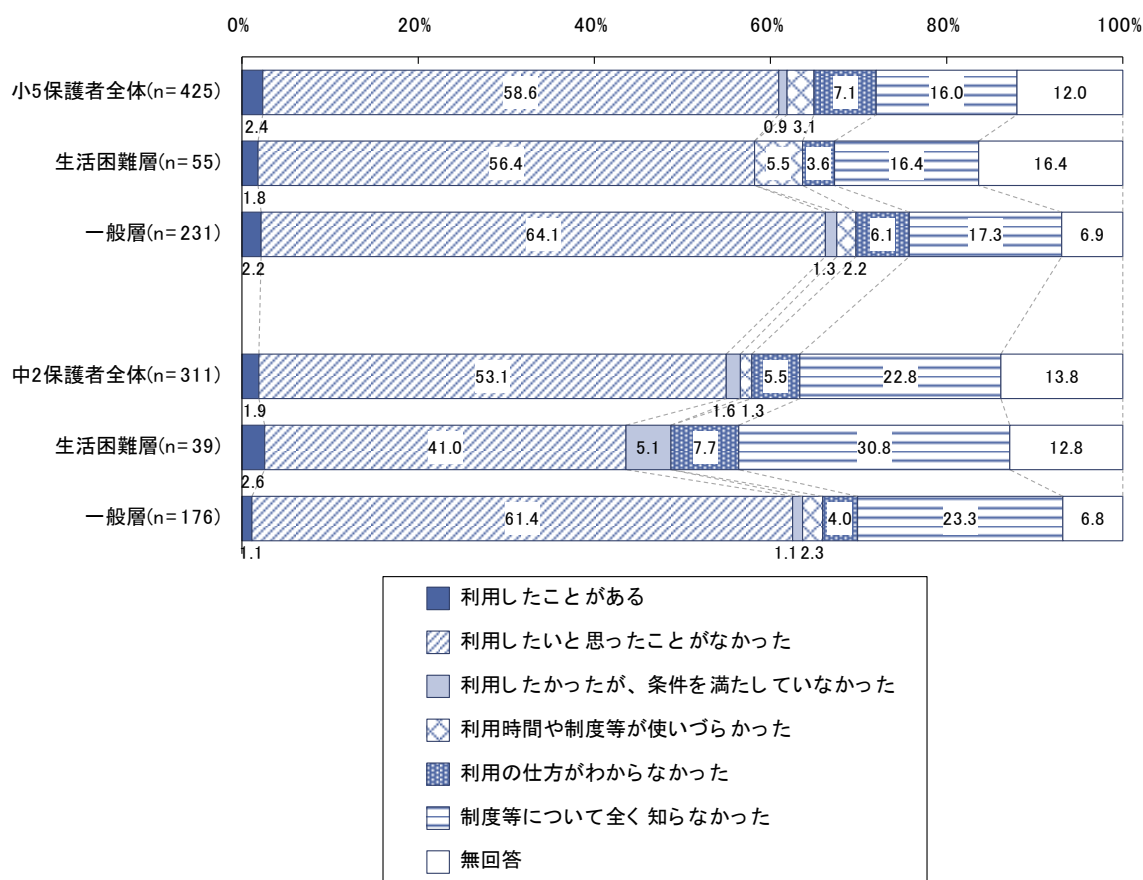


B子育て短期支援事業（ショートステイ）

子育て短期支援事業（ショートステイ）の利用経験について、「制度等について全く知らなかった」と回答した割合は、小学5年生の全体で16.0%、生活困難層で16.4%、一般層で17.3%、中学2年生では、全体で22.8%、生活困難層で30.8%、一般層で23.3%となっています。

小学5年生、中学2年生とも一般層と比べ生活困難層では、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低く、また、中学2年生の生活困難層では、「制度等について全く知らなかった」の割合が高くなっています。

問43 お子さんについて、以下のA～Gの支援制度等をこれまでに利用したことがありますか／B子育て短期支援事業（ショートステイ）

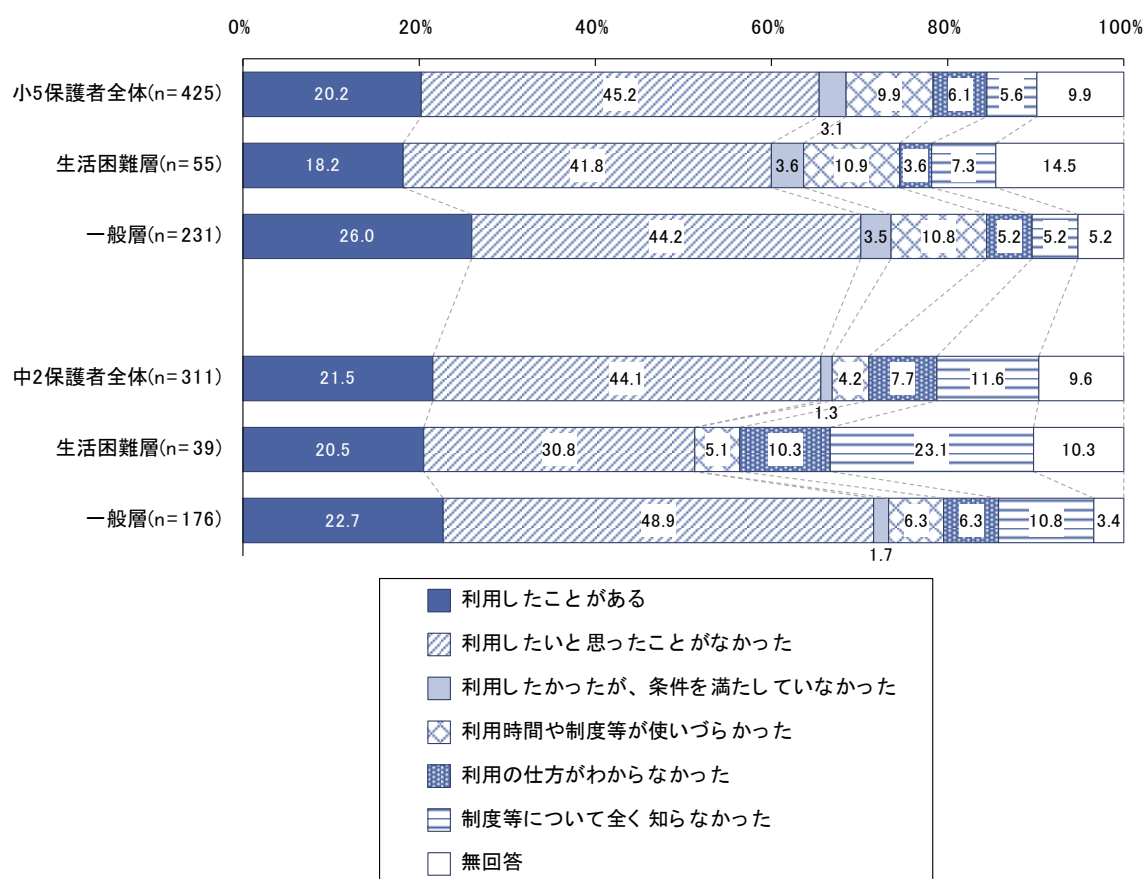


Cファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターの利用経験について、「利用したことがある」と回答した割合は、小学5年生の全体で20.2%、生活困難層で18.2%、一般層で26.0%、中学2年生では、全体で21.5%、生活困難層で20.5%、一般層で22.7%となっています。一方、「制度等について全く知らなかった」と回答した割合は、小学5年生の全体で5.6%、生活困難層で7.3%、一般層で5.2%、中学2年生では、全体で11.6%、生活困難層で23.1%、一般層で10.8%となっています。

一般層と比べ小学5年生の生活困難層で「利用したことがある」の割合が低く、中学2年生の生活困難層では「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低く、「制度等について全く知らなかった」の割合が高くなっています。

問43 お子さんについて、以下のA～Gの支援制度等をこれまでに利用したことがありますか／Cファミリー・サポート・センター

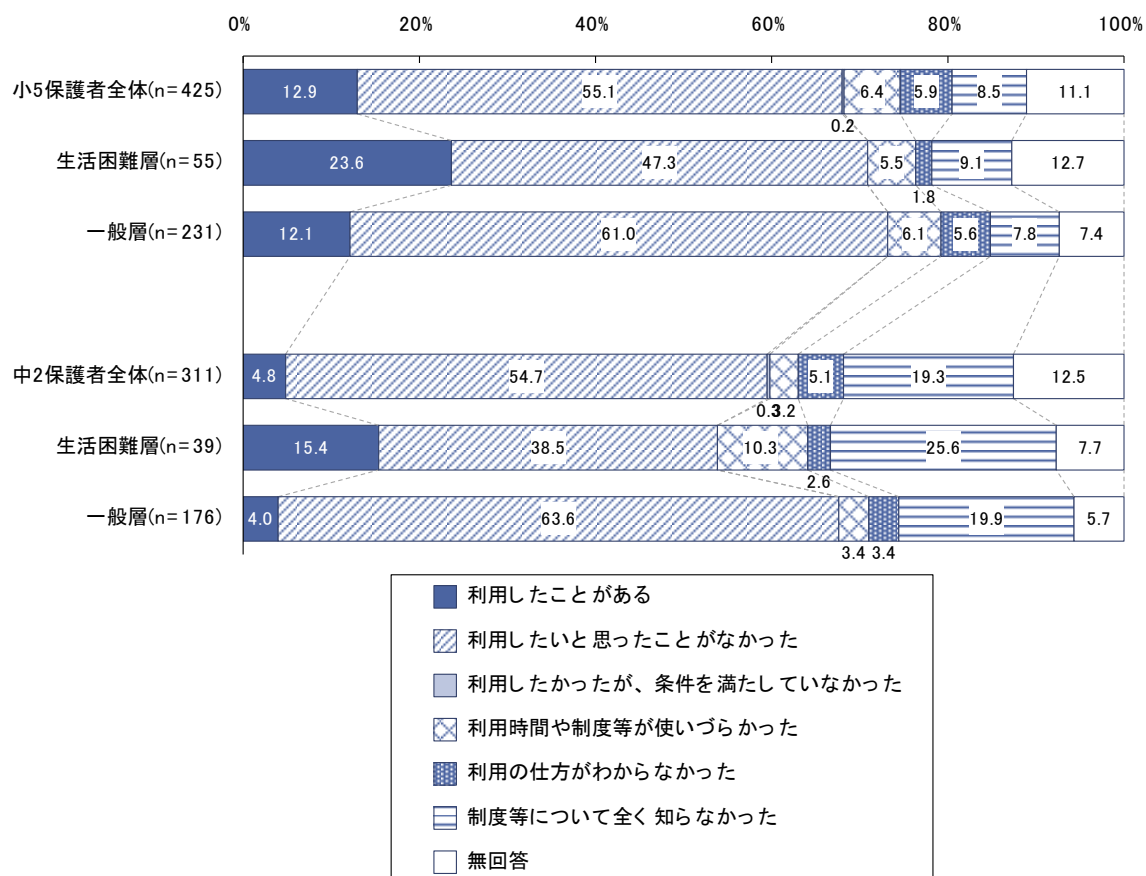


D子ども食堂

子ども食堂の利用経験について、「利用したことがある」と回答した割合は、小学5年生の全体で12.9%、生活困難層で23.6%、一般層で12.1%、中学2年生では、全体で4.8%、生活困難層で15.4%、一般層で4.0%となっています。一方、「制度等について全く知らなかった」と回答した割合は、小学5年生の全体で8.5%、生活困難層で9.1%、一般層で7.8%、中学2年生では、全体で19.3%、生活困難層で25.6%、一般層で19.9%となっています。

一般層と比べ小学5年生、中学2年生とも生活困難層で「利用したことがある」の割合が高く、また、中学2年生の生活困難層では一般層に比べ「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低く、「制度等について全く知らなかった」の割合が高くなっています。

問43 お子さんについて、以下のA～Gの支援制度等をこれまでに利用したことがありますか／D子ども食堂

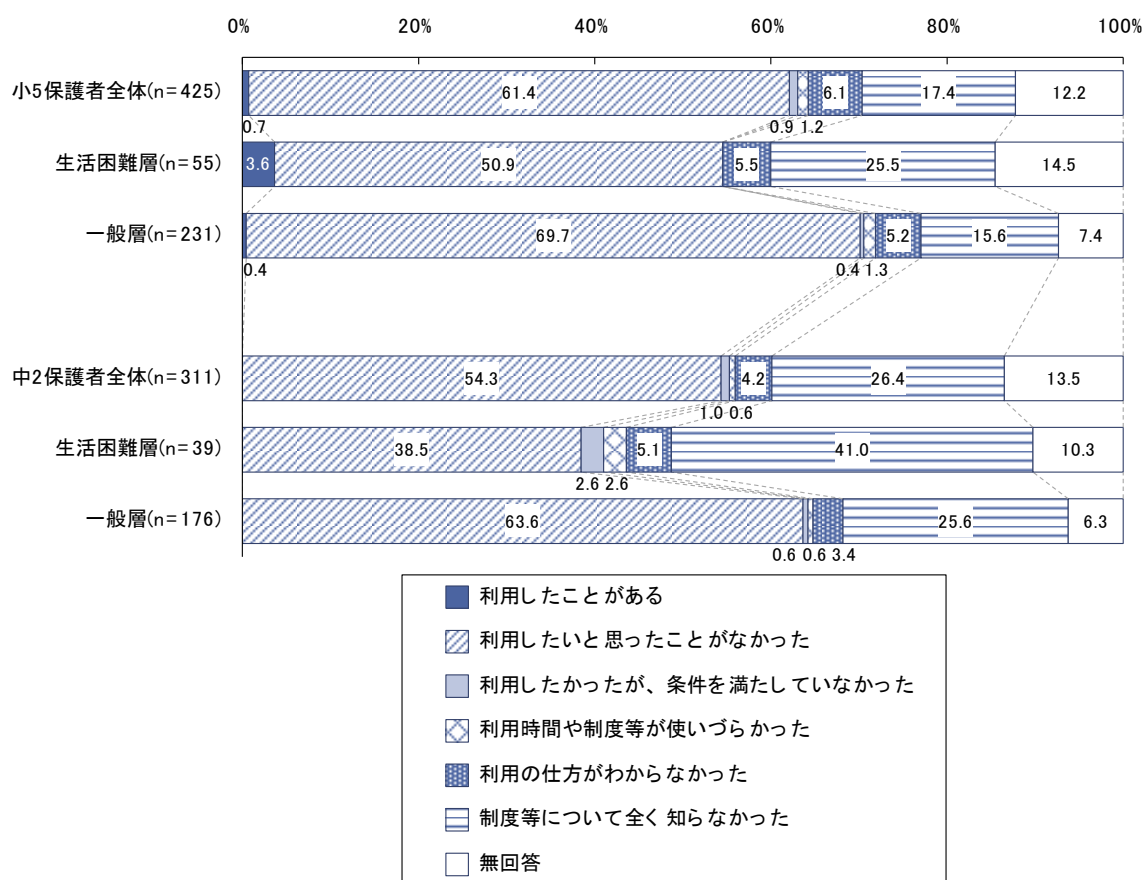


E フードバンクによる食料支援

フードバンクによる食料支援の利用経験について、「制度等について全く知らなかった」と回答した割合は、小学5年生の全体で17.4%、生活困難層で25.5%、一般層で15.6%、中学2年生では、全体で26.4%、生活困難層で41.0%、一般層で25.6%となっています。

一般層と比べ小学5年生、中学2年生とも生活困難層で「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低く、「制度等について全く知らなかった」の割合が高くなっています。

問43 お子さんについて、以下のA～Gの支援制度等をこれまでに利用したことがありますか／Eフードバンクによる食料支援

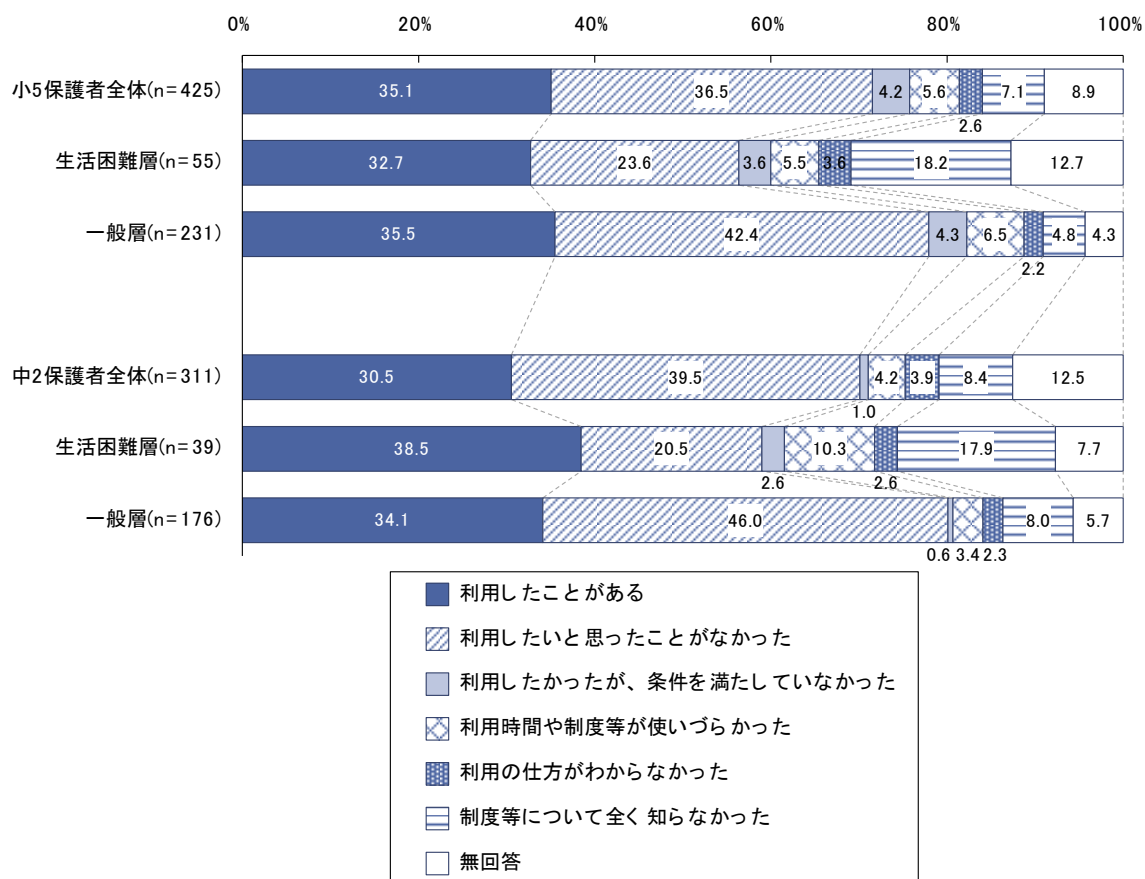


F 小学校高学年も利用できる児童館や学童クラブ、中学生以上の子どもが自由に時間を過ごせる場所（児童館、児童センターなど）

小学校高学年も利用できる児童館や学童クラブ、中学生以上の子どもが自由に時間を過ごせる場所の利用経験について、「利用したことがある」と回答した割合は、小学5年生の全体で35.1%、生活困難層で32.7%、一般層で35.5%、中学2年生では、全体で30.5%、生活困難層で38.5%、一般層で34.1%となっています。一方、「制度等について全く知らなかった」と回答した割合は、小学5年生の全体で7.1%、生活困難層で18.2%、一般層で4.8%、中学2年生では、全体で8.4%、生活困難層で17.9%、一般層で8.0%となっています。

一般層と比べ小学5年生、中学2年生とも生活困難層で「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低く、「制度等について全く知らなかった」の割合が高くなっています。

問43 お子さんについて、以下のA～Gの支援制度等をこれまでに利用したことがありますか／F小学高学年も利用できる児童館や学童クラブ、中学生以上の子どもが自由に時間を過ごせる場所（児童館、児童センターなど）

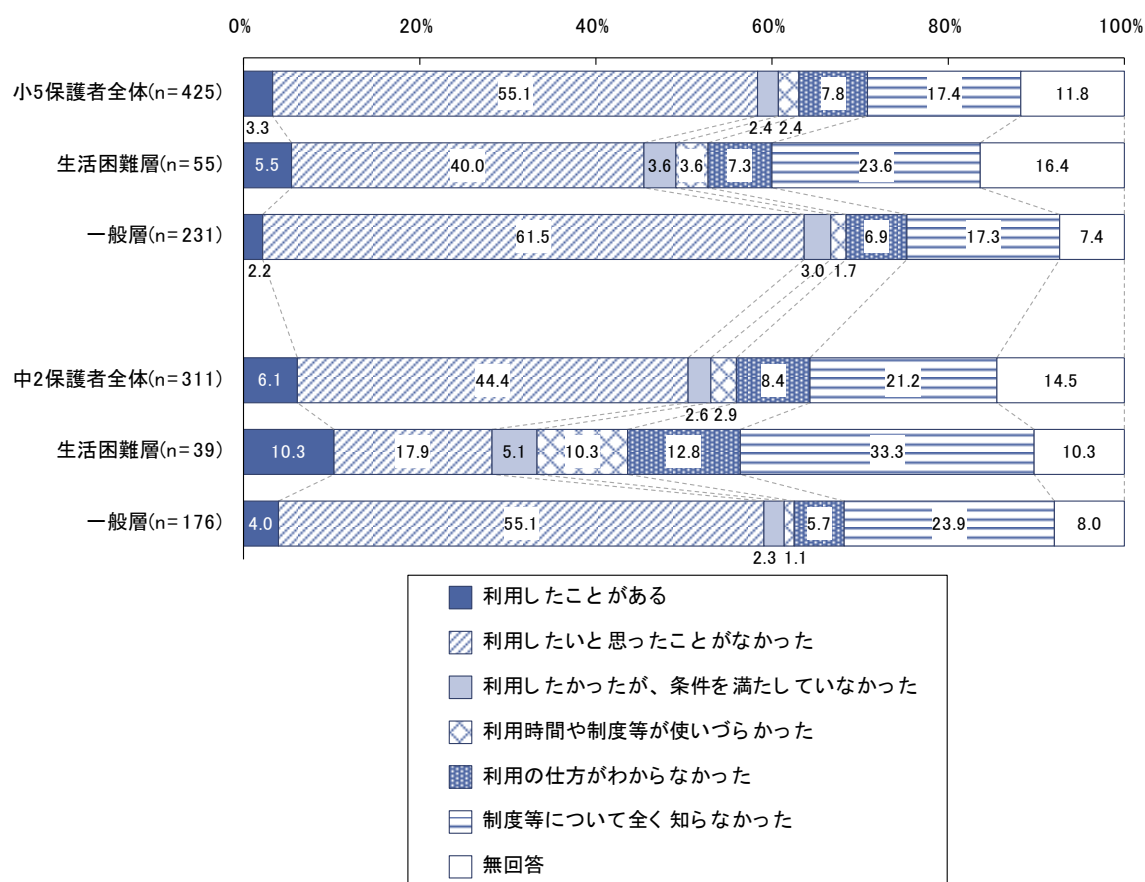


G学校以外が実施する学習支援

学校以外が実施する学習支援の利用経験について、「制度等について全く知らなかった」と回答した割合は、小学5年生の全体で17.4%、生活困難層で23.6%、一般層で17.3%、中学2年生では、全体で21.2%、生活困難層で33.3%、一般層で23.9%となっています。

一般層と比べ小学5年生、中学2年生とも生活困難層で「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低く、「制度等について全く知らなかった」の割合がやや高くなっています。

問43 お子さんについて、以下のA～Gの支援制度等をこれまでに利用したことがありますか／G学校以外が実施する学習支援

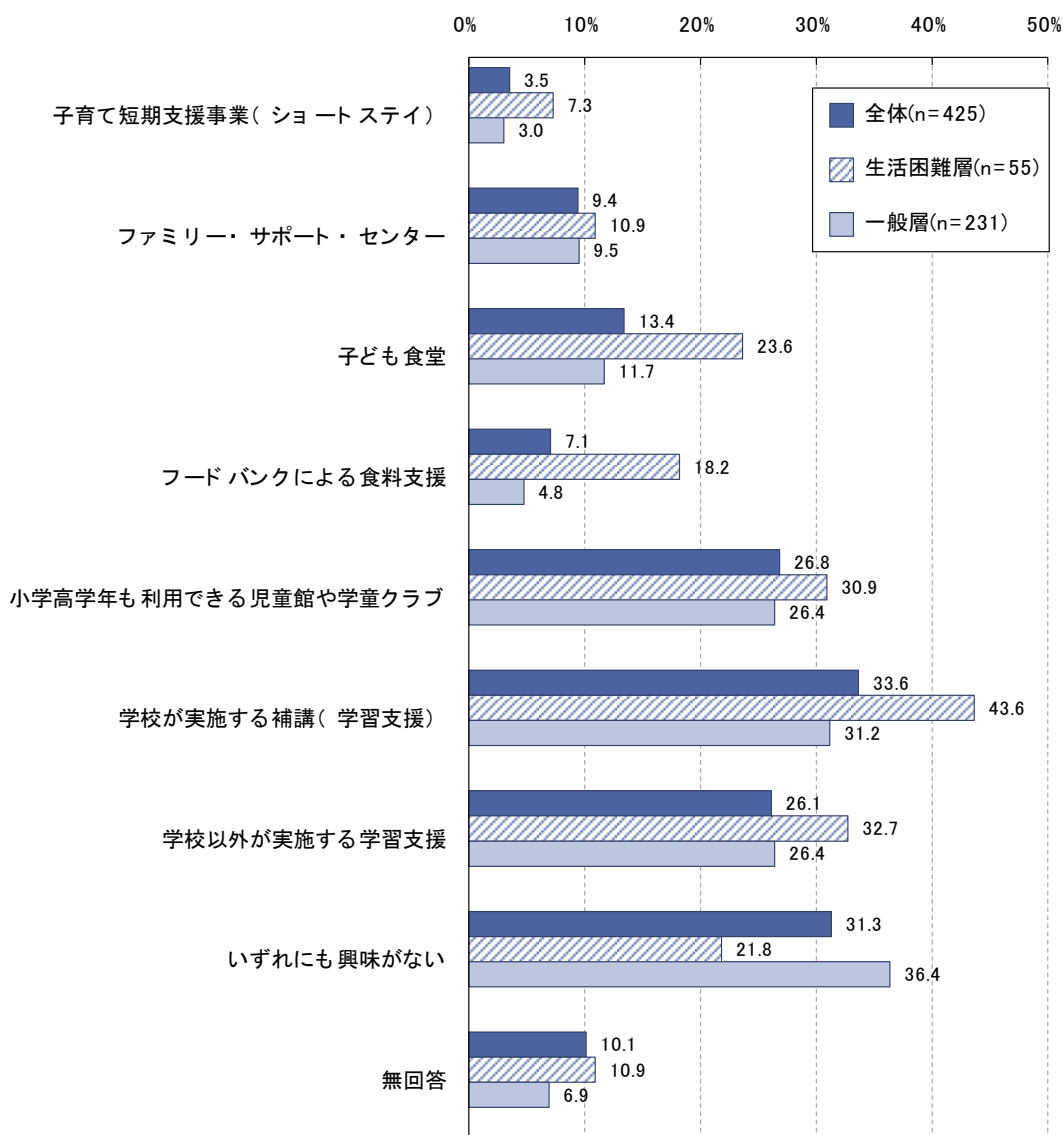


（３）子育て支援制度等の利用意向

興味がある子育て支援制度等について、小学５年生全体では「学校が実施する補講（学習支援）」が 33.6%、「小学校高学年も利用できる児童館や学童クラブ」が 26.8%、「学校以外が実施する学習支援」が 26.1%となっています。生活困難層では一般層と比べいずれも割合が高くなっていますが、特に「学校が実施する補講（学習支援）」が高く、他にも「子ども食堂」、「フードバンクによる食料支援」の割合が高くなっています。

問43ー1 現在、これらの支援制度等を利用することに興味がありますか（複数回答）

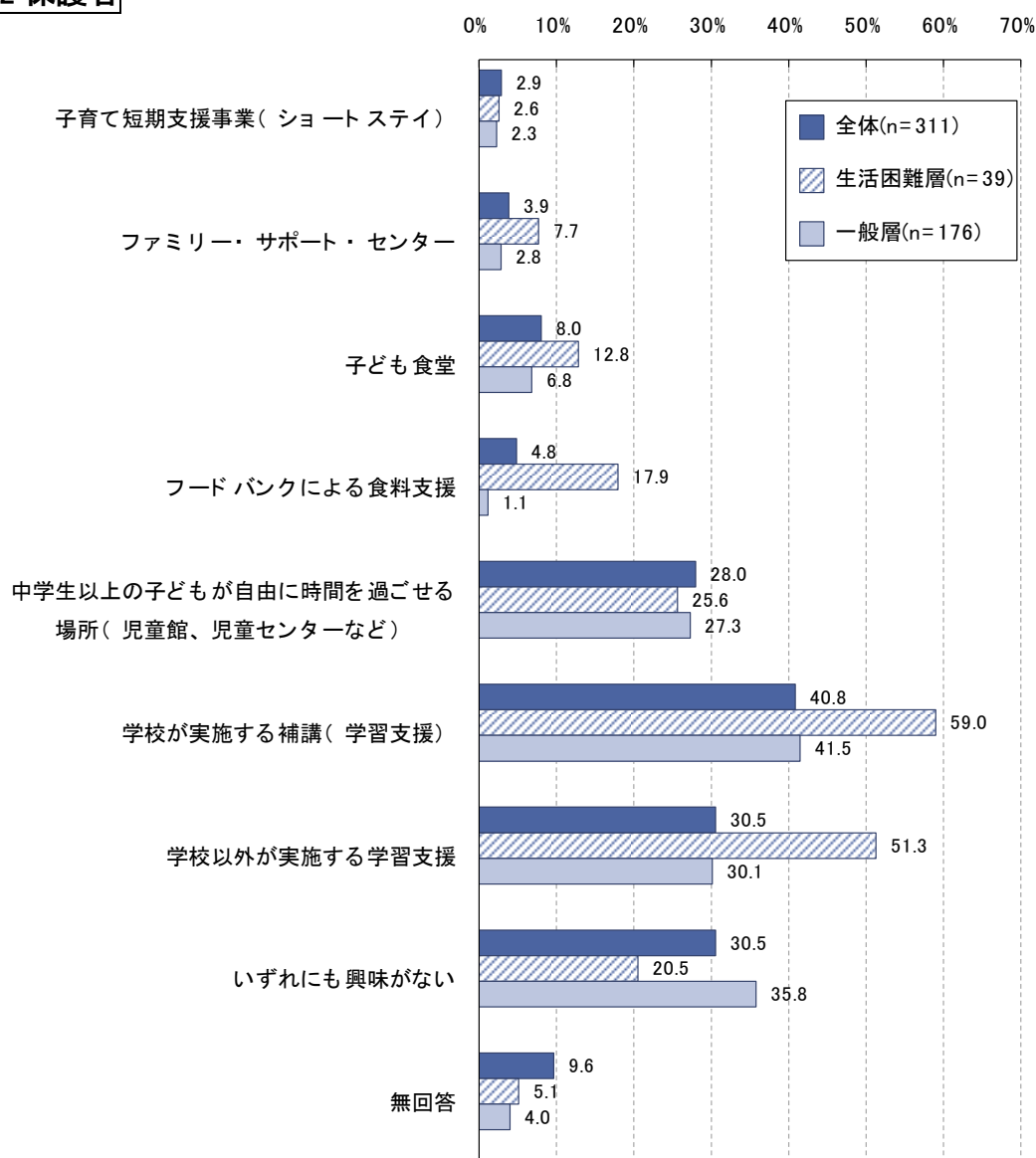
小５保護者



興味がある子育て支援制度等について、中学2年生全体では「学校が実施する補講（学習支援）」が40.8%、「学校以外が実施する学習支援」が30.5%、「中学生以上の子どもが自由に時間を過ごせる場所（児童館、児童センターなど）」が28.0%となっています。生活困難層では一般層と比べ「中学生以上の子どもが自由に時間を過ごせる場所（児童館、児童センターなど）」を除き割合が高くなっていますが、特に「学校が実施する補講（学習支援）」、「学校以外が実施する学習支援」、「フードバンクによる食料支援」の割合が高くなっています。

問43-1 現在、これらの支援制度等を利用することに興味がありますか（複数回答）

中2保護者



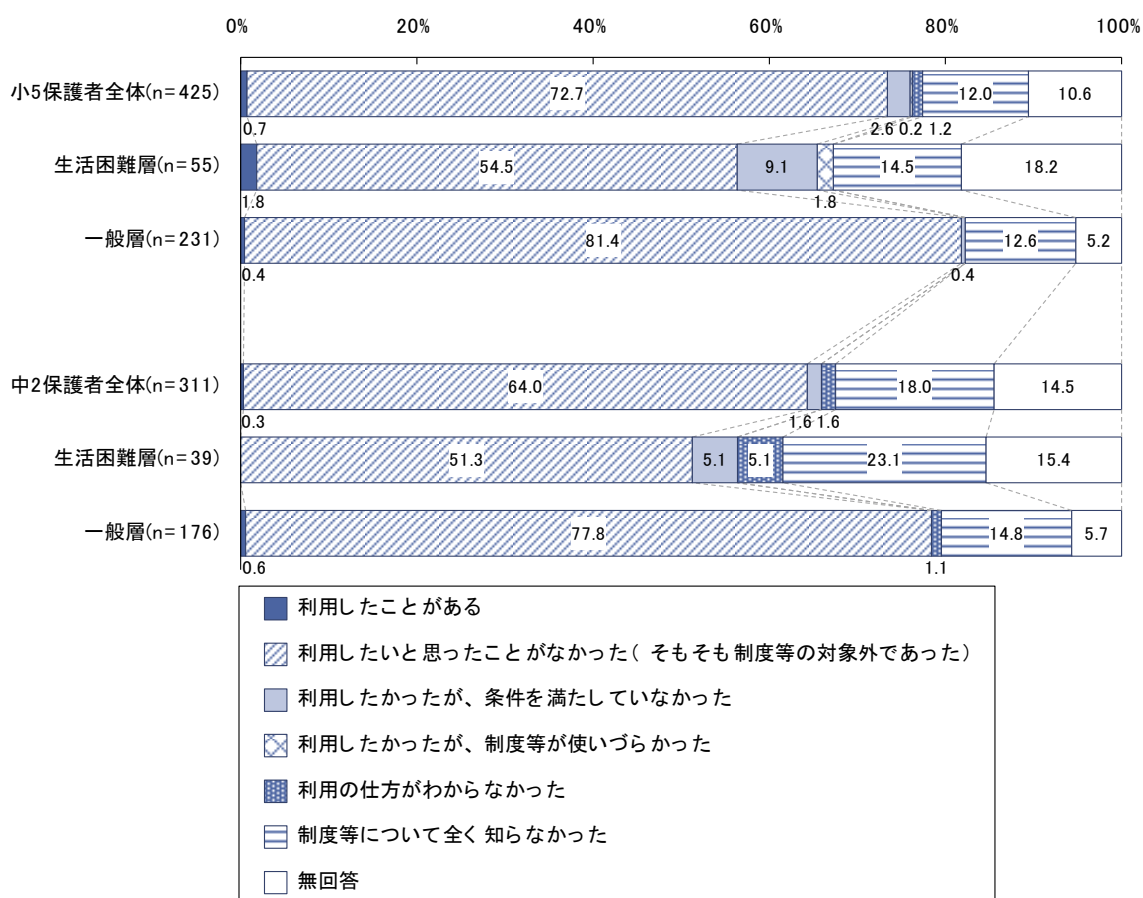
（４）経済的支援制度の利用経験

H生活福祉資金

生活福祉資金の利用経験について、「制度等について全く知らなかった」と回答した割合は、小学５年生の全体で 12.0%、生活困難層で 14.5%、一般層で 12.6%、中学２年生では、全体で 18.0%、生活困難層で 23.1%、一般層で 14.8%となっています。

一般層と比べ小学５年生、中学２年生とも生活困難層で「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低く、また、中学２年生の生活困難層では「制度等について全く知らなかった」の割合が高くなっています。

問44 あなたのご家庭では、以下のH～Lの支援制度等を、これまでに利用したことがありますか／
H生活福祉資金

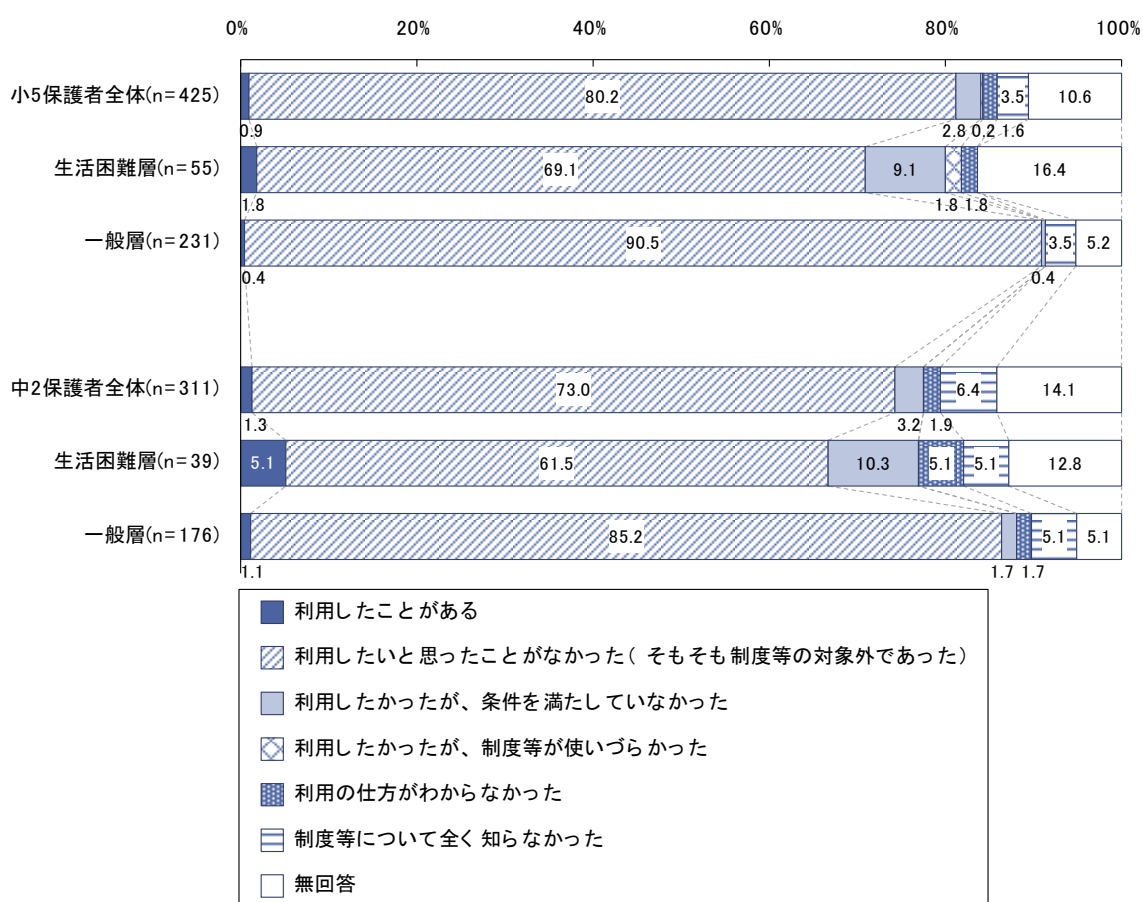


I 生活保護

生活保護の利用経験について、「利用したことがある」と回答した割合は、小学5年生の全体で0.9%、生活困難層で1.8%、一般層で0.4%、中学2年生では、全体で1.3%、生活困難層で5.1%、一般層で1.1%となっています。また、小学5年生の生活困難層の9.1%、中学2年生の生活困難層の10.3%が「利用したかったが、条件を満たしていなかった」と回答しています。

一般層と比べ小学5年生、中学2年生とも生活困難層で「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。

問44 あなたのご家庭では、以下のH～Lの支援制度等を、これまでに利用したことがありますか／I
生活保護

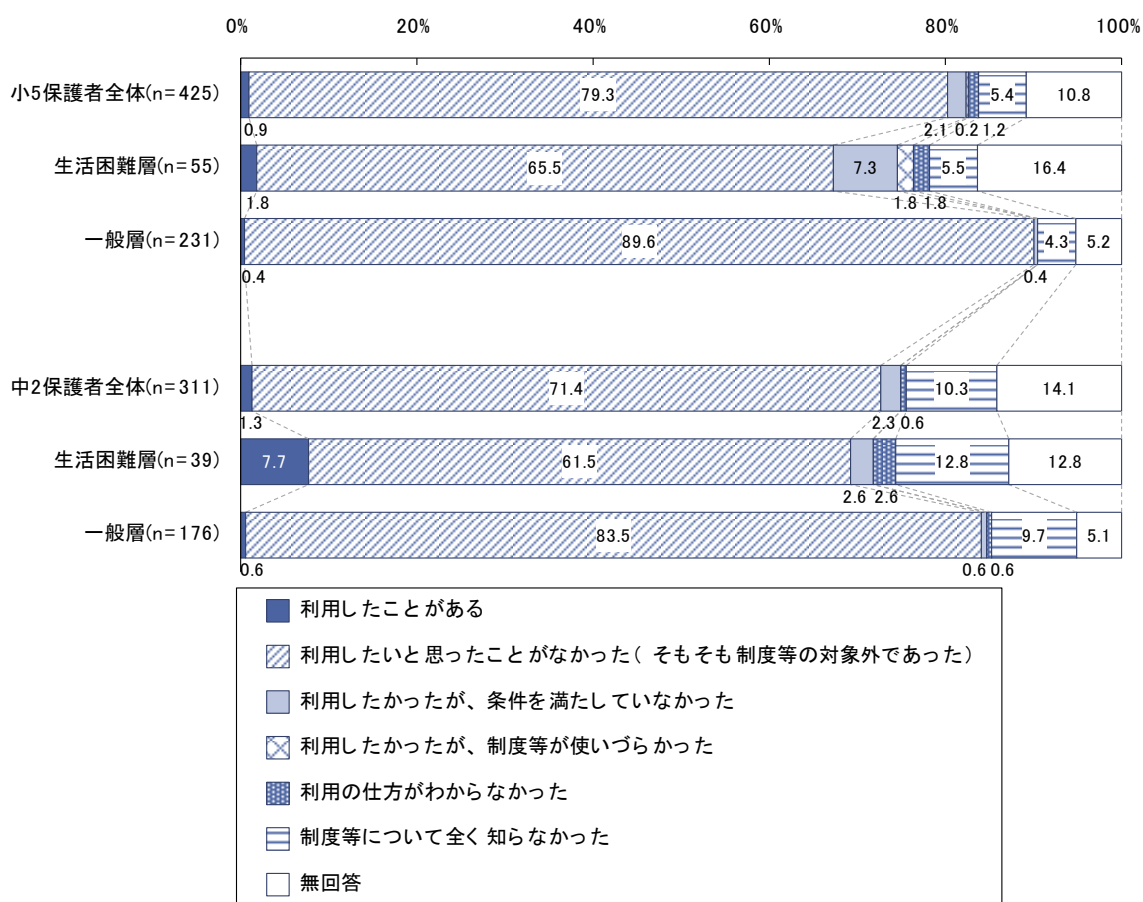


J 母子及び父子福祉資金

母子及び父子福祉資金の利用経験について、中学2年生の生活困難層の7.7%は「利用したことがある」と回答しています。反対に、「制度等について全く知らなかった」と回答した割合は、小学5年生の全体で5.4%、生活困難層で5.5%、一般層で4.3%、中学2年生では、全体で10.3%、生活困難層で12.8%、一般層で9.7%となっています。

一般層と比べ小学5年生、中学2年生とも生活困難層で「利用したことがある」と回答した割合が若干高くなっています。

問44 あなたのご家庭では、以下のH～Lの支援制度等を、これまでに利用したことがありますか／J
母子及び父子福祉資金

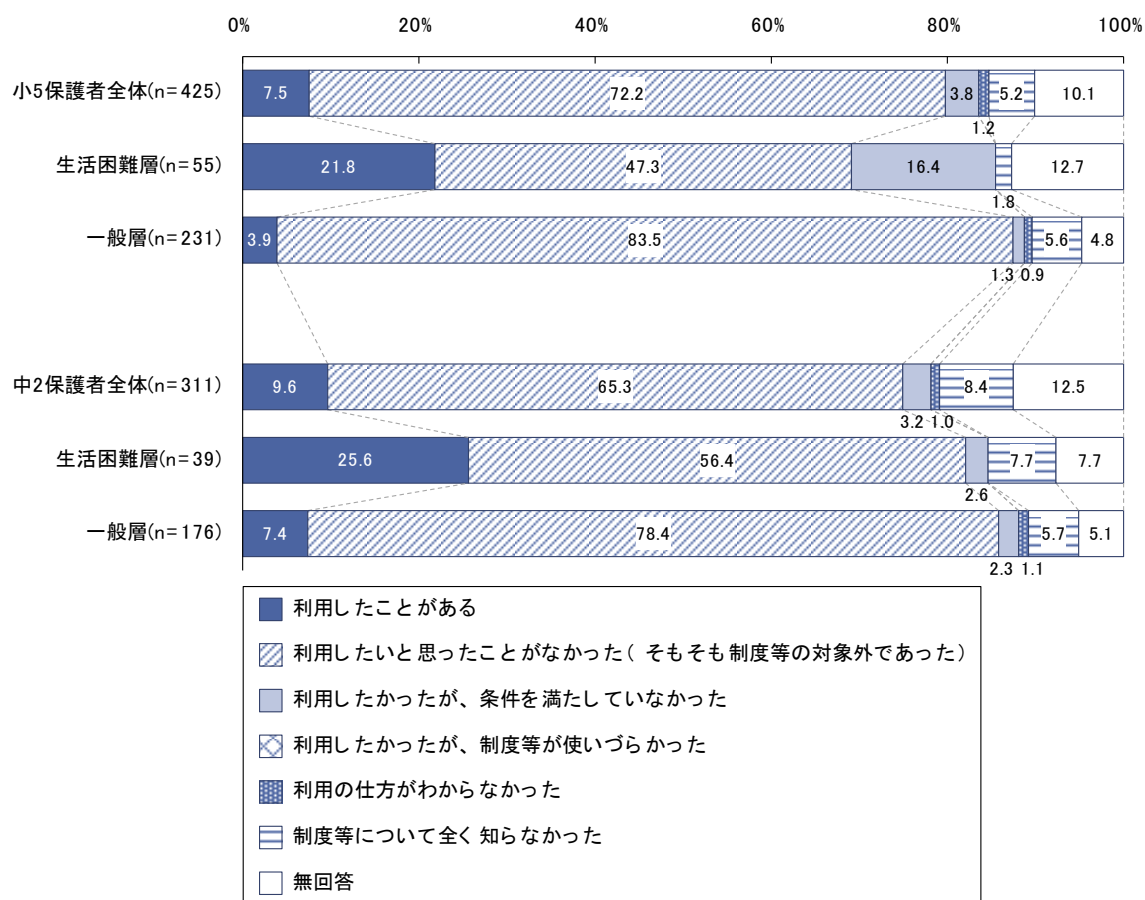


K児童扶養手当

児童扶養手当の利用経験について、「利用したことがある」と回答した割合は、小学5年生の全体で7.5%、生活困難層で21.8%、一般層で3.9%、中学2年生では、全体で9.6%、生活困難層で25.6%、一般層で7.4%となっています。

小学5年生、中学2年生とも、一般層と比べ生活困難層で「利用したことがある」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。

問44 あなたのご家庭では、以下のH～Lの支援制度等を、これまでに利用したことがありますか／
K児童扶養手当

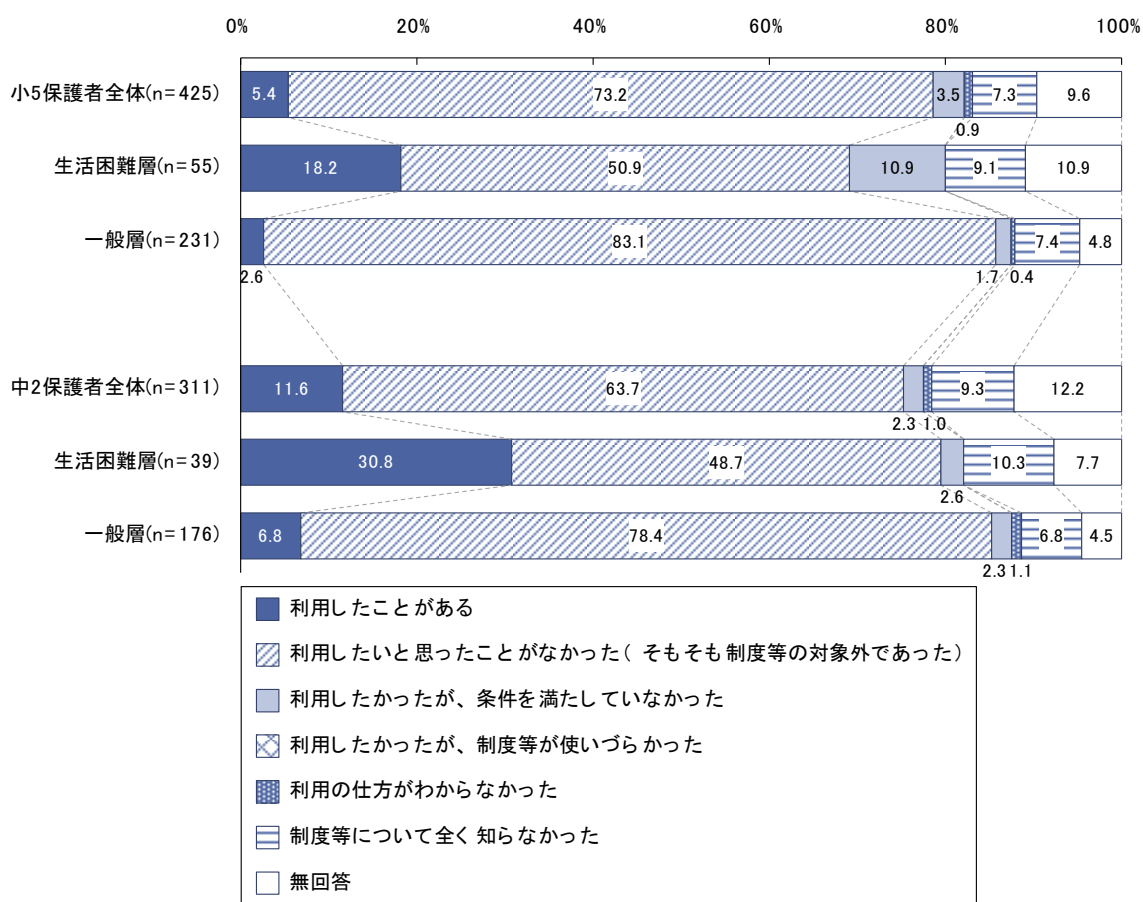


L 児童育成手当

児童育成手当の利用経験について「利用したことがある」と回答した割合は、小学5年生の全体で5.4%、生活困難層で18.2%、一般層で2.6%、中学2年生では、全体で11.6%、生活困難層で30.8%、一般層で6.8%となっています。一方、「制度等について全く知らなかった」と回答した割合は、小学5年生の全体で7.3%、生活困難層で9.1%、一般層で7.4%、中学2年生では、全体で9.3%、生活困難層で10.3%、一般層で6.8%となっています。

小学5年生、中学2年生とも、一般層と比べ生活困難層で「利用したことがある」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。

問44 あなたのご家庭では、以下のH～Lの支援制度等を、これまでに利用したことがありますか／L
児童育成手当

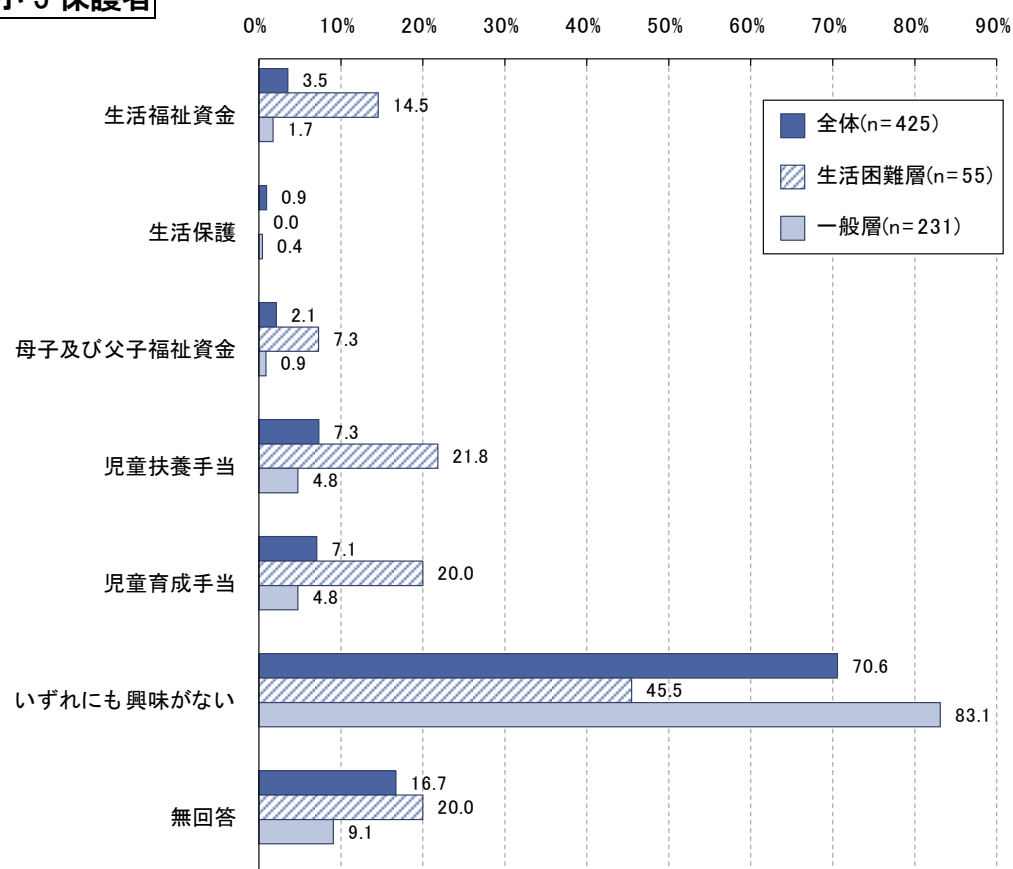


（５）経済的支援制度等の利用意向

興味がある経済的支援制度について、小学５年生全体では「いずれにも興味がない」が70.6%と高くなっています。生活困難層では一般層に比べ、「生活保護」を除きいずれも割合が高く、「児童扶養手当」が21.8%、「児童育成手当」が20.0%、「生活福祉資金」が14.5%となっています。

問44－１ 現在、以下の支援制度等を利用することに興味がありますか（複数回答）

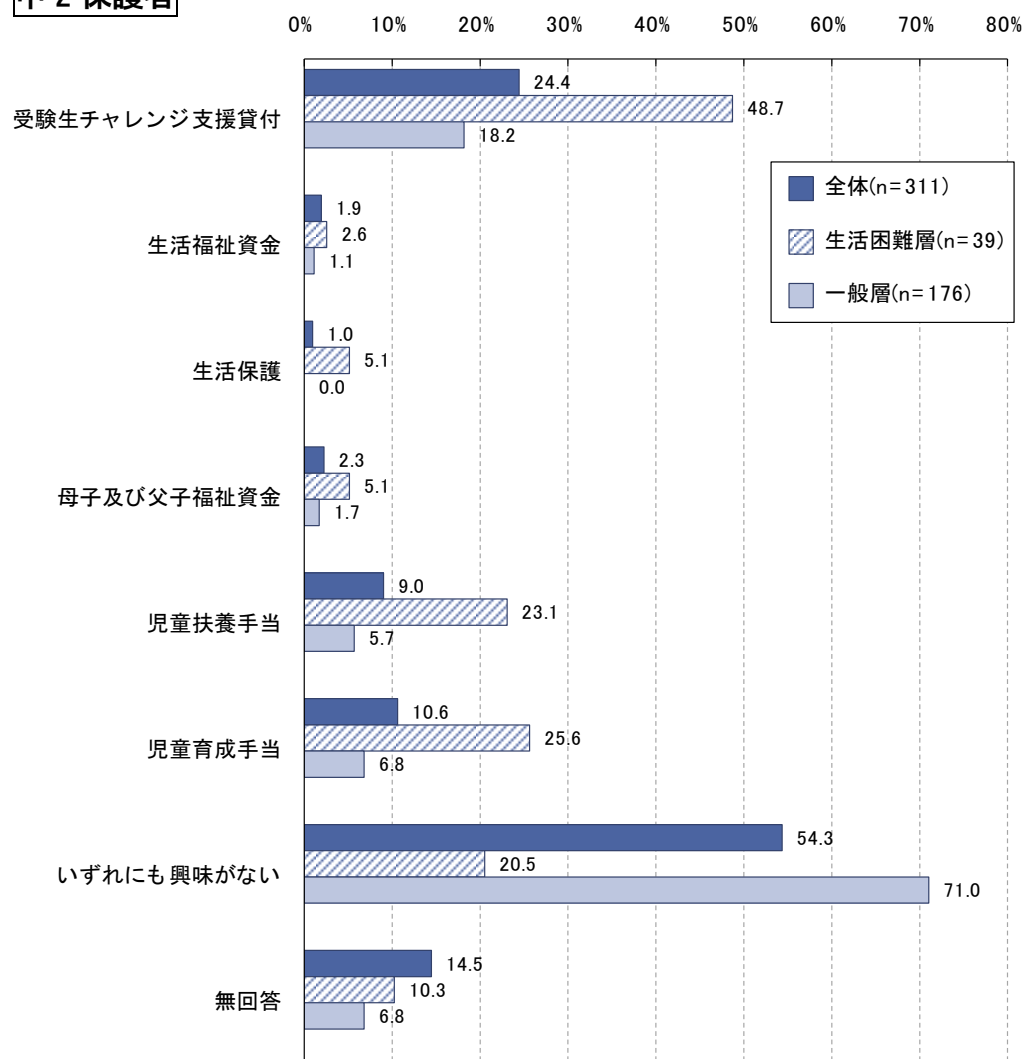
小５保護者



興味がある経済的支援制度について、中学 2 年生全体では「いずれにも興味がない」が 54.3%と半数を占めており、次いで「受験生チャレンジ支援貸付」が 24.4%となっています。生活困難層では一般層に比べ、いずれも割合が高く、「受験生チャレンジ支援貸付」が 48.7%、「児童育成手当」が 25.6%、「児童扶養手当」が 23.1%となっています

問44ー1 現在、以下の支援制度等を利用することに興味がありますか(複数回答)

中 2 保護者



3 相談窓口の利用状況

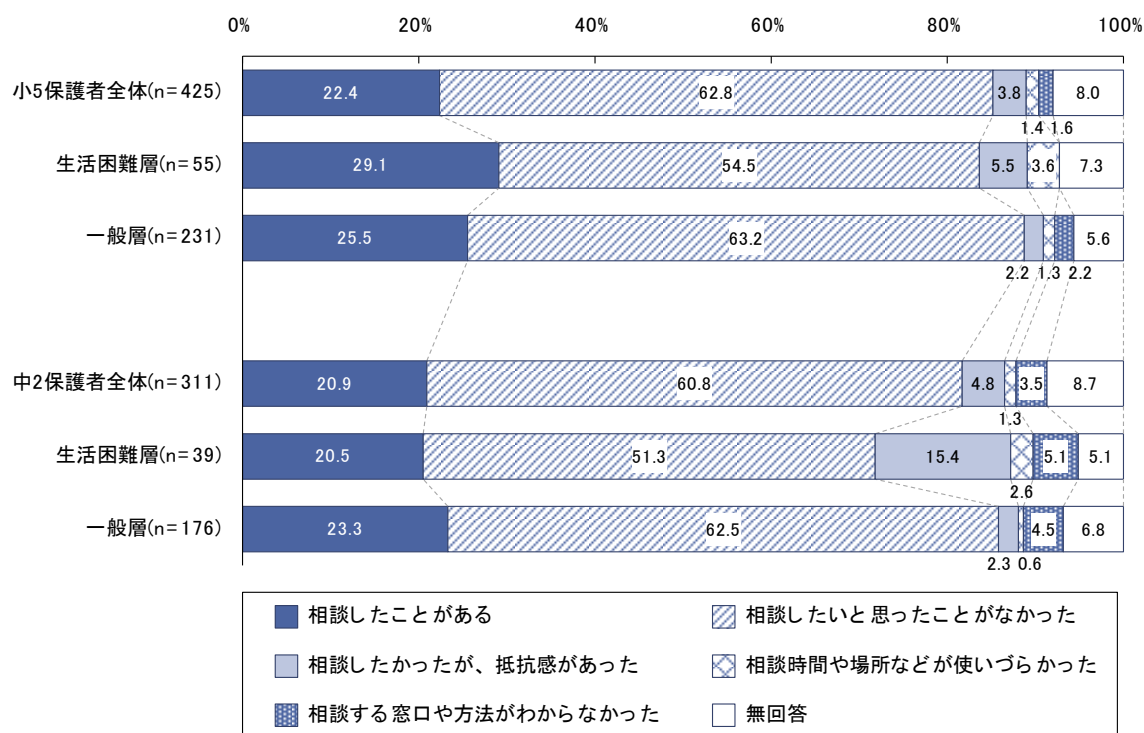
(1) 公的相談機関の利用経験

A市役所の窓口

市役所の窓口への相談経験について、「相談したことがある」と回答した割合は、小学5年生の全体で22.4%、生活困難層で29.1%、一般層で25.5%、中学2年生では、全体で20.9%、生活困難層で20.5%、一般層で23.3%となっています。一方、「相談する窓口や方法がわからなかった」と回答した割合は、小学5年生の全体で1.6%、一般層で2.2%、中学2年生では、全体で3.5%、生活困難層で5.1%、一般層で4.5%となっています。

小学5年生、中学2年生とも生活困難度による大きな差はみられませんが、中学2年生の生活困難層で「相談したかったが、抵抗感があった」の割合が高くなっています。

問46 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか／A市役所の窓口

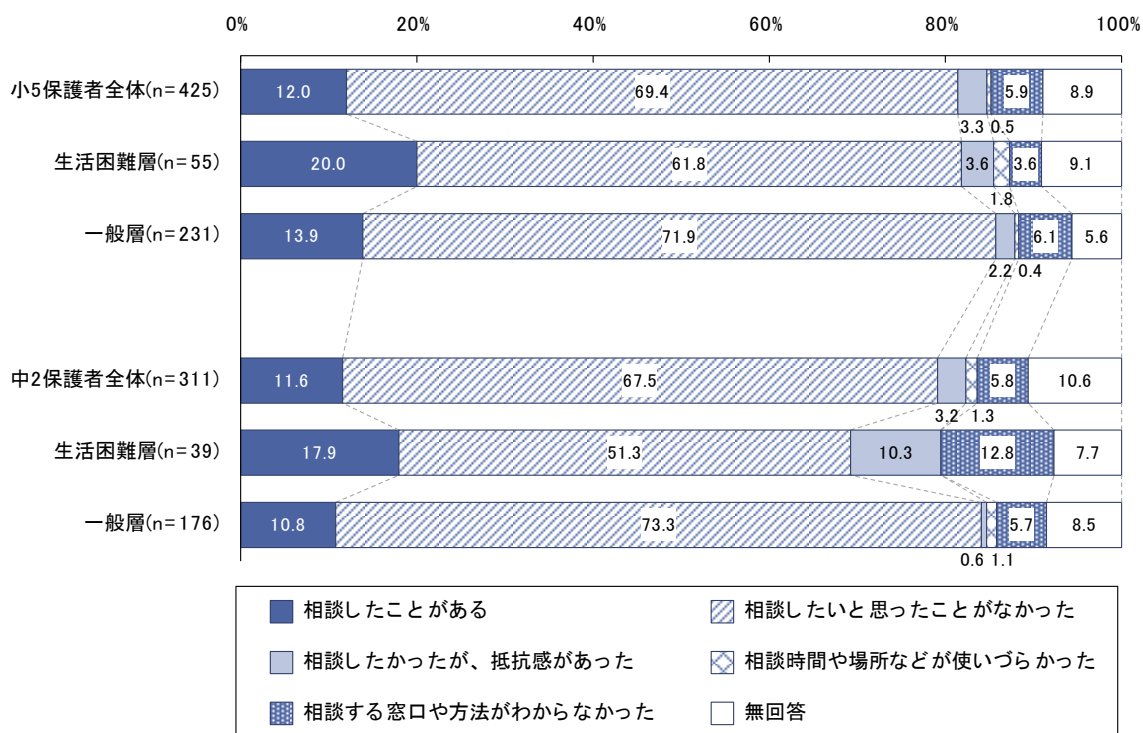


B子ども家庭支援センター

子ども家庭支援センターへの相談経験について、「相談したことがある」と回答した割合は、小学5年生の全体で12.0%、生活困難層で20.0%、一般層で13.9%、中学2年生では、全体で11.6%、生活困難層で17.9%、一般層で10.8%となっています。一方、「相談する窓口や方法がわからなかった」と回答した割合は、小学5年生の全体で5.9%、生活困難層で3.6%、一般層で6.1%、中学2年生では、全体で5.8%、生活困難層で12.8%、一般層で5.7%となっています。

小学5年生、中学2年生とも、一般層と比べ生活困難層で「相談したことがある」の割合が高く、また、中学2年生の生活困難層では「相談したかったが、抵抗感があった」の割合が高くなっています。

問46 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか／B子ども家庭支援センター

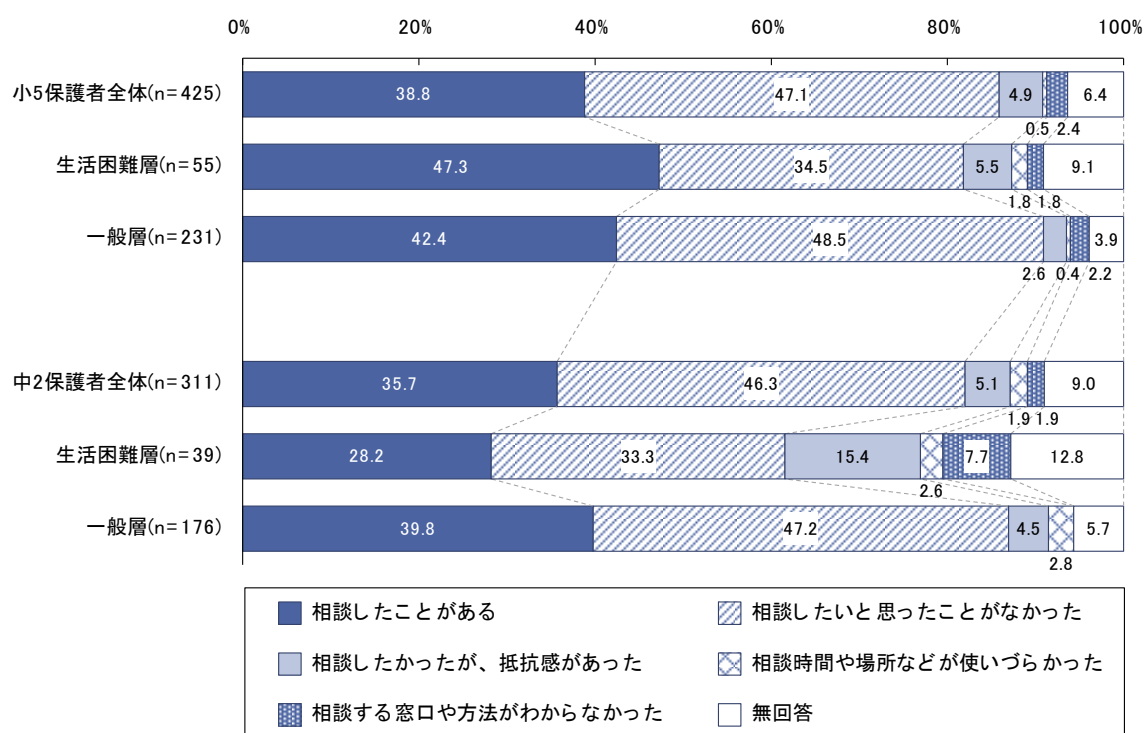


C学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど

学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなどへの相談経験について、「相談したことがある」と回答した割合は、小学5年生の全体で38.8%、生活困難層で47.3%、一般層で42.4%、中学2年生では、全体で35.7%、生活困難層で28.2%、一般層で39.8%となっています。

一般層と比べ小学5年生の生活困難層では、「相談したいと思ったことがなかった」の割合が低く、また、中学2年生の生活困難層では、「相談したことがある」、「相談したいと思ったことがなかった」の割合が低く、「相談したかったが、抵抗感があった」の割合が高くなっています。

問46 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか／C学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど

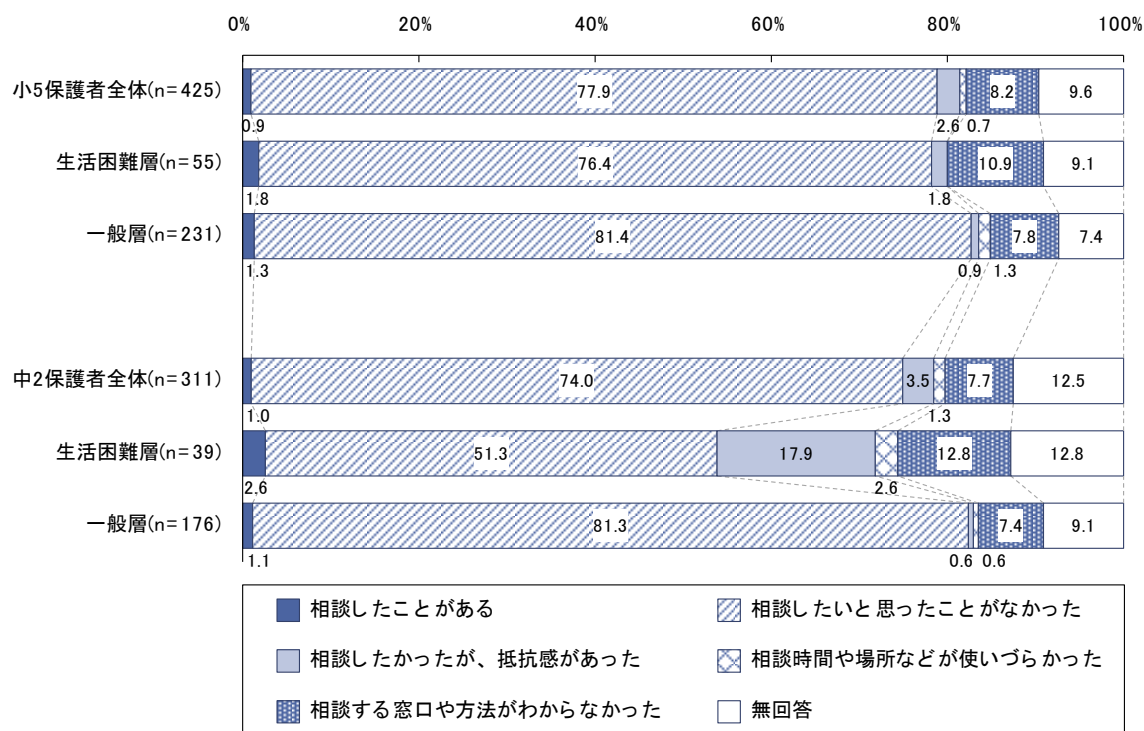


D 民生委員・児童委員

民生委員・児童委員への相談経験について、「相談したことがある」と回答した割合は、小学5年生の全体で0.9%、生活困難層で1.8%、一般層で1.3%、中学2年生では、全体で1.0%、生活困難層で2.6%、一般層で1.1%となっています。一方、「相談する窓口や方法がわからなかった」と回答した割合は、小学5年生の全体で8.2%、生活困難層で10.9%、一般層で7.8%、中学2年生では、全体で7.7%、生活困難層で12.8%、一般層で7.4%となっています。

小学5年生では生活困難度による差はみられませんが、中学2年生の生活困難層は一般層と比べ「相談したいと思ったことがなかった」の割合が低く、「相談したかったが、抵抗感があつた」の割合が高くなっています。

問46 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか／D民生委員・児童委員

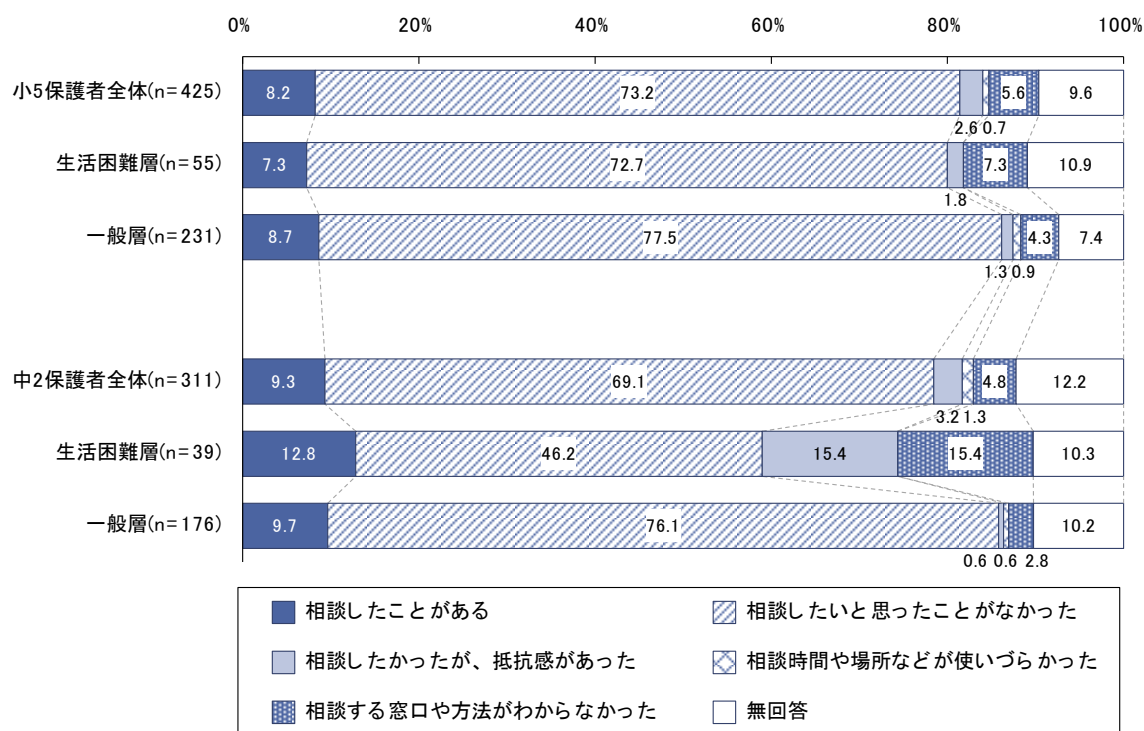


E 保健所（保健センター）

保健所（保健センター）への相談経験について、「相談したことがある」と回答した割合は、小学5年生の全体で8.2%、生活困難層で7.3%、一般層で8.7%、中学2年生では、全体で9.3%、生活困難層で12.8%、一般層で9.7%となっています。一方、「相談する窓口や方法がわからなかった」と回答した割合は、小学5年生の全体で5.6%、生活困難層で7.3%、一般層で4.3%、中学2年生では、全体で4.8%、生活困難層で15.4%、一般層で2.8%となっています。

小学5年生では生活困難度による差はみられませんが、中学2年生の生活困難層は一般層と比べ「相談したいと思ったことがなかった」の割合が低く、「相談したかったが、抵抗感があった」、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合が高くなっています。

問46 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか／E保健所（保健センター）

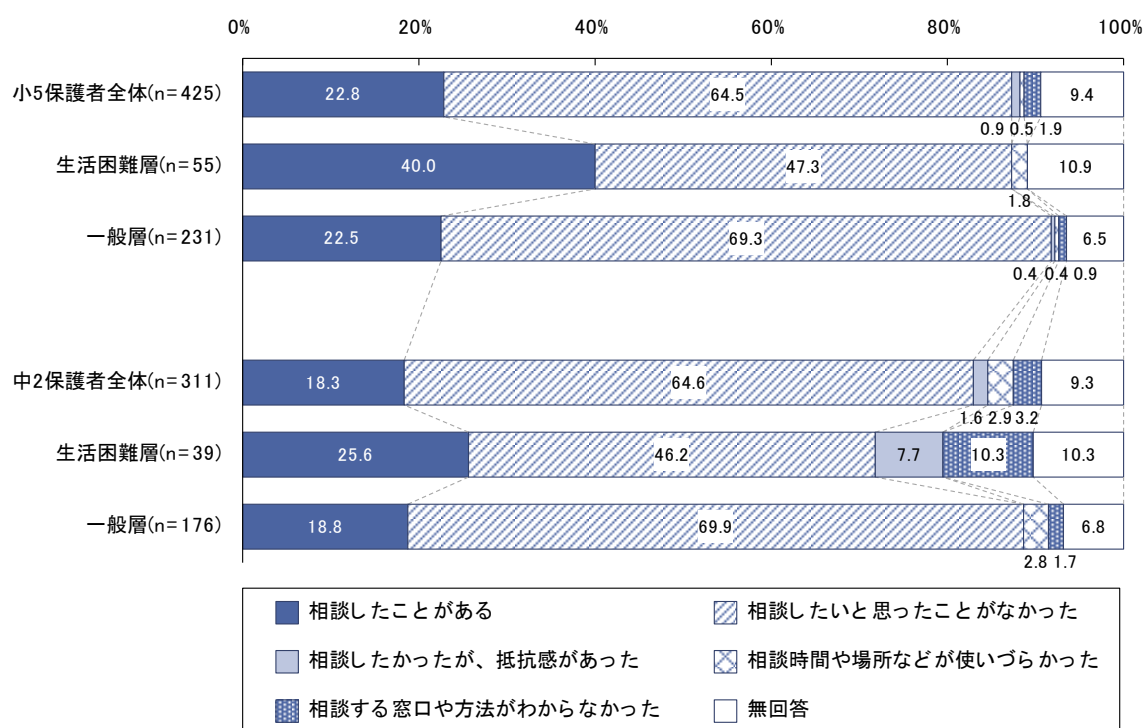


F ハローワーク

ハローワークへの相談経験について、「相談したことがある」と回答した割合は、小学5年生の全体で22.8%、生活困難層で40.0%、一般層で22.5%、中学2年生では、全体で18.3%、生活困難層で25.6%、一般層で18.8%となっています。

小学5年生、中学2年生とも一般層と比べ生活困難層では「相談したことがある」の割合は高く、また、中学2年生の生活困難層では、「相談したかったが、抵抗感があった」、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合が高くなっています。

問46 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか／Fハローワーク

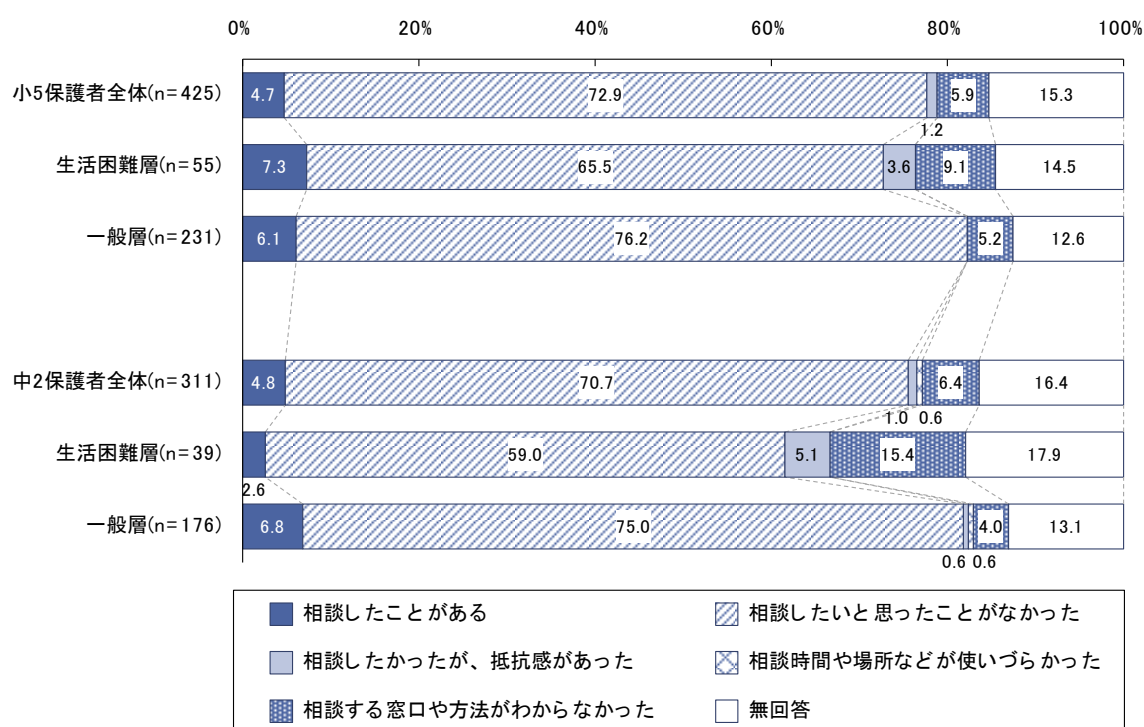


G前記以外の公的機関

前記以外の公的機関への相談経験について、「相談したことがある」と回答した割合は、小学5年生の全体で4.7%、生活困難層で7.3%、一般層で6.1%、中学2年生では、全体で4.8%、生活困難層で2.6%、一般層で6.8%となっています。一方、「相談する窓口や方法がわからなかった」と回答した割合は、小学5年生の全体で5.9%、生活困難層で9.1%、一般層で5.2%、中学2年生では、全体で6.4%、生活困難層で15.4%、一般層で4.0%となっています。

小学5年生、中学2年生とも、一般層と比べ生活困難層では「相談したかったが、抵抗感があった」、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合が高くなっています。

問46 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか／G前記以外の公的機関



登録番号（刊行物番号）

H30－64

子どもの生活実態調査集計報告書

平成 31 年 2 月発行

発 行 粕江市

編 集 粕江市児童青少年部子育て支援課
粕江市和泉本町一丁目 1 番 5 号

電 話 03（3430）1111

印 刷 庁内印刷

頒布価格 400 円